

# いわき市高齢者保健福祉計画 策定に関するアンケート調査

－調査結果報告書－

令和5年3月

いわき市 保健福祉部 介護保険課 長寿支援係



## <目 次>

<b>I</b>	<b>調査概要</b>	<b>6</b>
<b>II</b>	<b>調査結果（ニーズ調査）</b>	<b>8</b>
1	対象者の属性	8
1-1	調査票の回答者	8
1-2	圏域	8
1-3	対象者の性別	9
1-4	対象者の年齢	9
1-5	介護認定の状況	9
2	対象者の家族や生活状況について	10
2-1	家族構成	10
2-2	普段の生活における介護・介助の必要度	11
2-3	現在の暮らしの経済的状況	12
3	からだを動かすことについて	13
3-1	階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか	13
3-2	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか	14
3-3	15分くらい続けて歩いているか	15
3-4	過去1年間の転倒の経験	16
3-5	転倒に対する不安について	17
3-6	外出について	18
3-7	昨年と比べた外出回数	19
3-8	外出を控えているか	20
3-9	外出を控える理由	21
3-10	外出する際の移動手段	22
4	食べることについて	24
4-1	身長・体重・BMI	24
4-2	半年前と比べて固いものが食べにくくなったか	26
4-3	お茶や汁物等でむせることがあるか	27
4-4	口の渇きが気になるか	28
4-5	歯磨き（人にやってもらう場合を含む）を毎日しているか	29
4-6	歯の数と入れ歯の利用状況	30
4-7	どなたかと食事をとる機会があるか	31

<b>5</b>	<b>毎日の生活について</b> .....	<b>32</b>
5-1	物忘れが多いと感じるか .....	32
5-2	バスや電車を使って1人で外出しているか（自家用車でも可） .....	33
5-3	自分で食品・日用品の買物をしているか .....	34
5-4	自分で食事の用意をしているか .....	35
5-5	自分で請求書の支払いをしているか .....	36
5-6	自分で預貯金の出し入れをしているか .....	37
5-7	趣味について .....	38
5-8	生きがいについて .....	38
5-9	就労状況 .....	39
5-10	機会があれば働きたいか .....	40
<b>6</b>	<b>地域での活動について</b> .....	<b>41</b>
6-1	地域での活動の参加頻度 .....	41
6-2	地域づくりの場への参加意向（参加者として） .....	50
6-3	地域づくりの場への参加意向（企画・運営として） .....	51
<b>7</b>	<b>たすけあいについて</b> .....	<b>52</b>
7-1	心配事や愚痴を聞いてくれる人 .....	52
7-2	心配事や愚痴を聞いてあげる人 .....	53
7-3	病気で寝込んだ時に世話をしてくれる人 .....	54
7-4	病気で寝込んだ時に世話をしてあげる人 .....	55
7-5	何かあったときの相談相手 .....	56
7-6	友人・知人と会う頻度 .....	57
7-7	この1か月間、何人の友人・知人と会ったか .....	58
7-8	よく会う友人・知人との関係 .....	59
<b>8</b>	<b>対象者の健康状態等</b> .....	<b>60</b>
8-1	健康状態について .....	60
8-2	現在の幸福度 .....	61
8-3	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったか .....	61
8-4	この1か月間、物事に対して興味がわからない等の感じがあったか .....	62
8-5	飲酒について .....	63
8-6	喫煙について .....	64
8-7	治療中、または後遺症のある病気 .....	65
8-8	治療中、または後遺症のある病気の中で、1番最初にかかった病気 .....	67
8-9	終末期、最期まで自宅で生活したいか .....	68
8-10	自宅で最期まで生活できないと思う理由 .....	69

<b>9</b>	<b>認知症について</b> .....	<b>70</b>
9-1	認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか .....	70
9-2	認知症に関する相談窓口の認知度 .....	70
9-3	認知症になった際、自宅で生活を続けたいか .....	71
9-4	認知症の方も地域活動に役割をもって参加した方が良いと思うか .....	72
9-5	認知症の方が地域で暮らしていくために必要な支援 .....	73
<b>10</b>	<b>いわき市の敬老事業について</b> .....	<b>74</b>
10-1	地区敬老会への参加経験の有無 .....	74
10-2	地区敬老会への参加意向 .....	75
10-3	地区敬老会に参加したくない理由 .....	76
10-4	敬老祝金の継続について .....	77
10-5	敬老祝金を縮小・廃止した場合、代わりに充実すべき事業 .....	78
<b>11</b>	<b>要介護リスクについて</b> .....	<b>79</b>
11-1	運動器機能の低下 .....	80
11-2	低栄養の傾向 .....	81
11-3	口腔機能の低下 .....	81
11-4	閉じこもり傾向 .....	82
11-5	認知機能の低下 .....	82
11-6	うつ傾向 .....	83
11-7	転倒リスク .....	83
11-8	IADL（手段的自立度） .....	84
<b>Ⅲ</b>	<b>調査結果（在宅介護実態調査）</b> .....	<b>85</b>
<b>1</b>	<b>対象者の属性</b> .....	<b>85</b>
1-1	対象者の性別 .....	85
1-2	対象者の年齢 .....	85
1-3	要介護度 .....	86
1-4	調査票の回答者 .....	86

<b>2</b>	<b>基本調査項目（A票）</b>	<b>87</b>
2-1	世帯類型	87
2-2	家族等による介護の頻度	87
2-3	主な介護者の本人との関係	88
2-4	主な介護者の性別	88
2-5	主な介護者の年齢	89
2-6	主な介護者が行っている介護	90
2-7	介護のための離職の有無	91
2-8	保険外の支援・サービスの利用状況	92
2-9	在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス	93
2-10	施設等検討の状況	94
2-11	本人が抱えている傷病	95
2-12	訪問診療の利用の有無	96
2-13	介護保険サービスの利用の有無	96
2-14	介護保険サービス未利用の理由	97
<b>3</b>	<b>主な介護者様用の調査項目（B票）</b>	<b>98</b>
3-1	主な介護者の勤務形態	98
3-2	主な介護者の方の働き方の調整の状況	98
3-3	就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援	99
3-4	主な介護者の就労継続の可否に係る意識	100
3-5	今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護	101
3-6	介護者に「老老介護」「ダブルケア」「ヤングケアラー」がいるか	102
3-7	「老老介護」「ダブルケア」「ヤングケアラー」の介護の負担感	102
3-8	「老老介護」「ダブルケア」「ヤングケアラー」の相談相手の有無	103
<b>IV</b>	<b>調査結果（介護支援専門員アンケート）</b>	<b>104</b>
<b>1</b>	<b>回答者の属性</b>	<b>104</b>
1-1	回答者の性別	104
1-2	回答者の年齢	104
1-3	基礎職種	105
1-4	勤務形態	105
1-5	実務経験年数	106
1-6	担当ケアプラン件数	107
1-7	主任介護支援専門員の資格の有無	108
1-8	主任介護支援専門員として充実が必要な支援	108

<b>2</b>	<b>業務負担・不安等について</b> .....	<b>109</b>
2-1	ケアマネジメント業務量に関する負担感.....	109
2-2	業務上、困難に感じるケース.....	110
2-3	認知症高齢者の対応で困難に感じるケース.....	111
2-4	認知症高齢者の対応で困難が生じた場合の連携先.....	112
2-5	担当したケースでのヤングケアラーの有無.....	113
2-6	ヤングケアラーと思われる子どもが行っていたケア.....	113
2-7	ヤングケアラーと思われる子どもに対して行った支援.....	114
2-8	業務上のストレスの有無.....	115
2-9	ストレスを感じる要因.....	115
2-10	業務上困ったときの主な相談先.....	116
2-11	相談によって問題を解決できているか.....	117
2-12	本人・家族からの不当な要求経験.....	117
<b>3</b>	<b>介護保険サービスについて</b> .....	<b>118</b>
3-1	介護保険サービスの需要供給状況について.....	118
3-2	短期入所生活介護（ショートステイ）の空き状況の確認手段.....	126
<b>4</b>	<b>ケアプラン作成について</b> .....	<b>127</b>
4-1	「自立支援」「重度化防止」に向けたケアプラン作成の意識度.....	127
4-2	「自立支援」「重度化防止」に向けて意識していること.....	127
<b>5</b>	<b>一般高齢者福祉事業の評価について</b> .....	<b>128</b>
5-1	一般高齢者福祉事業の評価.....	128
<b>6</b>	<b>高齢者虐待の疑いのあるケースの経験有無について</b> .....	<b>130</b>
6-1	高齢者虐待の疑いのあるケースの経験有無.....	130
<b>7</b>	<b>成年後見制度について</b> .....	<b>131</b>
7-1	成年後見制度活用に必要な取組み.....	131
7-2	成年後見制度を活用していくために必要だと思うこと.....	132
<b>8</b>	<b>ケアマネジャーとして感じること</b> .....	<b>133</b>
8-1	地域の福祉資源と医療資源の連携状況.....	133
8-2	地域の福祉資源と医療資源の連携に必要なこと.....	134
8-3	地域包括支援センターの活動において充実すべきこと.....	135
8-4	多分野（介護・障がい等）との連携に必要なこと.....	135
8-5	介護支援専門員研修で受講したい研修.....	136
8-6	作成して欲しいマニュアル等.....	137
8-7	いわき市の保健・福祉施策等に対する意見・要望.....	138
<b>V</b>	<b>資料編</b> .....	<b>148</b>
1	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 調査票.....	148
2	在宅介護実態調査 調査票.....	156
3	介護支援専門員アンケート 調査票.....	159

# I 調査概要

## 1 調査の目的

老人福祉法及び介護保険法に基づき、市が策定する3ヵ年計画である「いわき市高齢者保健福祉計画」について、第9次計画が令和5年度に計画期間の最終年度となることから、次期計画の策定を行うにあたり、高齢者福祉及び介護保険事業に関する市民の意識やニーズ等の把握、分析を行うことを目的として実施しました。

## 2 調査期間

日常生活圏域ニーズ調査 : 令和5年1月23日(月)～令和5年2月24日(金)

在宅介護実態調査 : 令和5年1月10日(火)～令和5年2月20日(月)

介護支援専門員アンケート : 令和5年1月18日(水)～令和5年2月20日(月)

※集計には、3月3日までの回収票を有効としました

## 3 調査対象

日常生活圏域ニーズ調査 : いわき市に在住する65歳以上の方のうち、介護認定を受けていない方及び要支援1・2の方 9,800人

在宅介護実態調査 : 在宅にて介護を受けている65歳以上の方 212人

介護支援専門員アンケート : いわき市内で活動する介護支援専門員(いわき市介護支援専門員連絡協議会会員) 326人

## 4 調査方法

日常生活圏域ニーズ調査 : 郵送配布・回収(回答についてはインターネット回答を併用)

在宅介護実態調査 : 認定調査員による訪問での聞き取り

介護支援専門員アンケート : 郵送配布・回収(回答についてはインターネット回答を併用)

## 5 回答状況

調査種別	配布数①	総回答数	有効回答数②	有効回答率 ②/①
日常生活圏域ニーズ調査	9,800	5,745	5,743	58.6%
在宅介護実態調査	212	212	209	98.6%
介護支援専門員アンケート	326	191	191	58.6%

## 6 調査結果の見方

- n (number of cases) は回答割合算出における基数であり、100.0%が何人の回答に相当するかを表しています。
- 回答割合は百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出している。したがって、単一回答式の質問においては、回答割合を合計しても100.0%にならない場合があります。  
また、複数回答式の質問においては、各設問の調査数を基数として算出するため、全ての選択肢の割合を合計すると100.0%を超える場合があります。
- 回答が皆無（0件）であった選択肢の回答割合は、図表中では「-」と表記しています。なお、一部、視認性を考慮して「-」を非掲載としている場合があります。
- 調査数（n）が少数のものは、回答割合の信頼性が低いため、コメントを省略している場合があります。
- 図表及びコメントで、選択肢の語句等を一部簡略化等している場合があります。

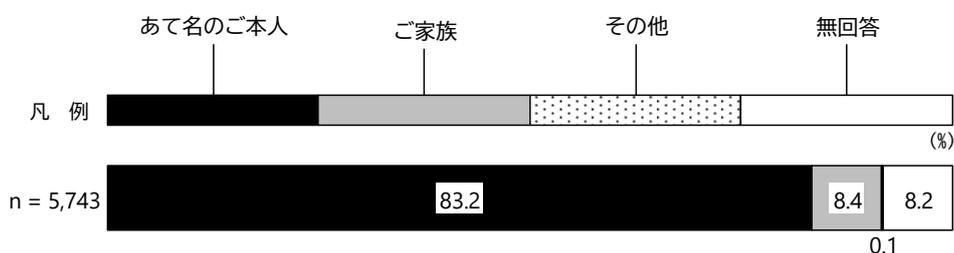
# II 調査結果（ニーズ調査）

## 1 対象者の属性

### 1-1 調査票の回答者

- ▶ 調査票の回答者については、「あて名のご本人」が 83.2%と最も高く、次いで「ご家族」が 8.4%となっています。

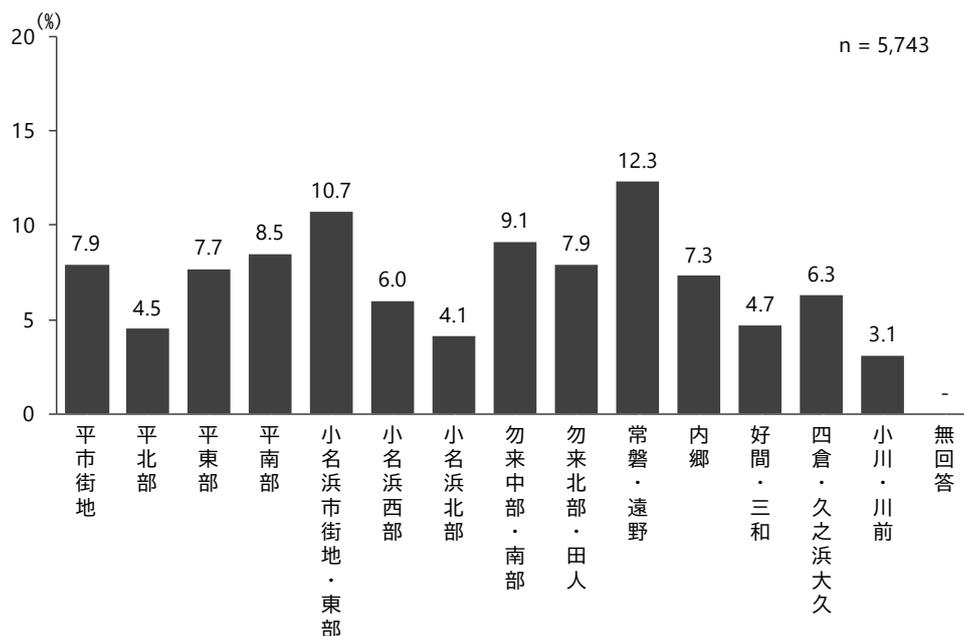
調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。



### 1-2 圏域

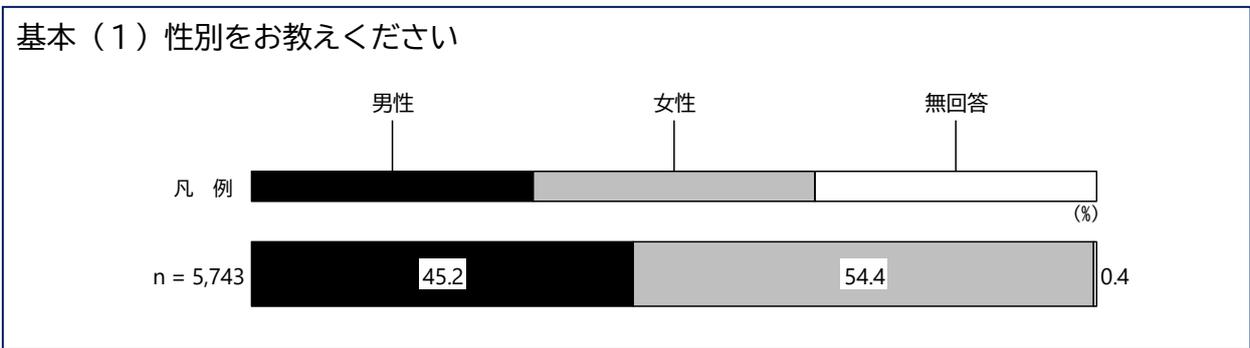
- ▶ 圏域については、「常磐・遠野」が 12.3%と最も高く、次いで「小名浜市街地・東部」が 10.7%となっています。

圏域



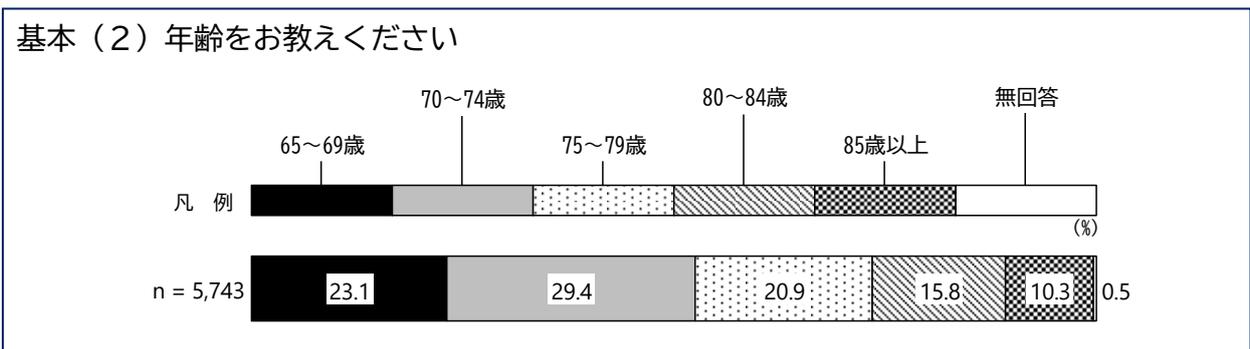
### 1-3 対象者の性別

▶ 対象者の性別については、「男性」が45.2%、「女性」が54.4%となっています。



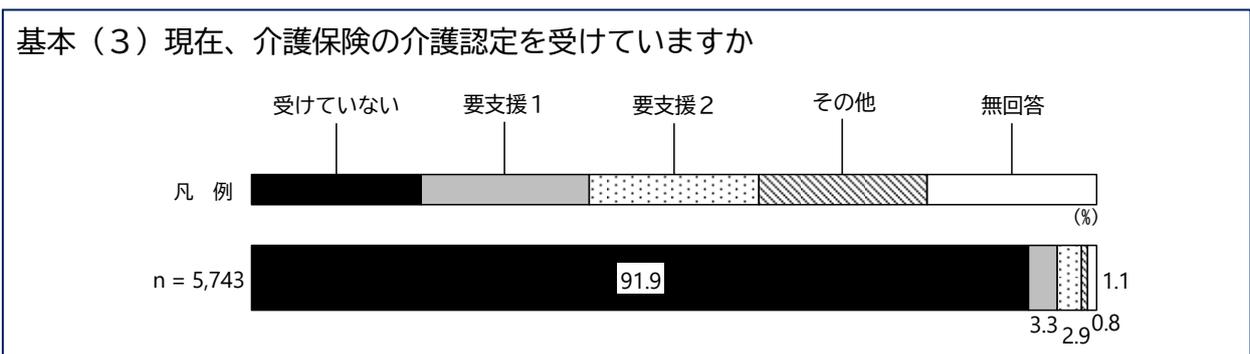
### 1-4 対象者の年齢

▶ 対象者の年齢については、「70～74歳」が29.4%と最も高く、次いで「65～69歳」が23.1%となっています。



### 1-5 介護認定の状況

▶ 対象者の介護認定の状況については、「受けていない」が91.9%と最も高く、次いで「要支援1」が3.3%となっています。

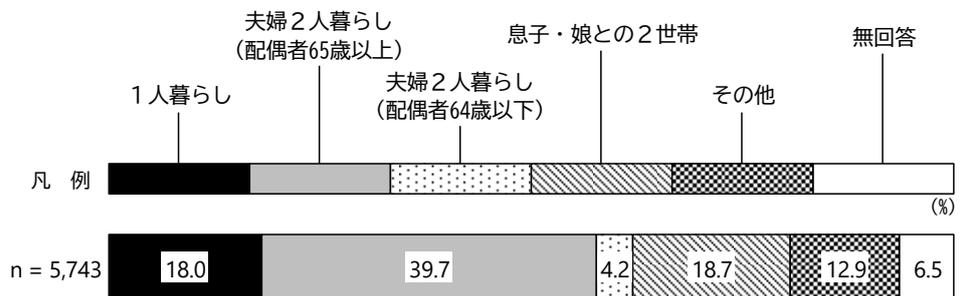


## 2 対象者の家族や生活状況について

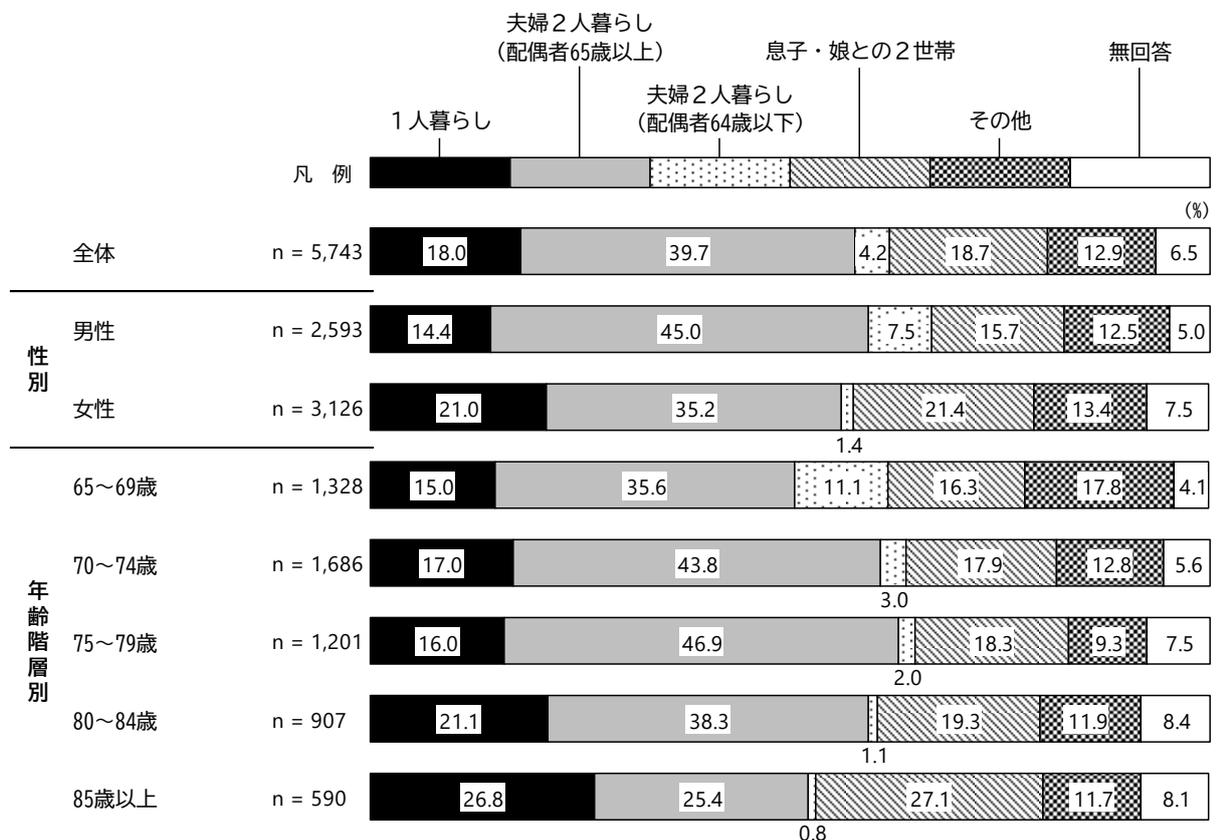
### 2-1 家族構成

- ▶ 家族構成については、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が39.7%と最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」が18.7%となっています。
- ▶ 年齢階層別でみると、85歳以上では「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が25.4%と他の年代と比べ10ポイント以上低く、「息子・娘との2世帯」の割合は年齢が上がるほど高くなっています。

問1（1）家族構成をお教えてください

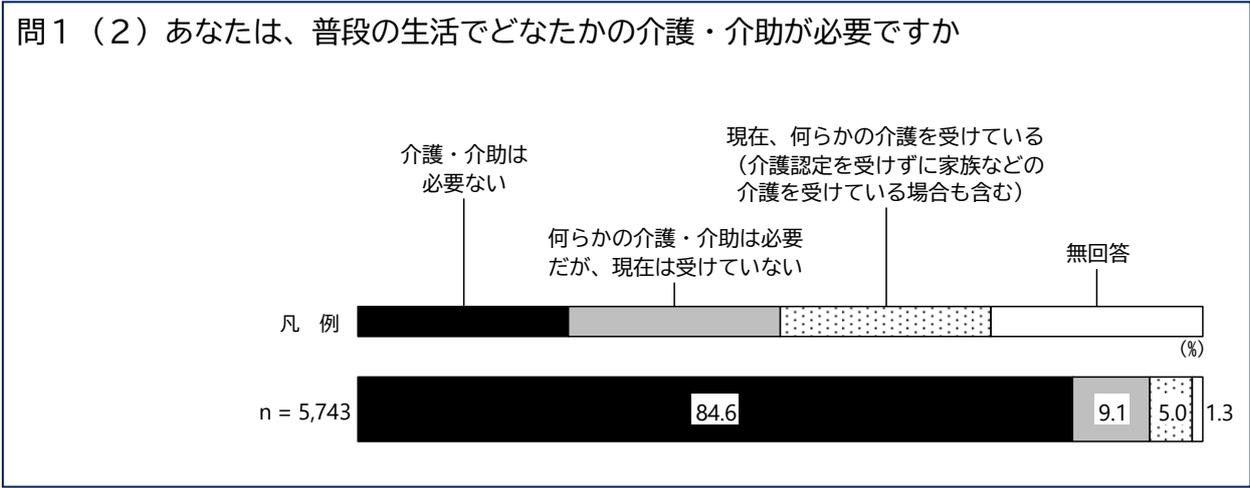


#### 【性別・年齢階層別／家族構成】

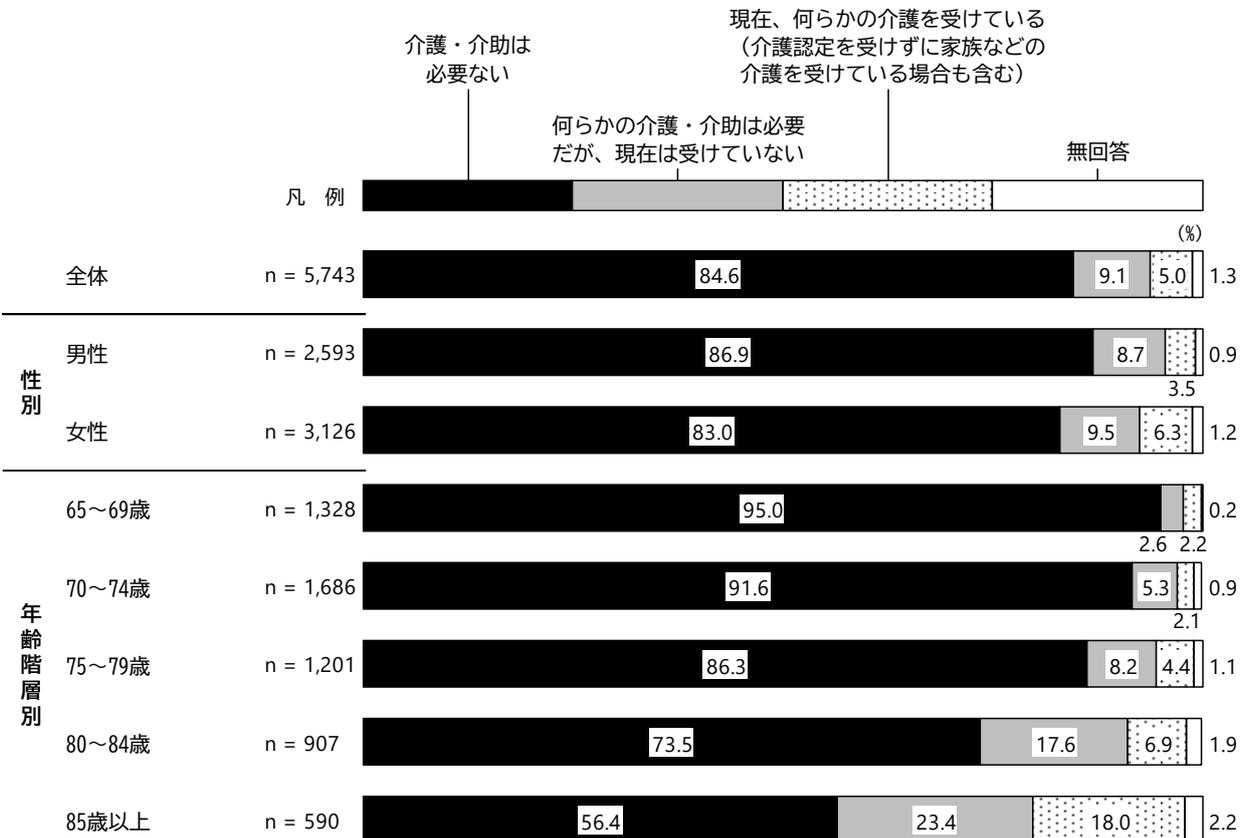


2-2 普段の生活における介護・介助の必要度

- ▶ 普段の生活における介護・介助の必要度については、「介護・介助は必要ない」が84.6%と最も高く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が9.1%となっています。
- ▶ 年齢階層別でみると、85歳以上では「介護・介助は必要ない」が56.4%と他の年代と比べ15ポイント以上低く、「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」は10ポイント以上高くなっています。



【性別・年齢階層別／普段の生活における介護・介助の必要度】

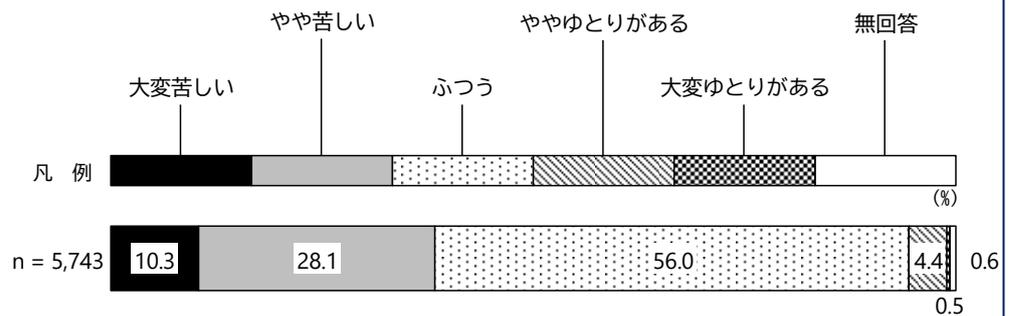


## II 調査結果（ニーズ調査）

### 2-3 現在の暮らしの経済的状況

- ▶ 現在の暮らしの経済的状況については、「ふつう」が56.0%と最も高く、次いで「やや苦しい」が28.1%となっています。
- ▶ 「大変苦しい」(10.3%)と「やや苦しい」(28.1%)を合わせた《経済的状況が苦しい》は38.4%となっており、「大変ゆとりがある」(0.5%)と「ややゆとりがある」(4.4%)を合わせた《経済的状況にゆとりがある》は4.9%となっています。

問1（3）現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

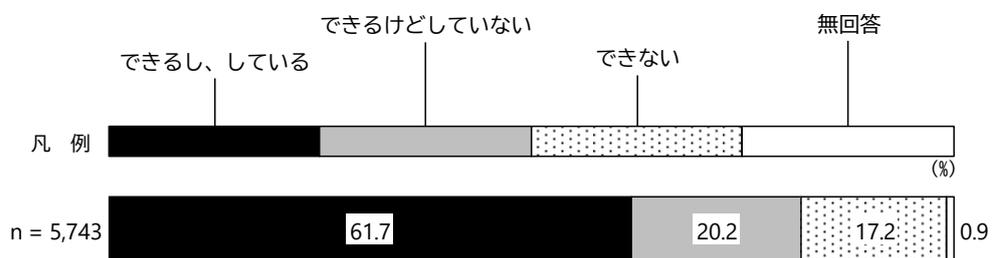


### 3 からだを動かすことについて

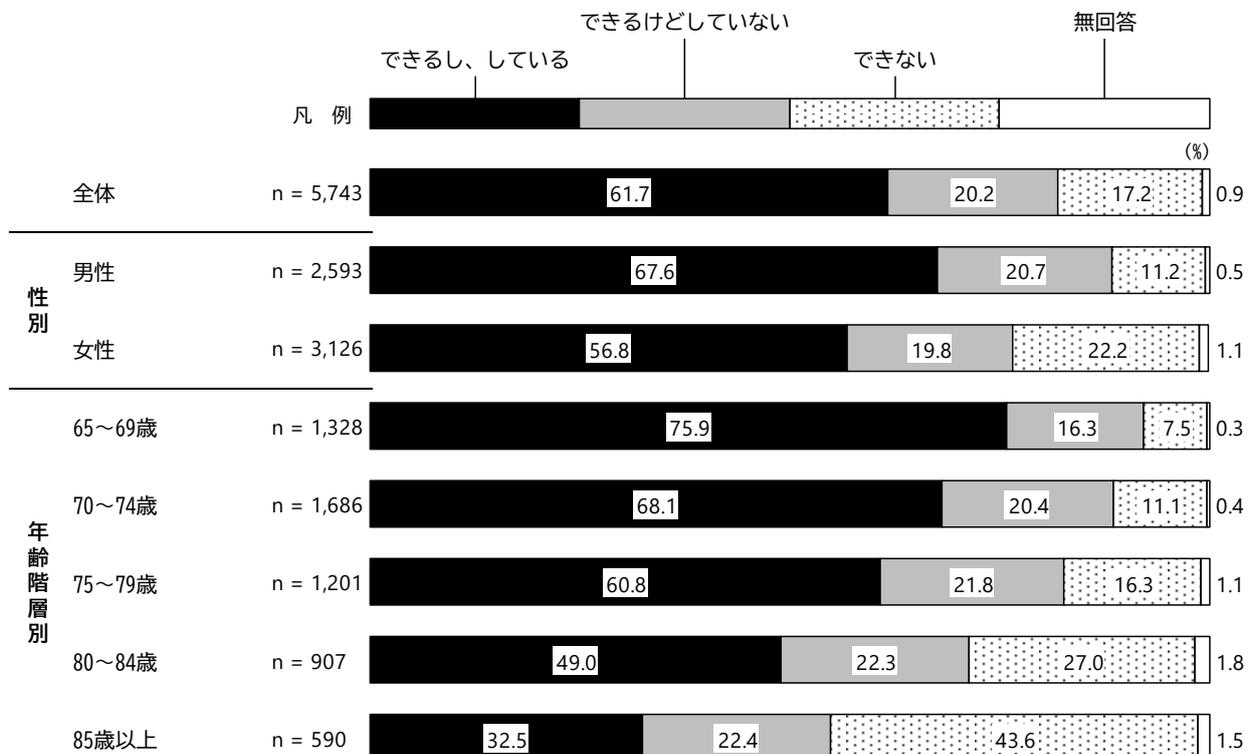
#### 3-1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか

- ▶ 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていけるかについては、「できるし、している」が61.7%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が20.2%、「できない」が17.2%となっています。
- ▶ 女性では、「できない」が22.2%と、男性に比べ10ポイント以上高くなっています。
- ▶ 年齢階層別で見ると、「できない」は年齢が上がるにつれ高くなる傾向があり、85歳以上では43.6%となっています。

問2（1）階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか



【性別・年齢階層別／階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか】

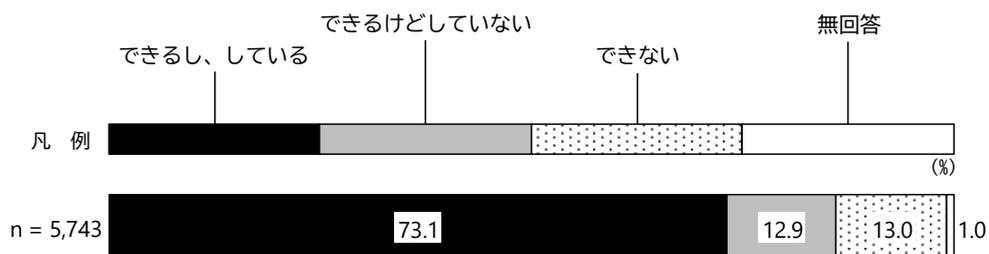


## II 調査結果（ニーズ調査）

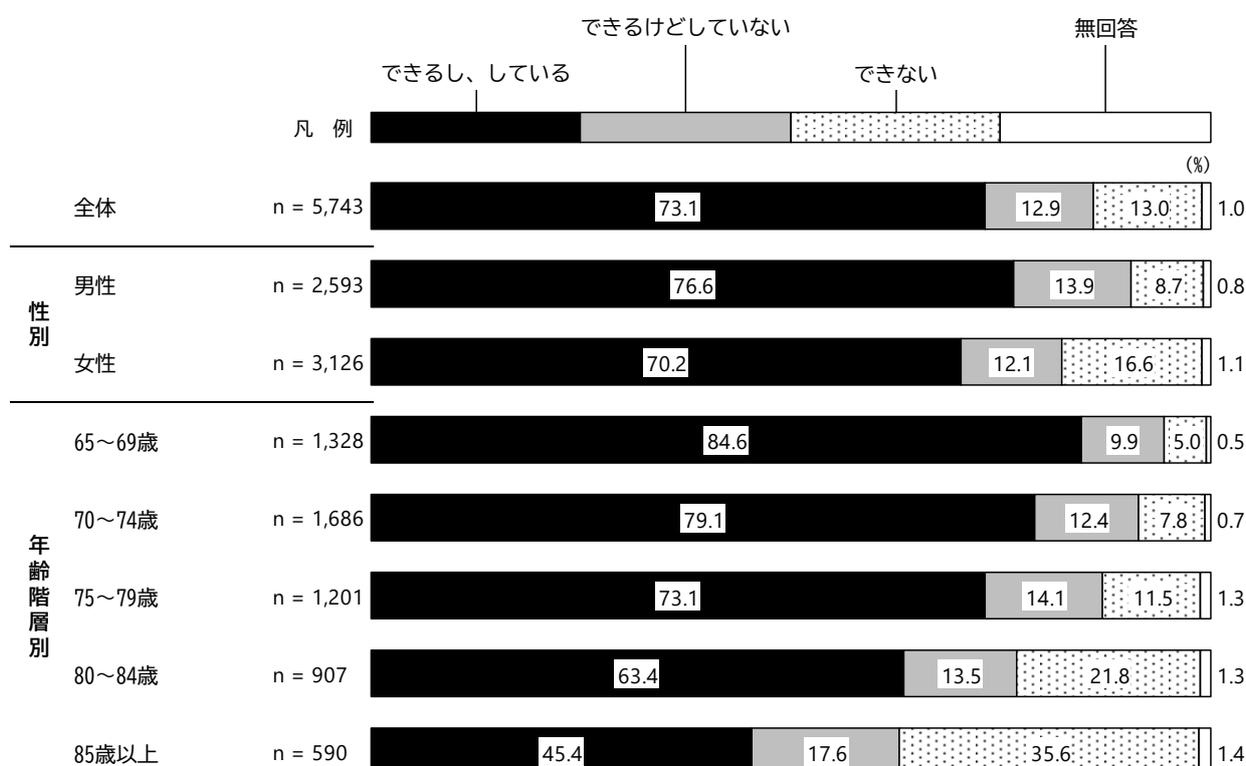
### 3-2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか

- ▶ 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかについては、「できるし、している」が73.1%と最も高く、次いで「できない」が13.0%、「できるけどしていない」が12.9%となっています。
- ▶ 年齢階層別でみると、「できない」は年齢が上がるにつれ高くなる傾向があり、85歳以上では35.6%となっています。

問2（2）椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか



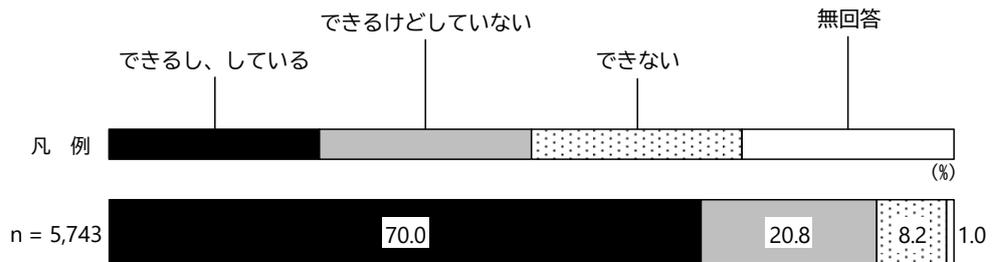
【性別・年齢階層別／椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか】



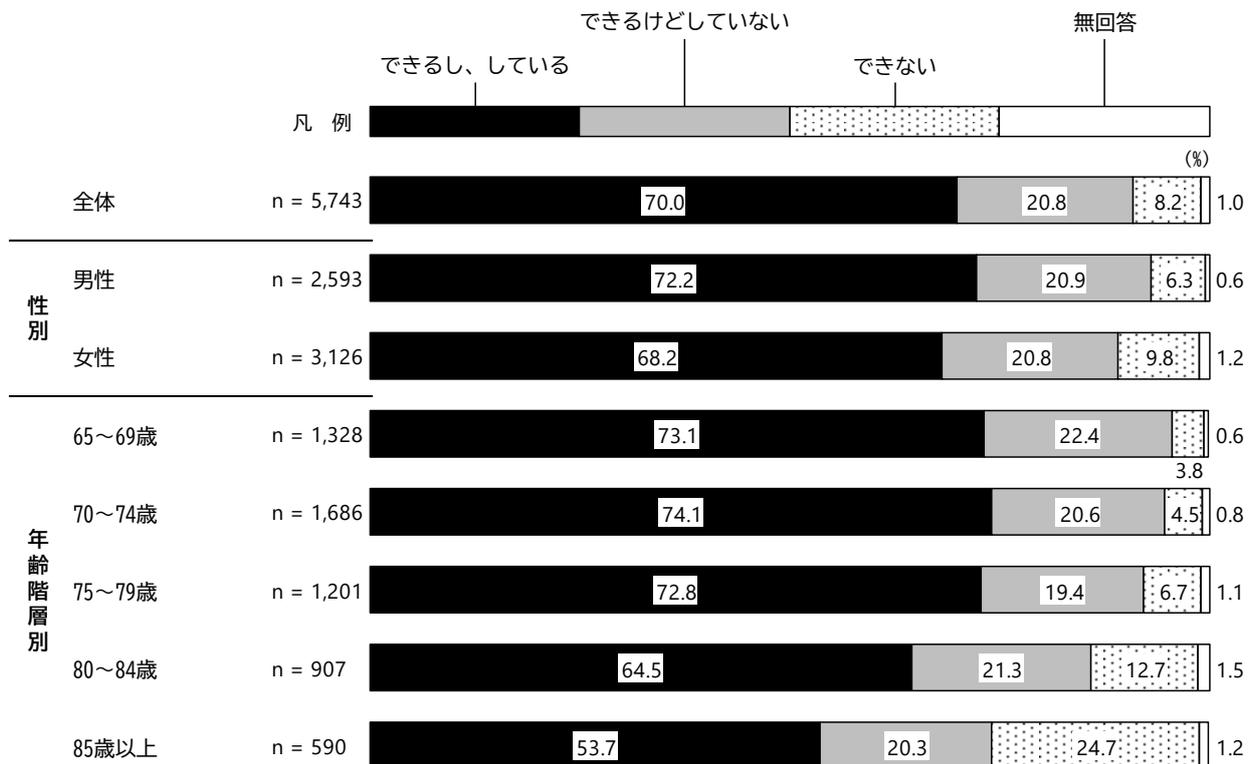
### 3-3 15分くらい続けて歩いているか

- ▶ 15分くらい続けて歩いているかについては、「できるし、している」が70.0%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が20.8%、「できない」が8.2%となっています。
- ▶ 年齢階層別で見ると、「できない」は年齢が上がるにつれ高くなる傾向があり、85歳以上では24.7%となっています。

問2（3）15分くらい続けて歩いていますか



【性別・年齢階層別／15分くらい続けて歩いているか】

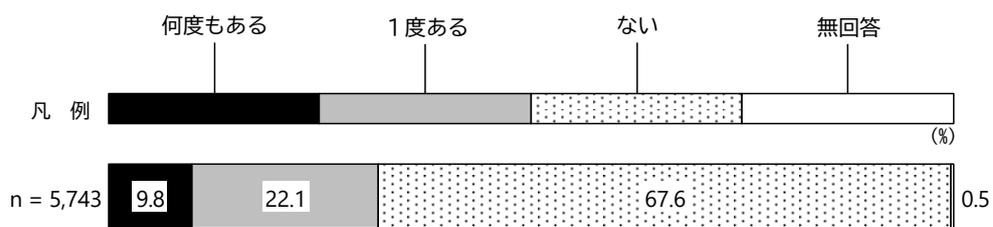


## II 調査結果（ニーズ調査）

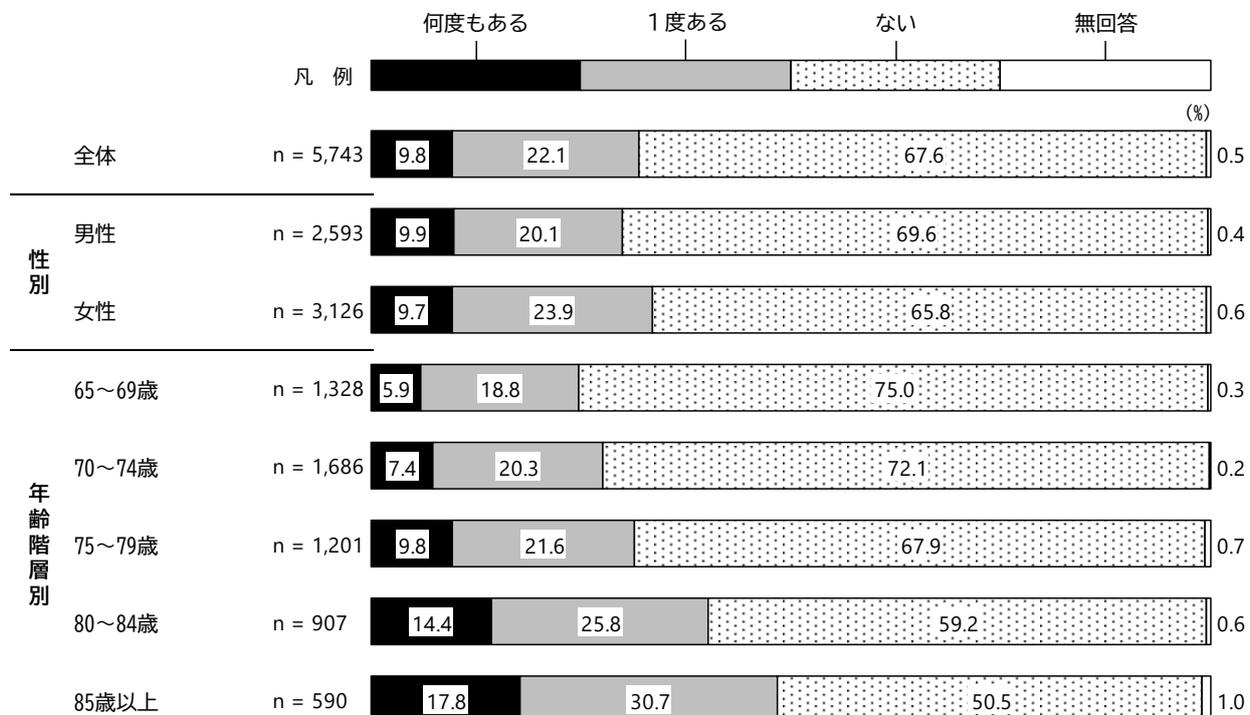
### 3-4 過去1年間の転倒の経験

- ▶ 過去1年間の転倒の経験については、「ない」が67.6%と最も高く、次いで「1度ある」が22.1%、「何度もある」が9.8%となっています。
- ▶ 「何度もある」(9.8%)と「1度ある」(22.1%)を合わせた《転倒経験がある》は31.9%となっています。
- ▶ 年齢階層別でみると、《転倒経験がある》は年齢が上がるにつれ高くなる傾向があり、85歳以上では48.5%となっています。

問2（4）過去1年間に転んだ経験がありますか



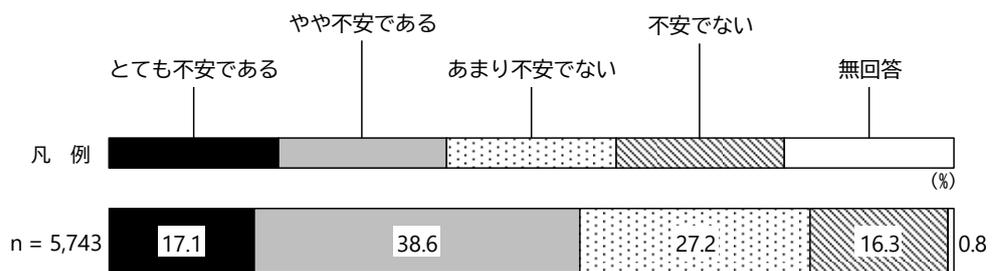
【性別・年齢階層別／過去1年間の転倒の経験】



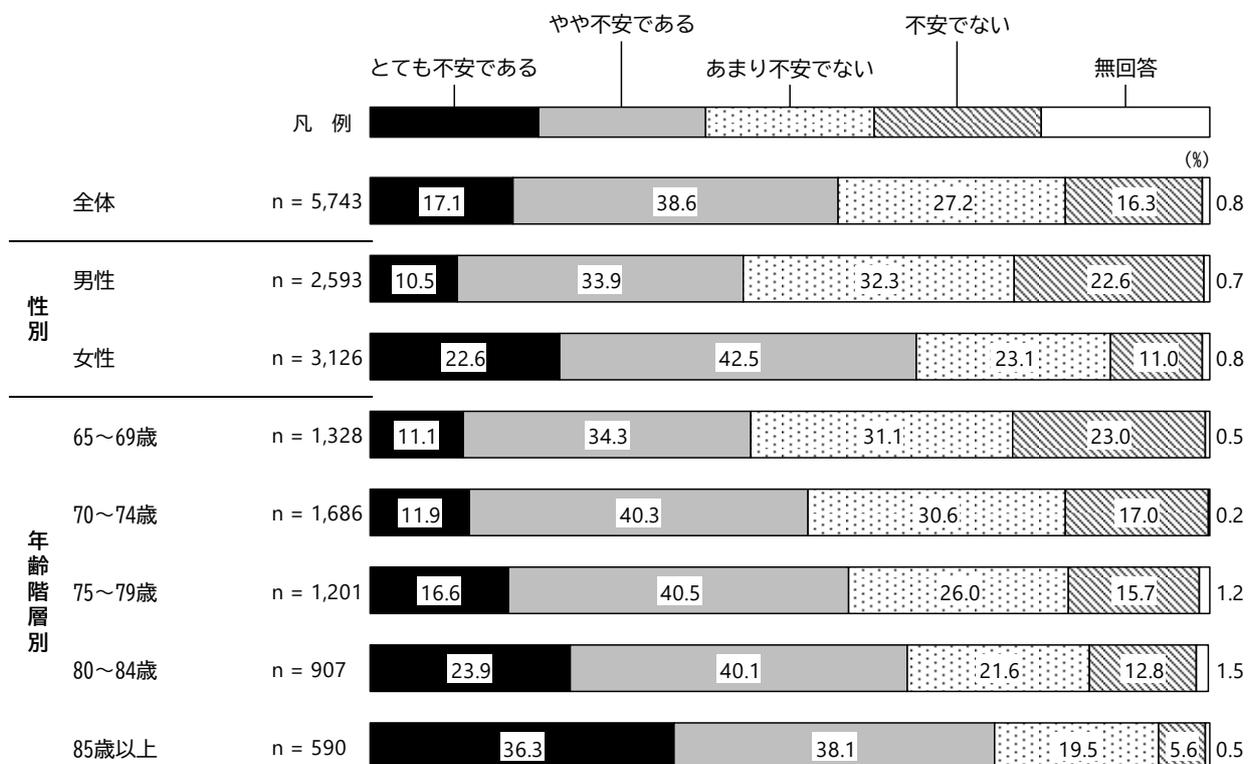
### 3-5 転倒に対する不安について

- ▶ 転倒に対する不安については、「やや不安である」が38.6%と最も高く、次いで「あまり不安でない」が27.2%、「とても不安である」が17.1%となっています。
- ▶ 「とても不安である」(17.1%)と「やや不安である」(38.6%)を合わせた《不安である》は55.7%となっており、「不安でない」(16.3%)と「あまり不安でない」(27.2%)を合わせた《不安でない》は43.5%となっています。
- ▶ 女性では、《不安である》が65.1%と、男性に比べ20ポイント以上高くなっています。

問2（5）転倒に対する不安は大きいですか



【性別・年齢階層別／転倒に対する不安について】

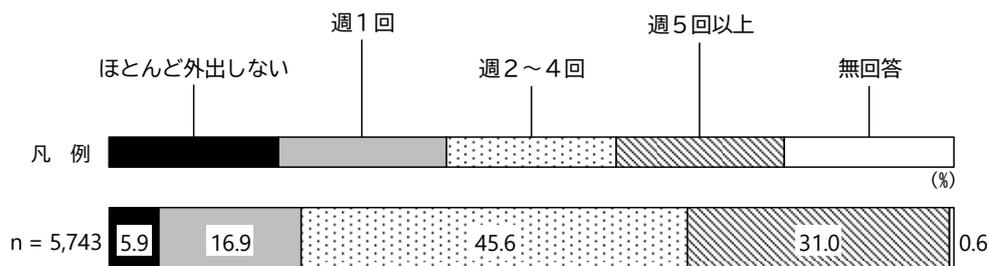


## II 調査結果（ニーズ調査）

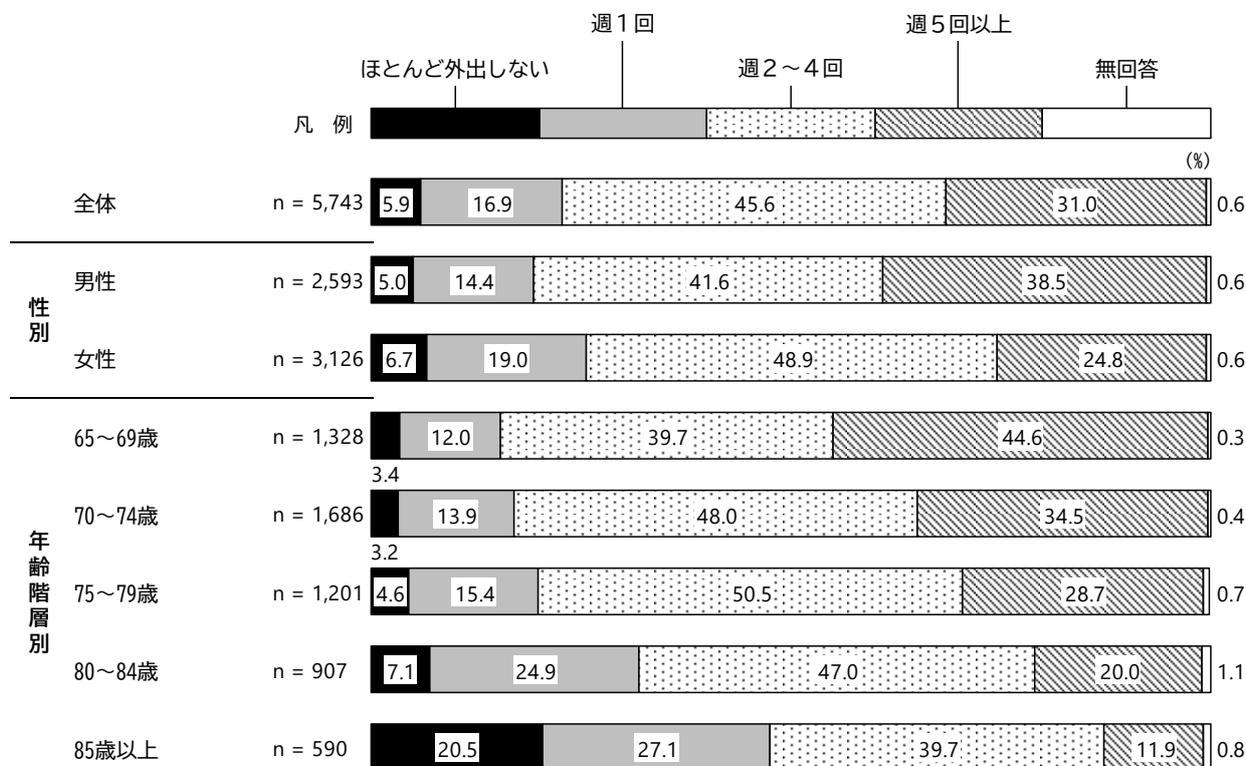
### 3-6 外出について

- ▶ 外出については、「週2～4回」が45.6%と最も高く、次いで「週5回以上」が31.0%となっています。
- ▶ 男性では、「週5回以上」が38.5%と、女性に比べ10ポイント以上高くなっています。
- ▶ 年齢階層別でみると、85歳以上では「ほとんど外出しない」が20.5%と他の年代と比べ10ポイント以上高くなっています。

問2（6）週に1回以上は外出していますか



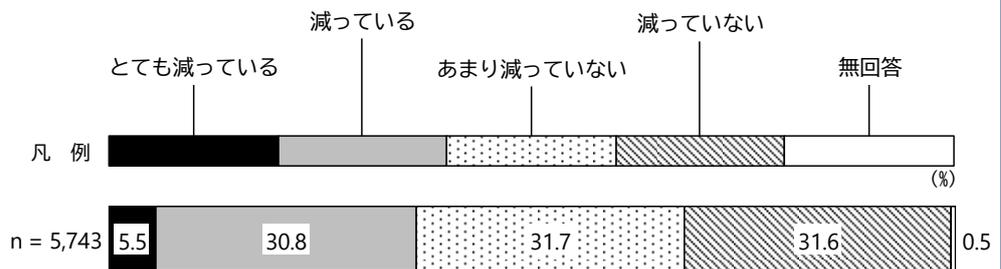
【性別・年齢階層別／外出について】



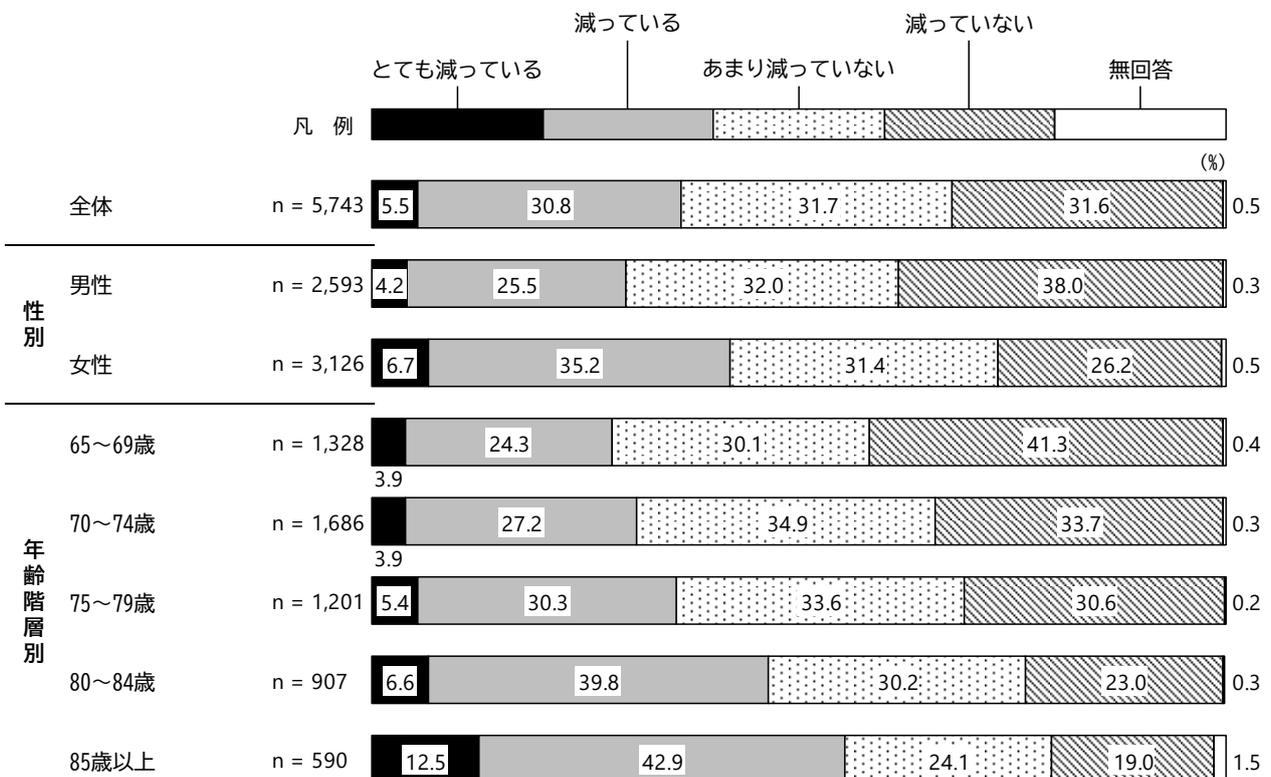
### 3-7 昨年と比べた外出回数

- ▶ 昨年と比べた外出回数については、「あまり減っていない」が31.7%と最も高く、次いで、「減っていない」が31.6%となっています。
- ▶ 「とても減っている」(5.5%)と「減っている」(30.8%)を合わせた《減っている》が36.3%、「減っていない」(31.6%)と「あまり減っていない」(31.7%)を合わせた《減っていない》は63.3%となっています。
- ▶ 男性では、「減っていない」が38.0%と、女性に比べ10ポイント以上高くなっています。

問2（7）昨年と比べて外出の回数が減っていますか



#### 【性別・年齢階層別／昨年と比べた外出回数】

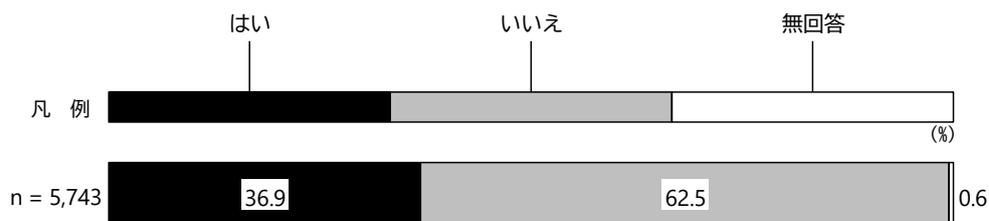


## II 調査結果（ニーズ調査）

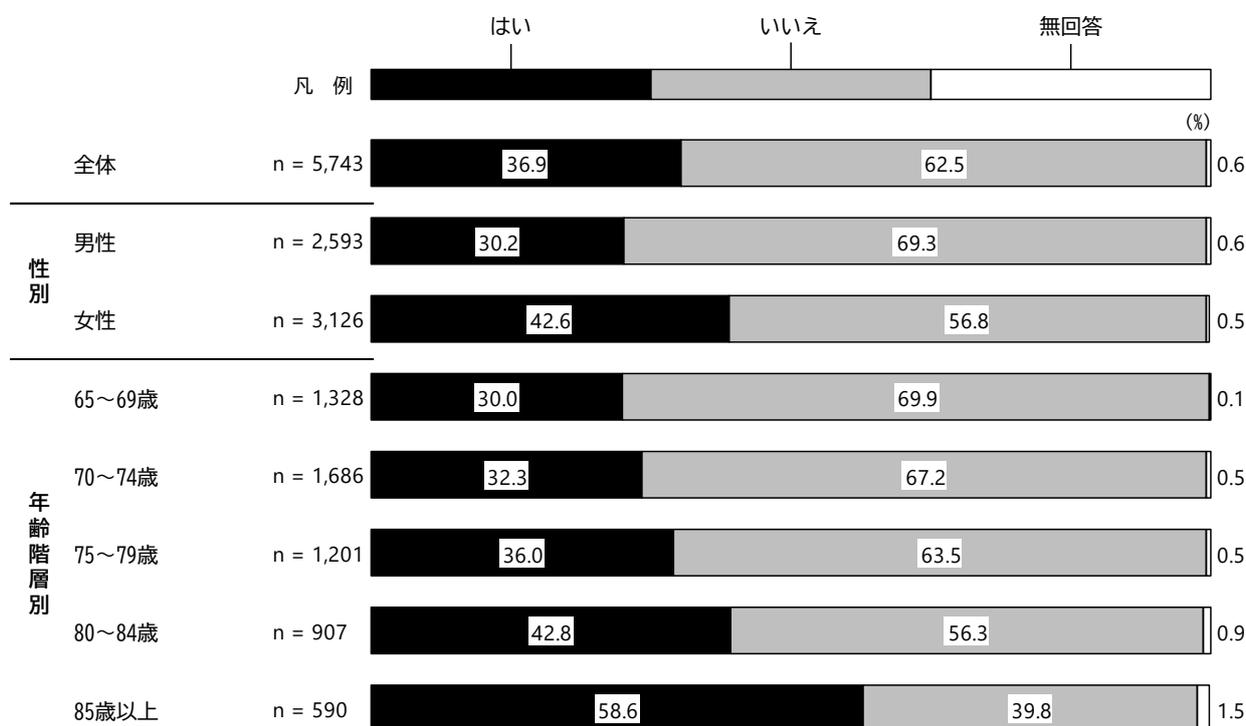
### 3-8 外出を控えているか

- ▶ 外出を控えているかについては、「はい」が 36.9%、「いいえ」が 62.5%となっています。
- ▶ 男性では、「いいえ」が 69.3%と、女性に比べ 10 ポイント以上高くなっています。
- ▶ 年齢階層別でみると、85 歳以上では「はい」が 58.6%と他の年代と比べ 15 ポイント以上高くなっています。

#### 問2（8）外出を控えていますか



#### 【性別・年齢階層別／外出を控えているか】

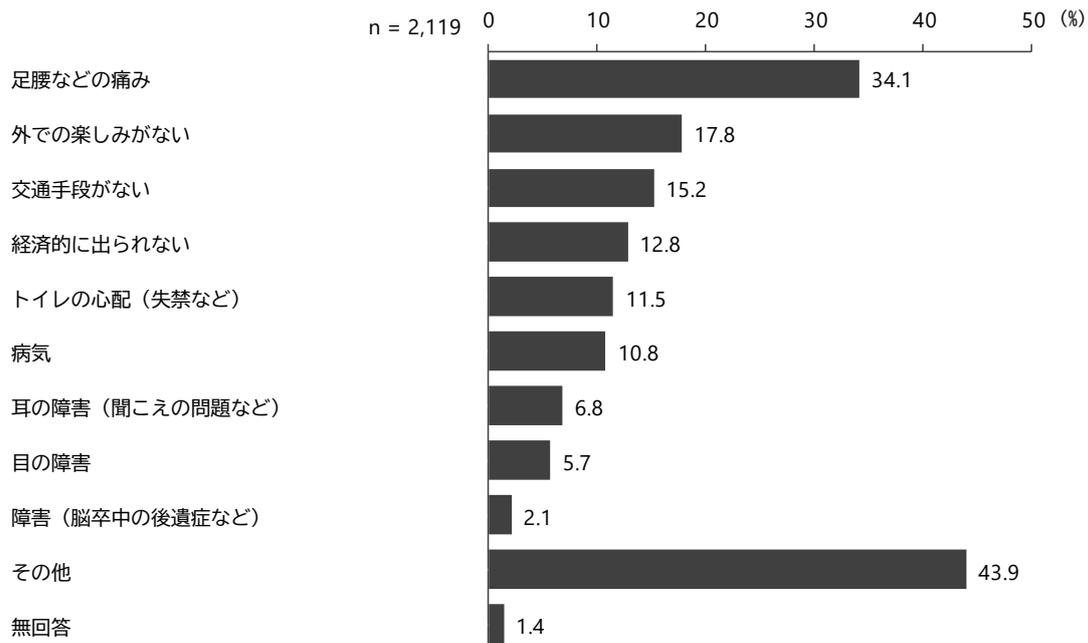


### 3-9 外出を控える理由

- ▶ 外出を控える理由については、「足腰などの痛み」が34.1%と最も高く、次いで「外での楽しみがない」が17.8%となっています。
- ▶ 年齢階層別でみると、「足腰などの痛み」の割合は年齢が上がるにつれ高くなる傾向があり、85歳以上では56.4%となっています。

【(8)で「はい」(外出を控えている)の方のみ】

①外出を控えている理由は、次のどれですか(いくつでも)



#### 【性別・年齢階層別/外出を控える理由】

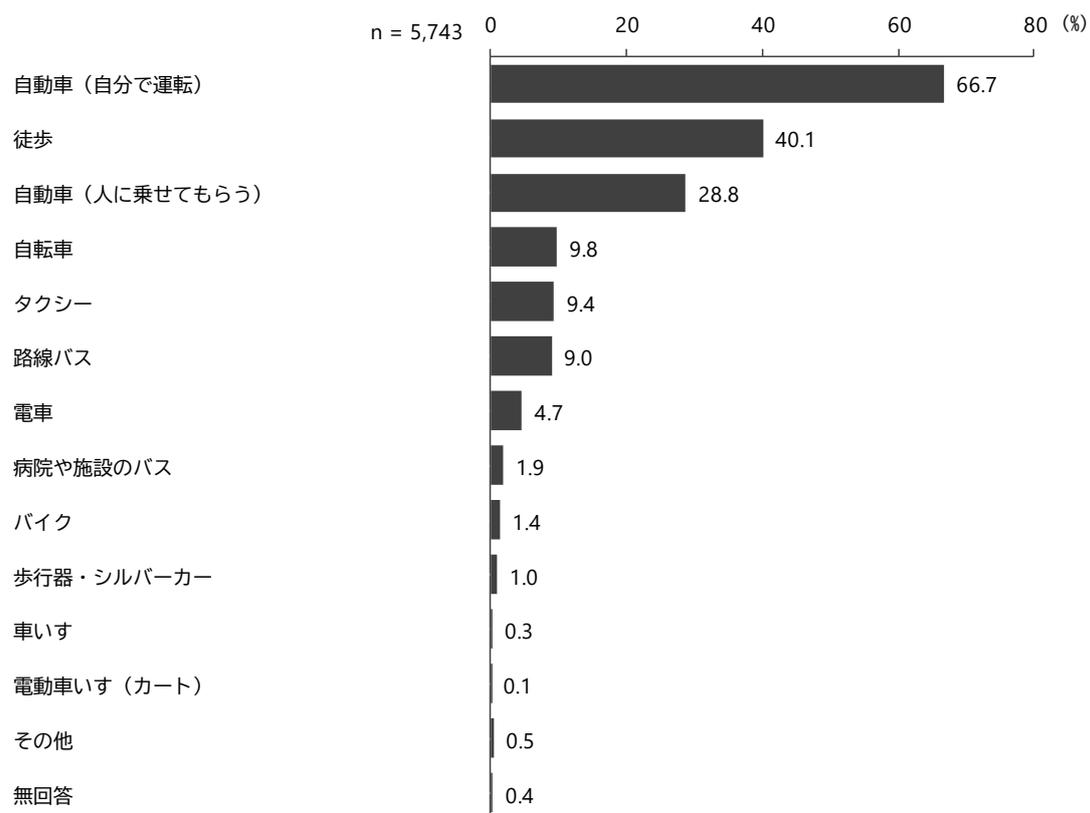
		n	足腰などの痛み	外での楽しみがない	交通手段がない	経済的に出られない	(トイレの心配(失禁など))	病気	(耳の障害(聞こえの問題など))	目の障害	(障害(脳卒中の後遺症など))	その他	無回答
全体		2,119	34.1	17.8	15.2	12.8	11.5	10.8	6.8	5.7	2.1	43.9	1.4
性別	男性	782	28.3	20.1	9.6	16.1	11.8	13.9	7.0	5.6	3.2	42.8	1.2
	女性	1,333	37.5	16.6	18.5	11.0	11.3	8.9	6.8	5.8	1.3	44.6	1.6
年齢階層別	65~69歳	399	16.8	14.5	4.3	17.0	6.3	10.8	2.3	3.0	2.3	64.2	0.5
	70~74歳	545	26.8	18.7	9.0	13.4	7.5	9.7	2.8	4.0	2.4	54.7	1.3
	75~79歳	432	31.3	17.4	16.2	11.8	12.3	10.4	3.9	4.9	1.4	44.7	3.0
	80~84歳	388	46.1	22.2	22.4	11.9	16.0	11.6	11.9	8.2	2.6	25.0	1.5
	85歳以上	346	56.4	15.9	28.3	9.5	17.6	11.6	16.5	9.8	1.7	23.4	0.6

## II 調査結果（ニーズ調査）

### 3-10 外出する際の移動手段

- ▶ 外出する際の移動手段については、「自動車（自分で運転）」が66.7%と最も高く、次いで「徒歩」が40.1%となっています。
- ▶ 男性では、「自動車（自分で運転）」が82.8%と、女性に比べ25ポイント以上高くなっています。
- ▶ 年齢階層別でみると、85歳未満は「自動車（自分で運転）」が最も高く、85歳以上は「自動車（人に乗せてもらう）」が最も高くなっています。

#### 問2（9）外出する際の移動手段は何ですか（いくつでも）



【性別・年齢階層別／外出する際の移動手段】

		n	自動車 (自分で運転)	徒歩	自動車 (人に乗せてもらう)	自転車	タクシー	路線バス	電車	病院や施設のバス	バイク
全体		5,743	66.7	40.1	28.8	9.8	9.4	9.0	4.7	1.9	1.4
性別	男性	2,593	82.8	40.1	12.8	12.6	5.1	5.0	4.2	1.3	2.5
	女性	3,126	53.3	40.2	42.0	7.5	12.9	12.3	5.2	2.4	0.5
年齢階層別	65～69歳	1,328	83.5	40.4	18.8	10.0	3.6	7.2	5.0	0.4	2.3
	70～74歳	1,686	77.0	39.2	23.3	9.1	5.8	6.7	5.3	1.2	1.1
	75～79歳	1,201	68.4	41.4	28.0	9.9	7.7	9.2	3.8	1.2	1.2
	80～84歳	907	47.4	41.2	38.9	10.8	16.4	13.5	4.9	3.2	1.0
	85歳以上	590	25.8	37.8	52.5	9.5	25.4	11.9	3.9	6.9	1.4

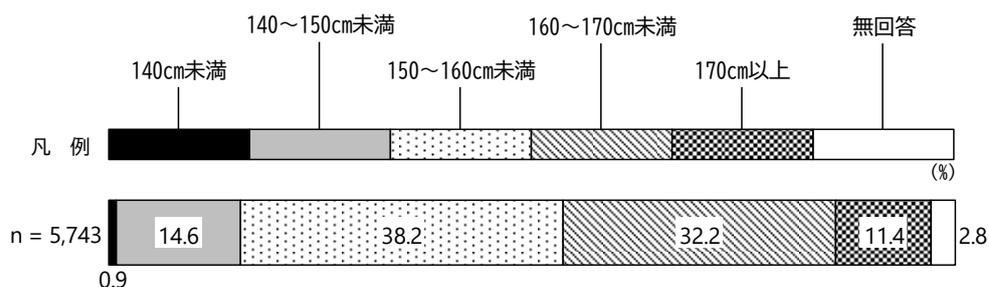
※全体の回答数上位9項目を抜粋

## 4 食べることについて

### 4-1 身長・体重・BMI

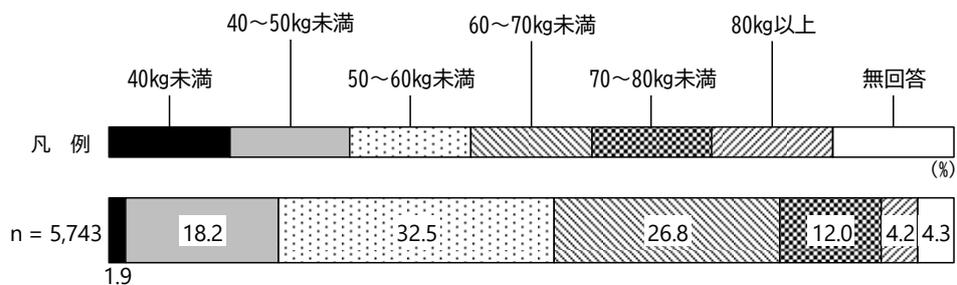
- ▶ 身長については、「150～160cm未満」が38.2%と最も高く、次いで「160～170cm未満」が32.2%となっています。

#### 問3（1）身長



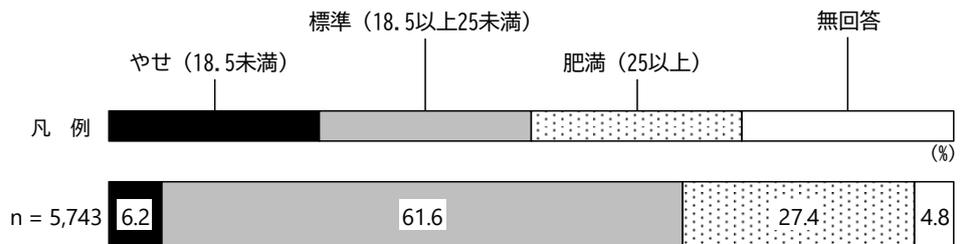
- ▶ 体重については、「50～60kg未満」が32.5%と最も高く、次いで「60～70kg未満」が26.8%となっています。

#### 問3（1）体重

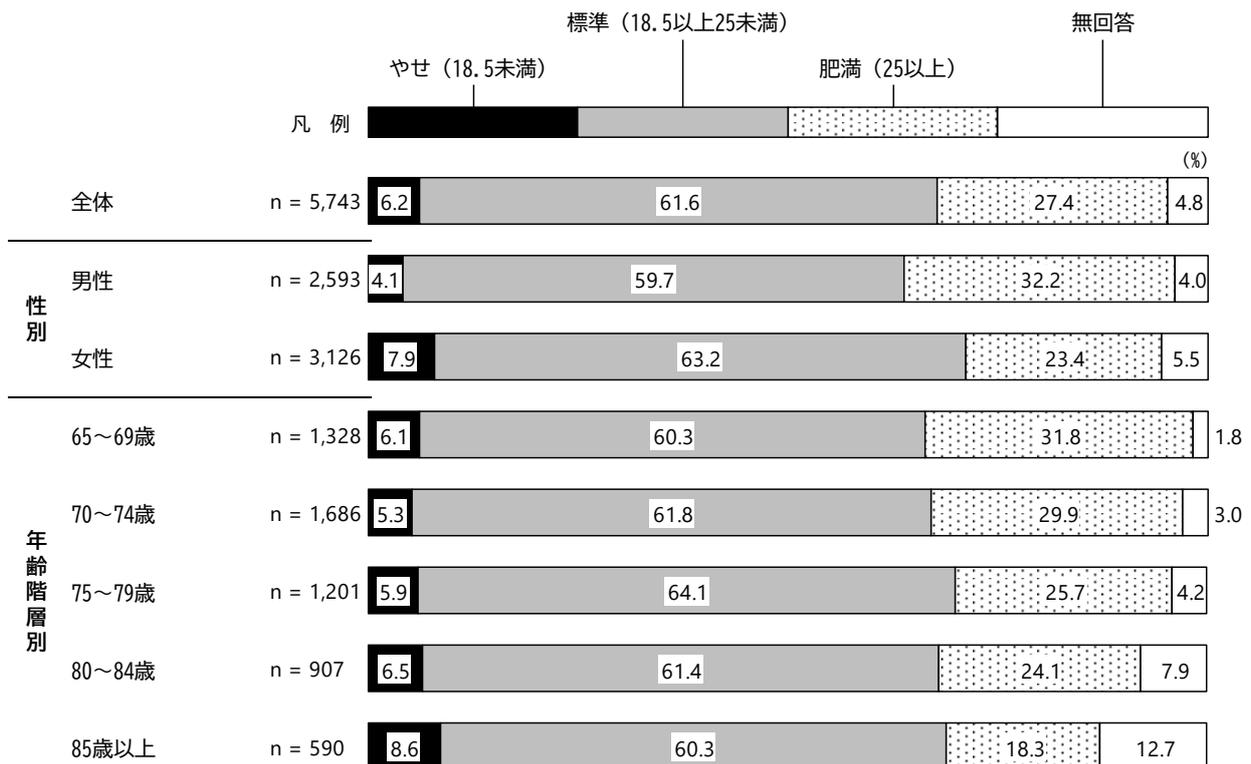


- ▶ BMIについては、「標準（18.5以上25未満）」が61.6%と最も高く、次いで「肥満（25以上）」が27.4%、「やせ（18.5未満）」が6.2%となっています。
- ▶ 年齢階層別で見ると、「肥満（25以上）」の割合は年齢が下がるにつれ高くなる傾向があり、65～69歳は31.8%となっています。

問3（1）BMI



【性別・年齢階層別／BMI】

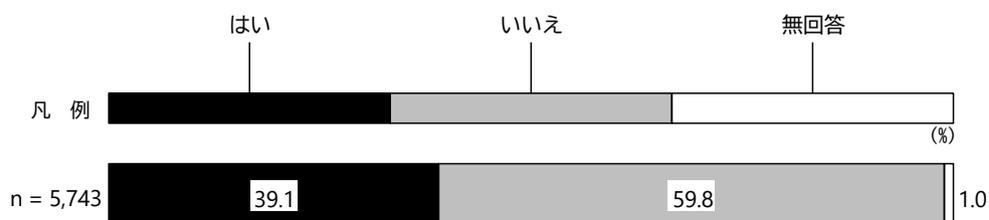


## II 調査結果（ニーズ調査）

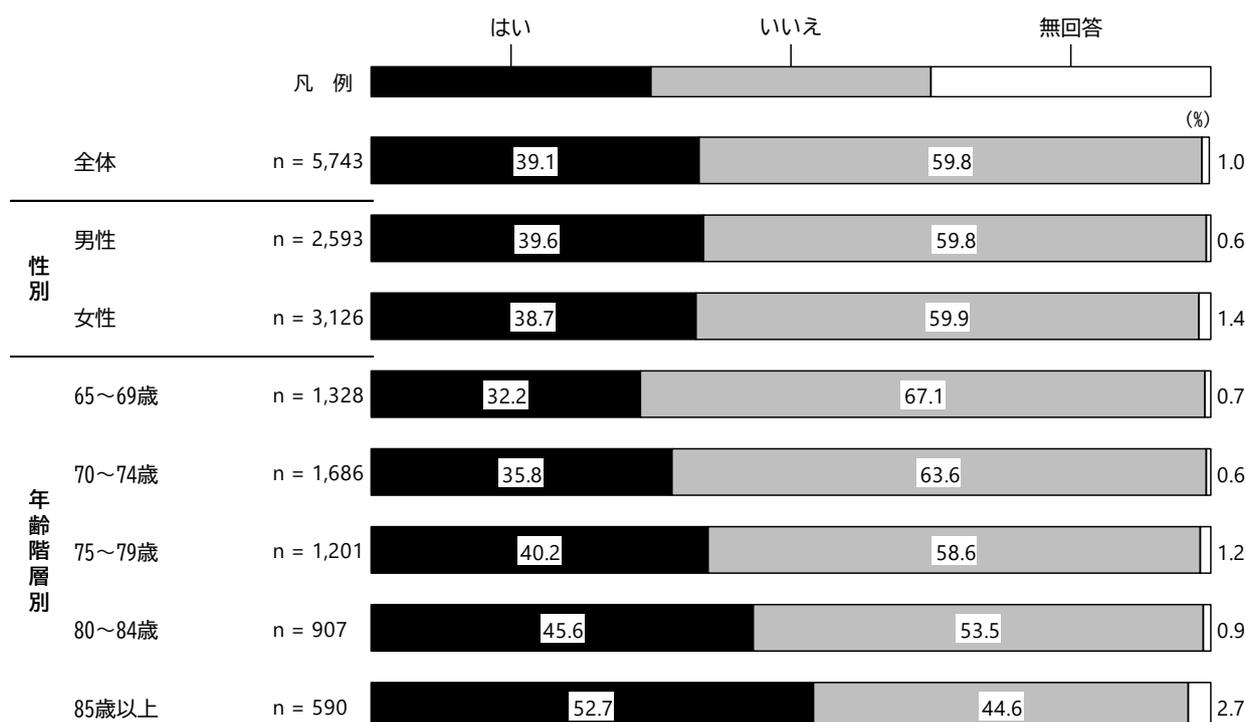
### 4-2 半年前と比べて固いものが食べにくくなったか

- ▶ 半年前と比べて固いものが食べにくくなったかについては、「はい」が 39.1%、「いいえ」が 59.8%となっています。
- ▶ 年齢階層別でみると、「はい」の割合は年齢が上がるにつれ高くなる傾向があり、85歳以上では 52.7%となっています。

問3（2）半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか



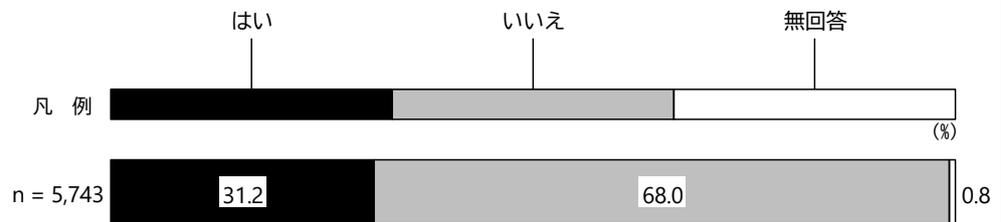
【性別・年齢階層別／半年前と比べて固いものが食べにくくなったか】



### 4-3 お茶や汁物等でむせることがあるか

- ▶ お茶や汁物等でむせることがあるかについては、「はい」が31.2%、「いいえ」が68.0%となっています。

問3（3）お茶や汁物等でむせることがありますか

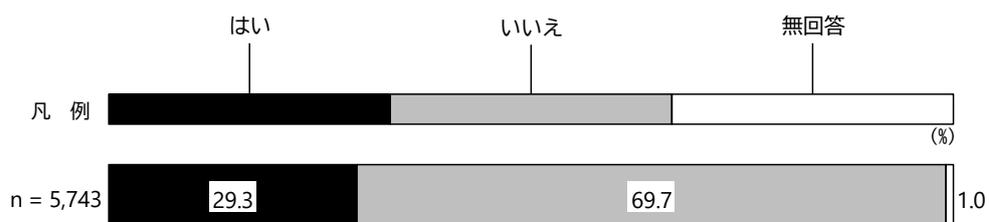


## II 調査結果（ニーズ調査）

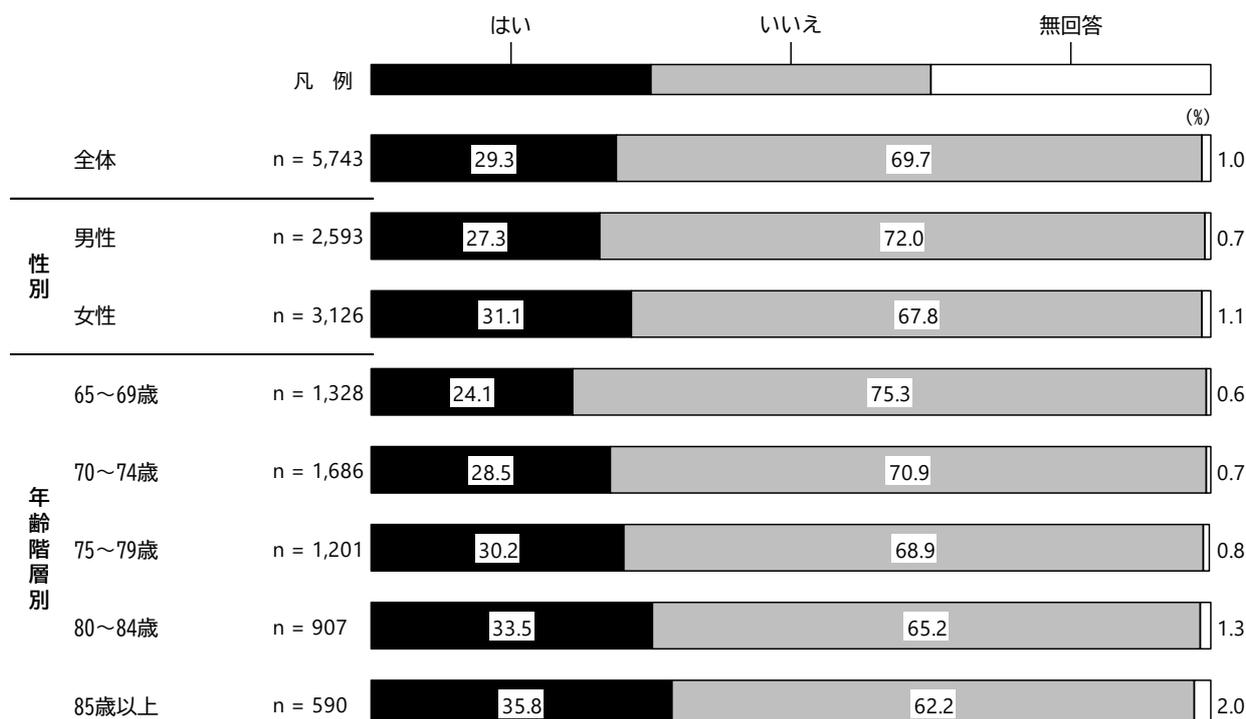
### 4-4 口の渇きが気になるか

- ▶ 口の渇きが気になるかについては、「はい」が 29.3%、「いいえ」が 69.7%となっています。
- ▶ 年齢階層別でみると、「はい」の割合は年齢が上がるにつれ高くなる傾向があり、85歳以上は 35.8%となっています。

問3（4）口の渇きが気になりますか



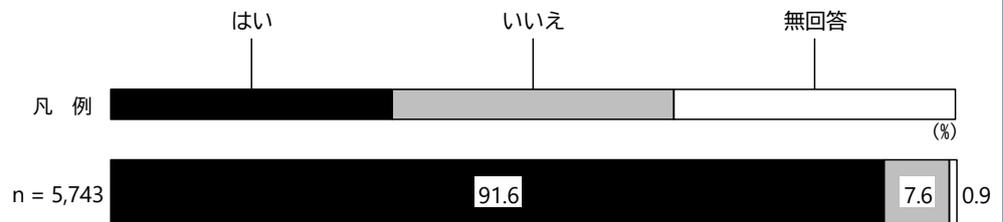
【性別・年齢階層別／口の渇きが気になるか】



4-5 歯磨き（人にやってもらう場合を含む）を毎日しているか

▶ 歯磨き（人にやってもらう場合を含む）を毎日しているかについては、「はい」が91.6%、「いいえ」が7.6%となっています。

問3（5）歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか

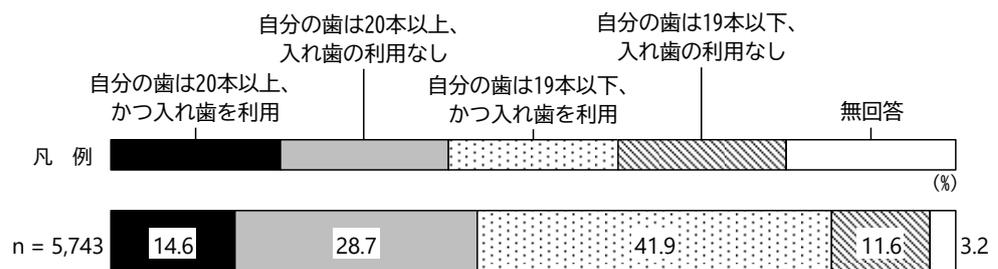


## II 調査結果（ニーズ調査）

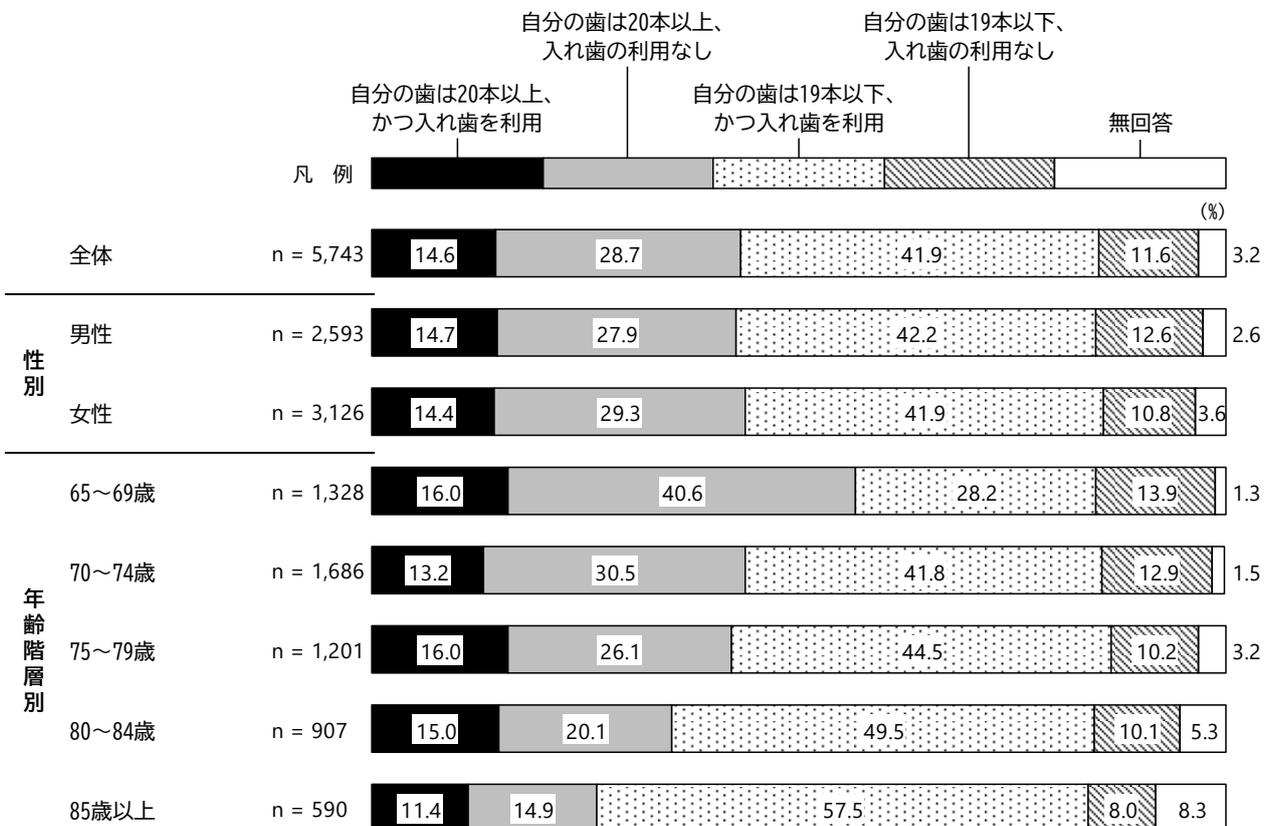
### 4-6 歯の数と入れ歯の利用状況

- ▶ 歯の数と入れ歯の利用状況については、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が41.9%と最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が28.7%となっています。
- ▶ 年齢階層別でみると、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合は年齢が上がるにつれ高くなる傾向があり、85歳以上は57.5%となっています。

問3（6）歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください  
（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）

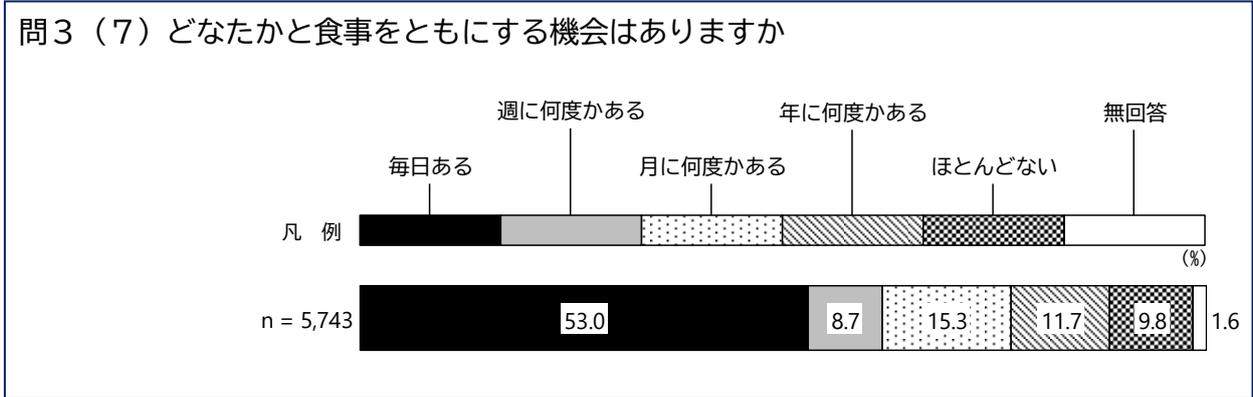


#### 【性別・年齢階層別／歯の数と入れ歯の利用状況】

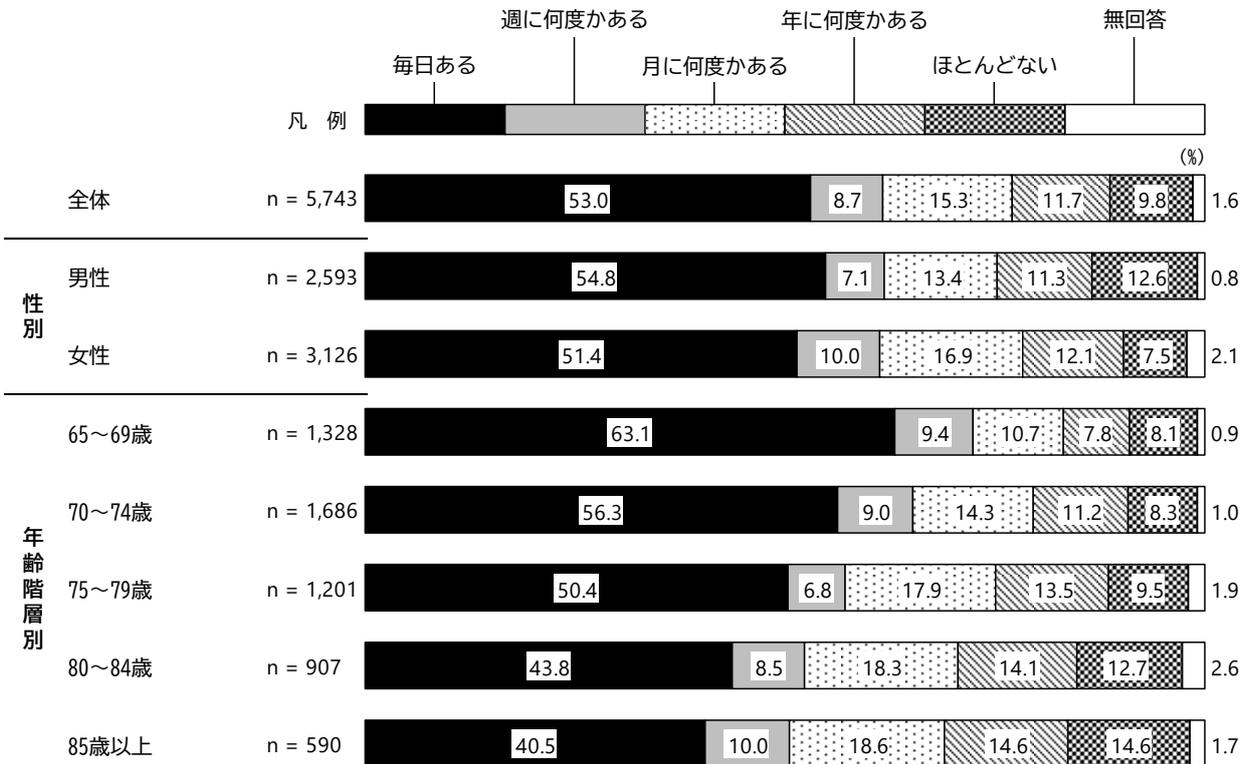


4-7 どなたかと食事をとにもする機会があるか

- ▶ どなたかと食事をとにもする機会があるかについては、「毎日ある」が53.0%と最も高く、次いで「月に何度かある」が15.3%となっています。
- ▶ 年齢階層別でみると、「毎日ある」の割合は年齢が上がるにつれ低くなる傾向があります。



【性別・年齢階層別／どなたかと食事をとにもする機会があるか】

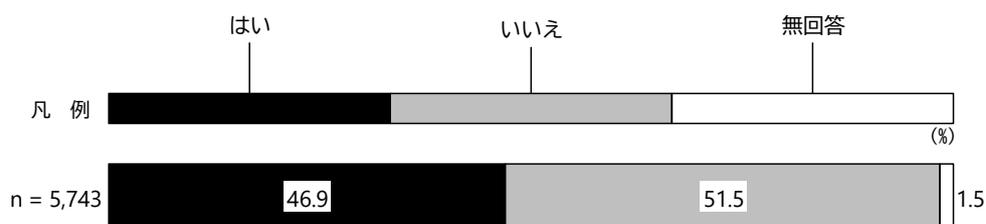


## 5 毎日の生活について

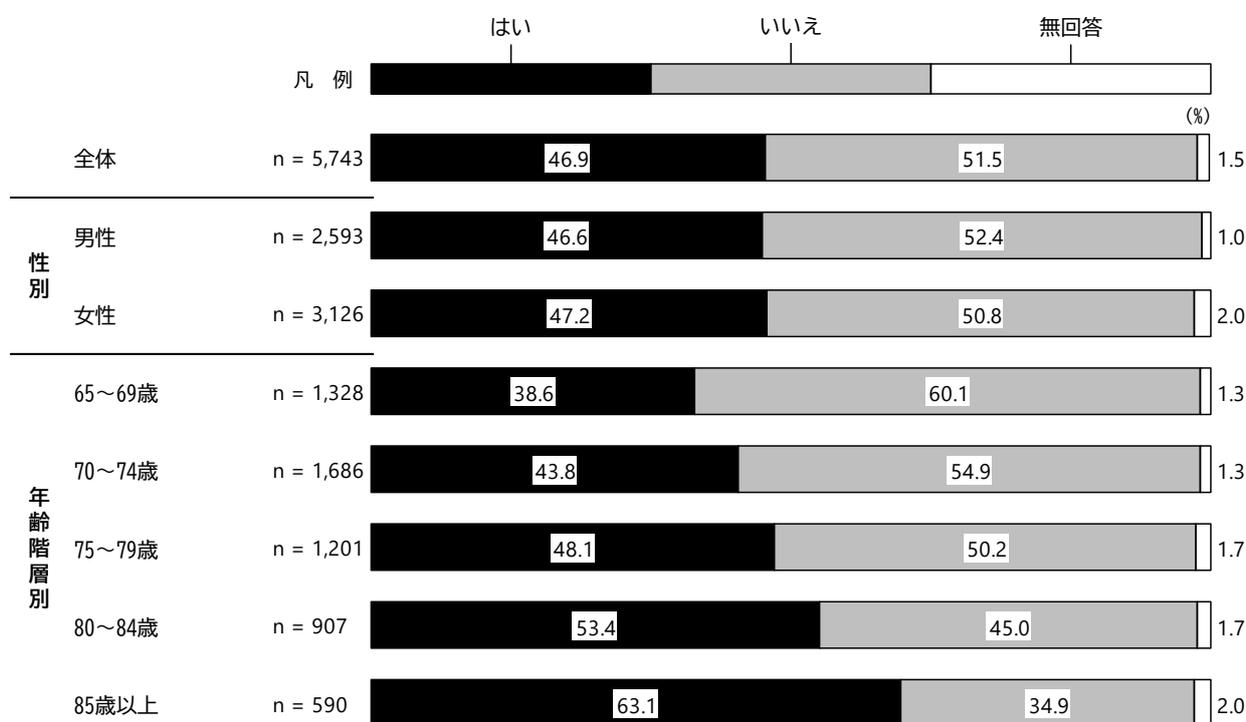
### 5-1 物忘れが多いと感じるか

- ▶ 物忘れが多いと感じるかについては、「はい」が46.9%、「いいえ」が51.5%となっています。
- ▶ 年齢階層別でみると、「はい」の割合は年齢が上がるにつれ高くなる傾向があり、85歳以上は63.1%となっています。

問4（1）物忘れが多いと感じますか



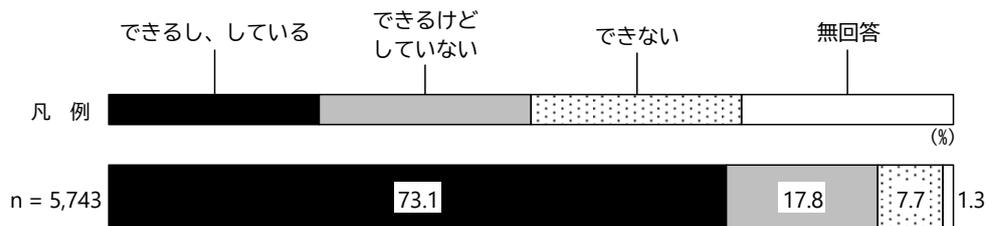
【性別・年齢階層別／物忘れが多いと感じるか】



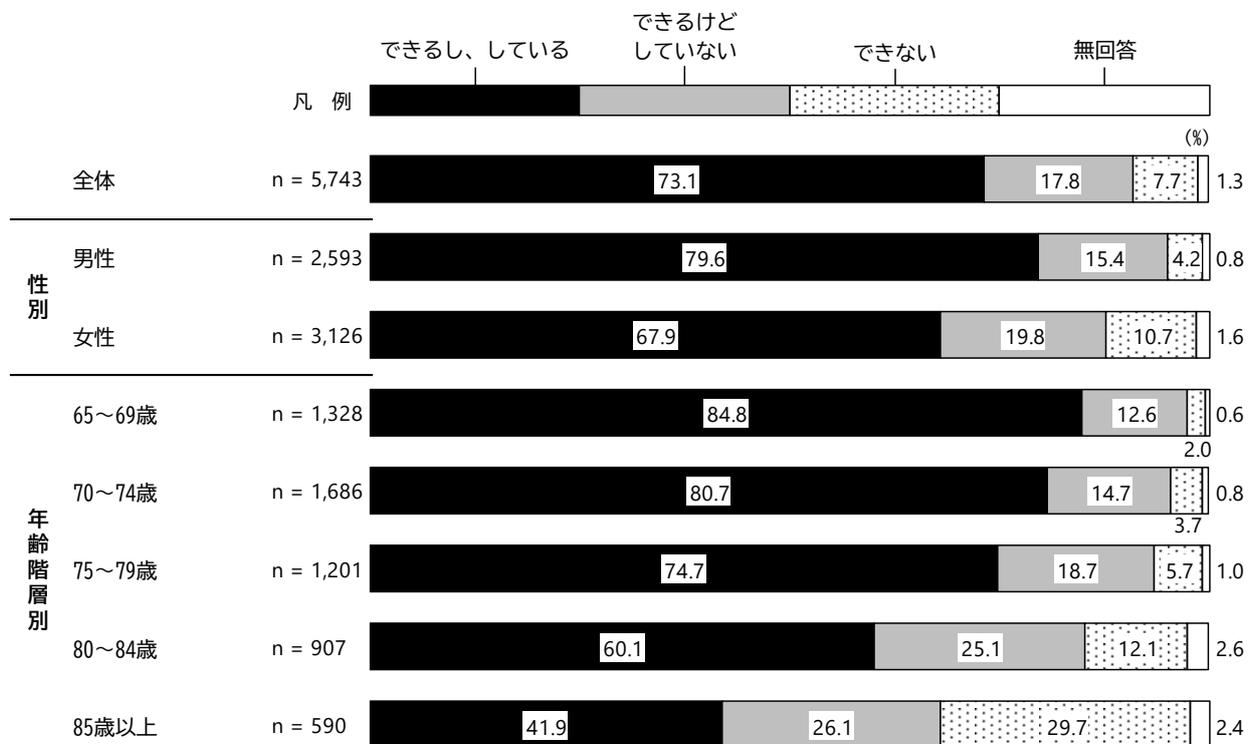
5-2 バスや電車を使って1人で外出しているか（自家用車でも可）

- ▶ バスや電車を使って1人で外出しているか（自家用車でも可）については、「できるし、している」が73.1%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が17.8%、「できない」が7.7%となっています。
- ▶ 男性では、「できるし、している」が79.6%と、女性に比べ10ポイント以上高くなっています。
- ▶ 年齢階層別で見ると、「できない」の割合は年齢が上がるにつれ高くなる傾向があり、85歳以上は29.7%となっています。

問4（2）バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）



【性別・年齢階層別／バスや電車を使って1人で外出しているか（自家用車でも可）】

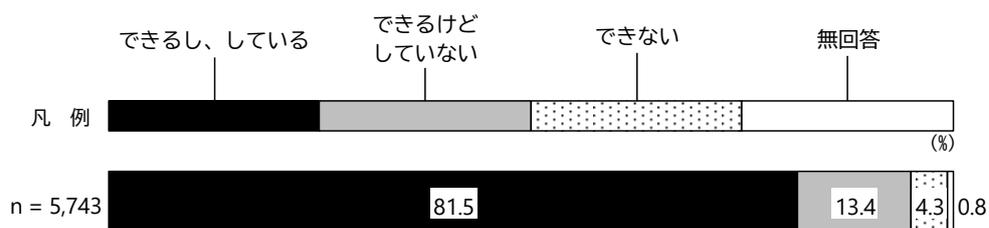


## II 調査結果（ニーズ調査）

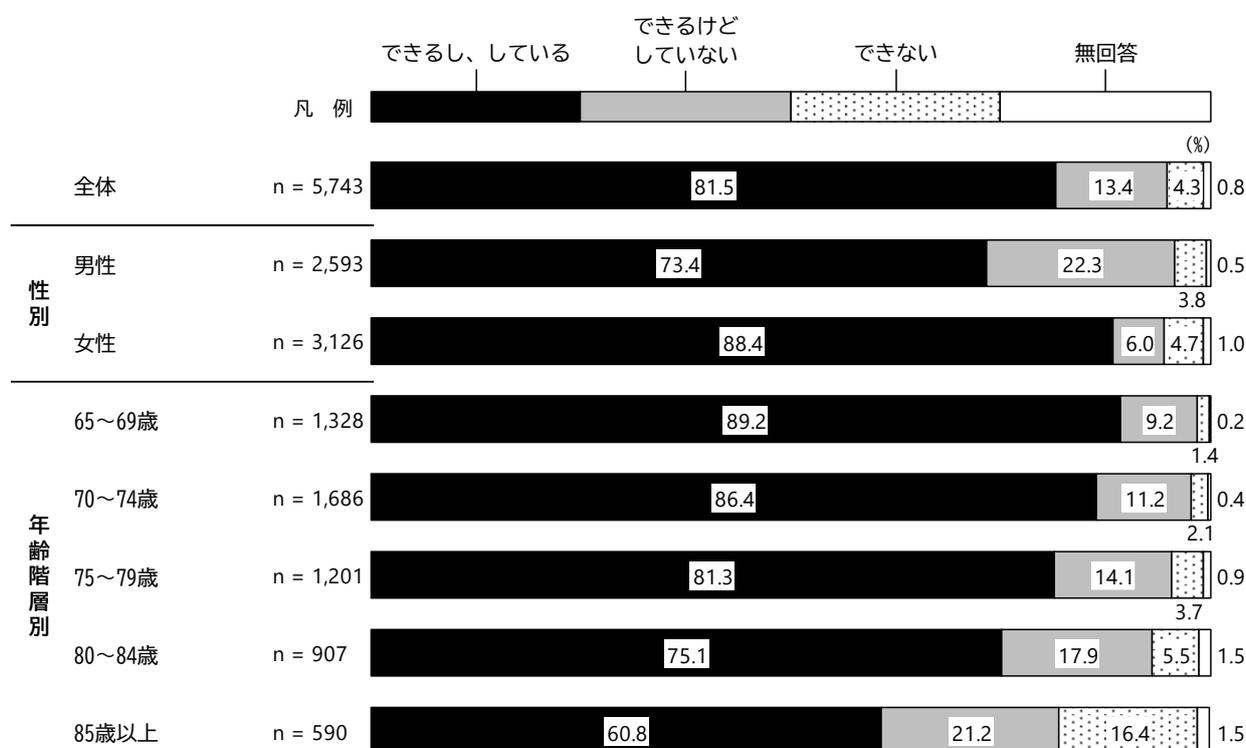
### 5-3 自分で食品・日用品の買物をしているか

- ▶ 自分で食品・日用品の買い物をしているかについては、「できるし、している」が81.5%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が13.4%、「できない」が4.3%となっています。
- ▶ 男性では、「できるけどしていない」が22.3%と、女性に比べ15ポイント以上高くなっています。
- ▶ 年齢階層別で見ると、85歳以上では「できるし、している」が60.8%と他の年代と比べ10ポイント以上低くなっています。

#### 問4（3）自分で食品・日用品の買物をしていますか



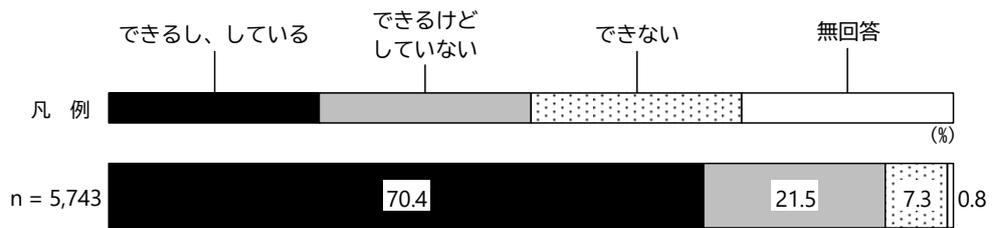
#### 【性別・年齢階層別／自分で食品・日用品の買物をしているか】



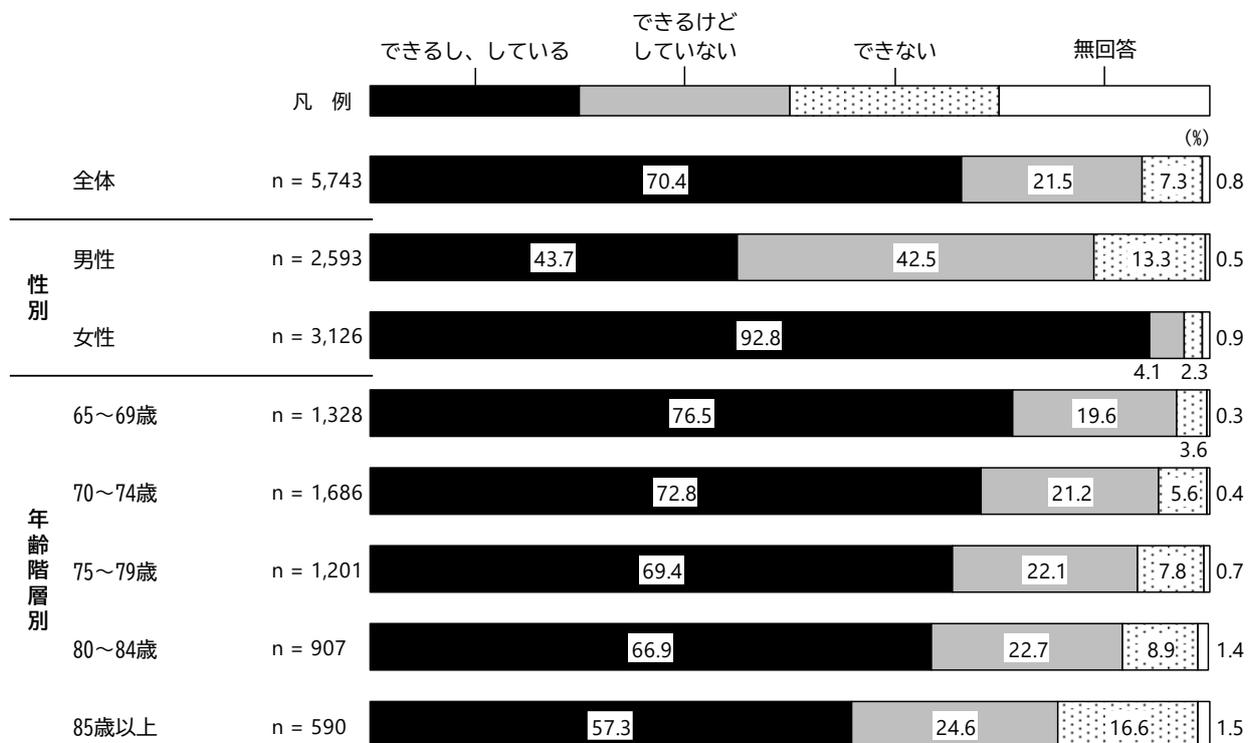
### 5-4 自分で食事の用意をしているか

- ▶ 自分で食事の用意をしているかについては、「できるし、している」が70.4%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が21.5%、「できない」が7.3%となっています。
- ▶ 男性では、「できるし、している」が43.7%と、女性に比べ45ポイント以上低くなっています。
- ▶ 年齢階層別でみると、「できるし、している」の割合は年齢が上がるにつれ低くなる傾向があります。

問4（4）自分で食事の用意をしていますか



【性別・年齢階層別／自分で食事の用意をしているか】

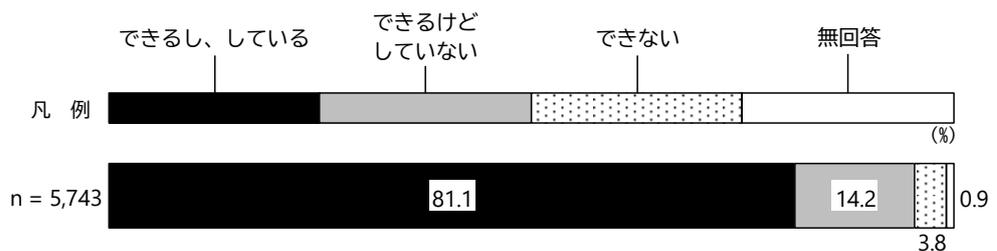


## II 調査結果（ニーズ調査）

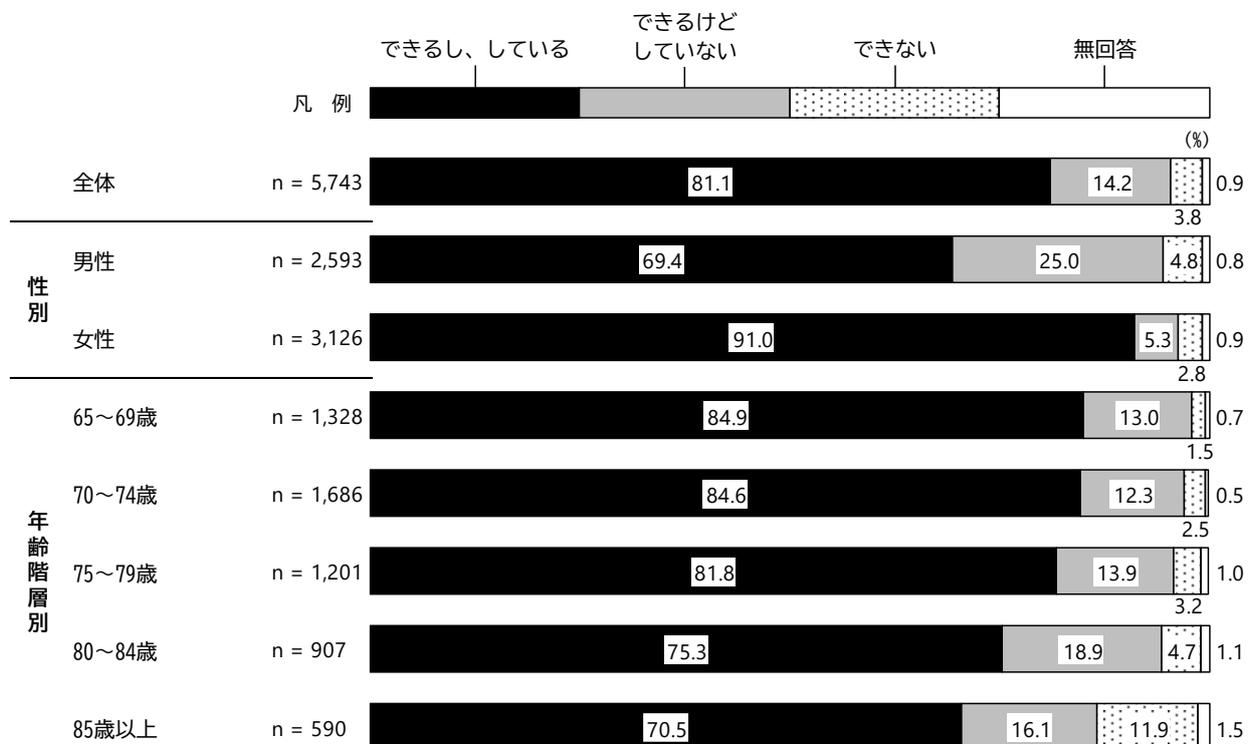
### 5-5 自分で請求書の支払いをしているか

- ▶ 自分で請求書の支払いをしているかについては、「できるし、している」が81.1%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が14.2%、「できない」が3.8%となっています。
- ▶ 女性では、「できるし、している」が91.0%と、男性に比べ20ポイント以上高くなっています。
- ▶ 年齢階層別で見ると、「できるし、している」の割合は年齢が上がるにつれ低くなる傾向があります。

問4（5）自分で請求書の支払いをしていますか



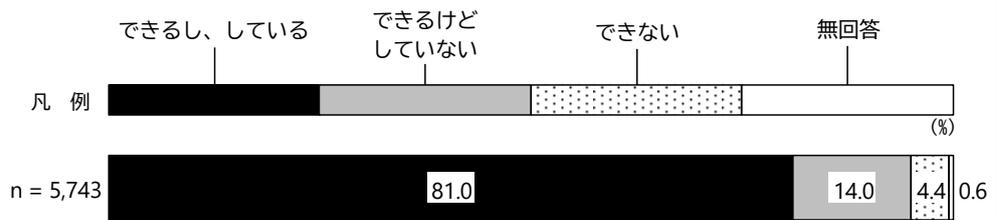
【性別・年齢階層別／自分で請求書の支払いをしているか】



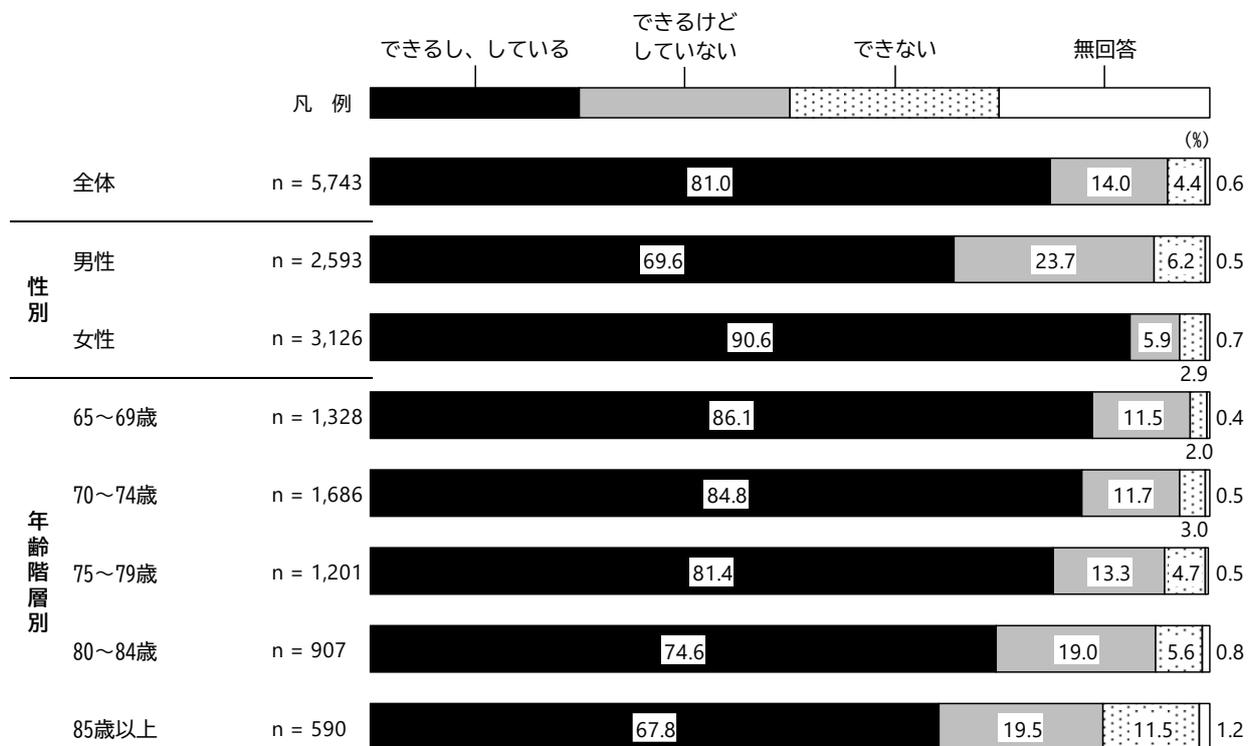
### 5-6 自分で預貯金の出し入れをしているか

- ▶ 自分で預貯金の出し入れをしているかについては、「できるし、している」が81.0%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が14.0%、「できない」が4.4%となっています。
- ▶ 女性では、「できるし、している」が90.6%と、男性に比べ20ポイント以上高くなっています。
- ▶ 年齢階層別で見ると、「できるし、している」の割合は年齢が上がるにつれ低くなる傾向があります。

問4（6）自分で預貯金の出し入れをしていますか



【性別・年齢階層別／自分で預貯金の出し入れをしているか】

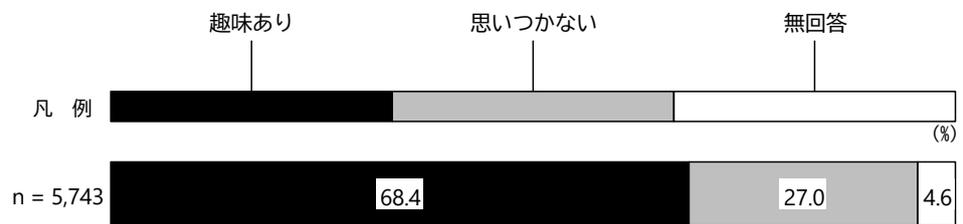


## II 調査結果（ニーズ調査）

### 5-7 趣味について

▶ 趣味については、「趣味あり」が68.4%、「思いつかない」が27.0%となっています。

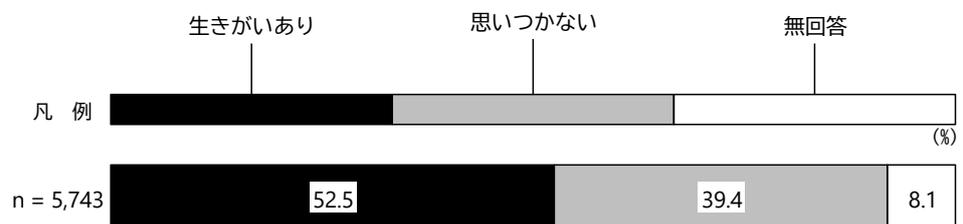
問4（7）趣味はありますか



### 5-8 生きがいについて

▶ 生きがいについては、「生きがいあり」が52.5%、「思いつかない」が39.4%となっています。

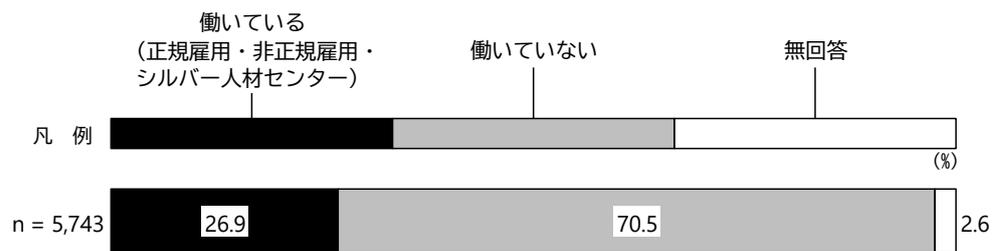
問4（8）生きがいはありますか



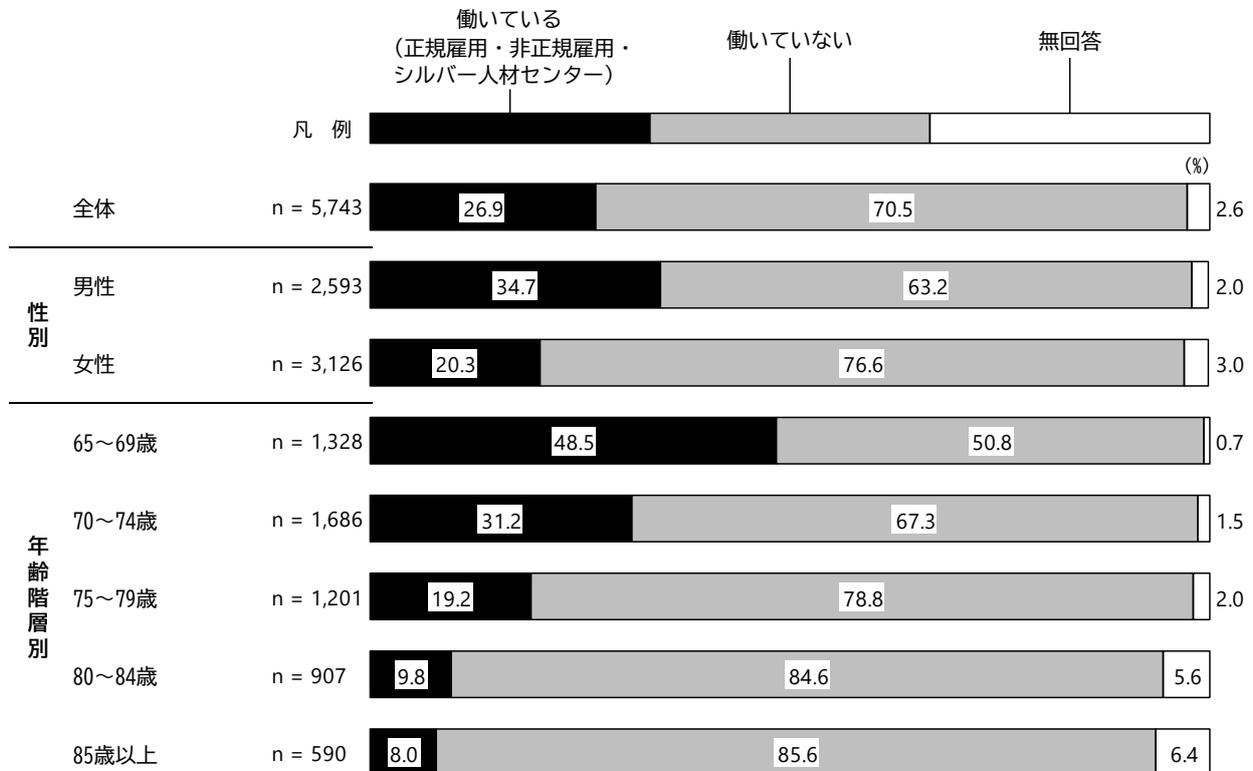
5-9 就労状況

- ▶ 働いているかについては、「働いていない」が70.5%、「働いている（正規雇用・非正規雇用・シルバー人材センター）」が26.9%となっています。
- ▶ 男性では、「働いている（正規雇用・非正規雇用・シルバー人材センター）」が34.7%と、女性に比べ10ポイント以上高くなっています。
- ▶ 年齢階層別で見ると、65～69歳の方は約半数が就労していますが、「働いていない」の割合は年齢が上がるにつれ高くなる傾向があります。

問4（9）働いていますか



【性別・年齢階層別／就労状況】

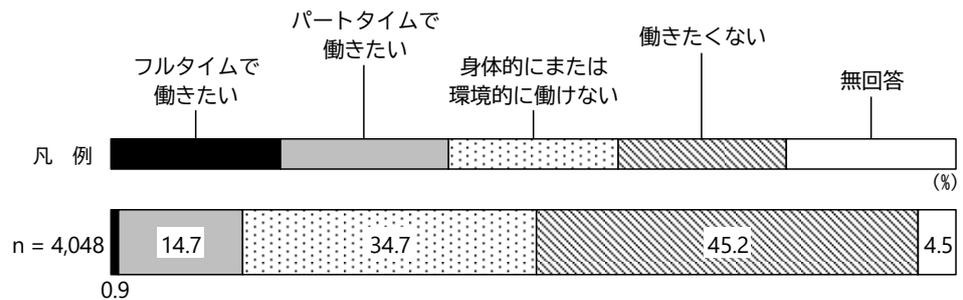


## II 調査結果（ニーズ調査）

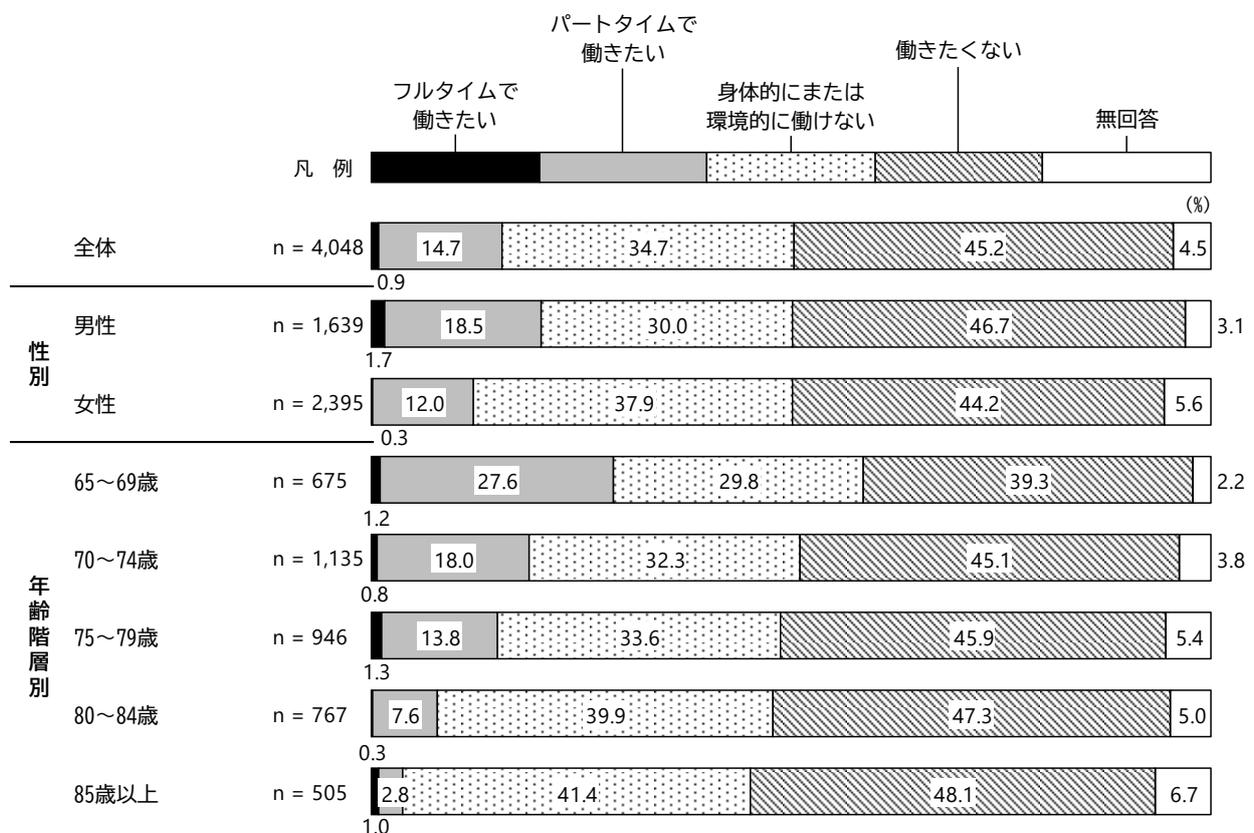
### 5-10 機会があれば働きたいか

- ▶ 機会があれば働きたいかについては、「働きたくない」が45.2%と最も高く、次いで「身体的にまたは環境的に働けない」が34.7%となっています。
- ▶ 年齢階層別で見ると、「働きたくない」の割合は年齢が上がるにつれ高くなる傾向があります。

問4（10） 仕事をする機会があったら、働きたいと思いますか



#### 【性別・年齢階層別／機会があれば働きたいか】



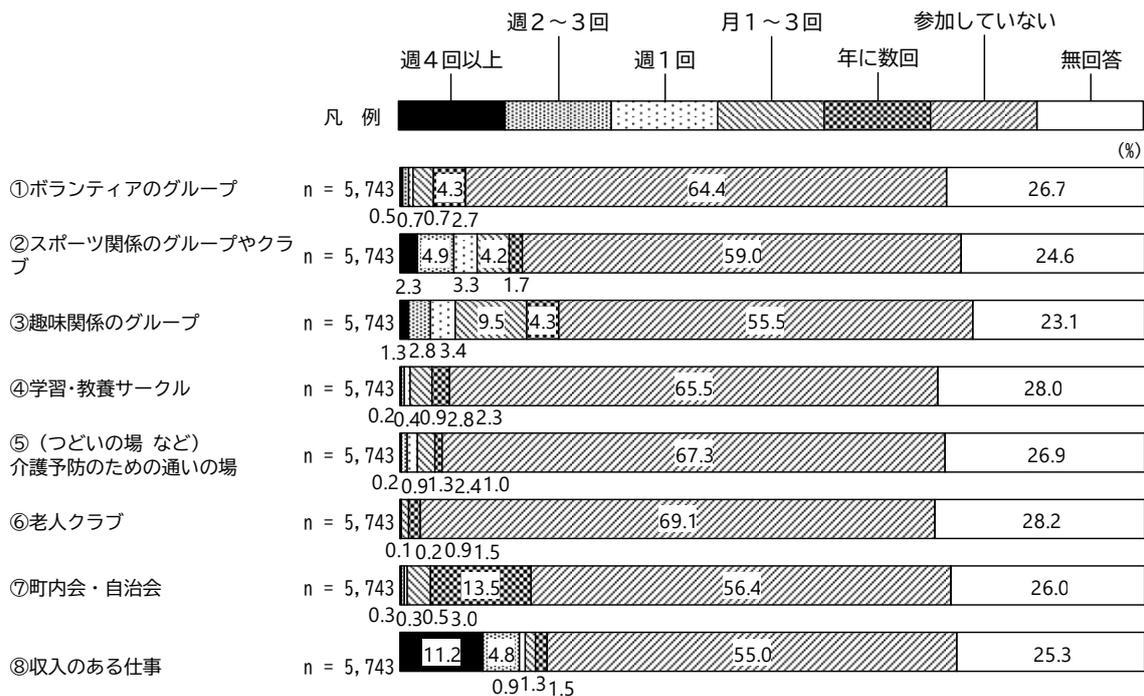
## 6 地域での活動について

### 6-1 地域での活動の参加頻度

- ▶ 会・グループ等の参加状況については、「参加していない」がそれぞれ最も多くなっています。
- ▶ 「週4回以上」～「年に数回」を合わせた《参加している》割合では、『③趣味関係のグループ』が21.3%と最も高く、次いで、『⑧収入のある仕事』(19.7%)、『⑦町内会・自治会』(17.6%)の順となっています。
- ▶ 「週4回以上」～「週1回」を合わせた《週1回以上》参加している割合では、『⑧収入のある仕事』が16.9%と最も高く、次いで、『②スポーツ関係のグループやクラブ』(10.5%)、『③趣味関係のグループ』(7.5%)の順となっています。
- ▶ 圏域別でみると、会・グループ等の参加状況は「参加していない」がそれぞれ最も多くなっています。

問5（1）以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

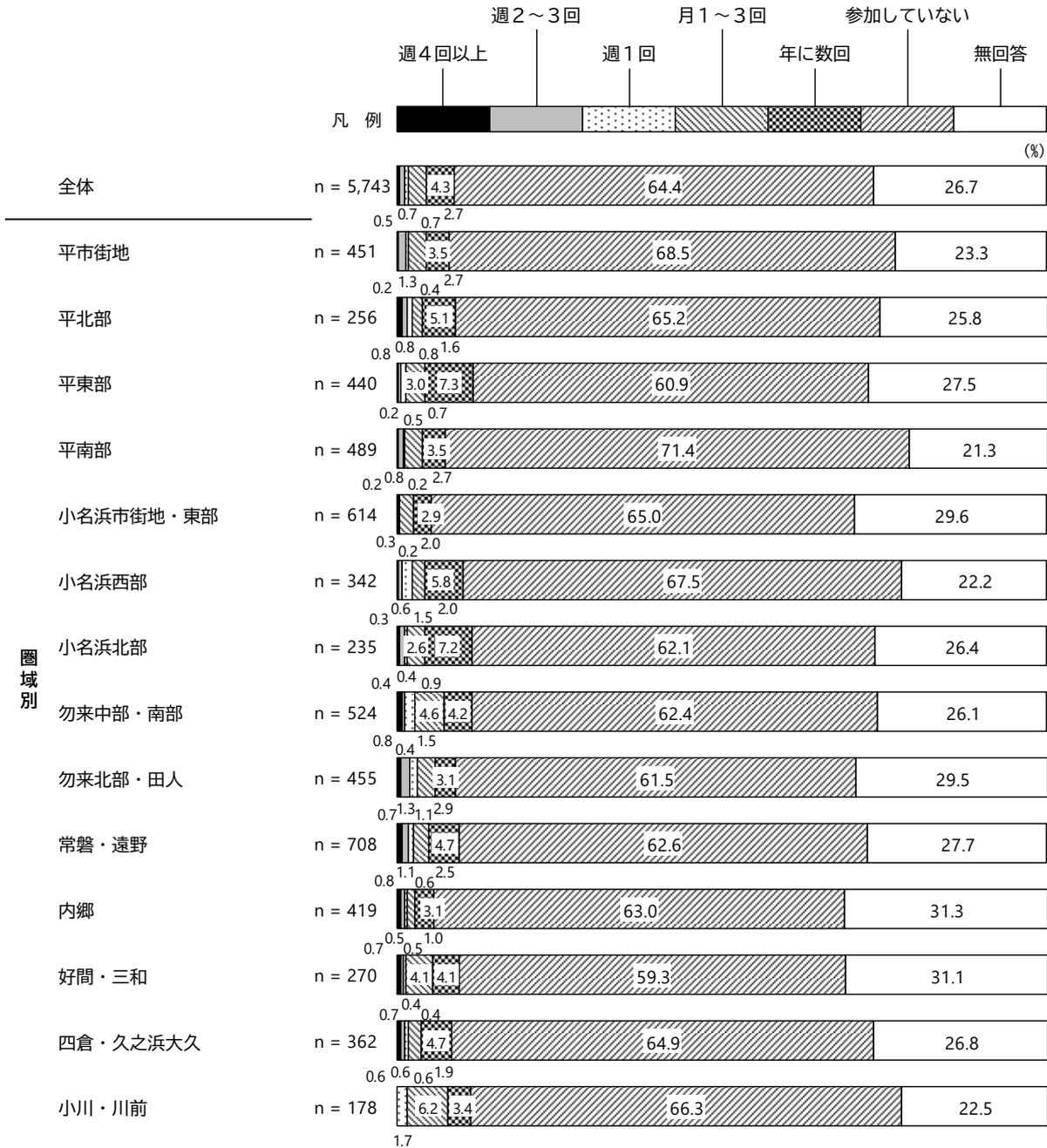
※①～⑧それぞれに回答してください



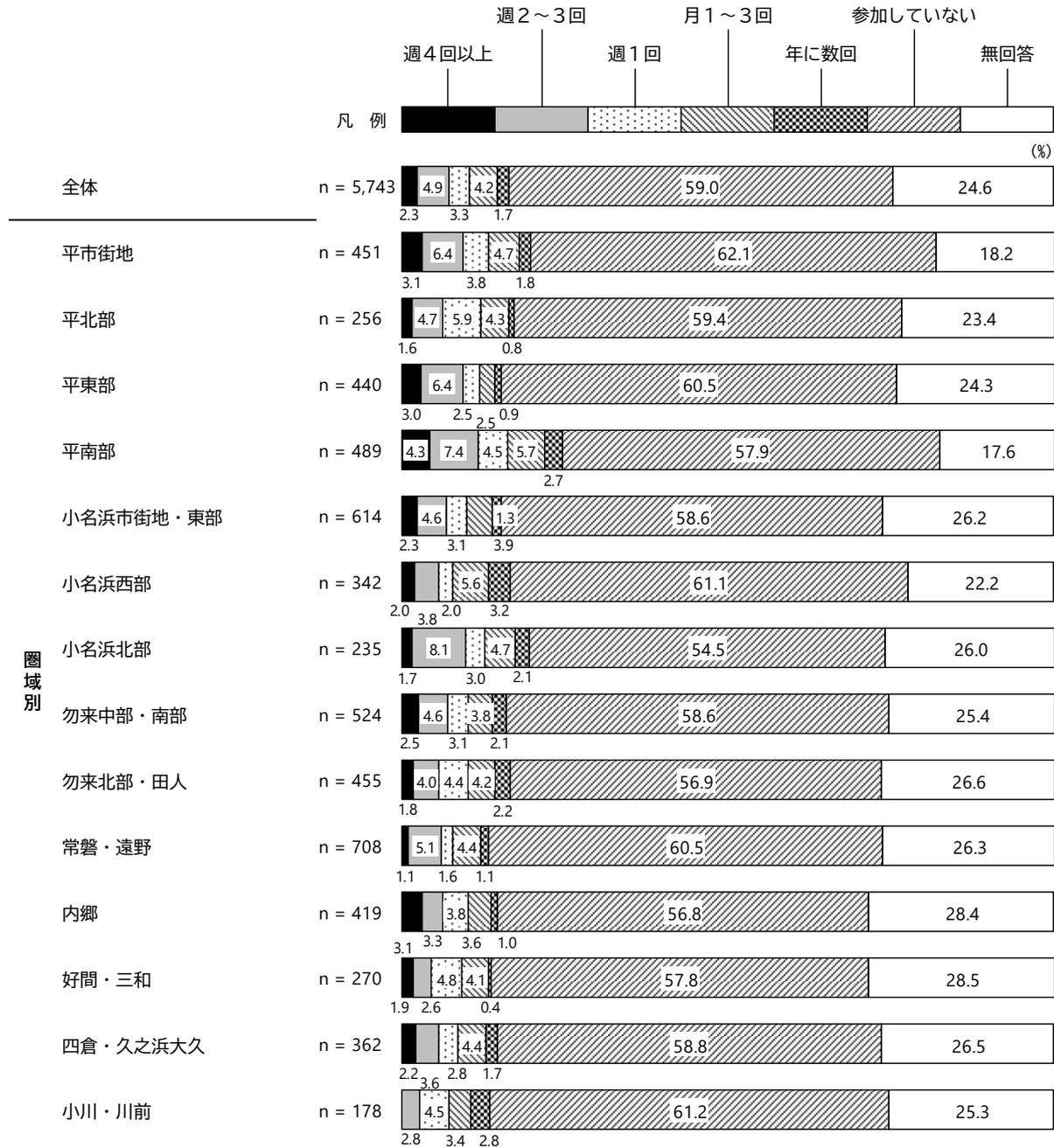
## II 調査結果（ニーズ調査）

### 【圏域別／地域での活動の参加頻度】

#### ①ボランティアのグループ

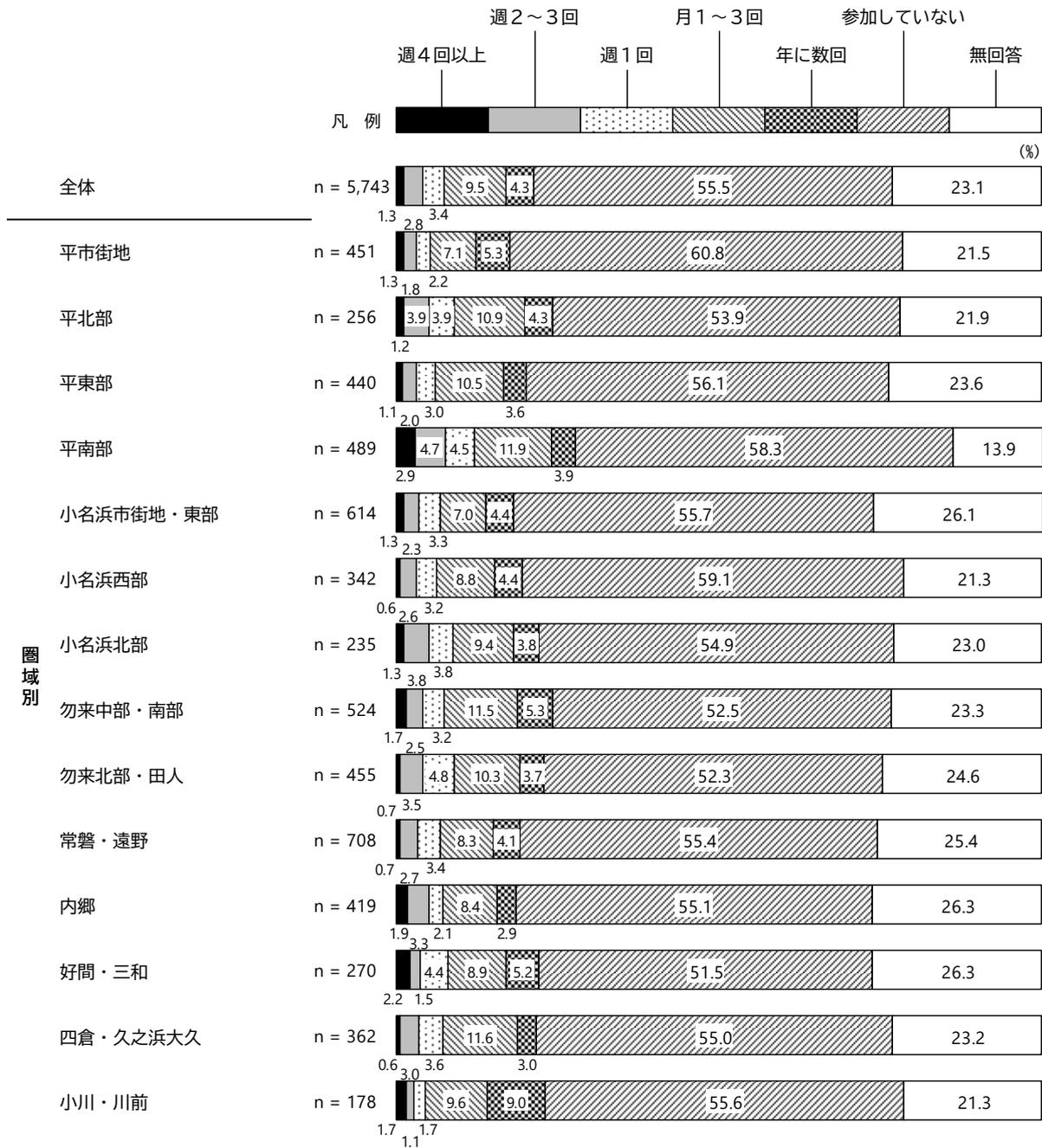


②スポーツ関係のグループやクラブ

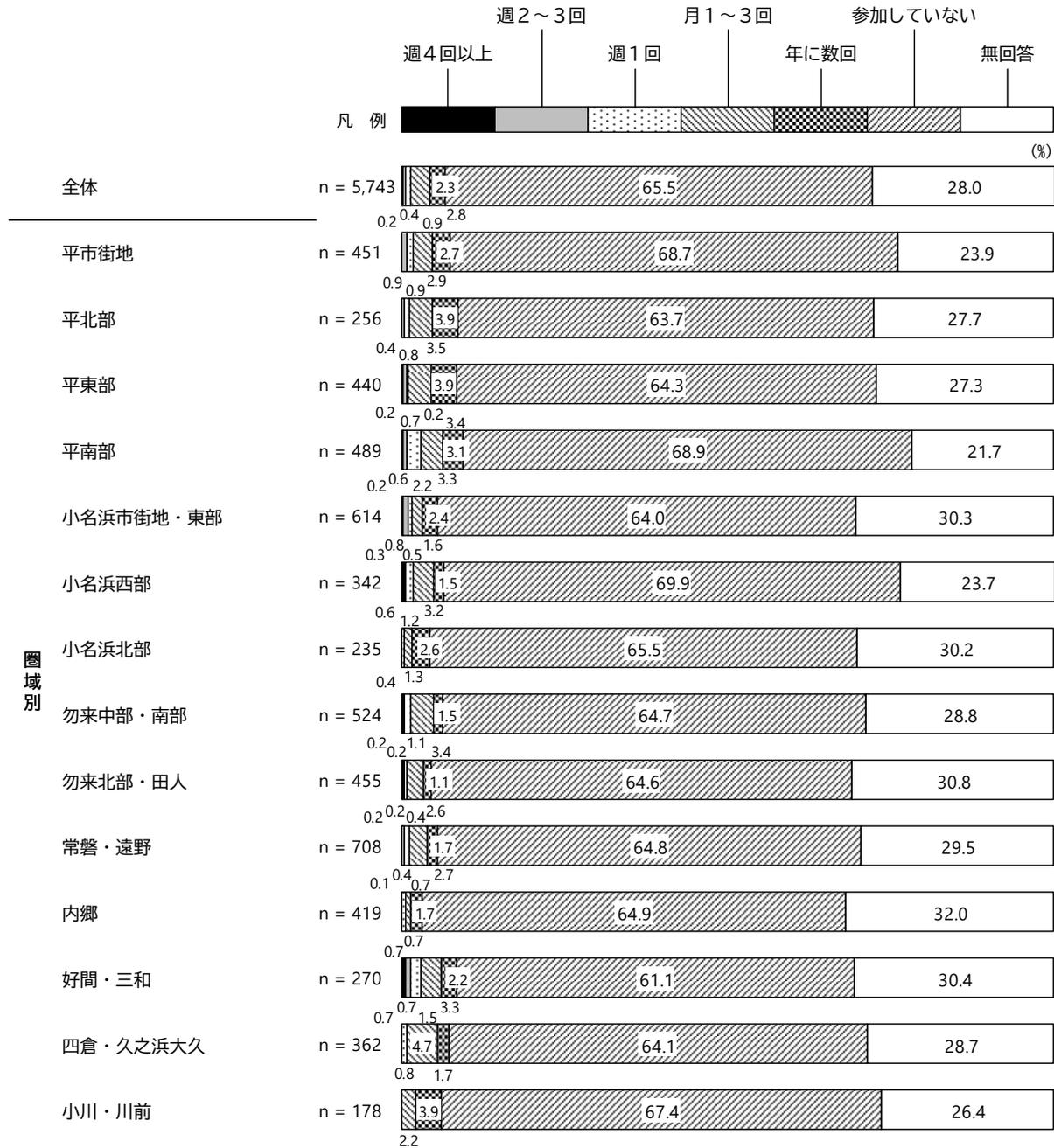


## II 調査結果（ニーズ調査）

### ③趣味関係のグループ

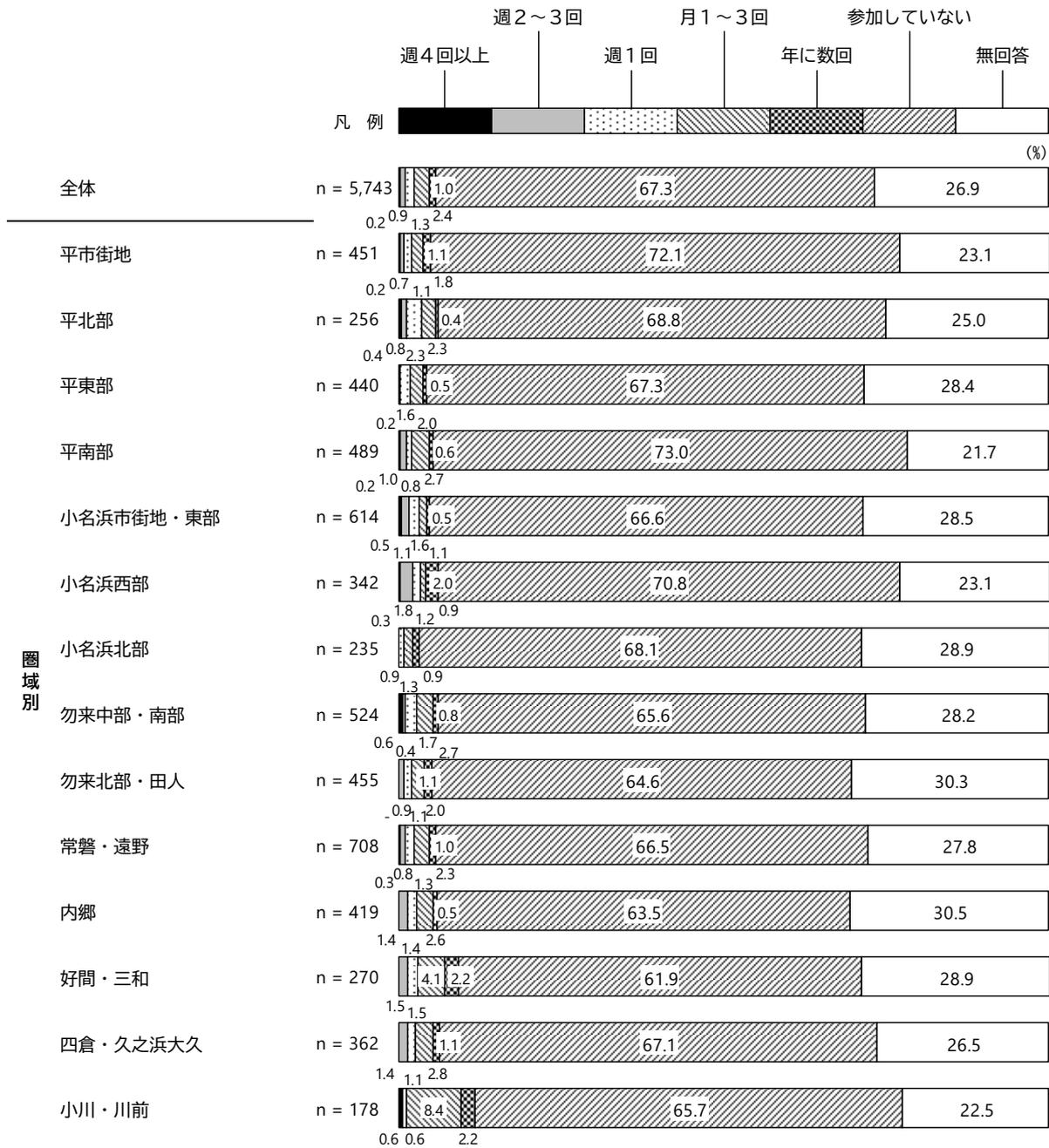


④学習・教養サークル



## II 調査結果（ニーズ調査）

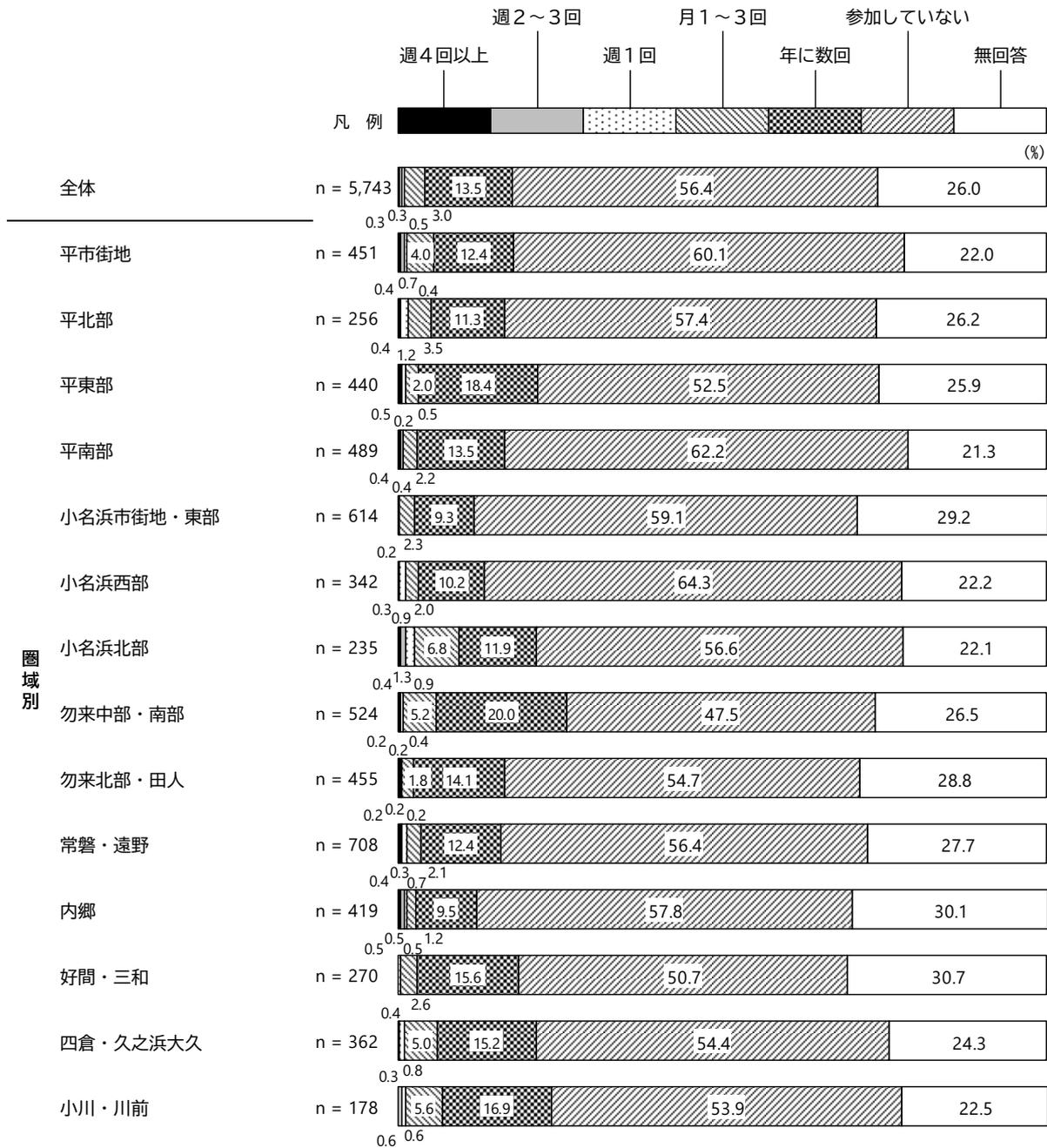
### ⑤介護予防のための通いの場（つどいの場など）



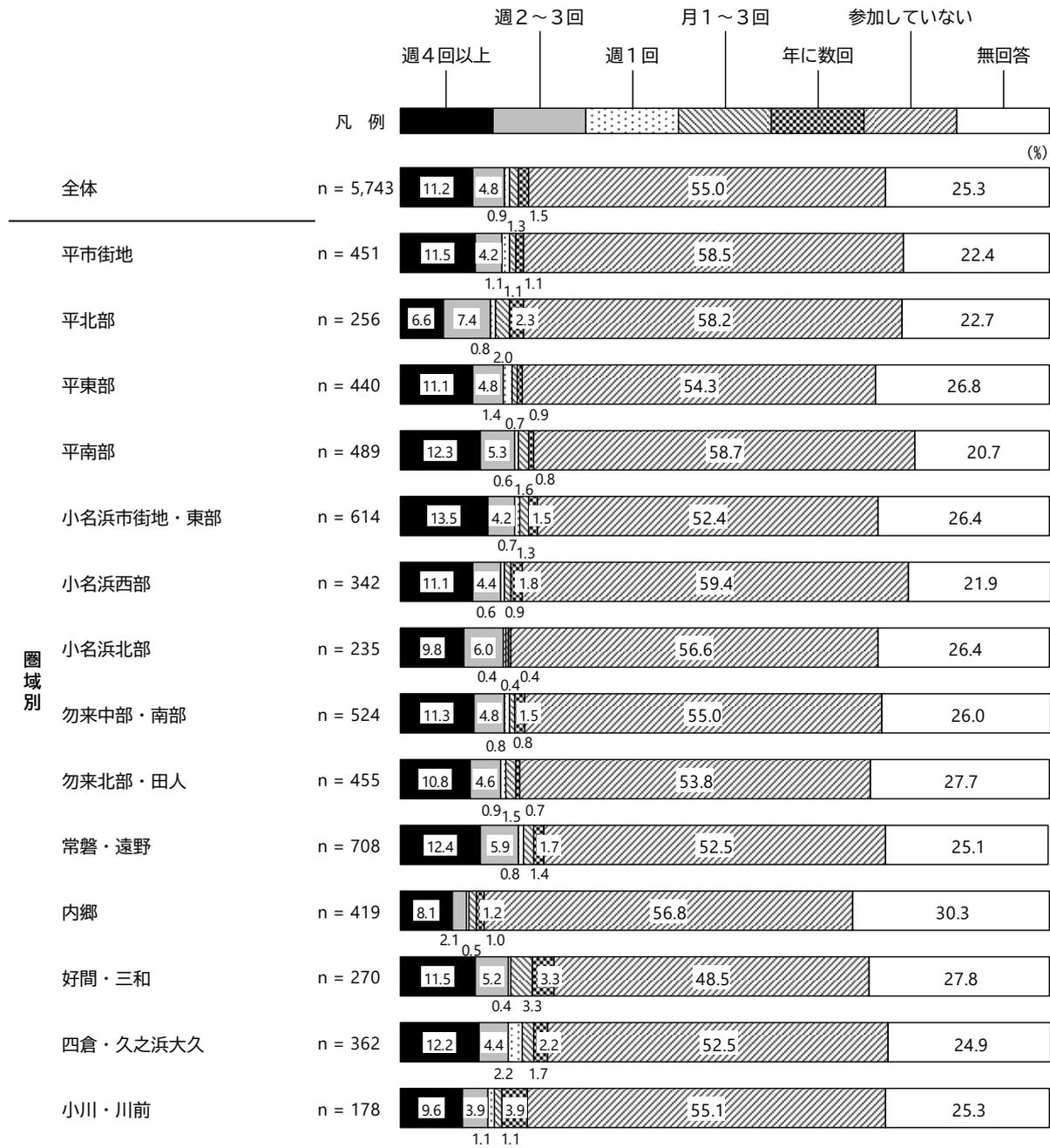


## II 調査結果（ニーズ調査）

### ⑦町内会・自治会



⑧収入のある仕事

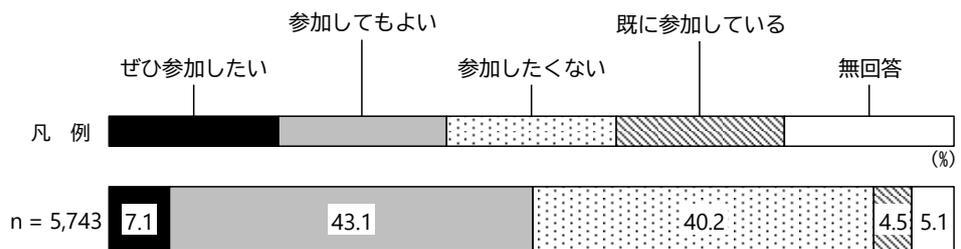


## II 調査結果（ニーズ調査）

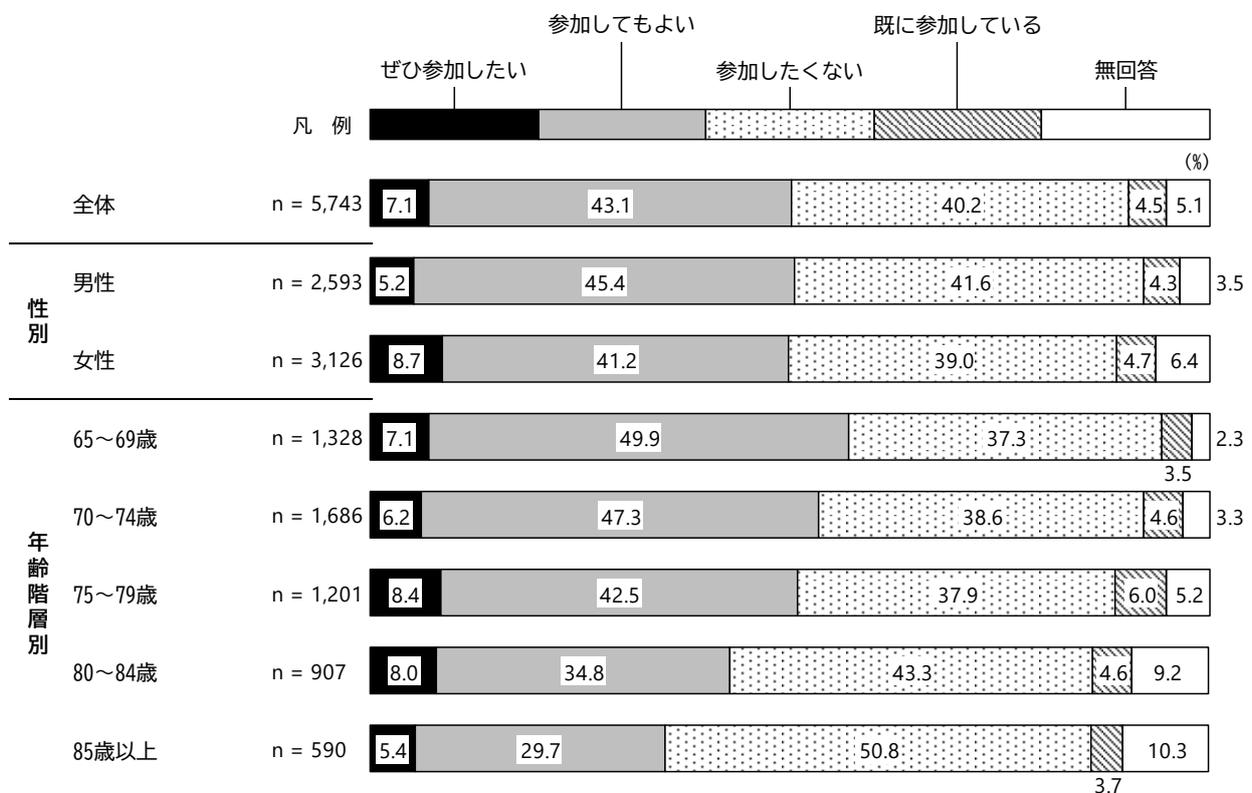
### 6-2 地域づくりの場への参加意向（参加者として）

- ▶ 地域づくりの場への参加意向（参加者として）については、「ぜひ参加したい」（7.1%）と「参加してもよい」（43.1%）を合わせた《参加意向あり》は50.2%となっています。一方、「参加したくない」と回答した人は40.2%となっています。
- ▶ 年齢階層別でみると、《参加意向あり》は年齢が上がるにつれ低くなる傾向があります。

問5（2）地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか



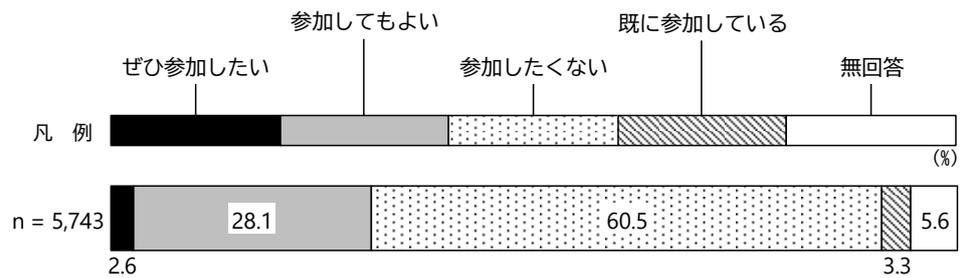
#### 【性別・年齢階層別／地域づくりの場への参加意向（参加者として）】



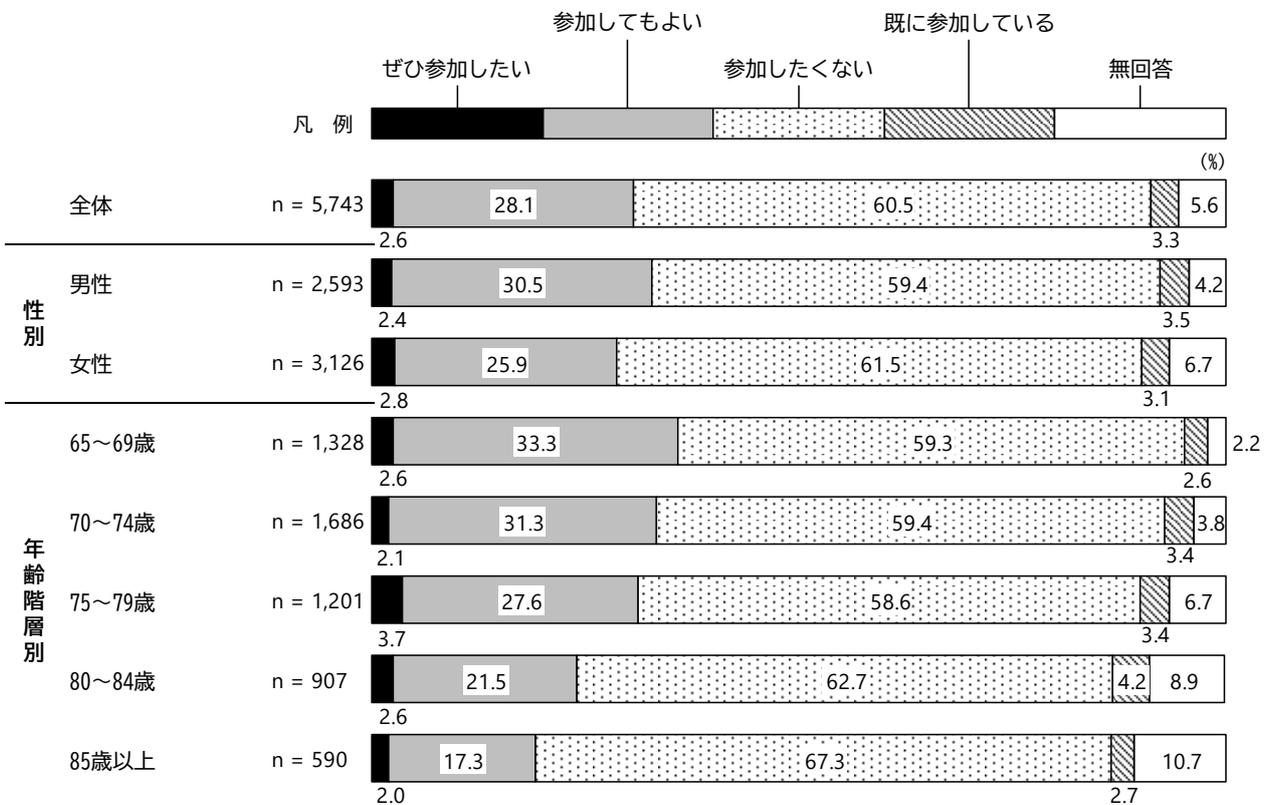
6-3 地域づくりの場への参加意向（企画・運営として）

- ▶ 地域づくりの場への参加意向(企画・運営として)については、「ぜひ参加したい」(2.6%)と「参加してもよい」(28.1%)を合わせた《参加意向あり》は30.7%となっています。一方、「参加したくない」と回答した人は60.5%となっています。
- ▶ 年齢階層別でみると、《参加意向あり》は年齢が上がるにつれ低くなる傾向があります。

問5（3）地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか



【性別・年齢階層別／地域づくりの場への参加意向（企画・運営として）】

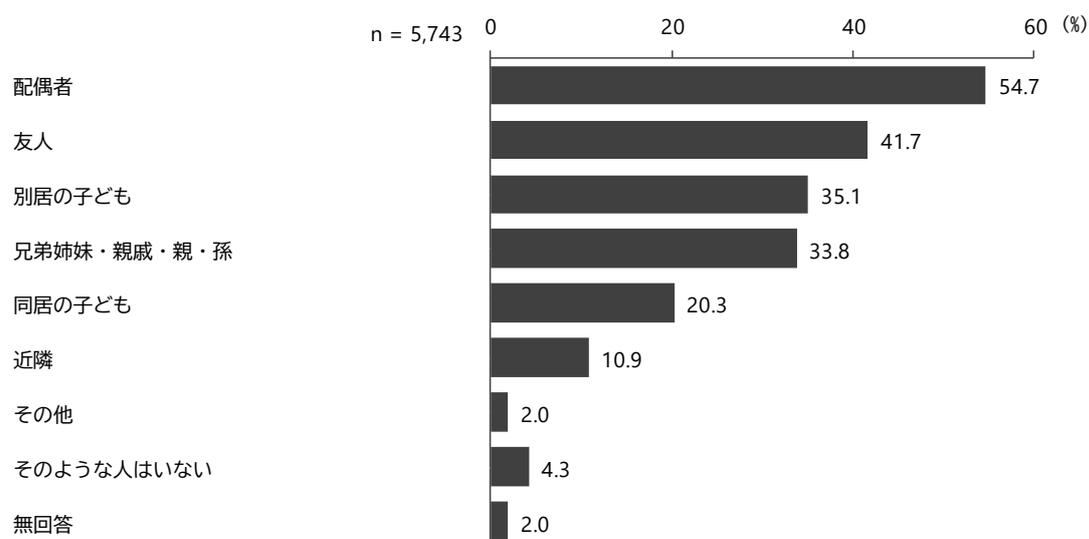


## 7 たすけあいについて

### 7-1 心配事や愚痴を聞いてくれる人

- ▶ 心配事や愚痴を聞いてくれる人については、「配偶者」が 54.7%と最も高く、次いで「友人」が 41.7%となっています。
- ▶ 男性では「配偶者」が 69.6%と、女性に比べ 25 ポイント以上高くなっており、女性では「友人」が 54.0%と、男性に比べ 25 ポイント以上高くなっていきます。

問6（1）あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）



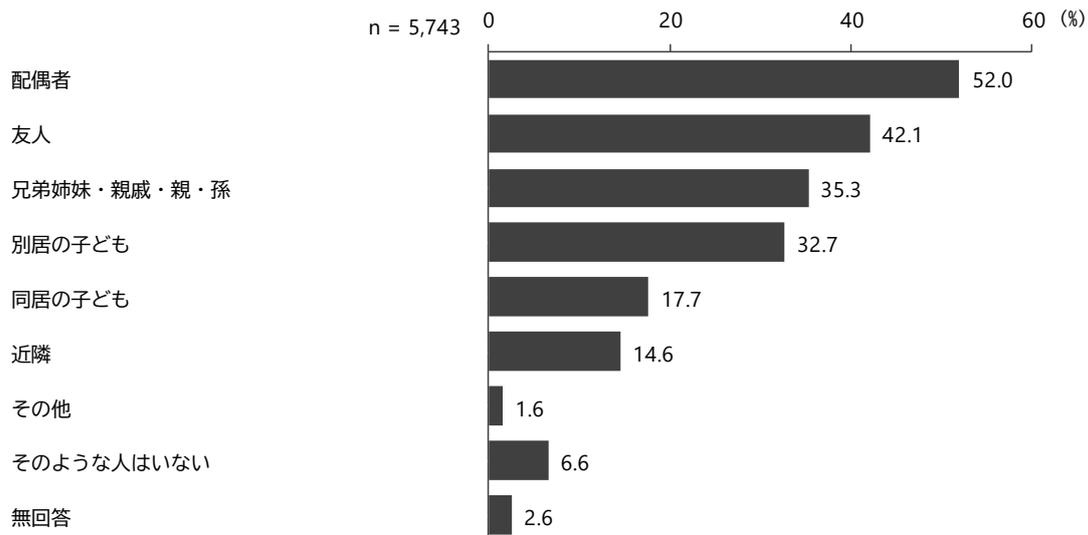
【性別・年齢階層別／心配事や愚痴を聞いてくれる人】

		n	配偶者	友人	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	同居の子ども	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
全体		5,743	54.7	41.7	35.1	33.8	20.3	10.9	2.0	4.3	2.0
性別	男性	2,593	69.6	26.8	24.7	22.4	14.5	5.7	1.7	6.6	1.7
	女性	3,126	42.4	54.0	43.9	43.3	25.2	15.1	2.2	2.4	2.1
年齢階層別	65～69歳	1,328	61.3	48.4	34.9	33.5	17.1	8.1	2.8	5.6	0.6
	70～74歳	1,686	59.9	45.5	33.9	36.1	18.7	11.9	1.9	4.3	1.7
	75～79歳	1,201	56.5	42.5	34.2	34.4	19.2	11.6	1.0	3.9	1.7
	80～84歳	907	46.9	33.6	36.5	31.9	23.0	11.0	1.4	4.2	4.1
	85歳以上	590	34.2	25.4	38.5	30.2	30.2	12.2	3.2	2.7	2.5

7-2 心配事や愚痴を聞いてあげる人

- ▶ 心配事や愚痴を聞いてあげる人については、「配偶者」が52.0%と最も高く、次いで「友人」が42.1%となっています。
- ▶ 男性では「配偶者」が67.7%と、女性に比べ25ポイント以上高くなっており、女性では「友人」が54.6%と、男性に比べ25ポイント以上高くなっています。

問6（2）反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）



【性別・年齢階層別／心配事や愚痴を聞いてあげる人】

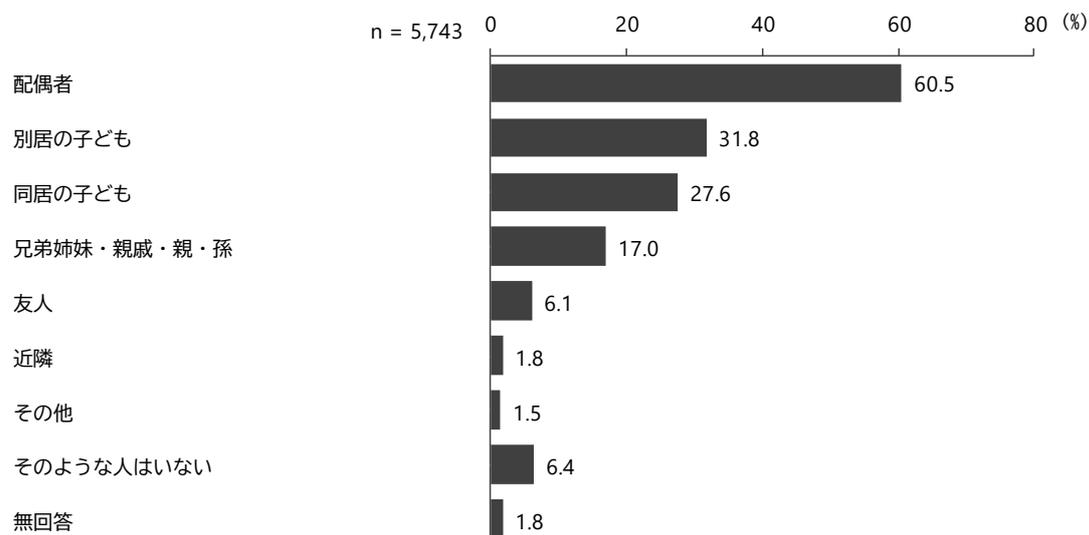
		n	配偶者	友人	兄弟姉妹・親戚・親・孫	別居の子ども	同居の子ども	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
全体		5,743	52.0	42.1	35.3	32.7	17.7	14.6	1.6	6.6	2.6
性別	男性	2,593	67.7	27.2	25.6	25.3	14.3	9.0	1.4	8.5	2.5
	女性	3,126	39.0	54.6	43.5	39.0	20.6	19.2	1.8	5.0	2.7
年齢階層別	65～69歳	1,328	59.9	48.9	37.7	36.4	16.6	12.0	2.0	5.2	0.9
	70～74歳	1,686	56.7	46.1	38.3	33.9	17.6	15.2	1.5	5.5	2.2
	75～79歳	1,201	53.0	43.6	34.8	30.6	17.7	16.7	1.3	5.7	2.3
	80～84歳	907	44.0	33.0	32.1	31.8	18.3	15.4	1.8	8.4	4.7
	85歳以上	590	31.7	25.9	28.8	27.5	19.8	12.7	1.7	12.0	4.7

## II 調査結果（ニーズ調査）

### 7-3 病気で寝込んだ時に世話をしてくれる人

- ▶ 病気で寝込んだ時に世話をしてくれる人については、「配偶者」が60.5%と最も高く、次いで「別居の子ども」が31.8%となっています。
- ▶ 男性では、「配偶者」が74.6%と、女性に比べ25ポイント以上高くなっています。

問6（3）あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）



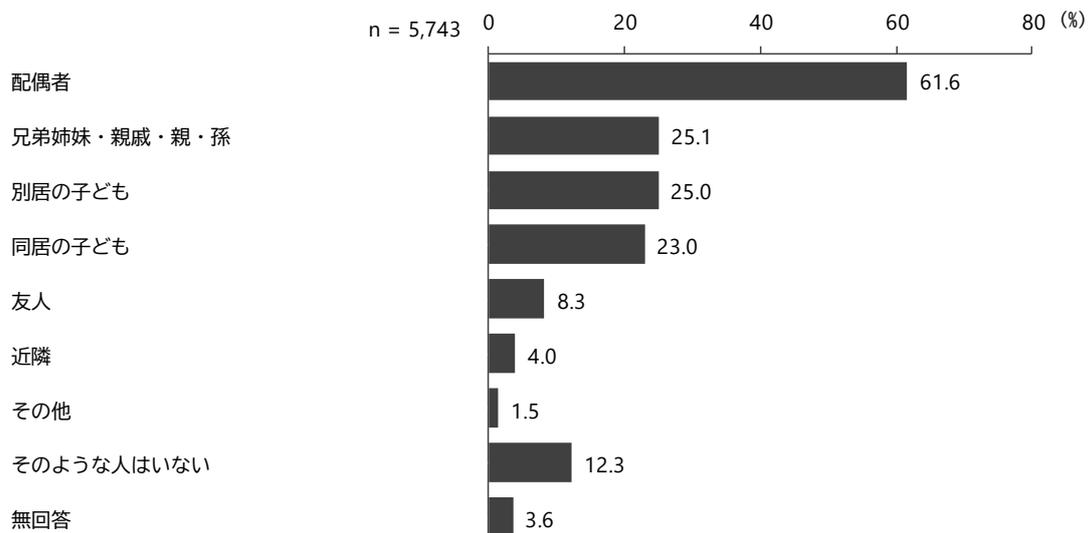
#### 【性別・年齢階層別／病気で寝込んだ時に世話をしてくれる人】

		n	配偶者	別居の子ども	同居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	友人	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
全体		5,743	60.5	31.8	27.6	17.0	6.1	1.8	1.5	6.4	1.8
性別	男性	2,593	74.6	24.9	20.4	12.2	3.2	0.9	1.0	7.3	1.4
	女性	3,126	48.8	37.7	33.7	21.1	8.6	2.5	1.8	5.7	2.1
年齢階層別	65～69歳	1,328	69.2	27.0	22.2	16.4	6.6	1.4	1.2	7.3	0.5
	70～74歳	1,686	66.7	30.9	25.9	18.3	6.6	1.8	1.5	7.5	1.7
	75～79歳	1,201	62.5	32.1	27.1	16.3	5.7	1.8	1.2	6.0	1.8
	80～84歳	907	49.8	36.7	31.2	16.2	5.5	2.1	1.7	5.8	3.3
	85歳以上	590	36.1	36.9	40.8	17.5	5.8	2.2	2.4	3.1	2.2

### 7-4 病気で寝込んだ時に世話をしてくれる人

- ▶ 病気で寝込んだ時に世話をしてくれる人については、「配偶者」が61.6%と最も高く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が25.1%となっています。
- ▶ 男性では、「配偶者」が71.7%と、女性に比べ15ポイント以上高くなっています。

問6（4）反対に、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）



【性別・年齢階層別／病気で寝込んだ時に世話をしてくれる人】

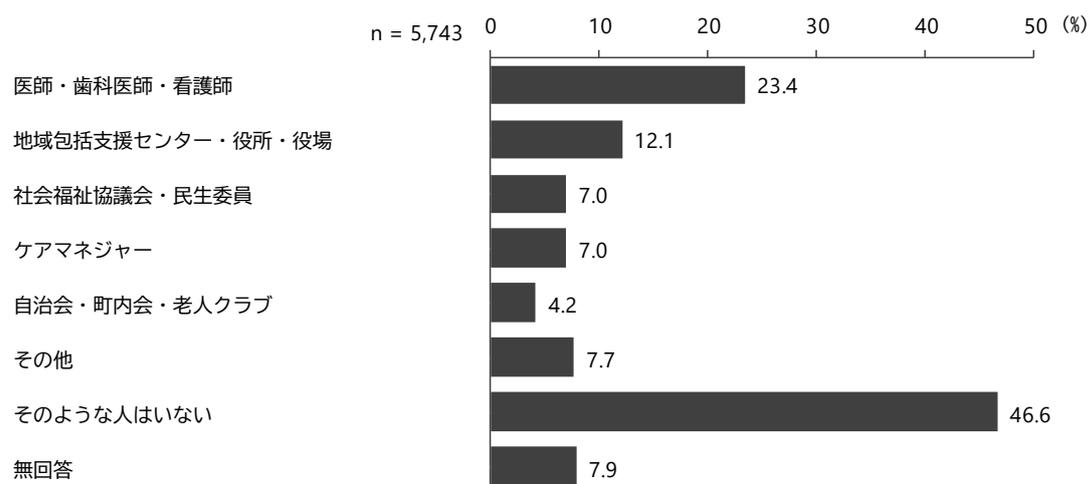
		n	配偶者	兄弟姉妹・親戚・親・孫	別居の子ども	同居の子ども	友人	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
全体		5,743	61.6	25.1	25.0	23.0	8.3	4.0	1.5	12.3	3.6
性別	男性	2,593	71.7	18.1	18.1	17.4	4.7	2.0	1.1	12.8	2.3
	女性	3,126	53.2	31.0	30.8	27.7	11.5	5.6	1.8	11.8	4.6
年齢階層別	65～69歳	1,328	69.9	30.9	28.7	22.7	9.0	3.8	1.2	8.6	1.1
	70～74歳	1,686	67.3	29.5	28.2	23.6	8.8	4.1	0.9	10.4	3.0
	75～79歳	1,201	65.6	23.4	24.4	22.8	8.9	3.8	1.1	9.1	3.2
	80～84歳	907	51.2	18.3	21.2	23.8	8.0	5.1	2.5	14.6	6.7
	85歳以上	590	35.1	13.6	14.6	21.2	5.1	2.2	3.2	29.2	6.8

## II 調査結果（ニーズ調査）

### 7-5 何かあったときの相談相手

- ▶ 何かあったときの相談相手については、「医師・歯科医師・看護師」が23.4%と最も高く、次いで「地域包括支援センター・役所・役場」が12.1%となっています。
- ▶ 年齢階層別でみると、「医師・歯科医師・看護師」の割合は年齢が上がるにつれ高くなる傾向があり、85歳以上は30.2%となっています。

問6（5）家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください  
（いくつでも）

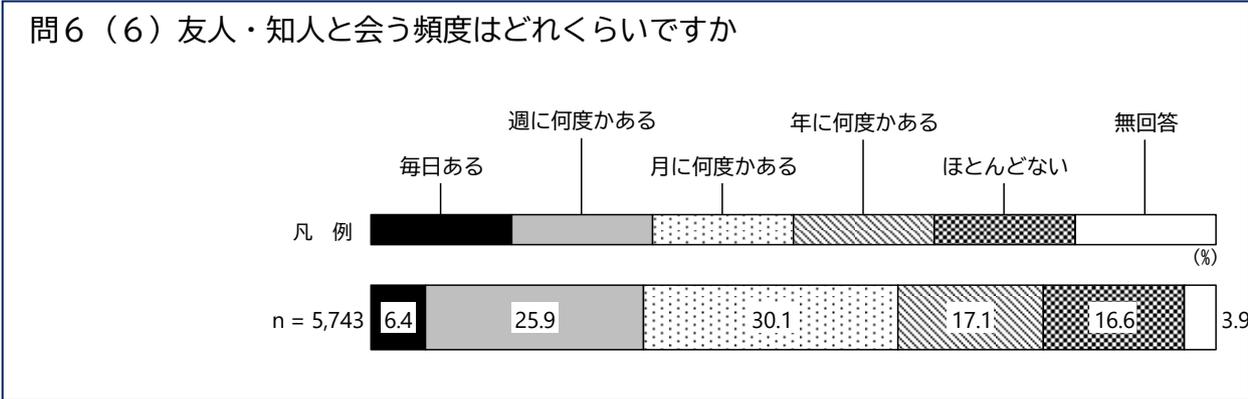


#### 【性別・年齢階層別／何かあったときの相談相手】

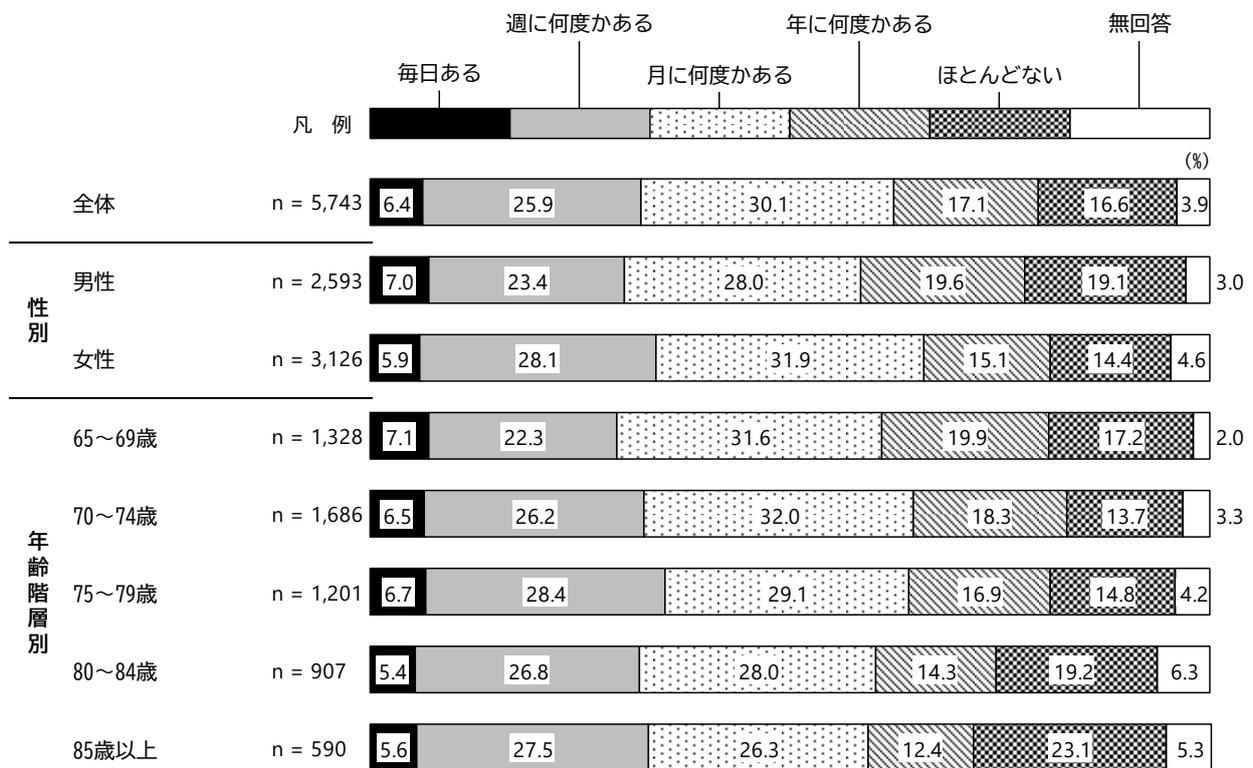
		n	医師・ 歯科医師・ 看護師	地域 包括 支援 セン ター・ 役所・ 役場	員 社 会 福 祉 協 議 会 ・ 民 生 委	ケ ア マ ネ ジ ャ ー	ラ ブ 自 治 会 ・ 町 内 会 ・ 老 人 ク ラ ブ	そ の 他	そ の よ う な 人 は い な い	無 回 答
全体		5,743	23.4	12.1	7.0	7.0	4.2	7.7	46.6	7.9
性別	男性	2,593	23.0	11.2	7.2	4.5	6.4	8.5	49.2	5.7
	女性	3,126	23.8	12.9	6.8	9.1	2.4	7.0	44.3	9.7
年齢 階層 別	65～69歳	1,328	19.7	10.8	4.7	5.4	4.0	10.2	54.1	3.8
	70～74歳	1,686	23.2	11.3	5.9	4.4	4.1	7.6	50.5	7.8
	75～79歳	1,201	23.6	13.2	6.8	5.9	4.7	6.7	45.0	8.7
	80～84歳	907	24.5	13.7	10.7	8.7	4.3	6.7	38.8	11.8
	85歳以上	590	30.2	12.7	10.0	16.9	3.9	5.8	34.1	9.3

7-6 友人・知人と会う頻度

- ▶ 友人・知人と会う頻度については、「月に何度かある」が30.1%と最も高く、次いで「週に何度かある」が25.9%となっています。
- ▶ 年齢階層別でみると、「ほとんどない」の割合は年齢が上がるにつれ高くなる傾向があります。



【性別・年齢階層別／友人・知人と会う頻度】

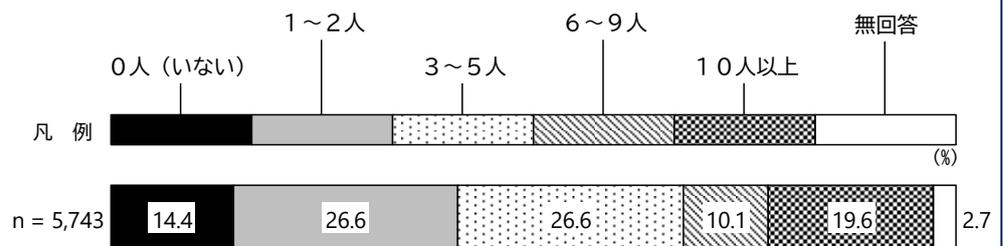


## II 調査結果（ニーズ調査）

### 7-7 この1か月間、何人の友人・知人と会ったか

- ▶ この1か月間、何人の友人・知人と会ったかについては、「1～2人」と「3～5人」が26.6%と最も高く、次いで「10人以上」が19.6%となっています。

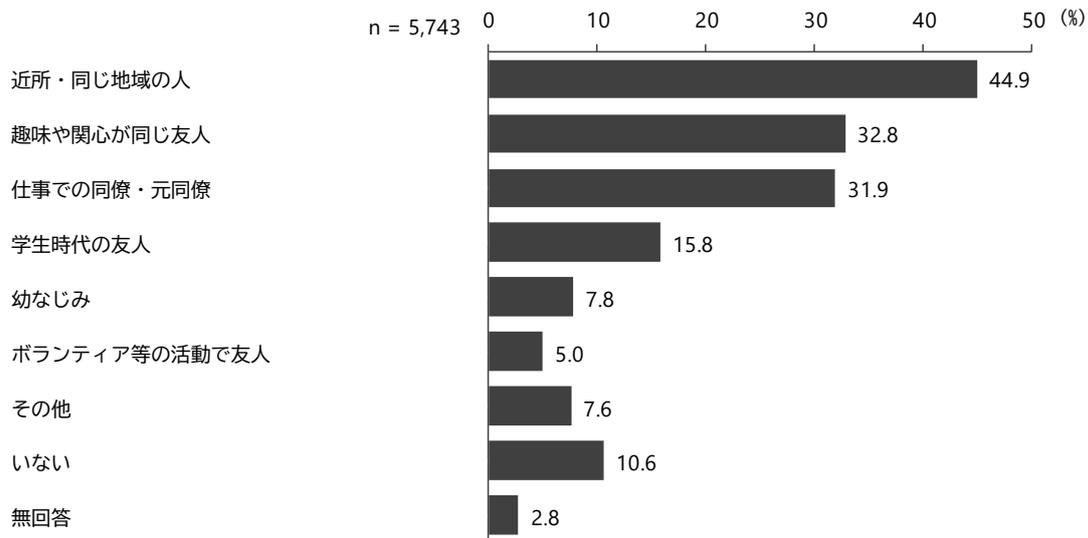
問6（7）この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか  
同じ人には何度会っても1人と数えることとします



7-8 よく会う友人・知人との関係

- ▶ よく会う友人・知人との関係については、「近所・同じ地域の人」が44.9%と最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が32.8%となっています。
- ▶ 女性では、「近所・同じ地域の人」が50.1%と、男性に比べ10ポイント以上高くなっています。

問6（8）よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか（いくつでも）



【性別・年齢階層別／よく会う友人・知人との関係】

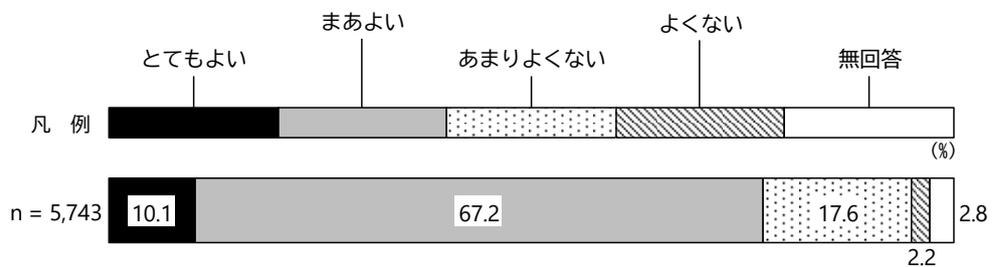
		n	近所・同じ地域の人	趣味や関心が同じ友人	仕事での同僚・元同僚	学生時代の友人	幼なじみ	ボランティア等の活動で友人	その他	いない	無回答
全体		5,743	44.9	32.8	31.9	15.8	7.8	5.0	7.6	10.6	2.8
性別	男性	2,593	38.6	31.7	33.9	13.6	7.4	5.5	6.7	12.6	2.5
	女性	3,126	50.1	33.7	30.3	17.7	8.1	4.7	8.3	8.8	3.0
年齢階層別	65～69歳	1,328	34.0	30.3	45.0	21.9	7.0	5.2	7.8	10.8	1.2
	70～74歳	1,686	43.6	34.4	36.6	17.3	9.2	5.5	7.7	10.0	2.2
	75～79歳	1,201	49.5	37.2	28.3	14.3	8.7	5.3	7.7	9.0	2.4
	80～84歳	907	50.8	32.6	20.2	12.3	7.4	4.5	7.2	11.1	5.0
	85歳以上	590	55.1	24.6	13.9	6.3	4.6	3.9	7.8	14.4	5.1

## 8 対象者の健康状態等

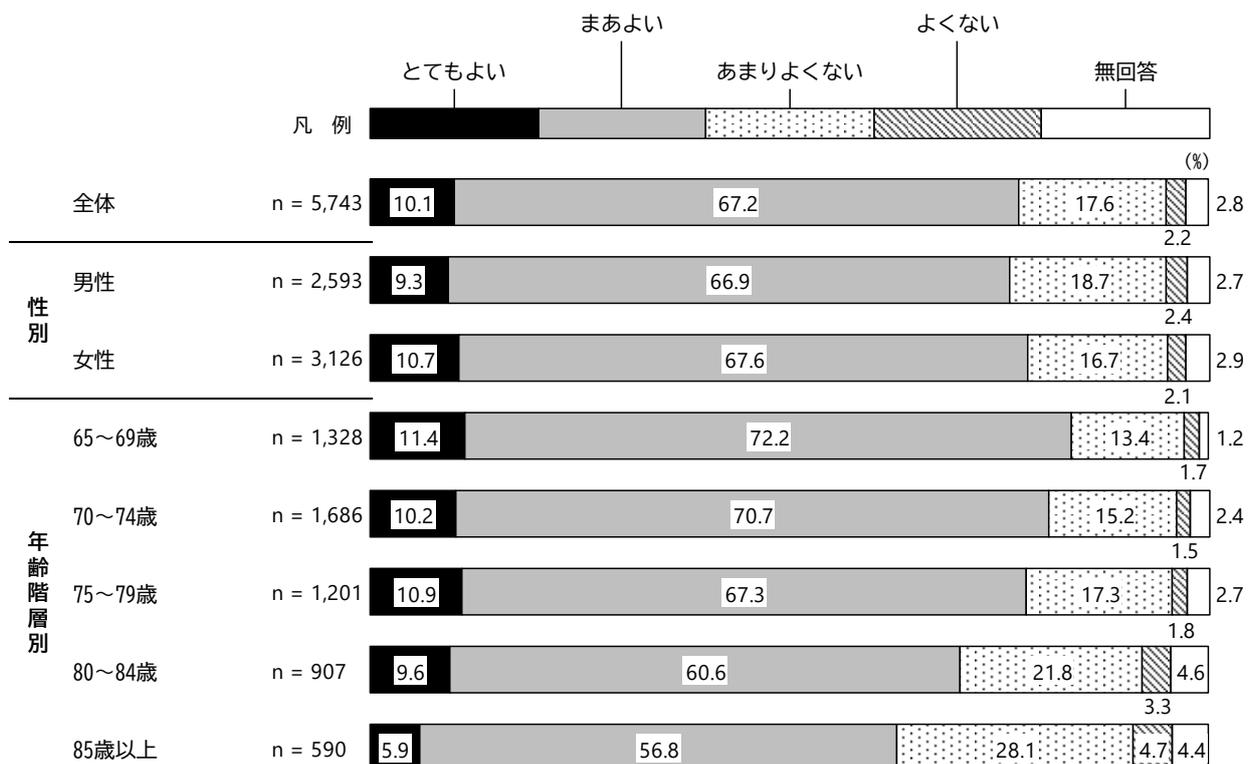
### 8-1 健康状態について

- ▶ 健康状態については、「まあよい」が67.2%と最も高く、次いで「あまりよくない」が17.6%となっています。
- ▶ 「とてもよい」(10.1%)と「まあよい」(67.2%)を合わせた《よい》は77.3%となっており、「よくない」(2.2%)と「あまりよくない」(17.6%)を合わせた《よくない》は19.8%となっています。
- ▶ 年齢階層別でみると、《よくない》は年齢が上がるにつれ高くなる傾向があり、85歳以上は32.8%となっています。

問7（1）現在のあなたの健康状態はいかがですか



【性別・年齢階層別／健康状態について】

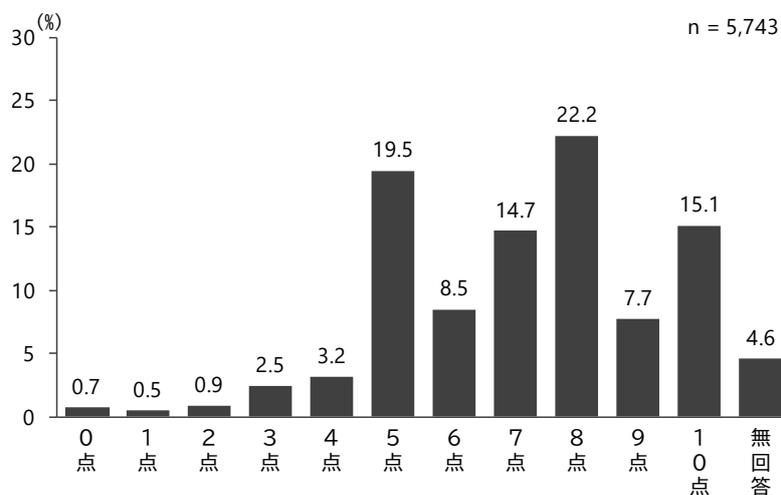


## 8-2 現在の幸福度

- ▶ 現在の幸福度については、「8点」が22.2%と最も高く、次いで「5点」が19.5%となっています。
- ▶ 回答結果より平均点を算出したところ、市全体での幸福度の平均点は7.04点という結果となっています。
- ▶ 性別で平均点をみると、男性では6.83点、女性では7.22点となっています。
- ▶ 年齢階層別で平均点をみると、年齢が上がるにつれ高くなる傾向があり、85歳以上は7.29点となっています。

問7（2）あなたは、現在どの程度幸せですか

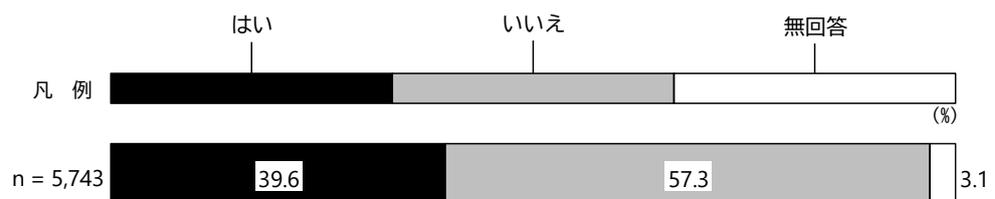
（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）



## 8-3 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったか

- ▶ この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったかについては、「はい」が39.6%、「いいえ」が57.3%となっています。

問7（3）この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

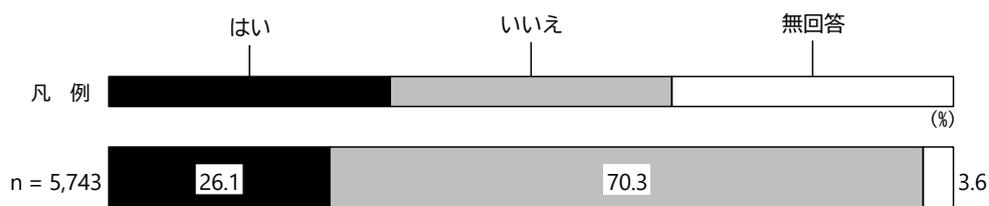


## II 調査結果（ニーズ調査）

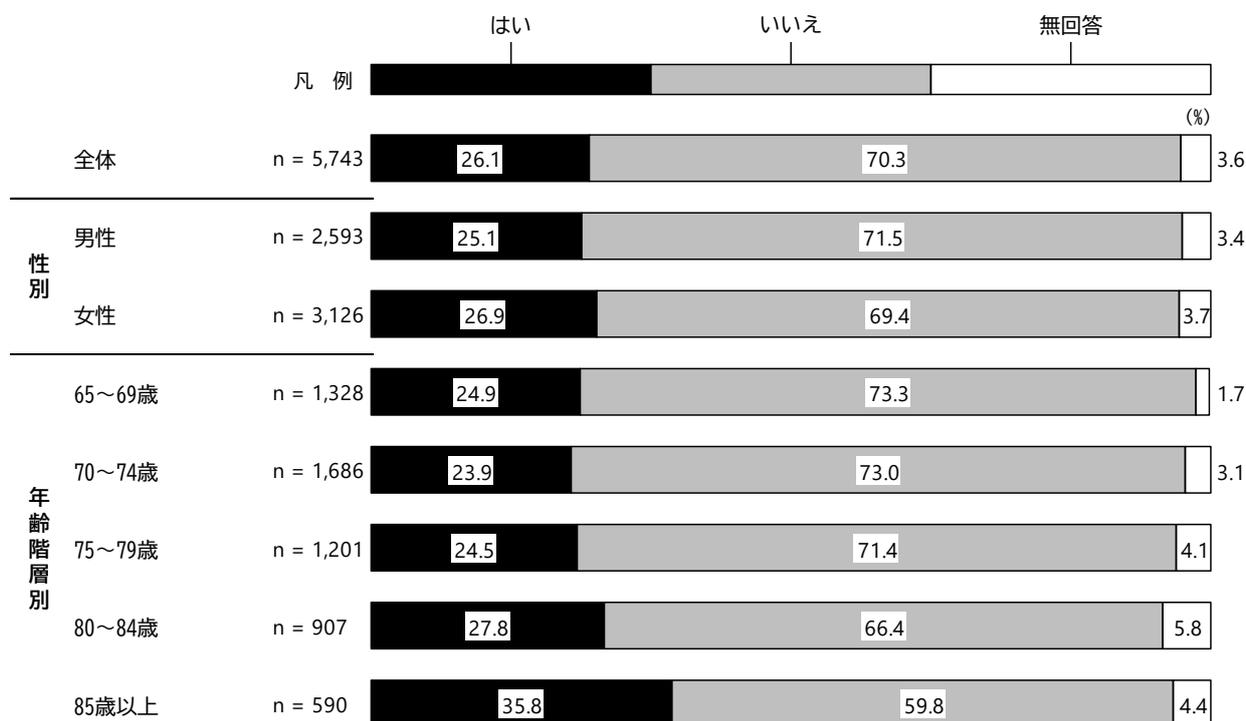
### 8-4 この1か月間、物事に対して興味がわからない等の感じがあったか

- ▶ この1か月間、物事に対して興味がわからない等の感じがあったかについては、「はい」が26.1%、「いいえ」が70.3%となっています。
- ▶ 年齢階層別でみると、70歳以上で「はい」の割合は年齢が上がるにつれ低くなる傾向があります。

問7（4）この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか



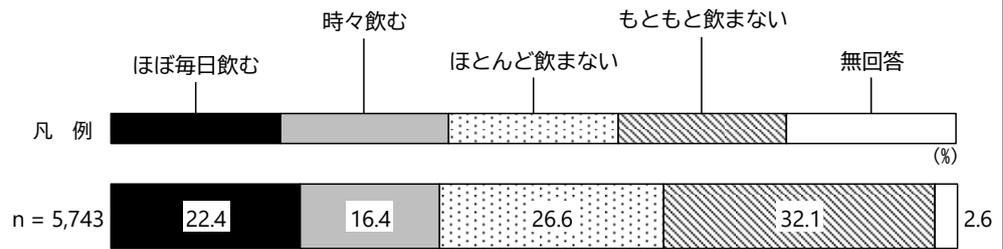
#### 【性別・年齢階層別／この1か月間、物事に対して興味がわからない等の感じがあったか】



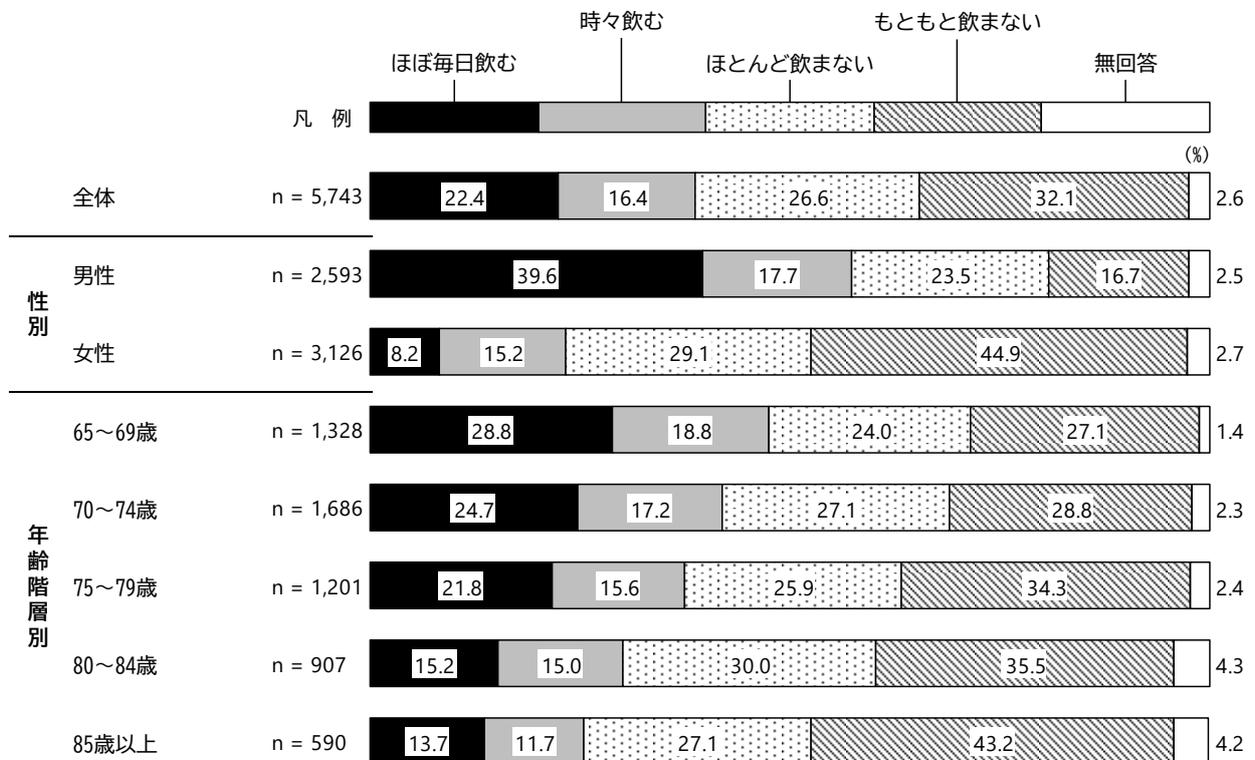
8-5 飲酒について

- ▶ 飲酒については、「もともと飲まない」が32.1%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない」が26.6%、「ほぼ毎日飲む」が22.4%となっており、「ほぼ毎日飲む」（22.4%）と「時々飲む」（16.4%）を合わせた《飲酒する人》は38.8%となっています。
- ▶ 男性では、「ほぼ毎日飲む」が39.6%と、女性に比べ30ポイント以上高くなっています。
- ▶ 年齢階層別で見ると、《飲酒する人》は年齢が上がるにつれ低くなる傾向があります。

問7（5）お酒は飲みますか



【性別・年齢階層別／飲酒について】

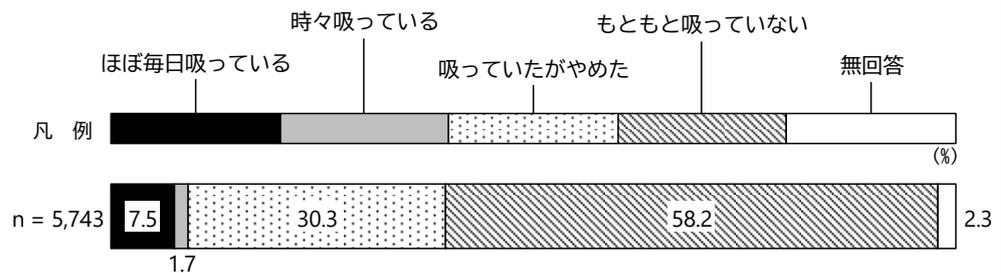


## II 調査結果（ニーズ調査）

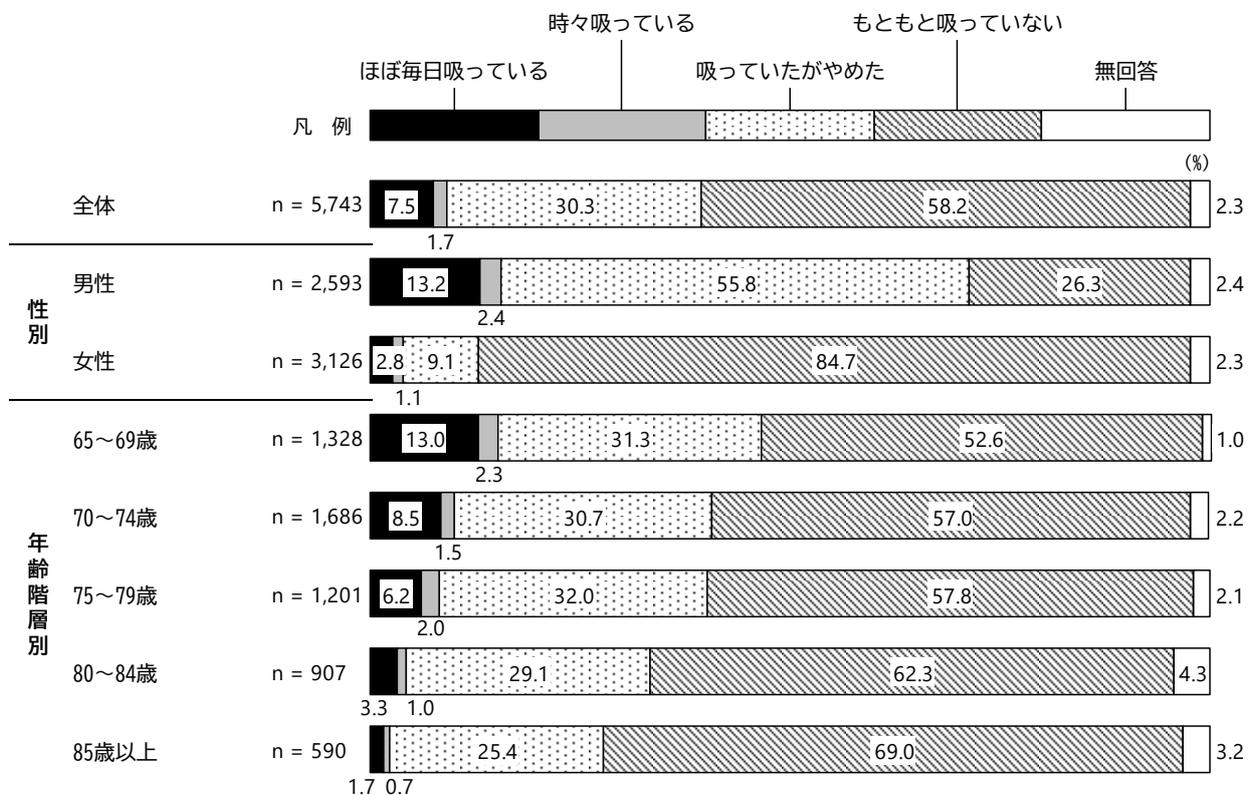
### 8-6 喫煙について

- ▶ 喫煙については、「もともと吸っていない」が58.2%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が30.3%、「ほぼ毎日吸っている」が7.5%となっており、「ほぼ毎日吸っている」(7.5%)と「時々吸っている」(1.7%)を合わせた《喫煙する人》は9.2%となっています。
- ▶ 男性では、「ほぼ毎日吸っている」が13.2%と、女性に比べ10ポイント以上高くなっています。

問7（6）タバコは吸っていますか



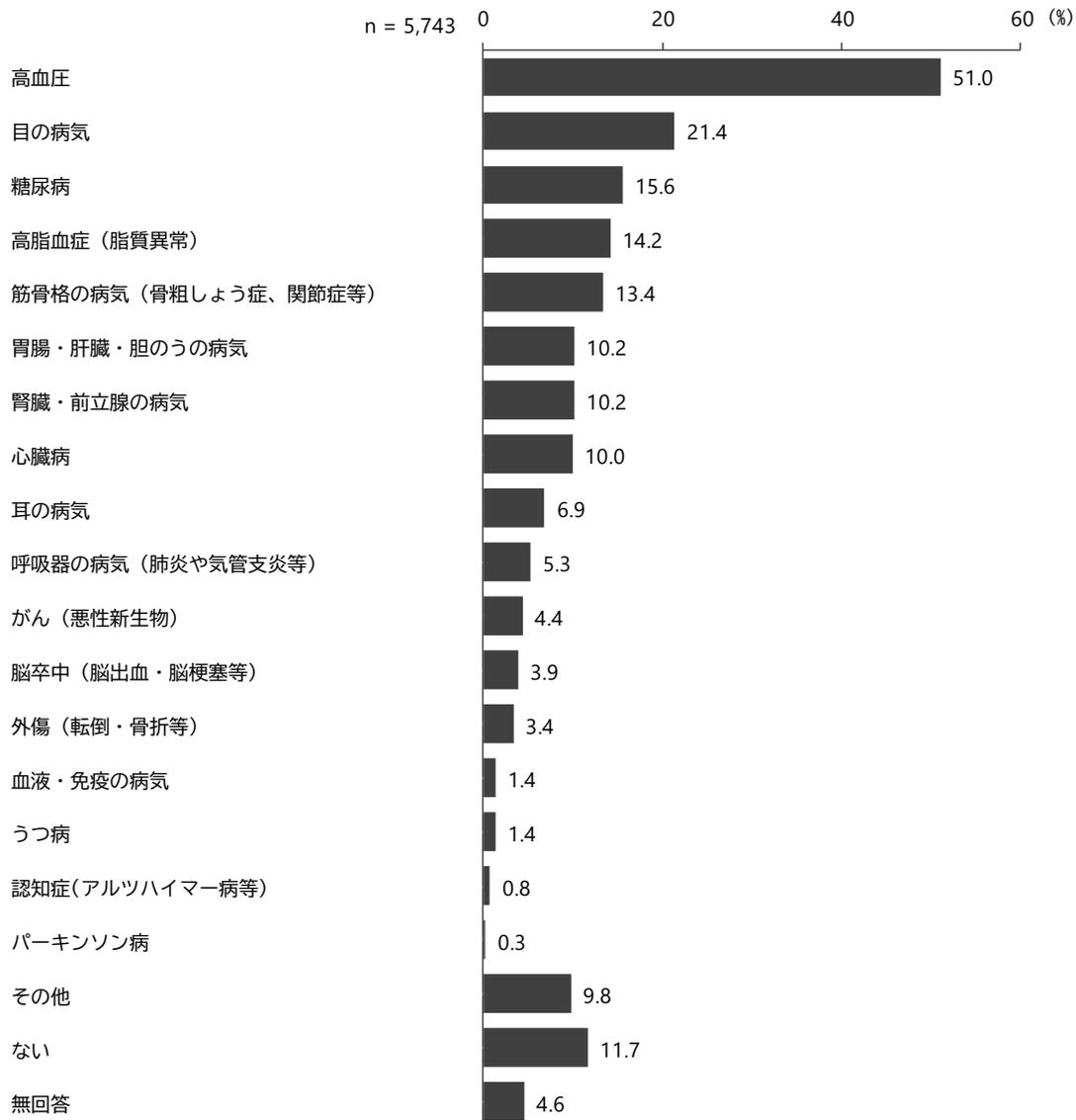
【性別・年齢階層別／喫煙について】



8-7 治療中、または後遺症のある病気

- ▶ 治療中、または後遺症のある病気については、「高血圧」が51.0%と最も高く、次いで「目の病気」が21.4%となっています。
- ▶ 男性では「腎臓・前立腺の病気」が19.8%と、女性に比べ15ポイント以上高く、女性では「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が20.9%と、男性に比べ15ポイント以上高くなっています。

問7（7）現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（いくつでも）



## II 調査結果（ニーズ調査）

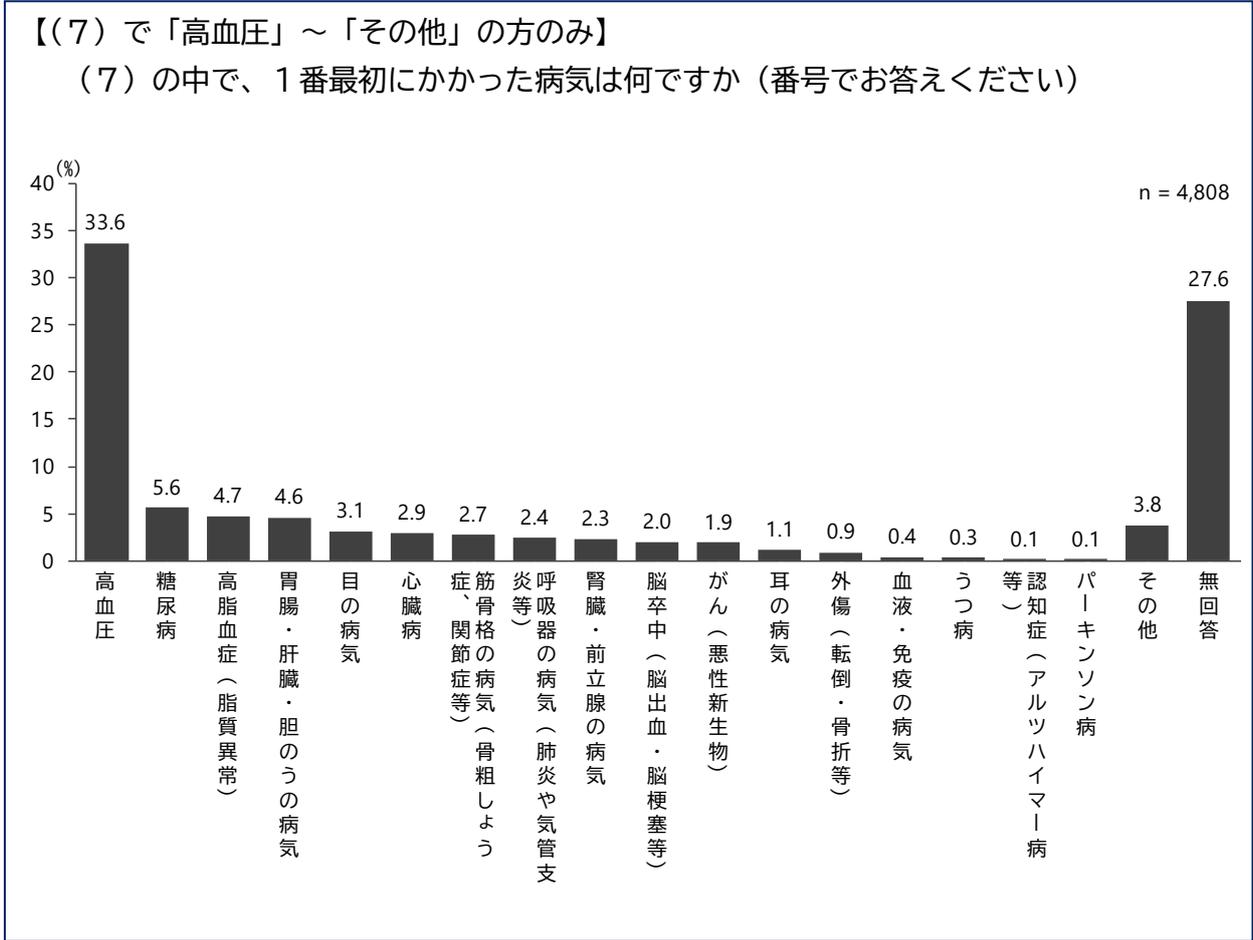
### 【性別・年齢階層別／治療中、または後遺症のある病気】

		n	高血圧	目の病気	糖尿病	高脂血症（脂質異常）	筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	心臓病	耳の病気	呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）
全体		5,743	51.0	21.4	15.6	14.2	13.4	10.2	10.2	10.0	6.9	5.3
性別	男性	2,593	53.4	18.2	20.6	11.6	4.4	10.9	19.8	12.9	6.6	5.6
	女性	3,126	49.1	24.2	11.5	16.4	20.9	9.7	2.3	7.6	7.2	5.0
年齢階層別	65～69歳	1,328	42.7	15.4	13.7	18.2	9.7	8.1	5.5	6.3	4.8	4.4
	70～74歳	1,686	50.5	17.9	15.5	16.5	11.4	8.8	8.9	8.5	4.4	5.1
	75～79歳	1,201	56.6	24.8	17.2	13.3	14.3	11.1	12.4	10.6	6.5	4.3
	80～84歳	907	53.7	28.2	16.5	10.0	18.2	11.9	14.8	14.7	12.3	6.7
	85歳以上	590	55.6	27.8	15.8	6.9	18.5	14.7	13.6	14.7	11.5	7.5

※全体の回答数上位 10 項目を抜粋

8-8 治療中、または後遺症のある病気の中で、1番最初にかかった病気

▶ 1番最初にかかった病気については、「高血圧」が33.6%と最も高く、次いで「糖尿病」が5.6%となっています。

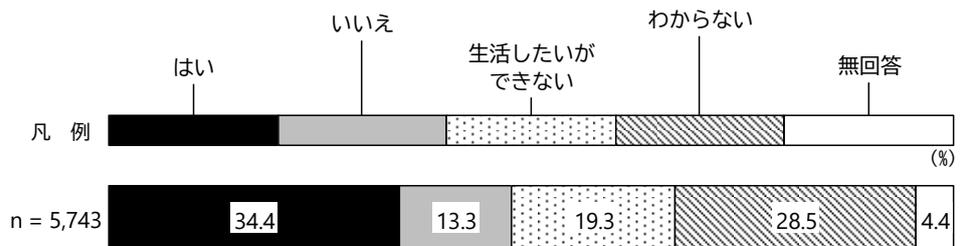


## II 調査結果（ニーズ調査）

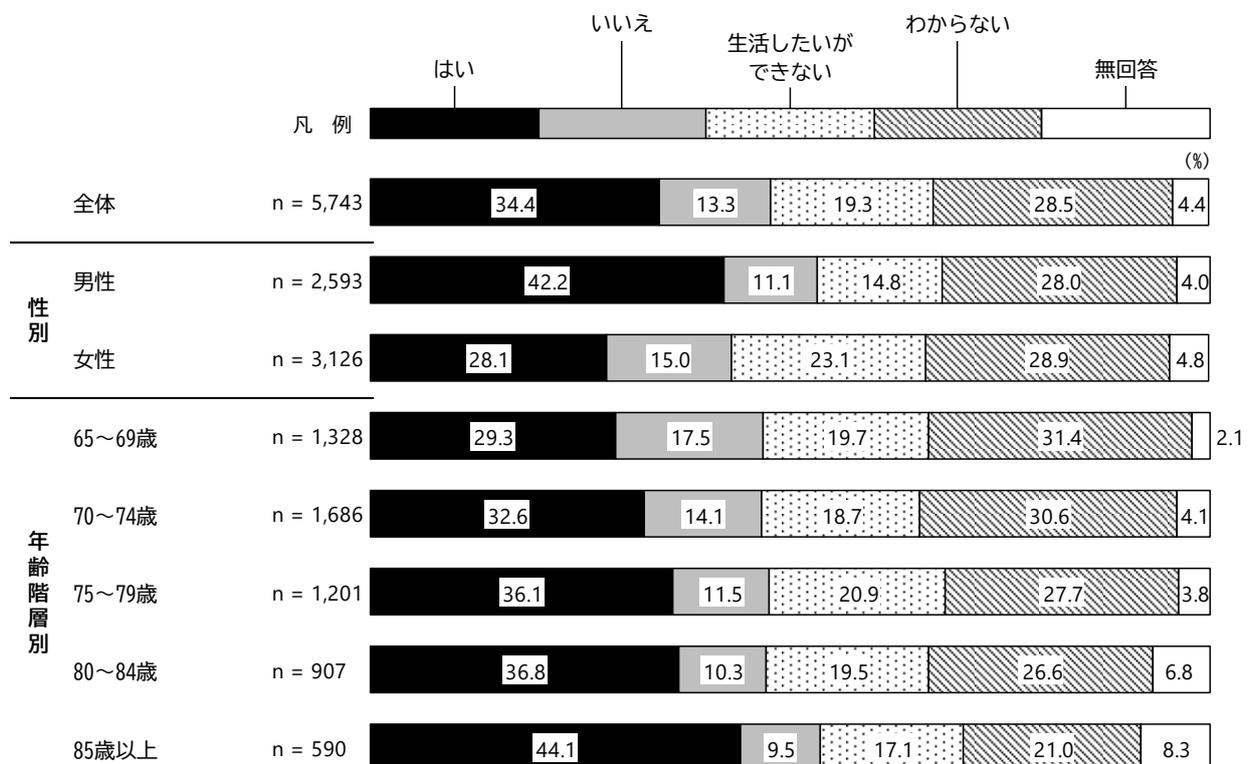
### 8-9 終末期、最期まで自宅で生活したいか

- ▶ 終末期、最期まで自宅で生活したいかについては、「はい」が34.4%と最も高く、次いで「わからない」が28.5%となっています。
- ▶ 男性では、「はい」が42.2%と、女性に比べ10ポイント以上高くなっています。

問7（8）あなたが、加齢や重大な病気などで死が近い状況になった時、自宅で最期まで生活したいと思いますか



#### 【性別・年齢階層別／終末期、最期まで自宅で生活したいか】

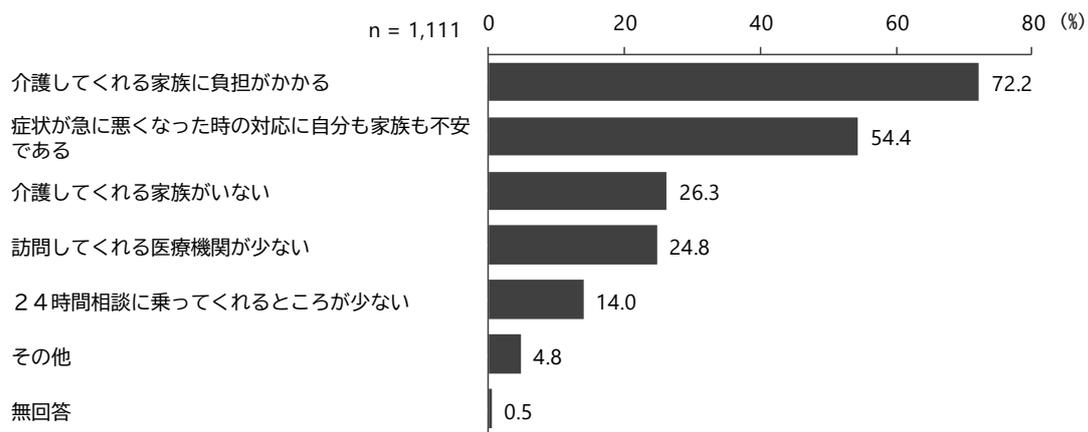


8-10 自宅で最期まで生活できないと思う理由

- ▶ 自宅で最期まで生活できないと思う理由については、「介護してくれる家族に負担がかかる」が72.2%と最も高く、次いで「症状が急に悪くなった時の対応に自分も家族も不安である」が54.4%となっています。
- ▶ 女性では、「介護してくれる家族に負担がかかる」が75.0%と、男性に比べ5ポイント以上高くなっています。

【(8) で「生活したいができない」の方のみ】

自宅で最期まで生活できないと思う理由は、なぜですか（いくつでも）



【性別・年齢階層別／自宅で最期まで生活できないと思う理由】

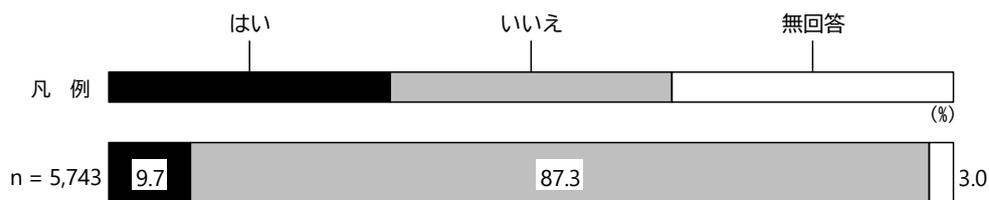
		n	担 が か か か る	安 の 症 で 対 状 あ る に 急 に 自 分 悪 も く な つ た 時	な い 介 護 し て く れ る 家 族 が い	が 訪 問 し て く れ る 医 療 機 関	れ 2 4 時 間 相 談 に 乗 つ て く	そ の 他	無 回 答
全体		1,111	72.2	54.4	26.3	24.8	14.0	4.8	0.5
性別	男性	384	66.9	51.8	24.5	24.2	14.1	5.2	-
	女性	723	75.0	55.7	27.4	25.3	14.0	4.6	0.8
年齢階層別	65～69歳	262	75.2	50.8	24.8	26.7	16.0	3.4	0.4
	70～74歳	315	72.1	55.6	23.2	20.3	11.7	3.5	1.0
	75～79歳	251	75.3	55.4	25.1	20.7	12.4	5.6	-
	80～84歳	177	64.4	54.8	32.8	30.5	13.0	4.5	0.6
	85歳以上	101	70.3	56.4	32.7	33.7	20.8	9.9	1.0

### 9 認知症について

#### 9-1 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか

- ▶ 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるかについては、「はい」が9.7%で、「いいえ」が87.3%となっています。

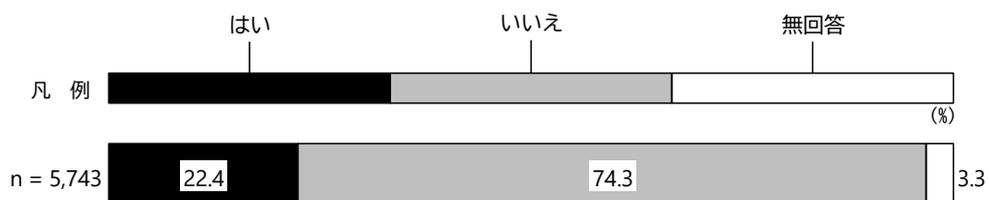
問8（1）認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか



#### 9-2 認知症に関する相談窓口の認知度

- ▶ 認知症に関する相談窓口の認知度については、「はい」が22.4%で、「いいえ」が74.3%となっています。

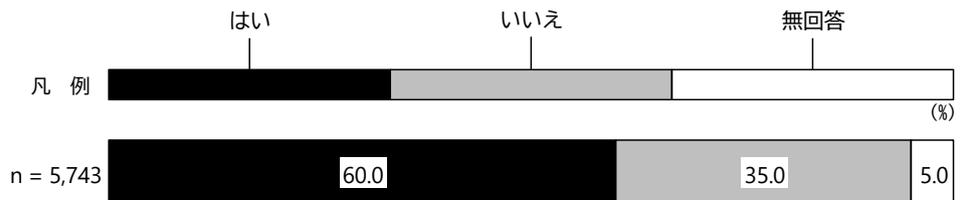
問8（2）認知症に関する相談窓口を知っていますか



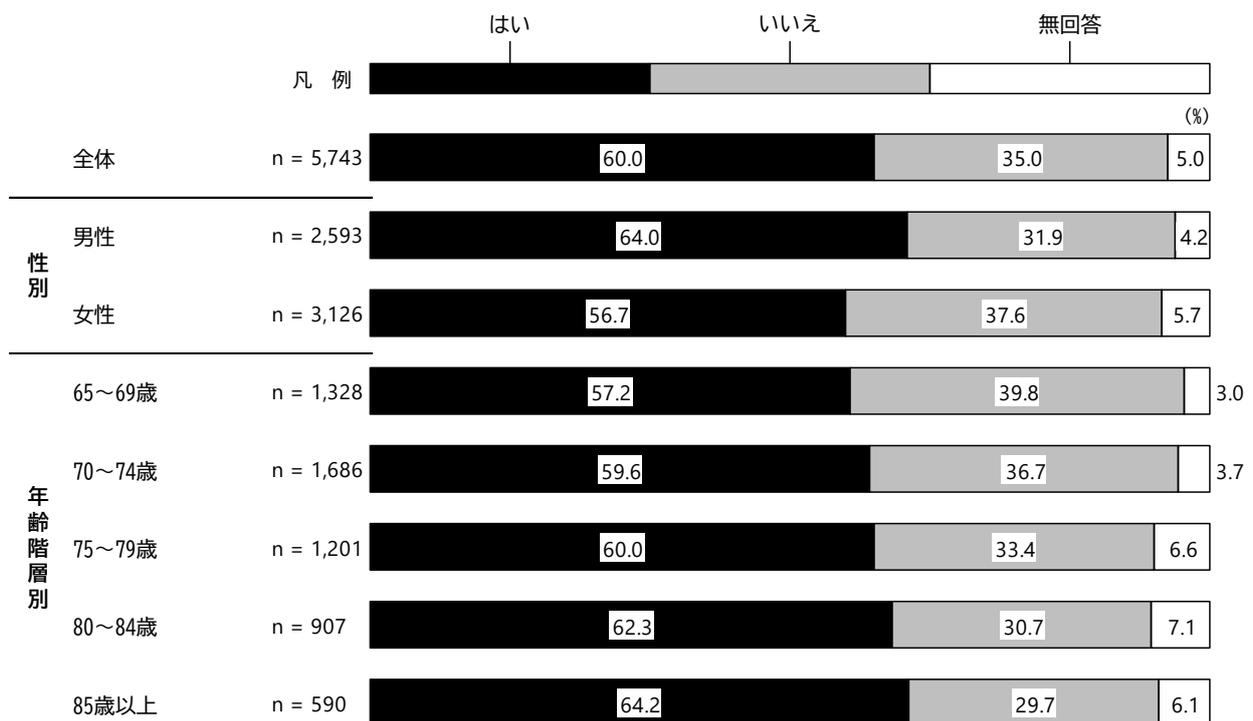
9-3 認知症になった際、自宅で生活を続けたいか

- ▶ 自分が認知症になったら、周りの人に手伝ってもらいながら、自宅で生活を続けたいかについては、「はい」が60.0%、「いいえ」が35.0%となっています。
- ▶ 年齢階層別でみると、「はい」の割合は年齢が上がるにつれ高くなる傾向があります。

問8（3）自分が認知症になったら、周りの人に手伝ってもらいながら、自宅での生活を続けたいですか



【性別・年齢階層別／自分が認知症になったら、自宅で生活を続けたいか】

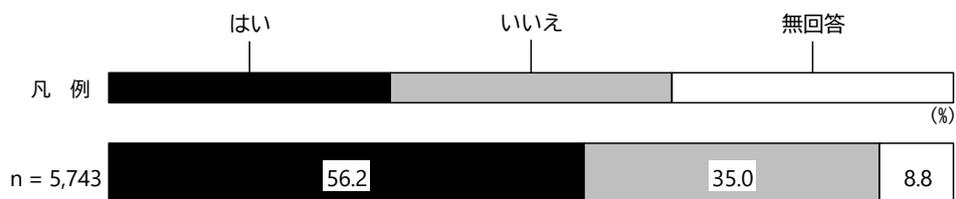


## II 調査結果（ニーズ調査）

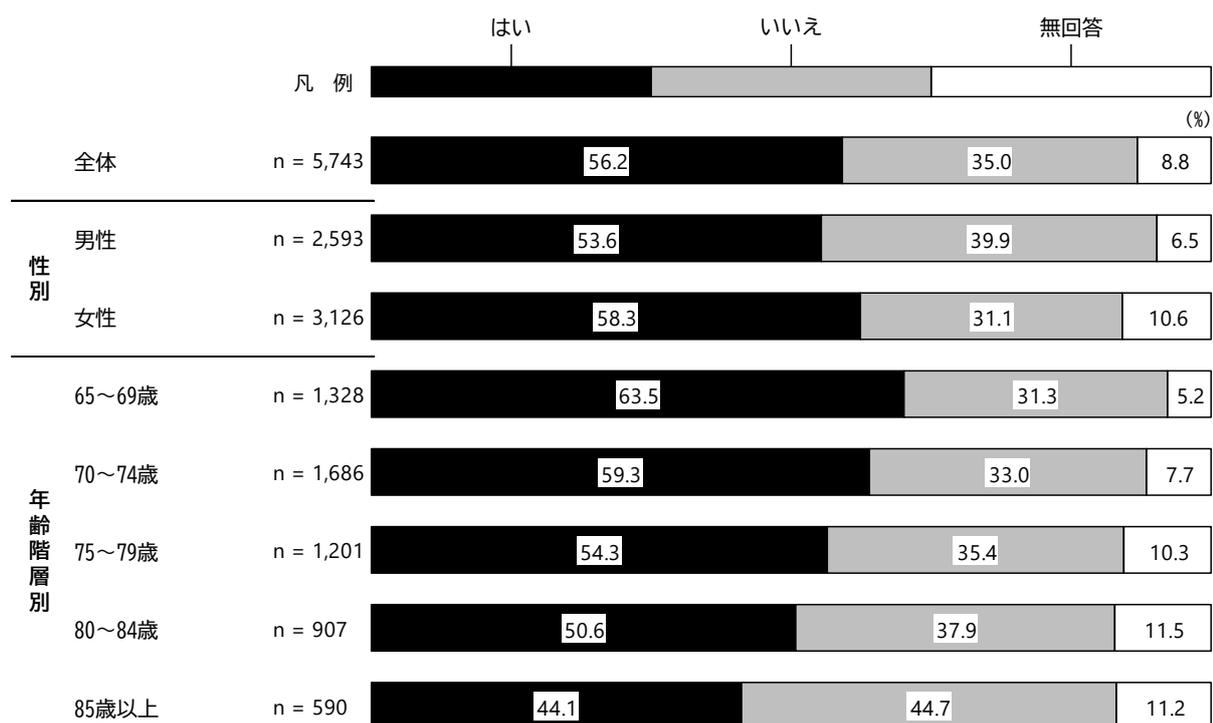
### 9-4 認知症の方も地域活動に役割をもって参加した方が良いと思うか

- ▶ 認知症の方も地域活動に役割をもって参加した方が良いと思うかについては、「はい」が56.2%、「いいえ」が35.0%となっています。
- ▶ 年齢階層別でみると、「いいえ」の割合は年齢が上がるにつれ高くなる傾向があります。

問8（4）認知症の方も地域活動に役割をもって参加した方が良いと思いますか



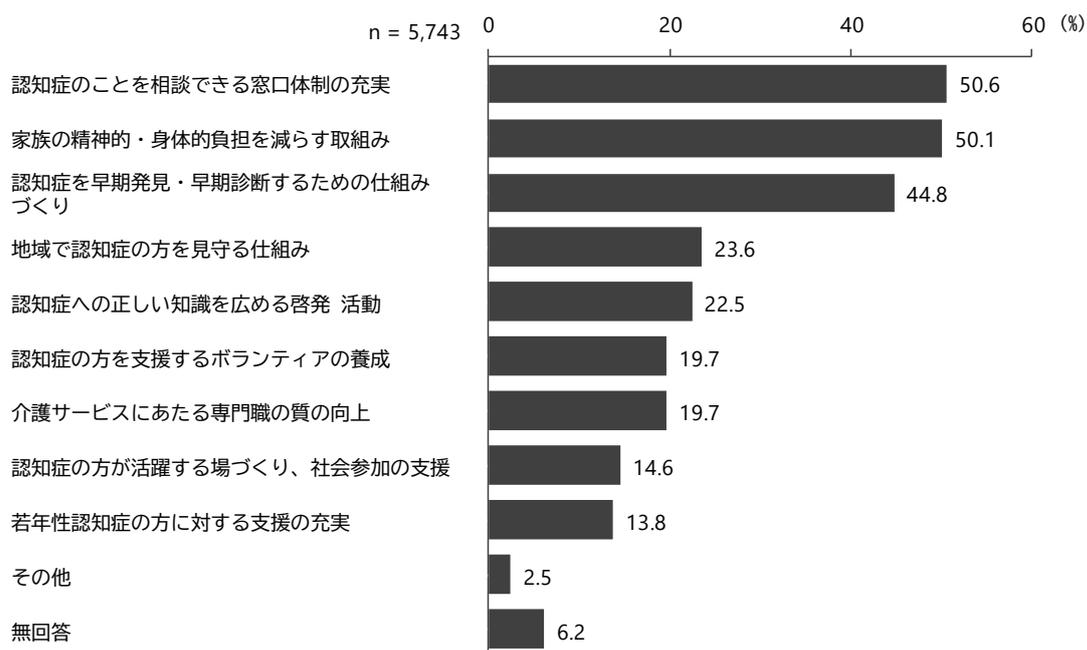
【性別・年齢階層別／認知症の方も地域活動に役割をもって参加した方が良いと思うか】



9-5 認知症の方が地域で暮らしていくために必要な支援

- ▶ 認知症の方が地域で暮らしていくために必要な支援については、「認知症のことを相談できる窓口体制の充実」が50.6%と最も高く、次いで「家族の精神的・身体的負担を減らす取組み」が50.1%となっています。
- ▶ 年齢階層別でみると、65～74歳では「家族の精神的・身体的負担を減らす取組み」、75歳以上では「認知症のことを相談できる窓口体制の充実」の割合が最も高くなっています。

問8（5）認知症の方が地域で暮らしていくために、どのような支援が必要だと思いますか



【性別・年齢階層別／認知症の方が地域で暮らしていくために必要な支援】

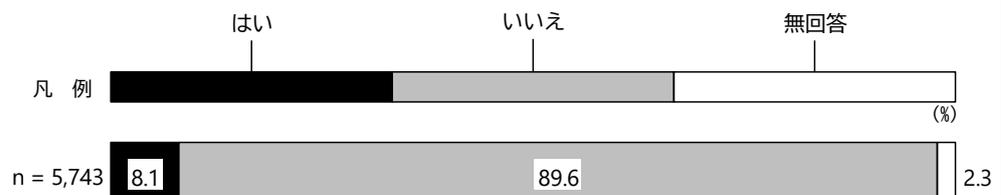
		n	認知症のことを相談できる窓口体制の充実	家族の精神的・身体的負担を減らす取組み	認知症を早期発見・早期診断するための仕組みづくり	地域で認知症の方を見守る仕組み	認知症への正しい知識を広める啓発活動	認知症の方を支援するボランティアの養成	介護サービスにあたる専門職の質の向上	認知症の方の活躍の場づくり、社会参加の支援	若年性認知症の方に対する支援の充実	その他	無回答
全体		5,743	50.6	50.1	44.8	23.6	22.5	19.7	19.7	14.6	13.8	2.5	6.2
性別	男性	2,593	48.2	45.8	44.8	20.1	21.5	16.8	16.4	11.7	11.0	2.6	6.4
	女性	3,126	52.6	53.7	45.0	26.7	23.4	22.3	22.5	17.0	16.2	2.4	5.9
年齢階層別	65～69歳	1,328	50.9	55.6	48.6	24.8	23.0	21.9	23.7	17.0	17.3	2.0	3.1
	70～74歳	1,686	50.8	53.0	46.1	24.5	24.6	20.7	19.9	14.9	14.3	2.7	4.6
	75～79歳	1,201	51.5	47.8	42.7	24.2	24.0	19.5	19.7	15.2	12.4	2.4	6.8
	80～84歳	907	49.2	45.9	42.4	22.7	19.1	17.2	16.3	12.1	12.0	2.1	9.0
	85歳以上	590	50.2	41.2	40.8	19.2	18.0	16.9	15.6	10.2	10.3	3.7	11.2

## 10 いわき市の敬老事業について

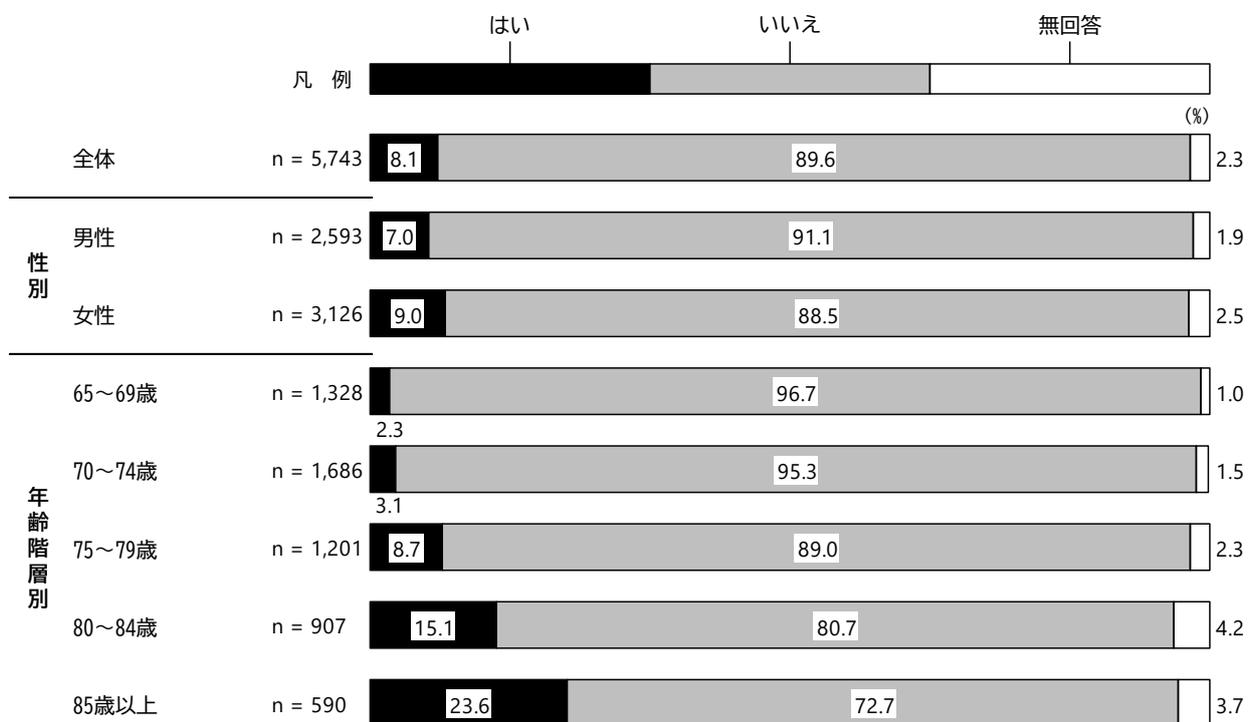
### 10-1 地区敬老会への参加経験の有無

- ▶ 地区敬老会への参加経験の有無については、「はい」が8.1%、「いいえ」が89.6%となっています。
- ▶ 年齢階層別でみると、「はい」の割合は年齢が上がるにつれ高くなる傾向があり、85歳以上では23.6%となっています。

問9（1）あなたは地区敬老会に参加したことはありますか



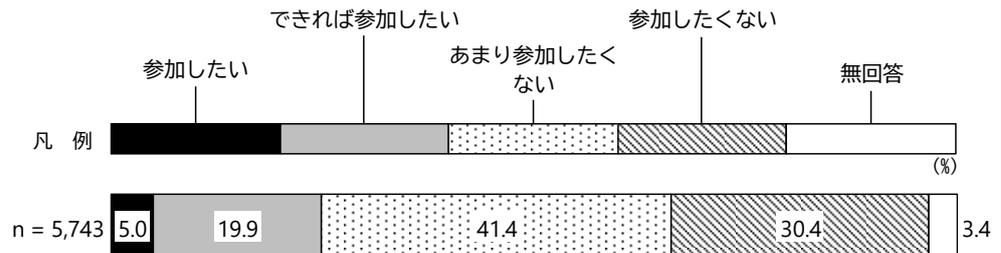
【性別・年齢階層別／地区敬老会に参加したことがあるか】



10-2 地区敬老会への参加意向

- ▶ 地区敬老会への参加意向については、「あまり参加したくない」が41.4%と最も高く、次いで「参加したくない」が30.4%となっています。
- ▶ 「参加したい」(5.0%)と「できれば参加したい」(19.9%)を合わせた《参加したい》は24.9%となっており、「参加したくない」(30.4%)と「あまり参加したくない」(41.4%)を合わせた《参加したくない》は71.8%となっています。

問9（2）今後、地区敬老会に参加したいと思いますか



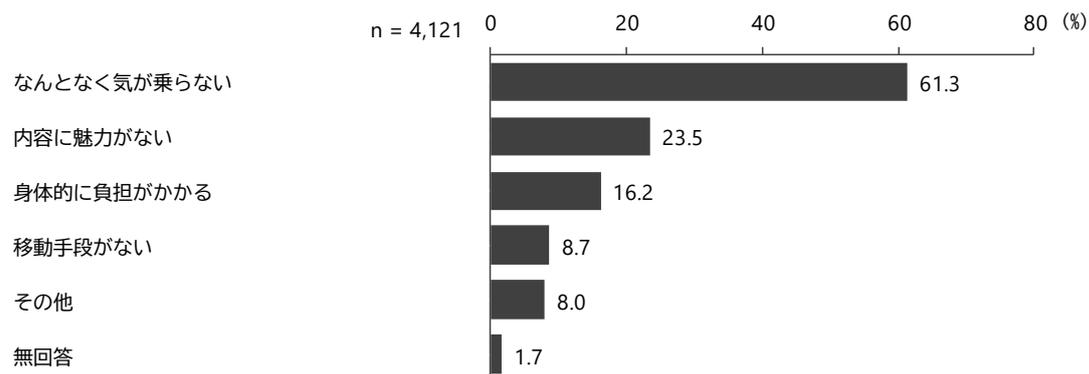
## II 調査結果（ニーズ調査）

### 10-3 地区敬老会に参加したくない理由

- ▶ 地区敬老会に参加したくない理由については、「なんとなく気が乗らない」が61.3%と最も高く、次いで「内容に魅力がない」が23.5%となっています。
- ▶ 年齢階層別でみると、85歳以上では「身体的に負担がかかる」が37.6%と他の年代と比べ10ポイント以上高くなっています。

【(2)で「あまり参加したくない」または「参加したくない」の方のみ】

参加したくない理由を教えてください（いくつでも）



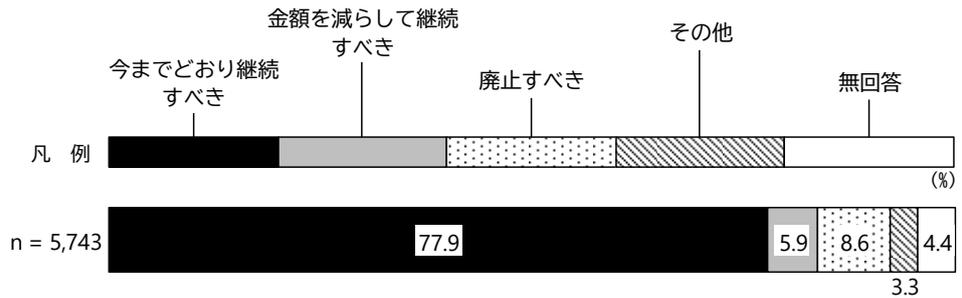
【性別・年齢階層別／地区敬老会に参加したくない理由】

		n	なんとなく気が乗らない	内容に魅力がない	身体的に負担がかかる	移動手段がない	その他	無回答
全体		4,121	61.3	23.5	16.2	8.7	8.0	1.7
性別	男性	1,880	62.3	26.4	13.3	3.9	8.1	1.9
	女性	2,225	60.5	21.1	18.5	12.6	8.0	1.6
年齢階層別	65～69歳	1,045	60.8	30.1	9.3	3.8	10.0	1.2
	70～74歳	1,254	65.6	26.9	12.0	6.3	7.8	1.2
	75～79歳	831	63.2	21.2	15.3	9.4	8.7	1.6
	80～84歳	587	58.8	16.2	24.4	16.0	5.1	2.6
	85歳以上	386	49.7	10.4	37.6	16.8	6.5	3.9

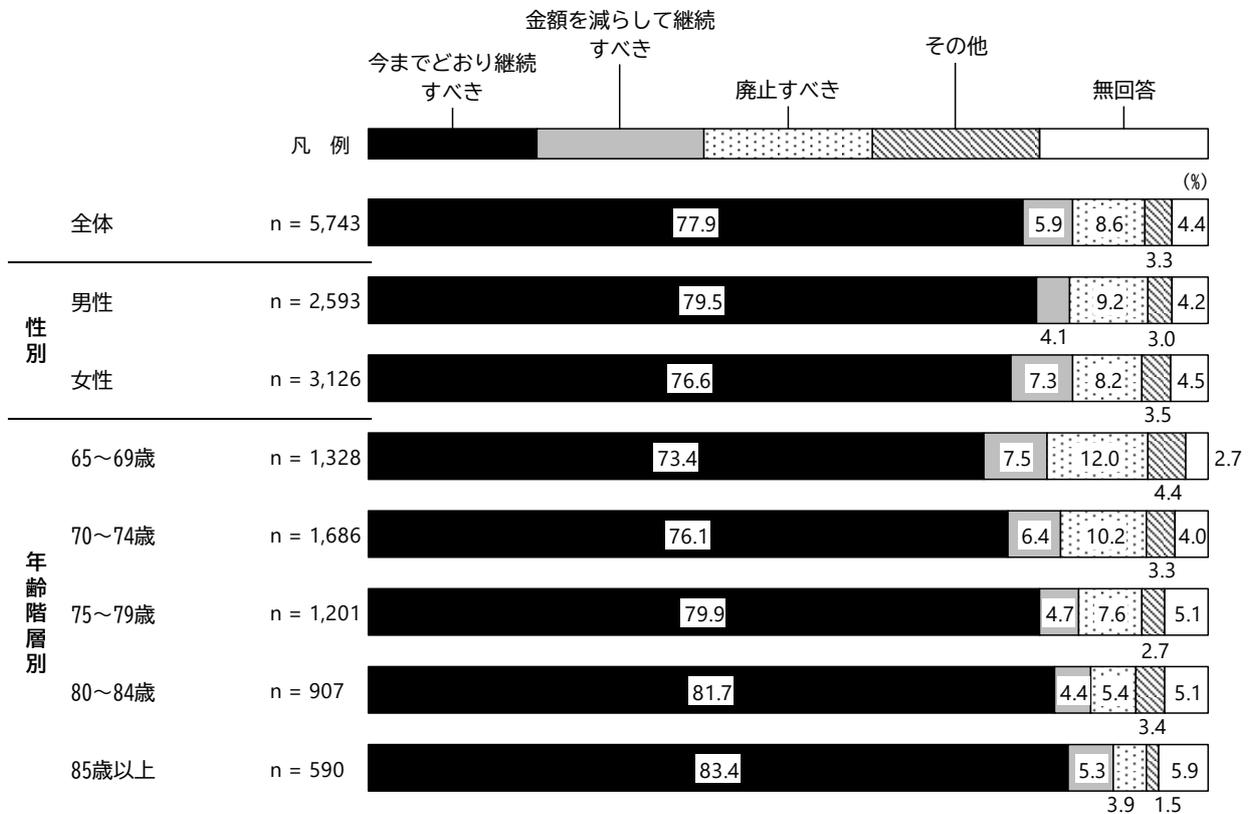
10-4 敬老祝金の継続について

- ▶ 敬老祝金の継続については、「今までどおり継続すべき」が77.9%と最も高く、次いで「廃止すべき」が8.6%となっています。
- ▶ 年齢階層別で見ると、「今までどおり継続すべき」の割合は年齢が上がるにつれ高くなる傾向があり、85歳以上では83.4%となっています。

問9（3）いわき市では88歳の方と100歳の方に敬老祝金を支給していますが、継続すべきだと思いますか〔88歳：5万円、100歳：20万円〕



【性別・年齢階層別／敬老祝金の継続について】



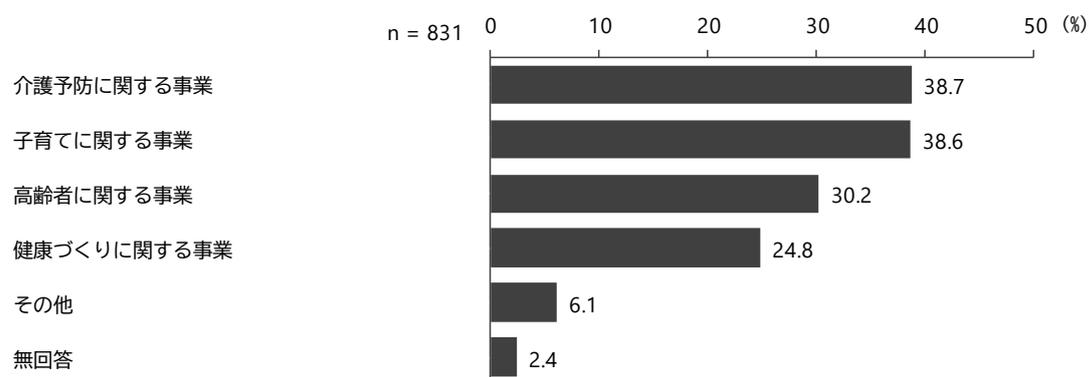
## II 調査結果（ニーズ調査）

### 10-5 敬老祝金を縮小・廃止した場合、代わりに充実すべき事業

- ▶ 敬老祝金を縮小・廃止した場合、代わりに充実すべき事業については、「介護予防に関する事業」が 38.7%と最も高く、次いで「子育てに関する事業」が 38.6%となっています。
- ▶ 女性では「介護予防に関する事業」が 43.3%と、男性に比べ 10 ポイント以上高くなっています。

#### 【(3) で「金額を減らして継続すべき」または「廃止すべき」の方のみ】

敬老祝金を縮小または廃止した場合、その代わりにどのような事業を充実すべきだと思いますか（いくつでも）



#### 【性別・年齢階層別／敬老祝金を縮小・廃止した場合、代わりに充実すべき事業】

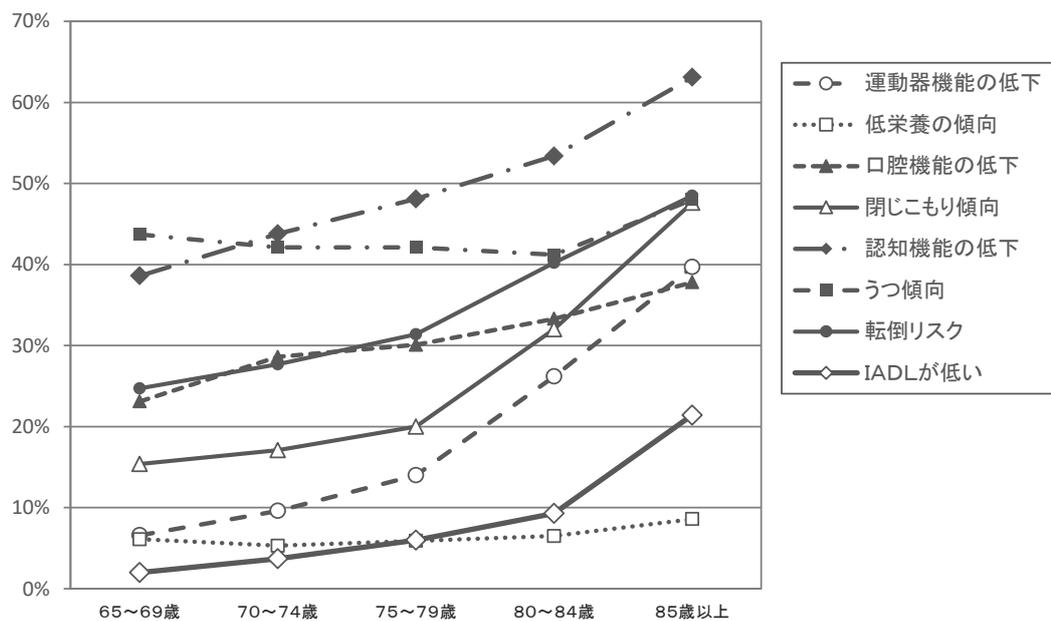
		n	介護予防に関する事業	子育てに関する事業	高齢者に関する事業	健康づくりに関する事業	その他	無回答
全体		831	38.7	38.6	30.2	24.8	6.1	2.4
性別	男性	345	32.8	42.3	24.3	23.8	5.5	3.8
	女性	483	43.3	36.0	34.4	25.5	6.6	1.4
年齢階層別	65～69歳	259	36.3	41.7	31.3	22.4	7.7	2.7
	70～74歳	280	37.9	38.6	31.4	31.8	2.9	1.4
	75～79歳	147	43.5	33.3	27.9	18.4	10.2	4.1
	80～84歳	89	41.6	38.2	27.0	21.3	7.9	1.1
	85歳以上	54	38.9	38.9	31.5	22.2	1.9	3.7

# 11 要介護リスクについて

- ▶ アンケート結果から、生活機能の評価項目ごとの該当者（リスク者）を算出しています。
- ▶ 年齢階層別で見ると、「うつ傾向」と「低栄養の傾向」以外は年齢が上がるにつれてリスクが高くなっていく傾向があります。
- ▶ 圏域別で見ると、市全体と同様に「うつ傾向」と「認知機能の低下」のリスクが各圏域で高くなっています。

全体・年齢階層別該当者割合 (%)

	全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
運動器機能の低下	15.4	6.6	9.6	14.0	26.2	39.7
低栄養の傾向	6.2	6.1	5.3	5.9	6.5	8.6
口腔機能の低下	29.3	23.1	28.6	30.1	33.3	37.8
閉じこもり傾向	22.8	15.4	17.1	20.0	32.0	47.6
認知機能の低下	46.9	38.6	43.8	48.1	53.4	63.1
うつ傾向	42.9	43.7	42.1	42.1	41.2	48.0
転倒リスク	31.9	24.7	27.7	31.4	40.2	48.5
IADLが低い	6.5	2.0	3.7	6.0	9.3	21.4



## II 調査結果（ニーズ調査）

圏域別該当者割合(1)

(%)

	平市街地	平北部	平東部	平南部	小名浜市街地・東部	小名浜西部	小名浜北部
運動器機能の低下	14.4	10.9	17.0	10.0	17.9	20.5	15.7
低栄養の傾向	6.7	6.6	5.7	3.5	6.8	9.4	7.2
口腔機能の低下	28.6	28.5	31.8	25.8	30.8	29.8	30.2
閉じこもり傾向	18.4	25.0	26.6	16.4	21.3	22.5	17.4
認知機能の低下	46.6	47.3	52.3	42.7	45.6	45.9	43.8
うつ傾向	43.9	41.4	41.8	41.9	42.8	50.3	43.0
転倒リスク	32.4	25.4	33.9	26.4	32.7	38.3	29.8
IADLが低い	5.8	5.1	8.0	5.1	7.3	5.8	5.5

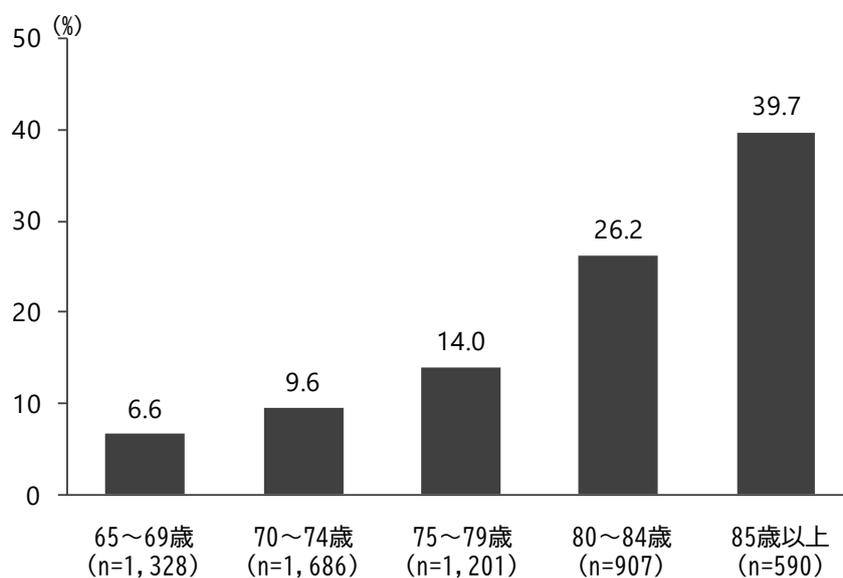
圏域別該当者割合(2)

(%)

	勿来中部・南部	勿来北部・田人	常磐・遠野	内郷	好間・三和	四倉・久之浜大久	小川・川前
運動器機能の低下	17.7	16.3	13.7	19.1	15.6	13.3	14.6
低栄養の傾向	6.7	6.4	6.4	6.0	6.7	4.4	3.4
口腔機能の低下	32.3	28.1	27.1	29.8	30.0	27.6	31.5
閉じこもり傾向	20.8	26.2	24.3	23.9	27.8	24.3	29.8
認知機能の低下	51.1	47.7	44.5	50.1	45.9	44.8	50.6
うつ傾向	43.1	45.3	43.9	44.2	42.6	34.3	39.3
転倒リスク	33.6	34.3	30.4	34.1	30.0	30.7	33.7
IADLが低い	6.5	7.9	6.8	7.2	5.2	5.8	6.7

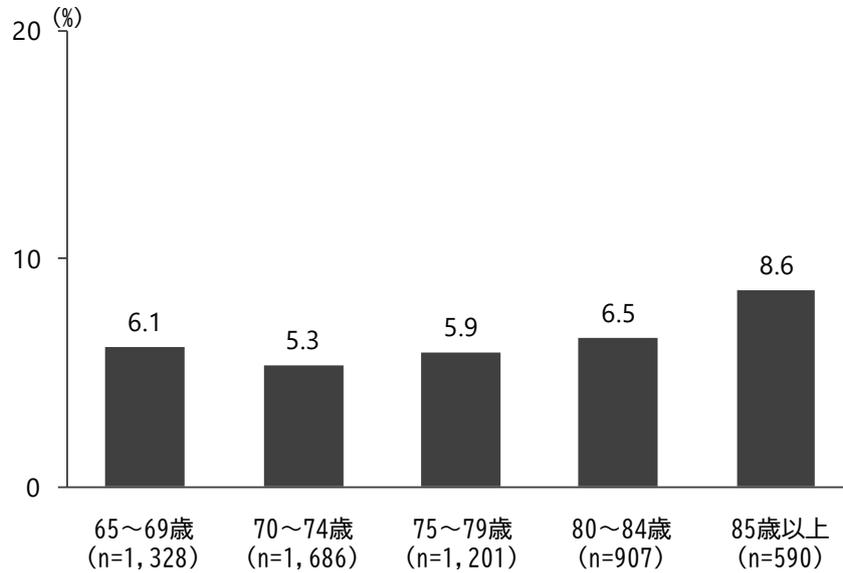
### 11-1 運動器機能の低下

- ▶ 年齢階層別で見ると、年齢が上がるにつれて運動器機能の低下が疑われる回答者の割合が高くなる傾向があります。



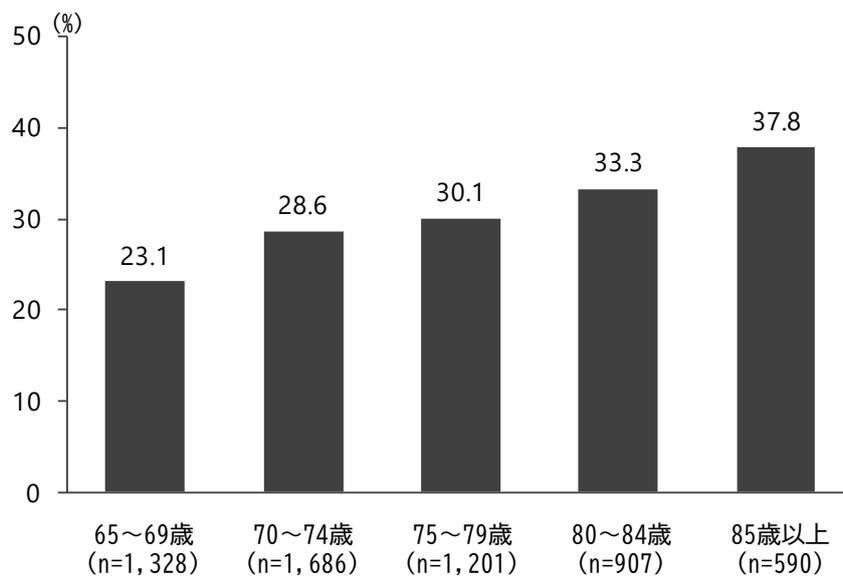
## 11-2 低栄養の傾向

- ▶ 年齢階層別で見ると、低栄養状態にあると疑われる回答者の割合は概ね横ばいとなっていますが、85歳以上で8.6%と最も高くなっています。



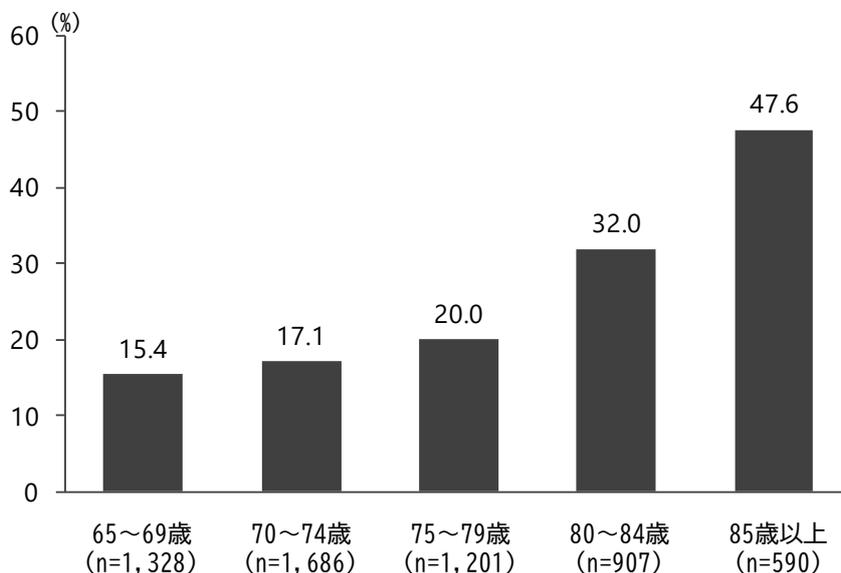
## 11-3 口腔機能の低下

- ▶ 年齢階層別で見ると、年齢が上がるにつれて口腔機能の低下が疑われる回答者の割合が高くなる傾向があります。



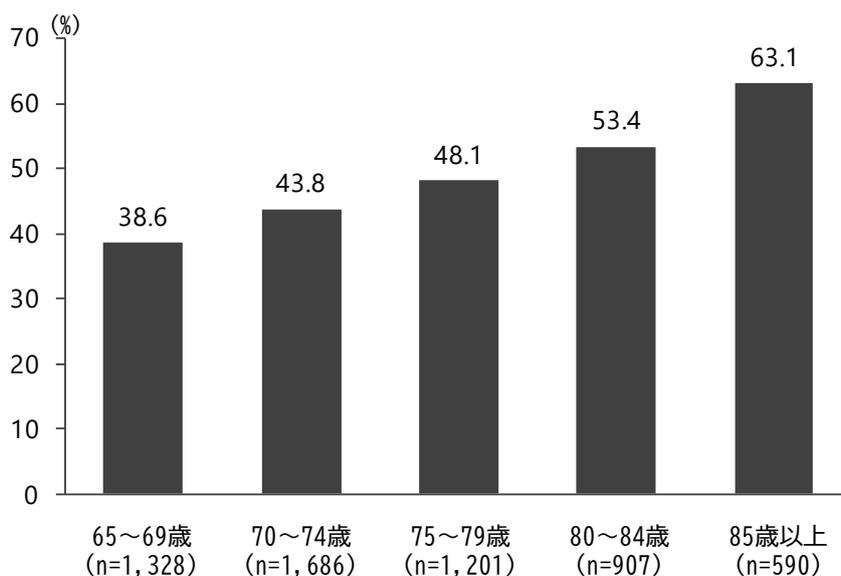
### 11-4 閉じこもり傾向

- ▶ 年齢階層別で見ると、年齢が上がるにつれて閉じこもり傾向にあると疑われる回答者の割合が高くなる傾向があります。



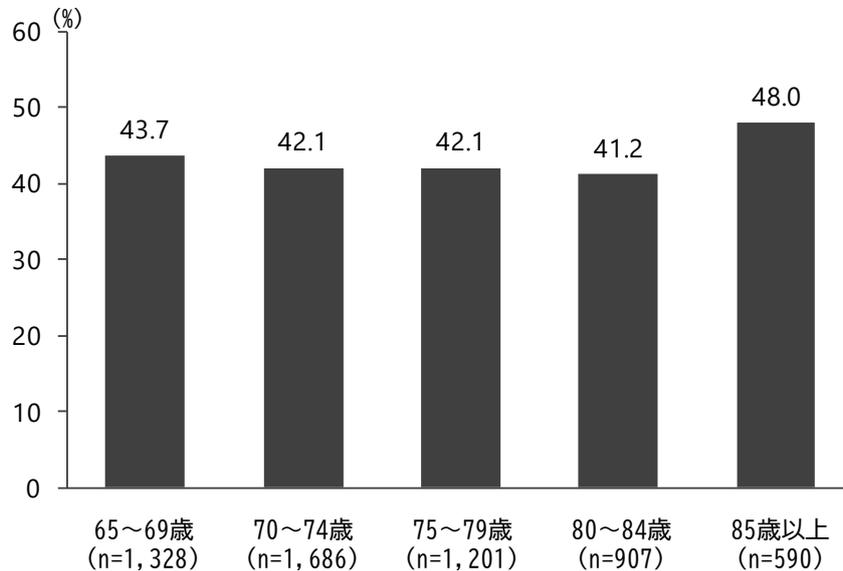
### 11-5 認知機能の低下

- ▶ 年齢階層別で見ると、年齢が上がるにつれて認知機能の低下が疑われる回答者の割合が高くなる傾向があります。



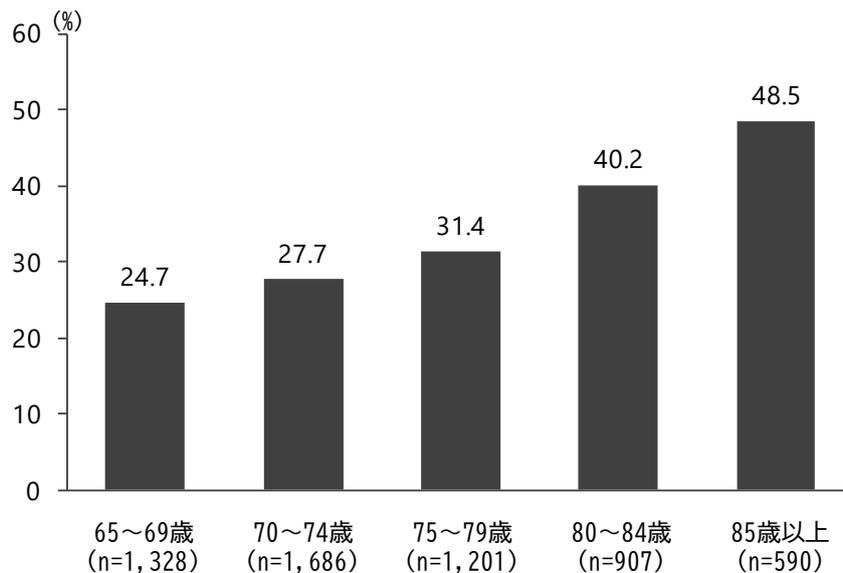
### 11-6 うつ傾向

▶ 年齢階層別で見るとうつ傾向にあると疑われる回答者の割合は概ね横ばいとなっていますが、85歳以上で48.0%と最も高くなっています。



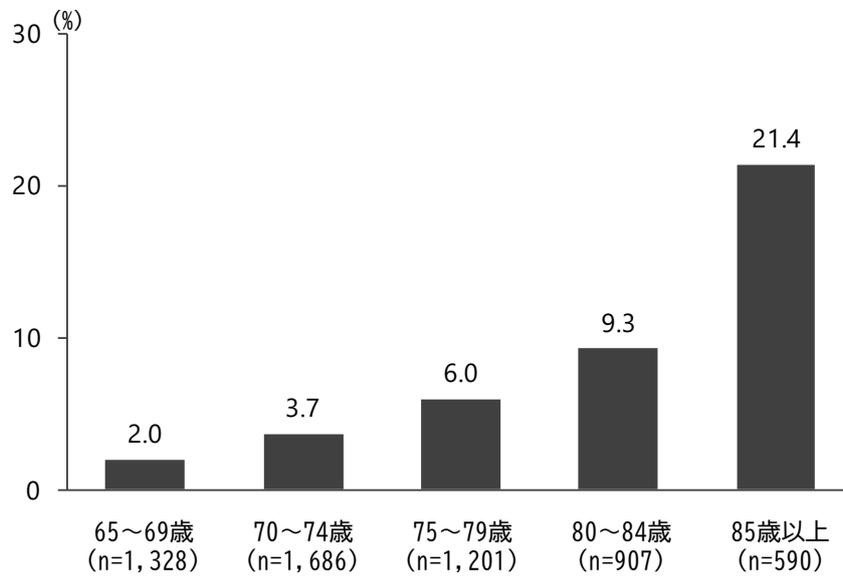
### 11-7 転倒リスク

▶ 年齢階層別で見ると、年齢が上がるにつれて転倒リスクがあると疑われる回答者の割合が高くなる傾向があります。



### 11-8 IADL（手段的自立度）

- ▶ 年齢階層別で見ると、年齢が上がるにつれてIADLの機能レベルが低いと疑われる回答者の割合が高くなる傾向があります。

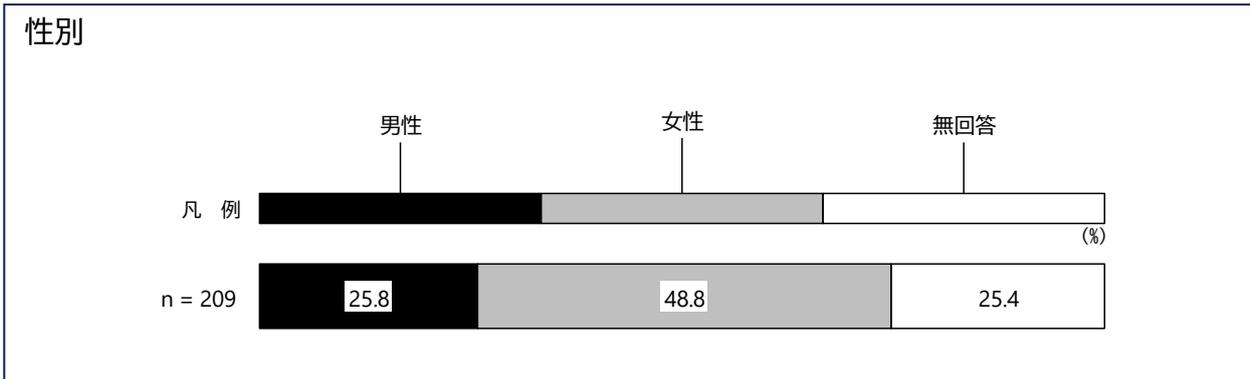


# Ⅲ 調査結果（在宅介護実態調査）

## 1 対象者の属性

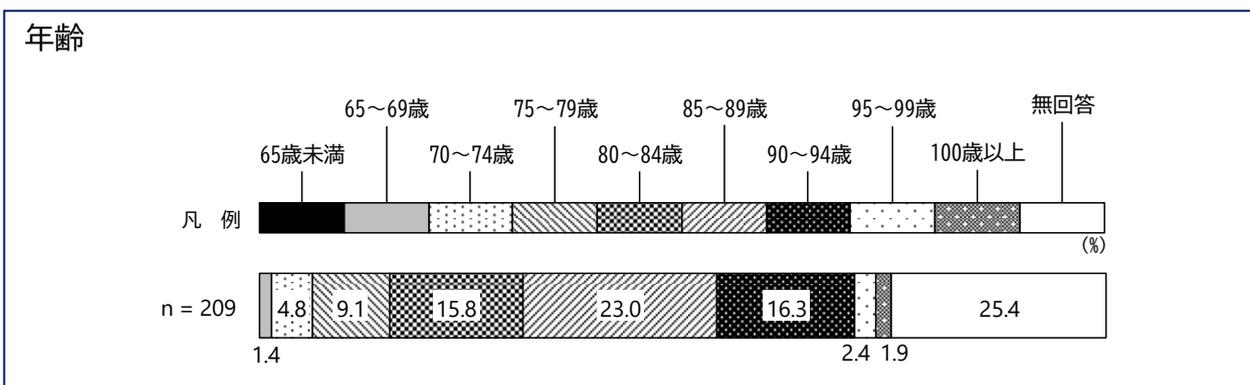
### 1-1 対象者の性別

▶ 対象者の性別については、「男性」が25.8%、「女性」が48.8%となっています。



### 1-2 対象者の年齢

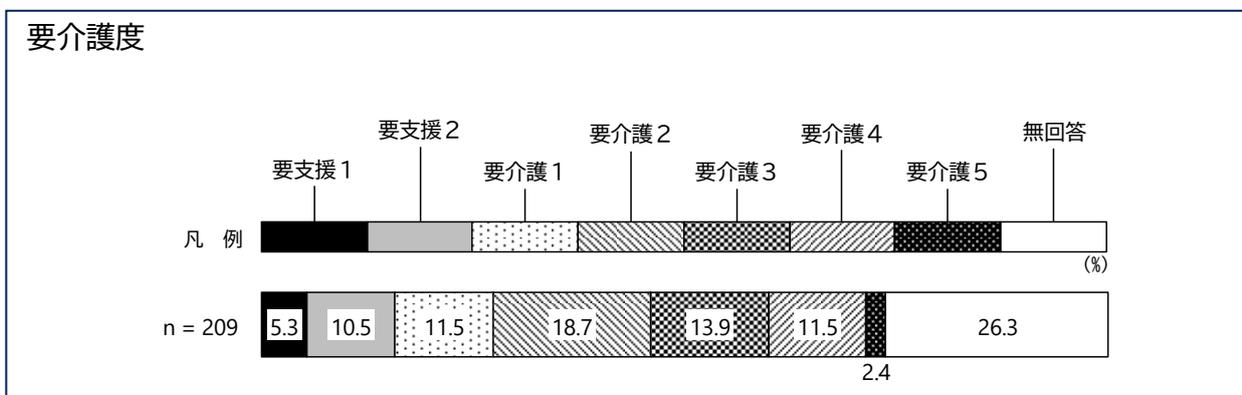
▶ 対象者の年齢については、「75～79歳」が23.0%と最も高く、次いで「90～94歳」が16.3%となっています。



### Ⅲ 調査結果（在宅介護実態調査）

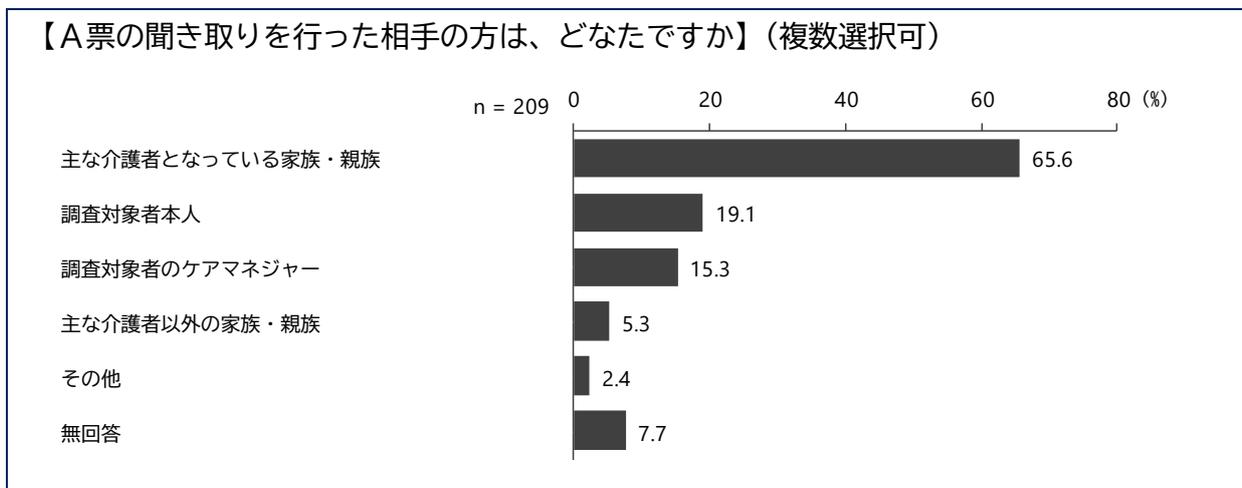
#### 1-3 要介護度

- ▶ 対象者の要介護度については、「要介護2」が18.7%と最も高く、次いで「要介護3」が13.9%となっています。



#### 1-4 調査票の回答者

- ▶ 調査票の回答者については、「主な介護者となっている家族・親族」が65.6%と最も高く、次いで「調査対象者本人」が19.1%となっています。

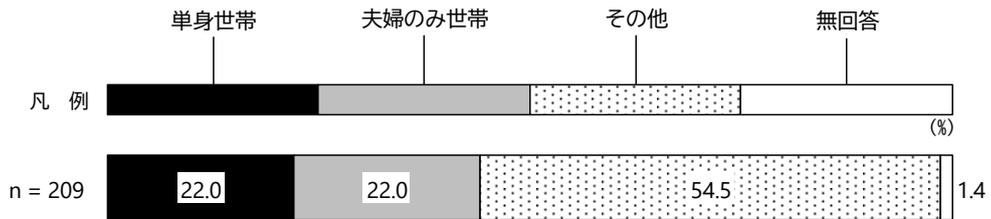


## 2 基本調査項目（A票）

### 2-1 世帯類型

▶ 世帯類型については、「単身世帯」と「夫婦のみ世帯」が22.0%となっています。

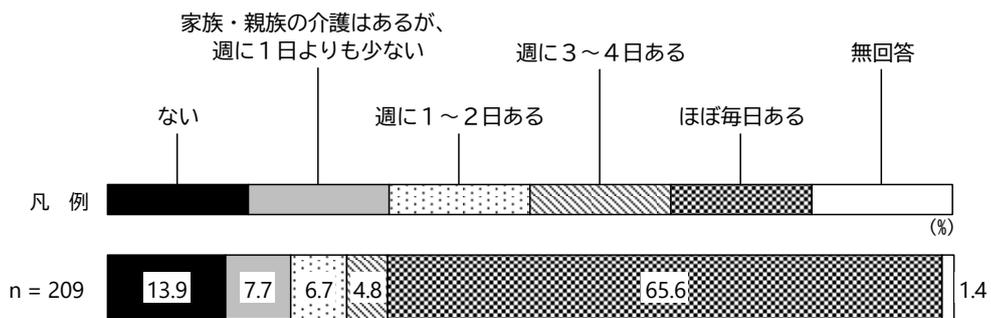
問1 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）



### 2-2 家族等による介護の頻度

▶ 家族等による介護の頻度については、「ほぼ毎日ある」が65.6%と最も高く、次いで「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」が7.7%となっています。

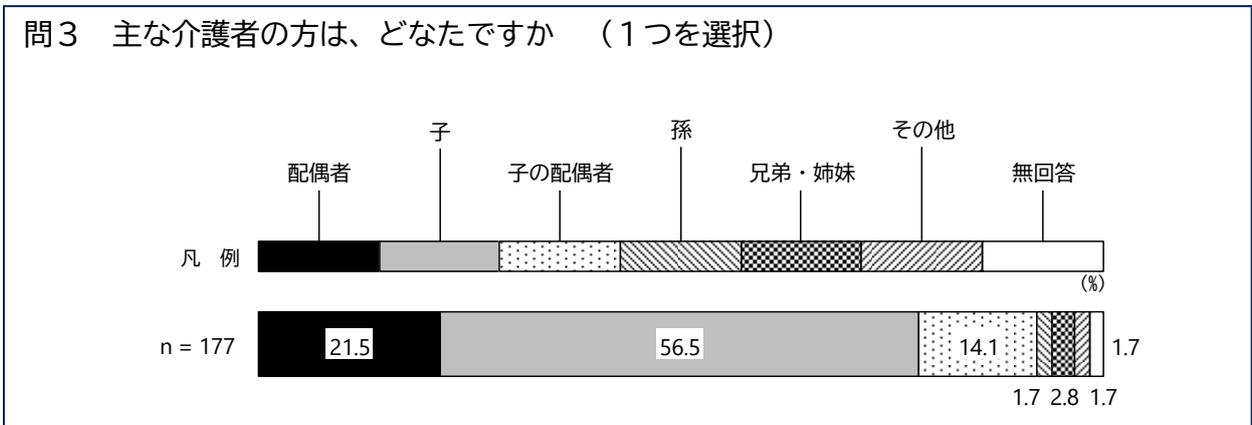
問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか  
（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）



### Ⅲ 調査結果（在宅介護実態調査）

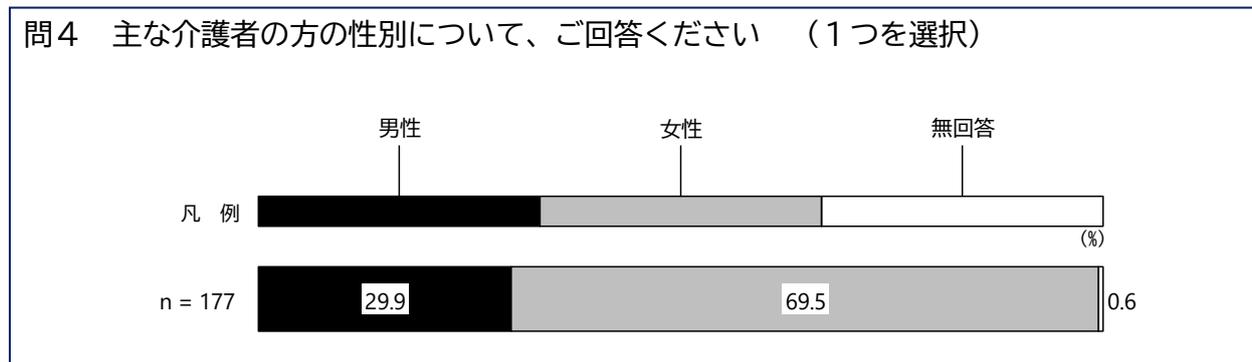
#### 2-3 主な介護者の本人との関係

- ▶ 主な介護者の本人との関係については、「子」が56.5%と最も高く、次いで「配偶者」が21.5%となっています。



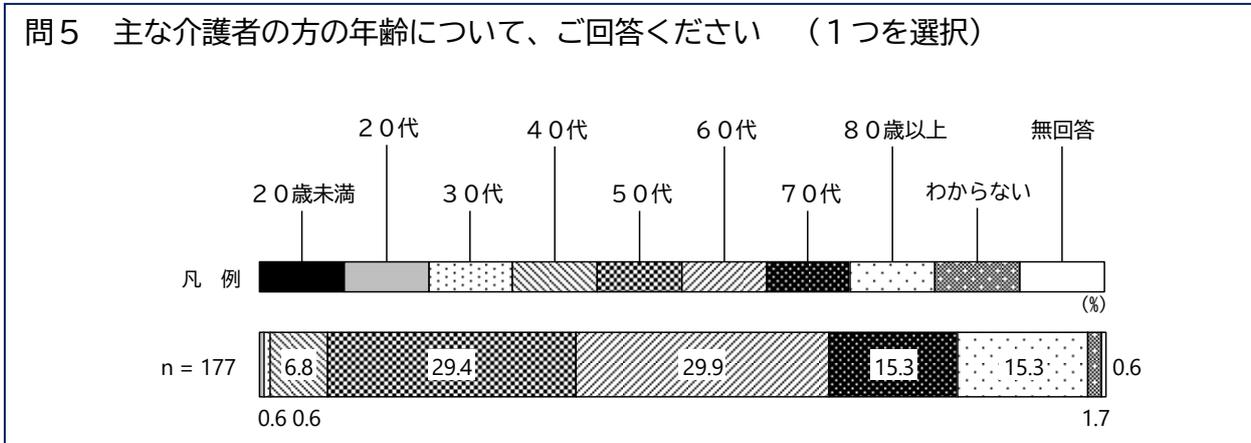
#### 2-4 主な介護者の性別

- ▶ 主な介護者の性別については、「男性」が29.9%、「女性」が69.5%となっています。



2-5 主な介護者の年齢

- ▶ 主な介護者の年齢については、「60代」が29.9%と最も高く、次いで「50代」が29.4%となっています。

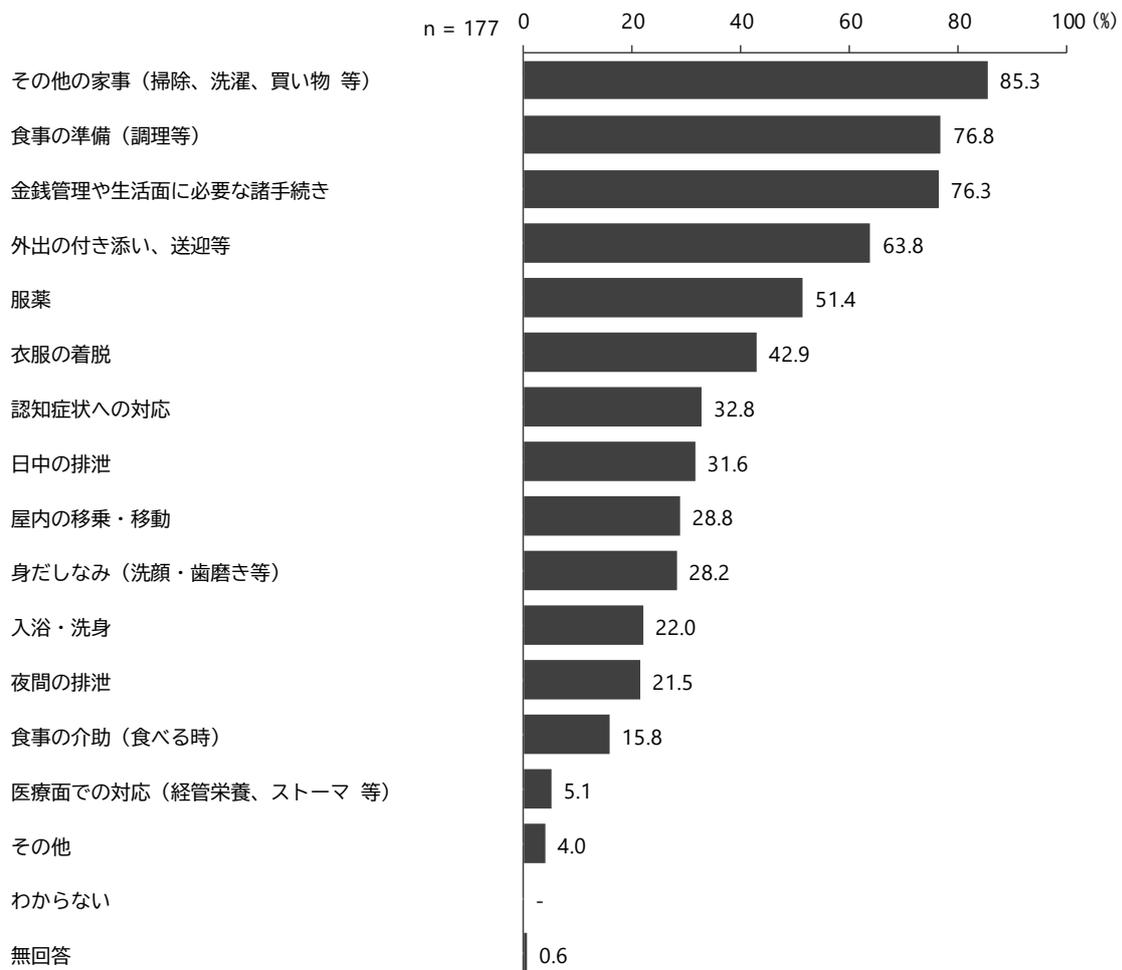


### Ⅲ 調査結果（在宅介護実態調査）

#### 2-6 主な介護者が行っている介護

- ▶ 主な介護者が行っている介護については、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が 85.3%と最も高く、次いで「食事の準備（調理等）」が 76.8%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 76.3%となっています。

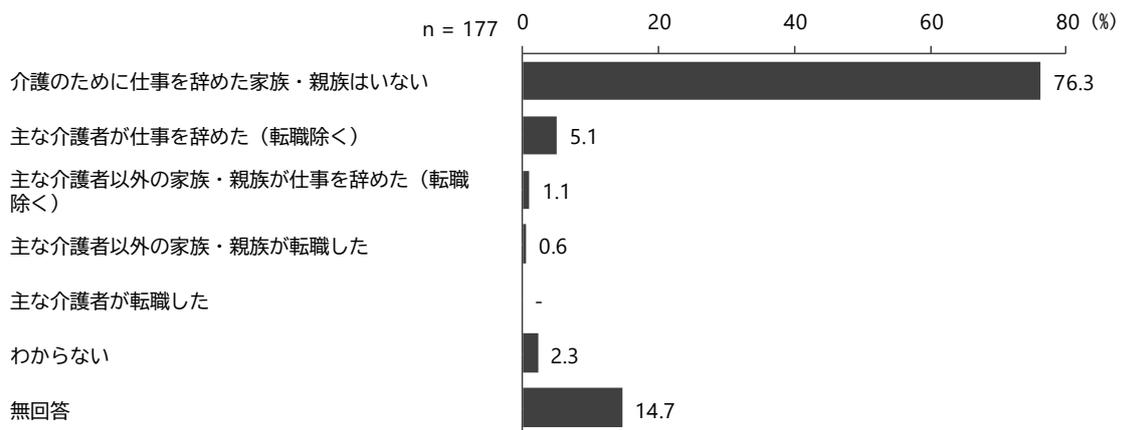
問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（複数選択可）



## 2-7 介護のための離職の有無

- ▶ 介護のための離職の有無については、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が76.3%と最も高くなっています。「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」（5.1%）と「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職を除く）」（1.1%）を合わせた《離職した方がいる》は6.2%となっています。

問7 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）

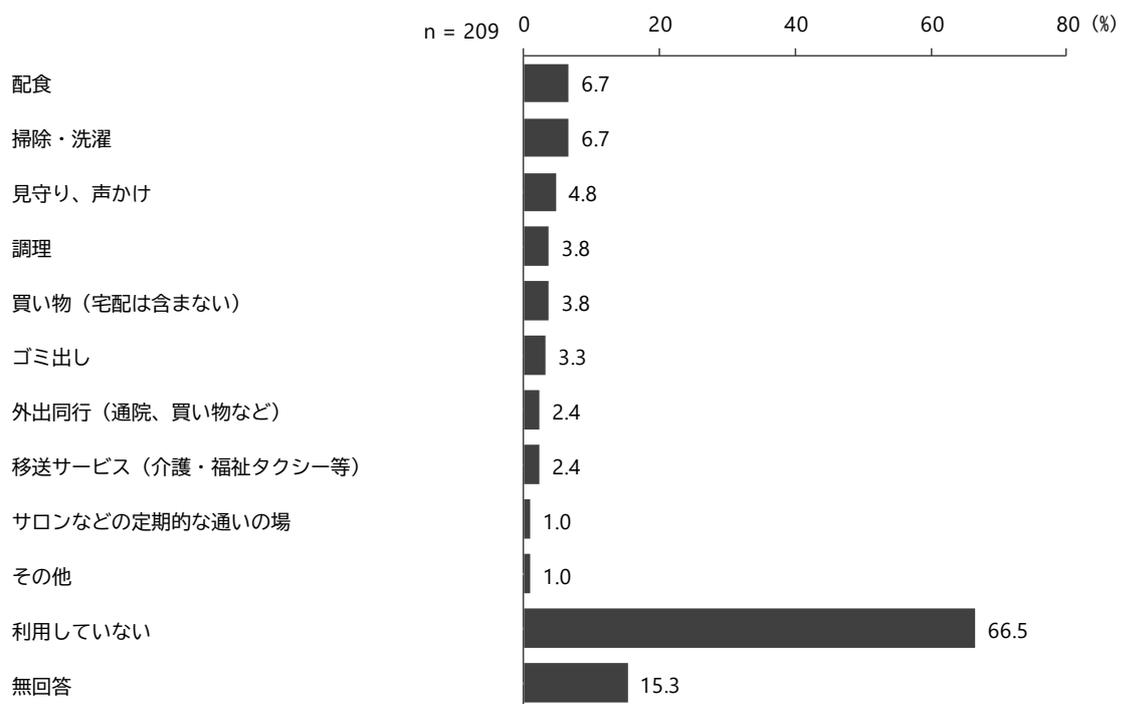


### Ⅲ 調査結果（在宅介護実態調査）

#### 2-8 保険外の支援・サービスの利用状況

- ▶ 保険外の支援・サービスの利用状況については、「配食」と「掃除・洗濯」が6.7%と最も高くなっています。一方、「利用していない」が66.5%となっています。

問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（複数選択可）

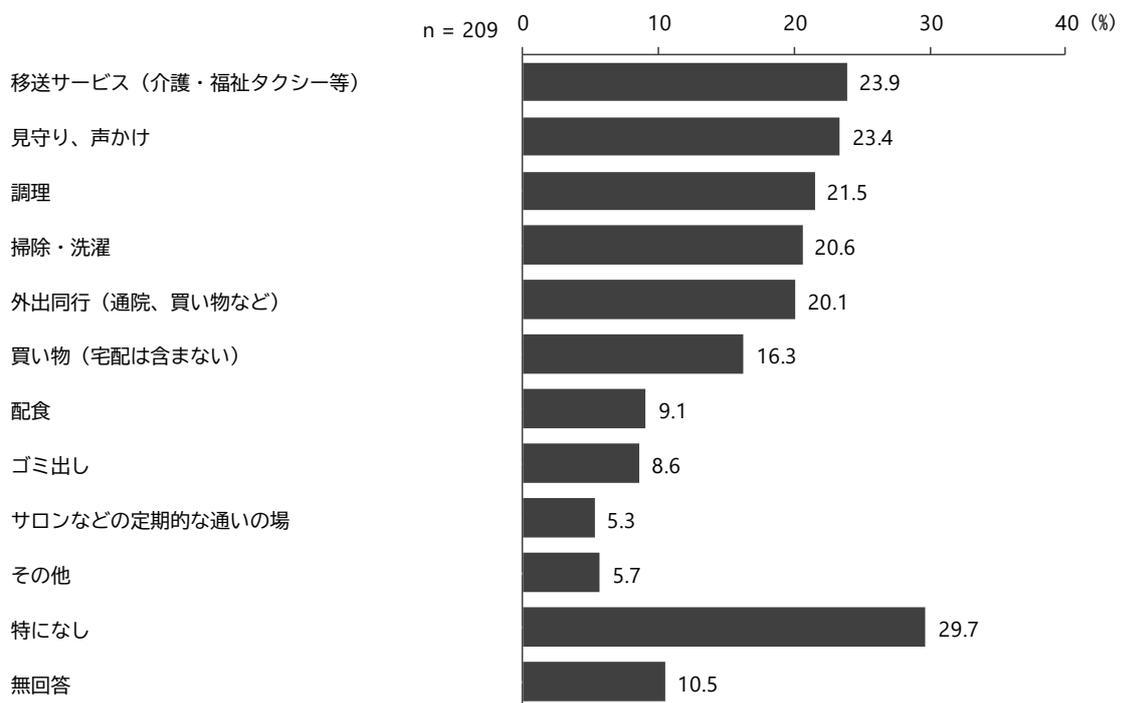


2-9 在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス

- ▶ 在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービスについては、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が23.9%と最も高く、次いで「見守り、声かけ」が23.4%となっています。一方、「特になし」が29.7%となっています。

問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください

（複数選択可）

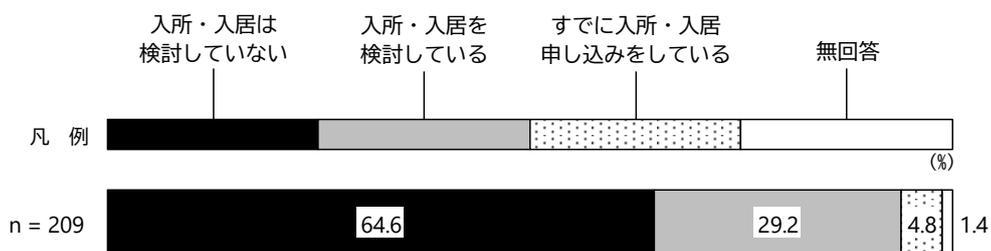


### Ⅲ 調査結果（在宅介護実態調査）

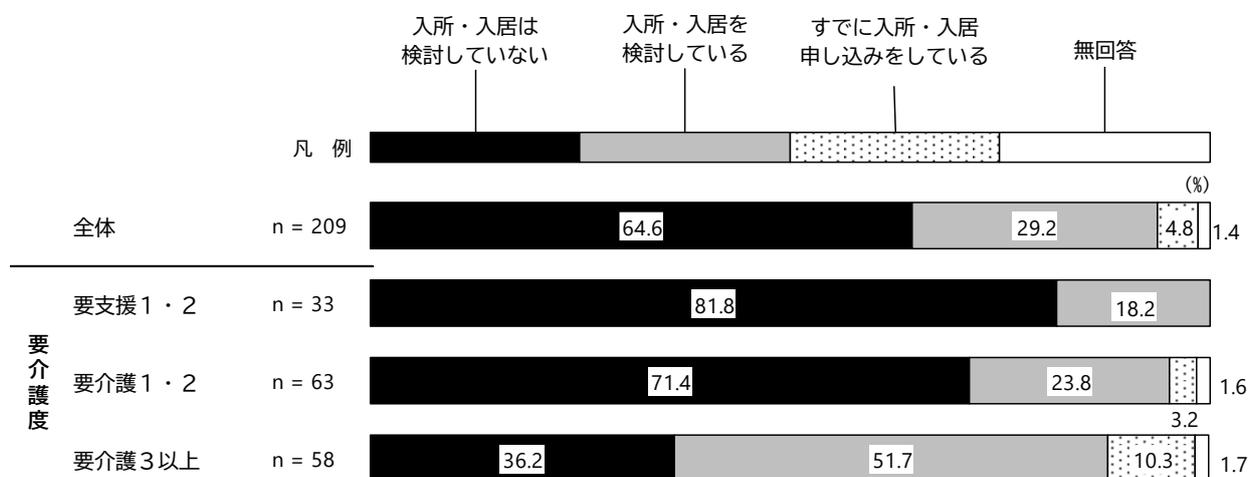
#### 2-10 施設等検討の状況

- ▶ 施設等検討の状況については、「入所・入居は検討していない」が64.6%と最も高く、次いで「入所・入居を検討している」が29.2%、「すでに入所、入居申し込みをしている」が4.8%となっています。
- ▶ 要介護度別にみると、「入所・入居を検討している」、「すでに入所、入居申し込みをしている」の割合は要介護度が上がるにつれ高くなる傾向があります。

問 10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください  
(1つを選択)



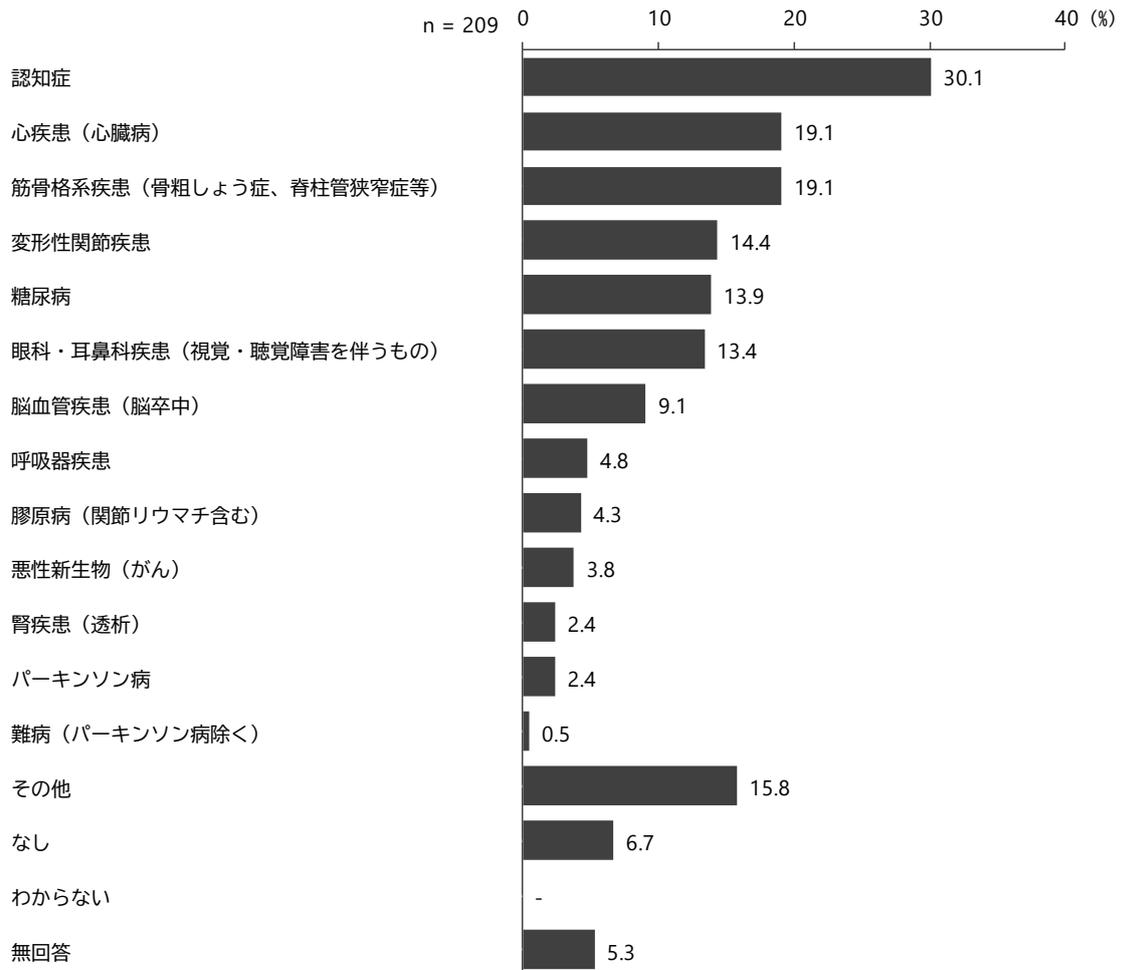
#### 【要介護度別／施設等検討の状況】



## 2-11 本人が抱えている傷病

- ▶ 本人が抱えている傷病については、「認知症」が30.1%と最も高く、次いで「心疾患（心臓病）」と「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」がともに19.1%となっています。

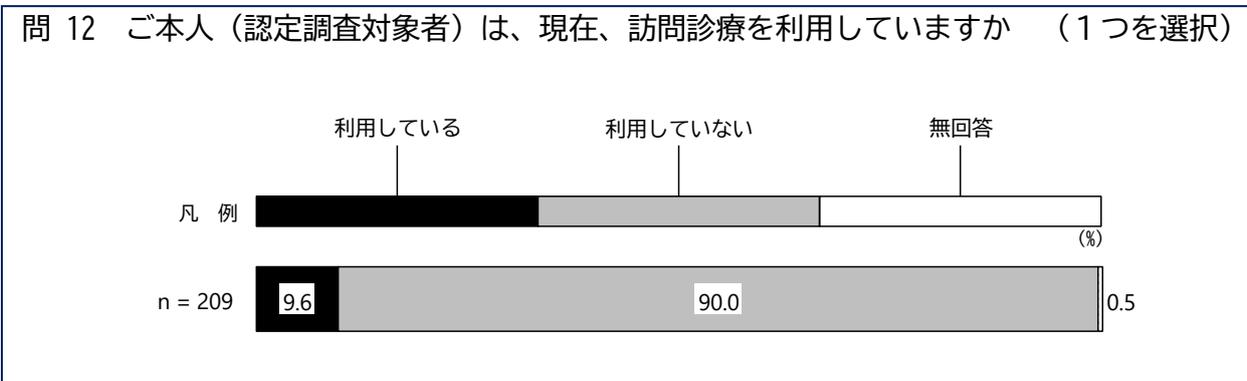
問 11 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください  
（複数選択可）



### Ⅲ 調査結果（在宅介護実態調査）

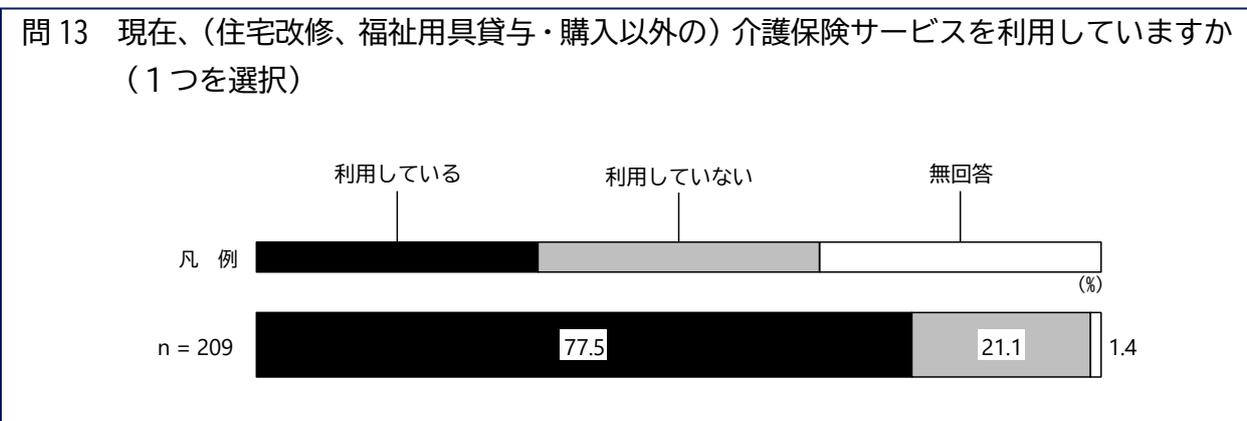
#### 2-12 訪問診療の利用の有無

- ▶ 訪問診療の利用の有無については、「利用している」が 9.6%、「利用していない」が 90.0%となっています。

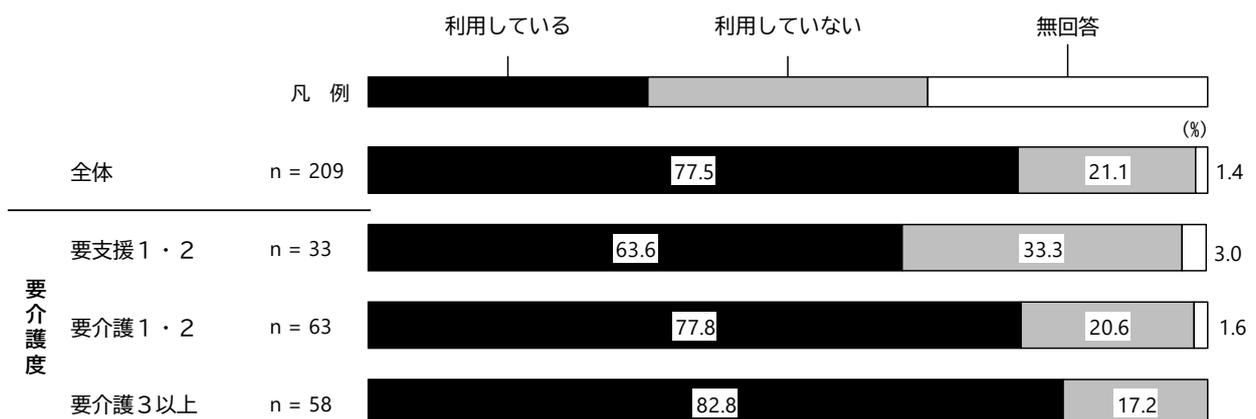


#### 2-13 介護保険サービスの利用の有無

- ▶ 介護保険サービスの利用の有無については、「利用している」が 77.5%、「利用していない」が 21.1%となっています。
- ▶ 要介護度別にみると、「利用している」の割合は要介護度が上がるにつれ高くなる傾向があります。



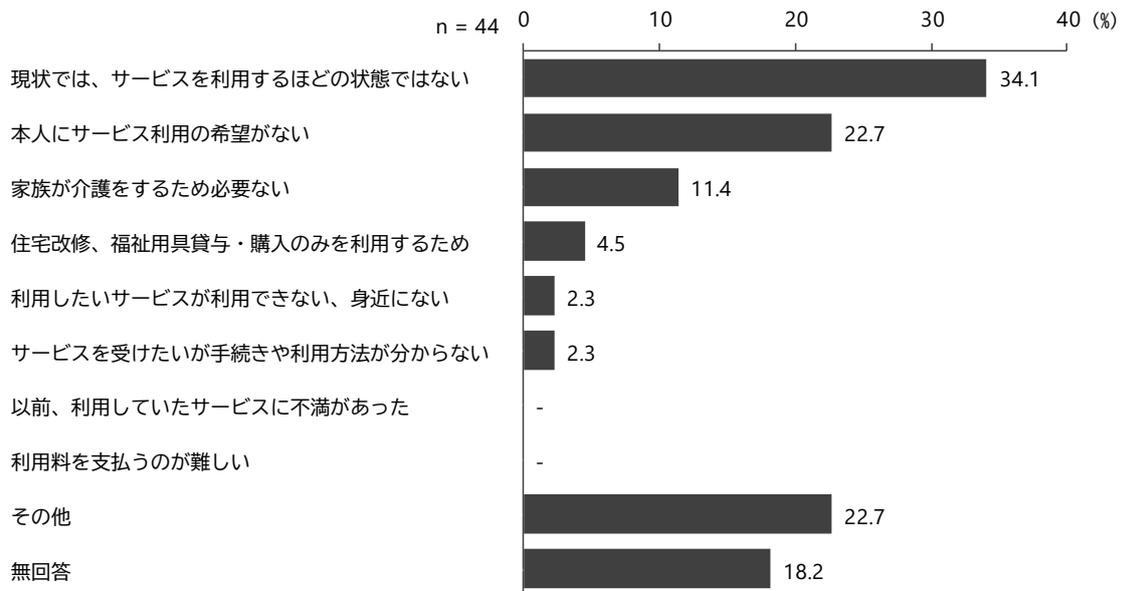
#### 【要介護度別／介護保険サービスの利用の有無】



2-14 介護保険サービス未利用の理由

- ▶ 介護保険サービス未利用の理由については、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 34.1%と最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が 22.7%となっています。

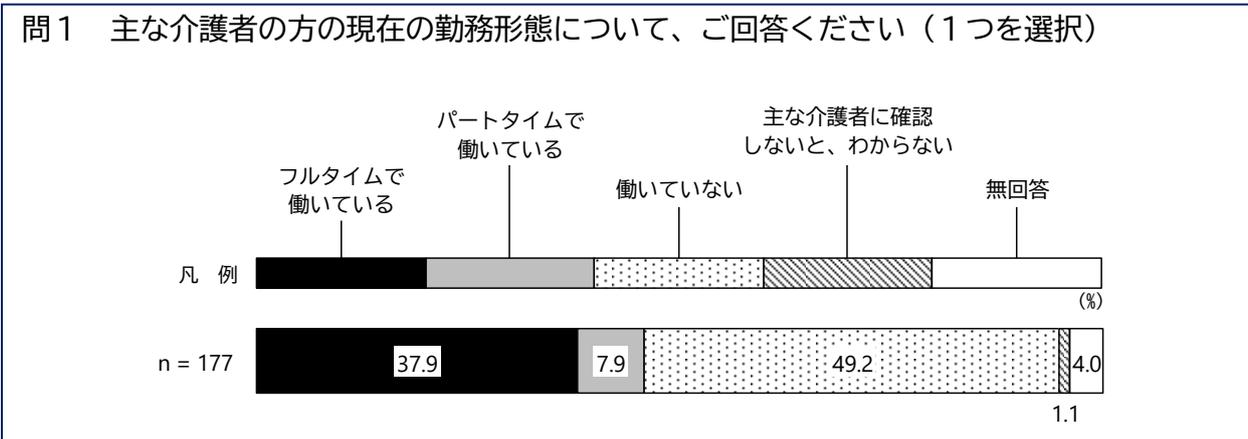
問 14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（複数選択可）



### 3 主な介護者様用の調査項目（B票）

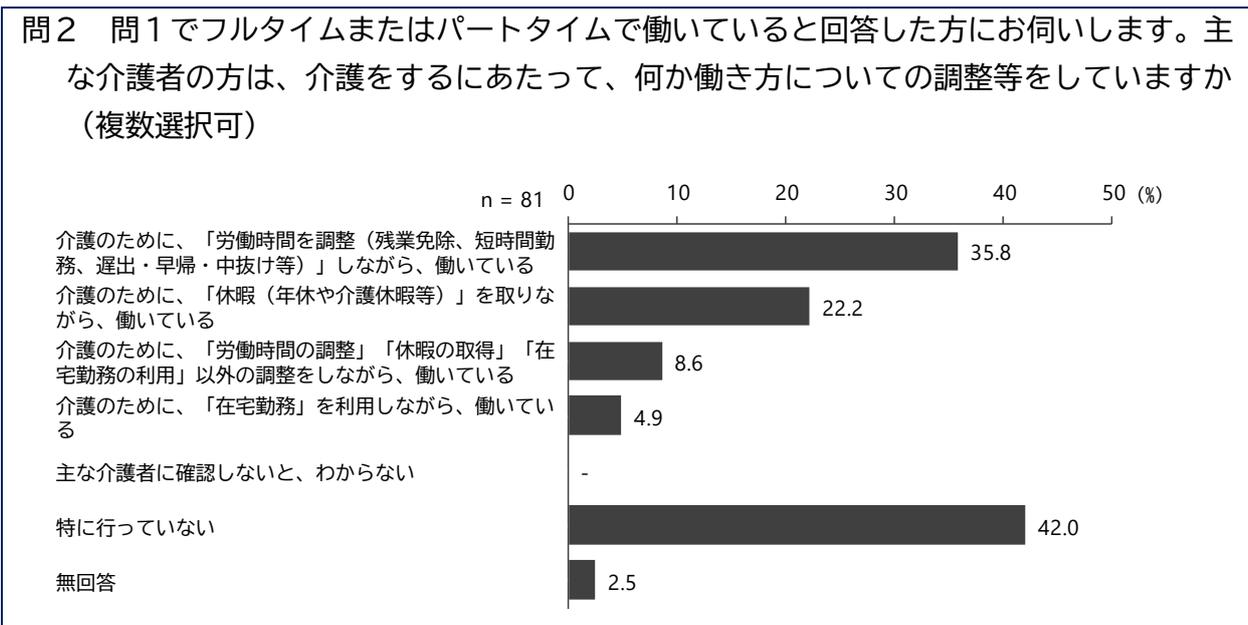
#### 3-1 主な介護者の勤務形態

- ▶ 主な介護者の勤務形態については、「働いていない」が49.2%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」が37.9%となっています。



#### 3-2 主な介護者の方の働き方の調整の状況

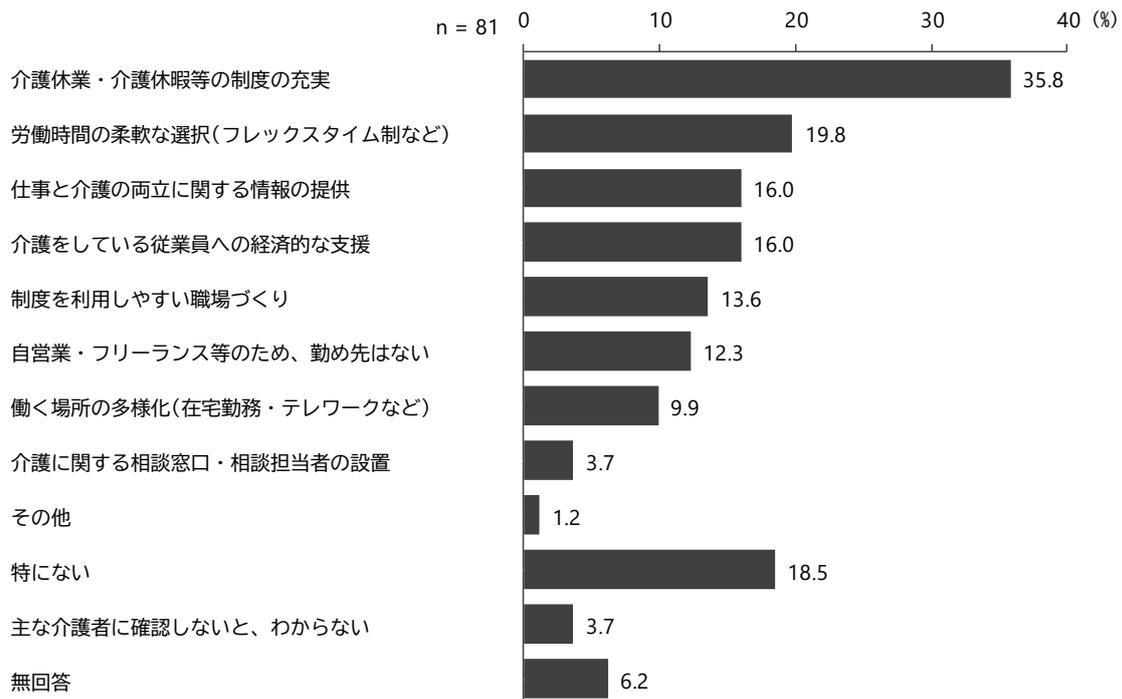
- ▶ 主な介護者の方の働き方の調整の状況については、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が35.8%と最も高く、次いで「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が22.2%となっています。一方、「特に行っていない」が42.0%となっています。



### 3-3 就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援

- ▶ 就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援については、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が 35.8%と最も高く、次いで「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が 19.8%となっています。

問3 問1でフルタイムまたはパートタイムで働いていると回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択可）

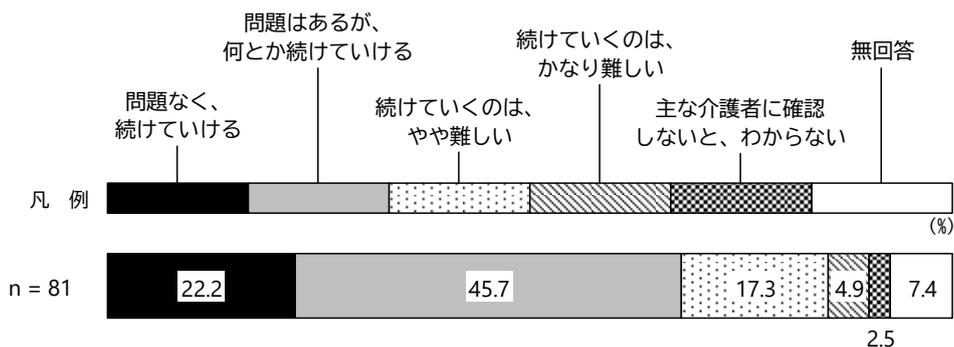


### Ⅲ 調査結果（在宅介護実態調査）

#### 3-4 主な介護者の就労継続の可否に係る意識

- ▶ 主な介護者の就労継続の可否に係る意識については、「問題はあるが、何とか続けていける」が45.7%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が22.2%となっています。

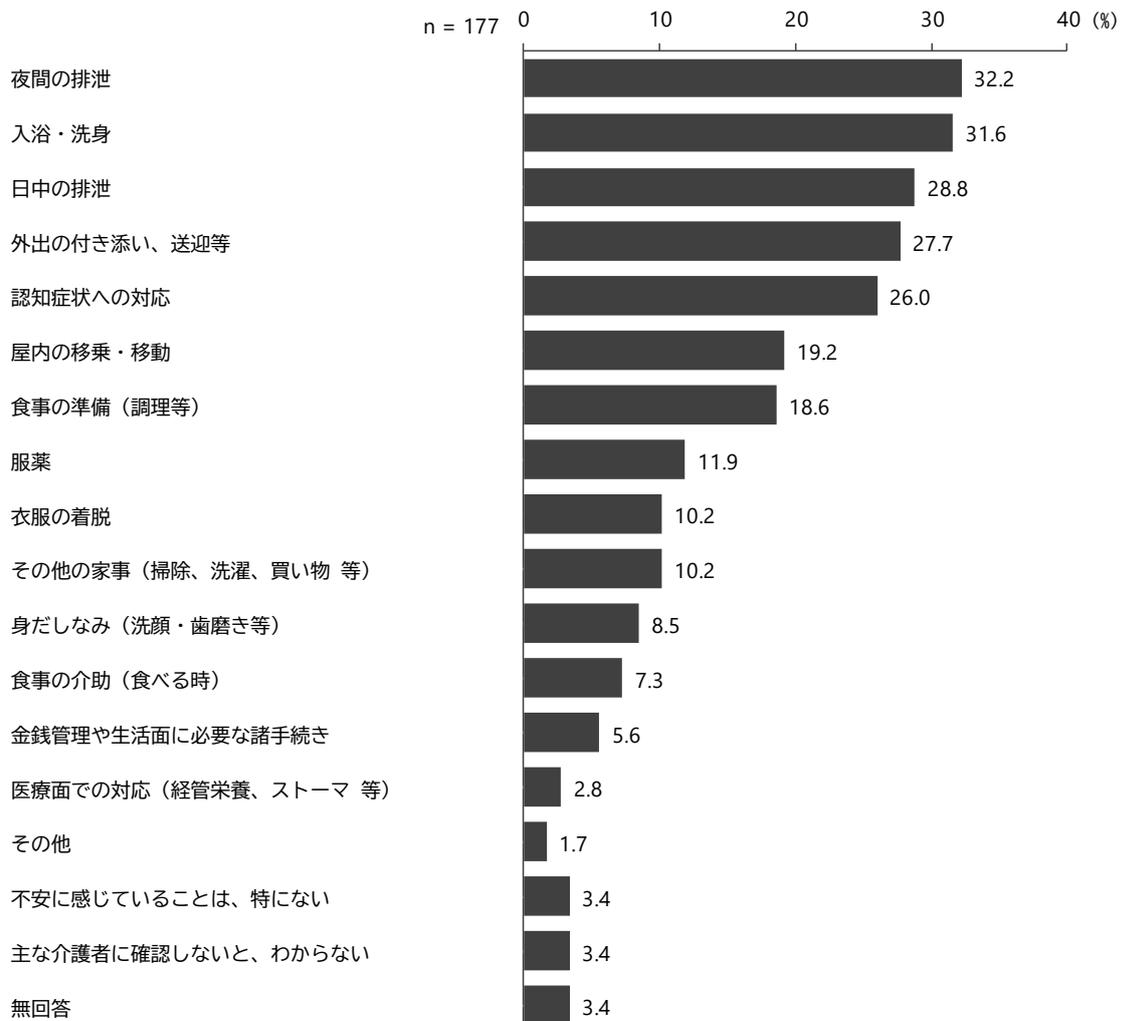
問4 問1でフルタイムまたはパートタイムで働いていると回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）



3-5 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護

▶ 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護については、「夜間の排泄」が32.2%と最も高く、次いで「入浴・洗身」が31.6%となっています。

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）

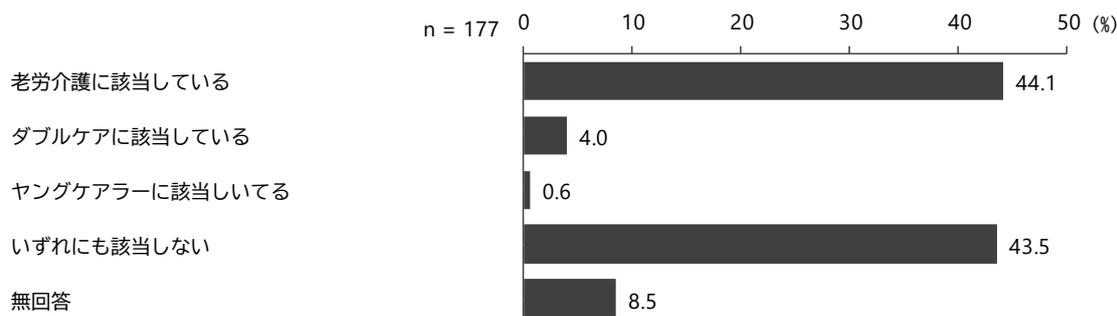


### Ⅲ 調査結果（在宅介護実態調査）

#### 3-6 介護者に「老老介護」「ダブルケア」「ヤングケアラー」がいるか

- ▶ 介護者に「老老介護」「ダブルケア」「ヤングケアラー」がいるかについては、「老老介護に該当している」が44.1%と最も高くなっています。一方、「いずれにも該当しない」が43.5%となっています。

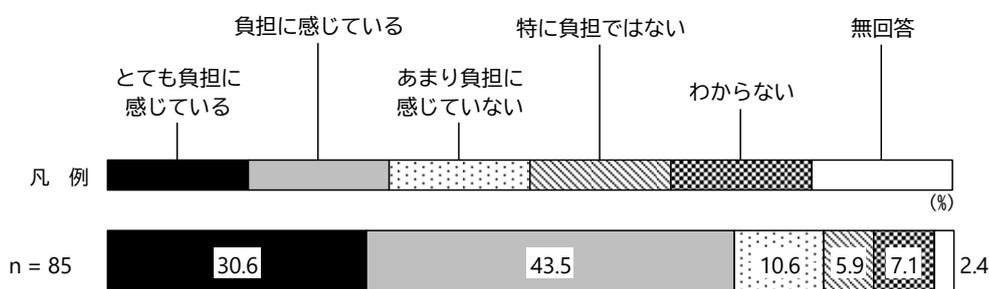
問6 介護に参加しているご家族（主な介護者を含む）で、「老老介護」「ダブルケア」または「ヤングケアラー」に該当する方はいますか（複数回答可）



#### 3-7 「老老介護」「ダブルケア」「ヤングケアラー」の介護の負担感

- ▶ 「老老介護」「ダブルケア」「ヤングケアラー」の介護の負担感については、「負担に感じている」が43.5%と最も高く、次いで「とても負担に感じている」が30.6%となっており、「とても負担に感じている」(30.6%)と「負担に感じている」(43.5%)を合わせた《負担に感じている》介護者は74.1%となっています。

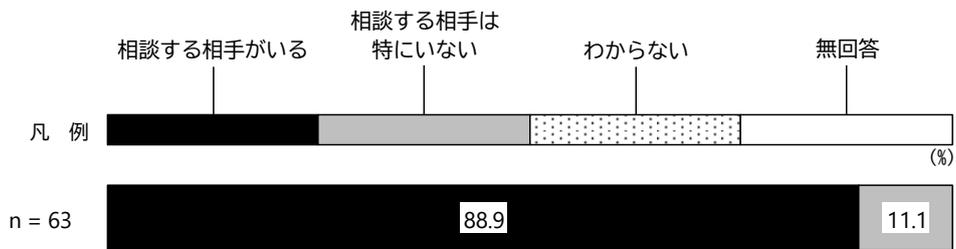
問7 問6で「老老介護」「ダブルケア」または「ヤングケアラー」に該当すると回答した方についてお伺いします。どの程度負担に感じていますか（1つを選択）



3-8 「老老介護」「ダブルケア」「ヤングケアラー」の相談相手の有無

- ▶ 「老老介護」「ダブルケア」「ヤングケアラー」の相談相手の有無については、「相談する相手がいる」が88.9%、「相談する相手は特にいない」が11.1%となっています。

問8 問7で「とても負担に感じている」「負担に感じている」と回答した方についてお伺いします。介護に関してどなたか相談する相手はいますか（1つを選択）



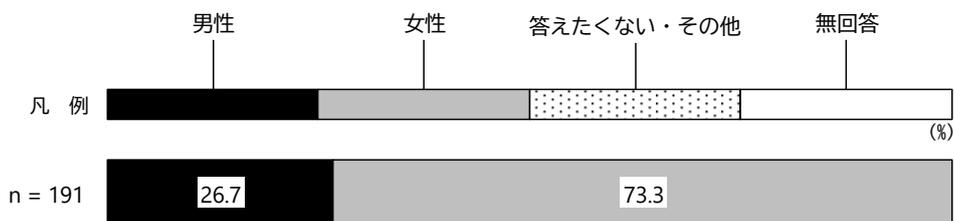
# IV 調査結果（介護支援専門員アンケート）

## 1 回答者の属性

### 1-1 回答者の性別

▶ 回答者の性別については、「男性」が26.7%、「女性」が73.3%となっています。

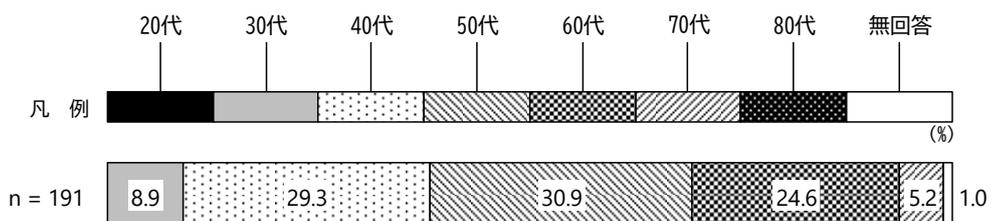
問1 性別（社会生活〔職務〕上の性別で構いません）



### 1-2 回答者の年齢

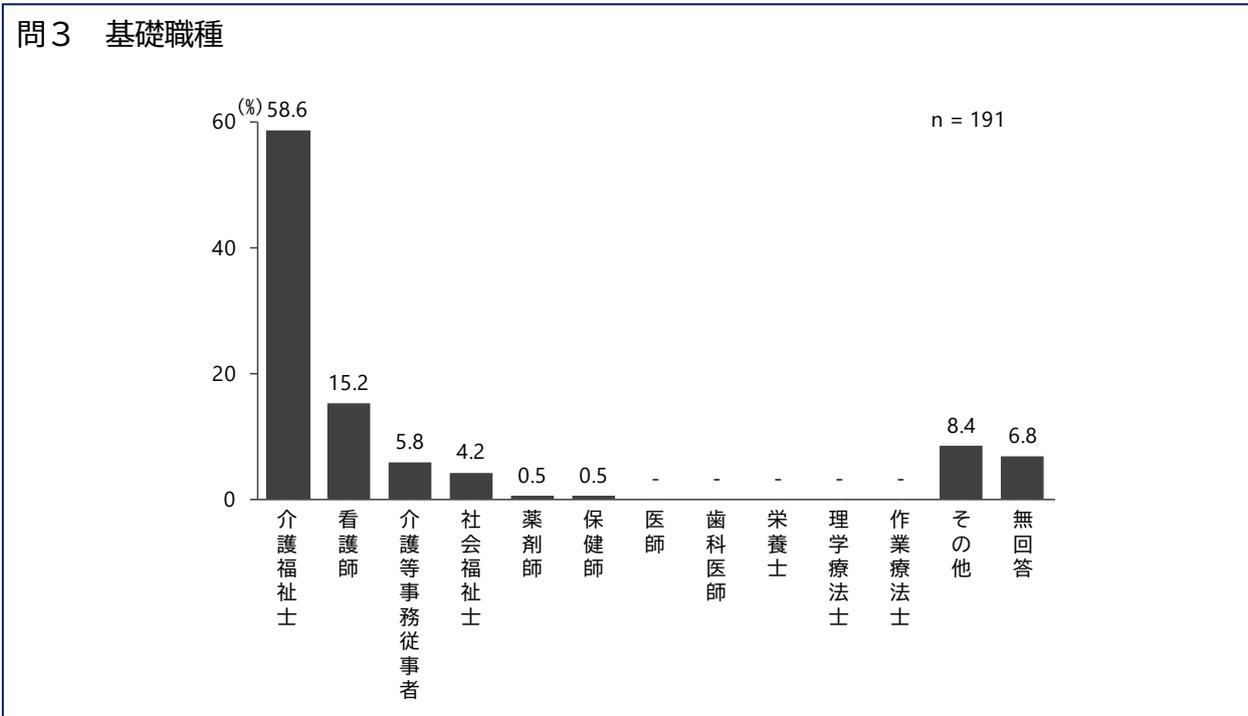
▶ 回答者の年齢については、「50代」が30.9%と最も高く、次いで「40代」が29.3%となっており、40代・50代が全体の6割以上を占めています。

問2 年齢（令和5年1月1日現在）



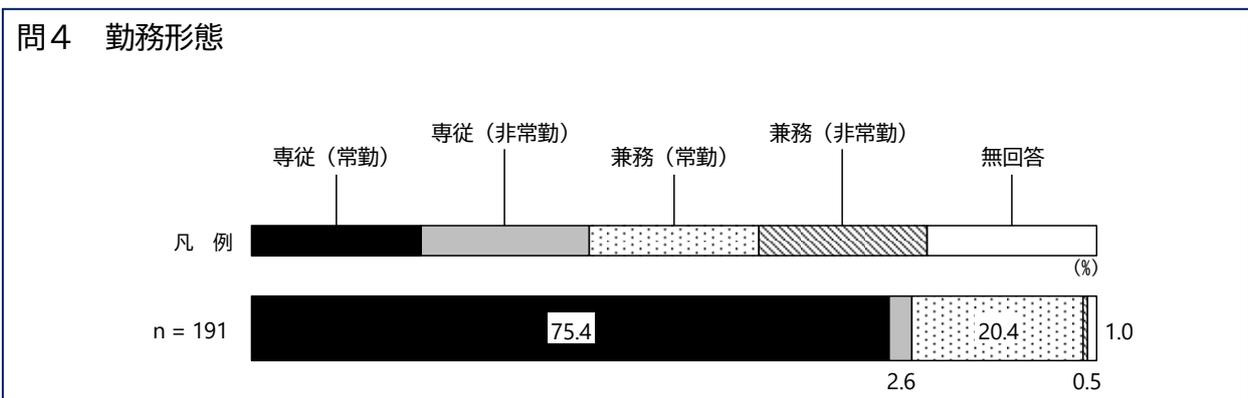
### 1-3 基礎職種

- ▶ 回答者の基礎職種については、「介護福祉士」が58.6%と最も高く、次いで「看護師」が15.2%となっています。



### 1-4 勤務形態

- ▶ 回答者の勤務形態については、「専従（常勤）」が75.4%と最も高く、次いで「兼務（常勤）」が20.4%となっています。

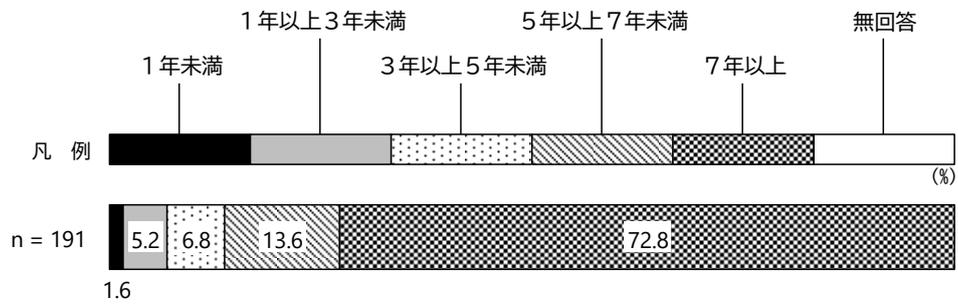


## IV 調査結果（介護支援専門員アンケート）

### 1-5 実務経験年数

- ▶ 回答者の実務経験年数については、「7年以上」が72.8%と最も高く、次いで「5年以上7年未満」が13.6%となっています。

問5 実務経験年数（令和5年1月1日現在）



1-6 担当ケアプラン件数

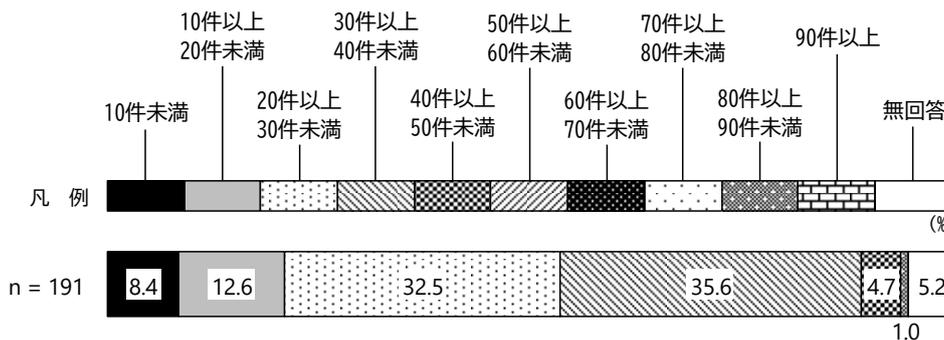
- ▶ ケアプランの担当件数について、「介護」は平均担当件数が26.75件で、「30件以上40件未満」が35.6%と最も高くなっています。「予防（総合事業含む）」は平均担当件数が6.54件で、「10件未満」が63.9%と最も高くなっています。「合計」は平均担当件数が32.85件で、「30件以上40件未満」が42.4%と最も高くなっています。

問6 担当ケアプラン件数（令和5年1月実績）

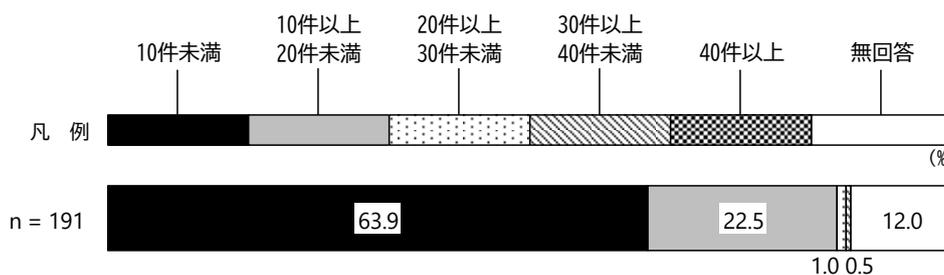
	回答者数	合計件数	平均件数
【介護】	181	4842	26.75
【予防（総合事業含む）】	168	1098	6.54
【合計】	178	5848	32.85

※【合計】については、【介護】と【予防（総合事業含む）】の計との一致が原則ですが、ここでは集計の合計数をそのまま記載しています。

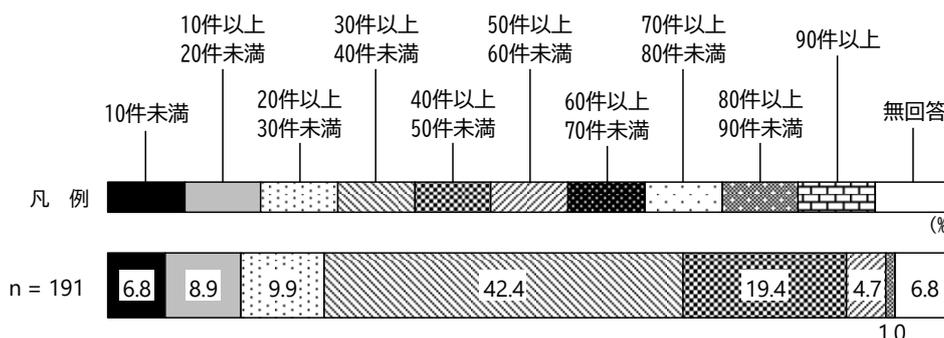
【介護】



【予防（総合事業含む）】



【合計】

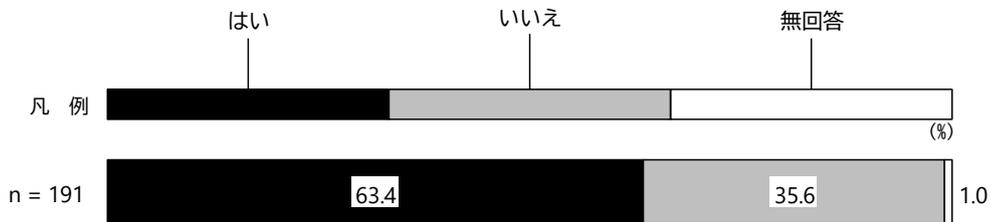


## IV 調査結果（介護支援専門員アンケート）

### 1-7 主任介護支援専門員の資格の有無

- ▶ 主任介護支援専門員資格の保有状況については、「保有者」が 63.4%、「非保有者」が 35.6%となっています。

問7 主任介護支援専門員の資格をお持ちですか

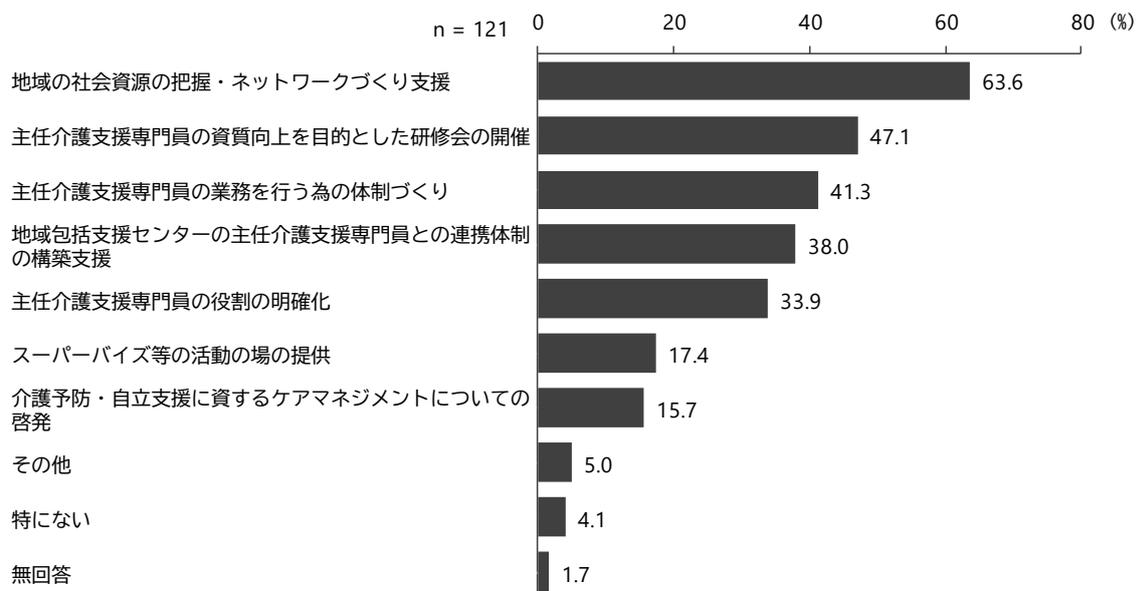


### 1-8 主任介護支援専門員として充実が必要な支援

- ▶ 主任介護支援専門員として充実が必要な支援については、「地域の社会資源の把握・ネットワークづくり支援」が 63.6%と最も高く、次いで「主任介護支援専門員の資質向上を目的とした研修会の開催」が 47.1%となっています。

問7で「はい」と答えた方にうかがいます

問8 主任介護支援専門員としてどのような支援の充実が必要ですか（複数回答可）

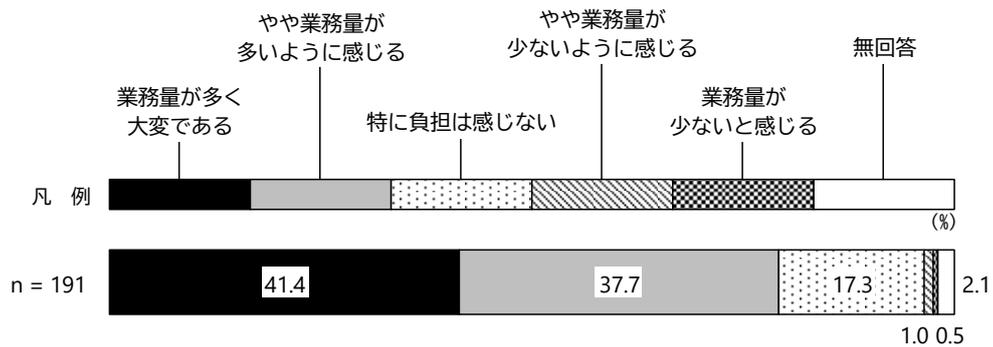


## 2 業務負担・不安等について

### 2-1 ケアマネジメント業務量に関する負担感

- ▶ 業務量に関する負担感については、「業務量が多く大変である」が41.4%と最も高く、次いで「やや業務量が多いように感じる」が37.7%となっており、「業務量が多く大変である」(41.4%)と「やや業務量が多いように感じる」(37.7%)を合わせた《業務量が多いと感じている》方は79.1%となっています。

問9 現在抱えているケアマネジメント業務に係る業務量について、負担を感じていますか

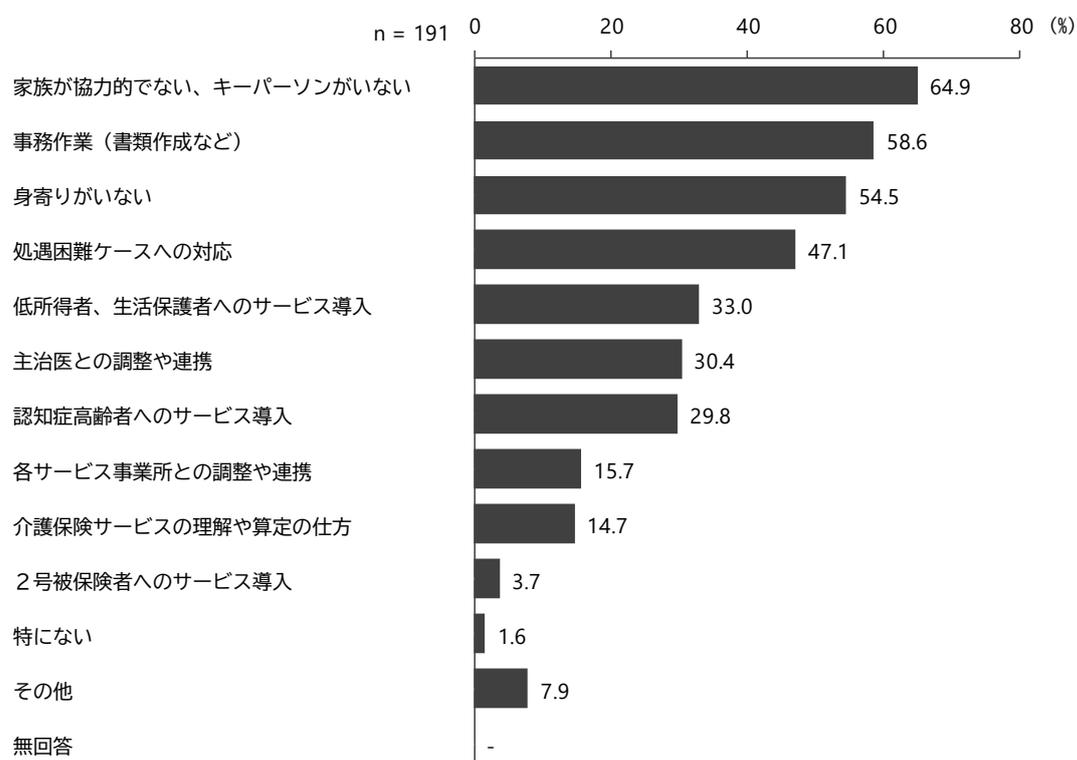


## IV 調査結果（介護支援専門員アンケート）

### 2-2 業務上、困難を感じるケース

- ▶ 業務上、困難を感じるケースについては、「家族が協力的でない、キーパーソンがいない」が64.9%と最も高く、次いで「事務作業（書類作成など）」が58.6%となっています。一方、「特にない」との回答は1.6%となっています。

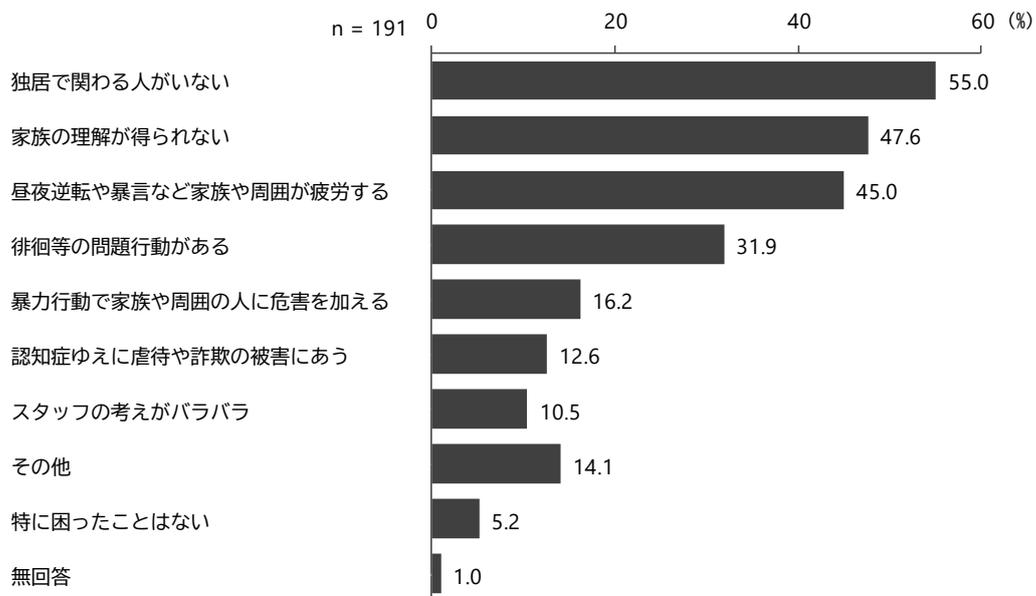
問10 業務を行う上で、困難であると感じることはどのようなことですか（複数回答可）



## 2-3 認知症高齢者の対応で困難を感じるケース

- ▶ 認知症高齢者の対応で困難を感じるケースについては、「独居で関わる人がいない」が55.0%と最も高く、次いで「家族の理解が得られない」が47.6%となっています。一方、「特に困ったことはない」は5.2%となっています。

問 11 認知症高齢者の対応で困ったケースについて教えてください（複数回答可）

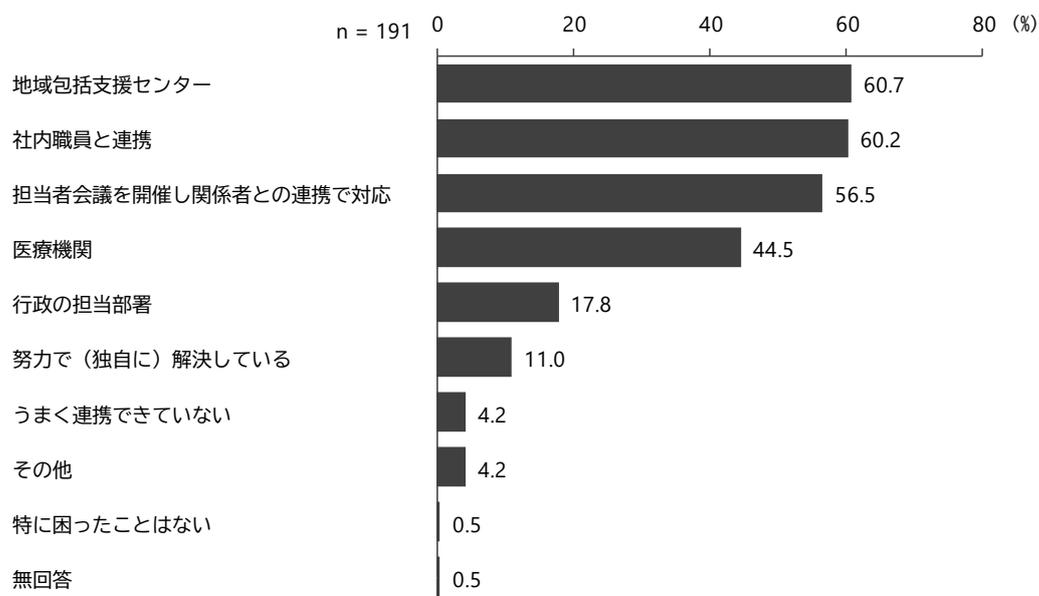


## IV 調査結果（介護支援専門員アンケート）

### 2-4 認知症高齢者の対応で困難が生じた場合の連携先

- ▶ 認知症高齢者の対応で困難が生じた場合の連携先としては、「地域包括支援センター」が60.7%と最も高く、次いで「社内職員と連携」が60.2%となっています。

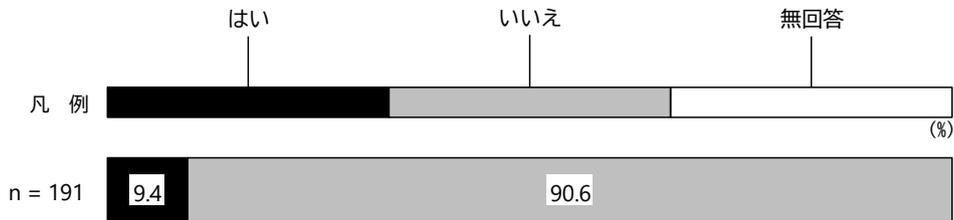
問 12 認知症高齢者（とその家族）の対応で困った場合、だれと連携して対処しましたか（複数回答可）



## 2-5 担当したケースでのヤングケアラーの有無

- ▶ 担当したケースでのヤングケアラーの有無については、「はい」が9.4%、「いいえ」が90.6%となっています。

問13 担当したケースにヤングケアラーと思われる子どもがいたことはありますか

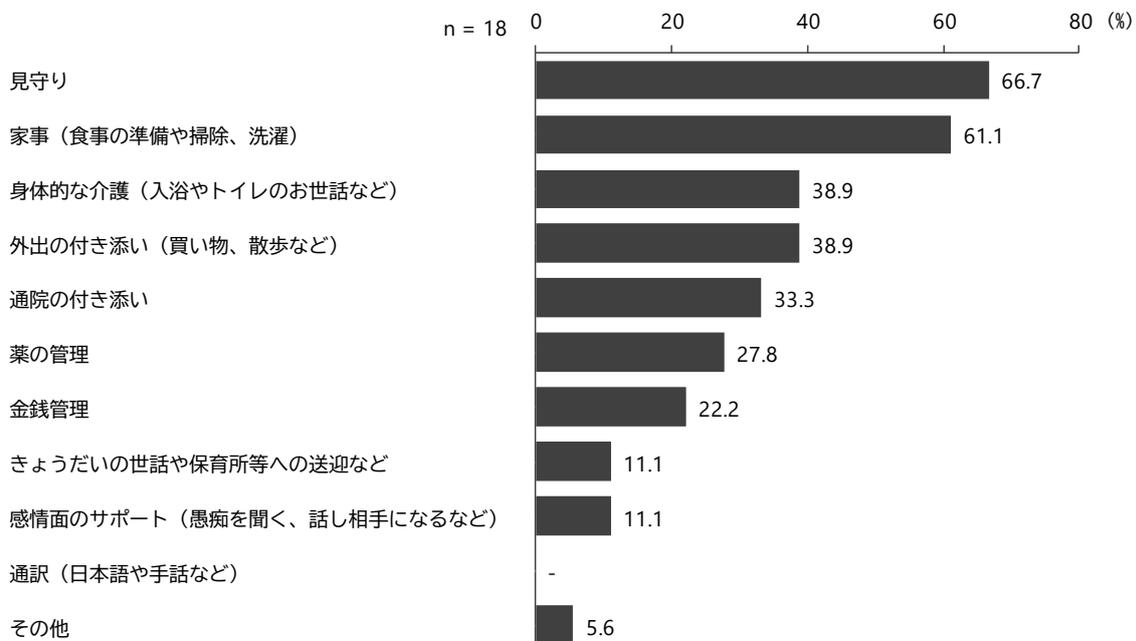


## 2-6 ヤングケアラーと思われる子どもが行っていたケア

- ▶ ヤングケアラーと思われる子どもが行っていたケアについては、「見守り」が66.7%と最も高く、次いで「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」が61.1%となっています。

問13で「はい」と答えた方にうかがいます

問14 その子が行っていたケアは何ですか（複数回答可）

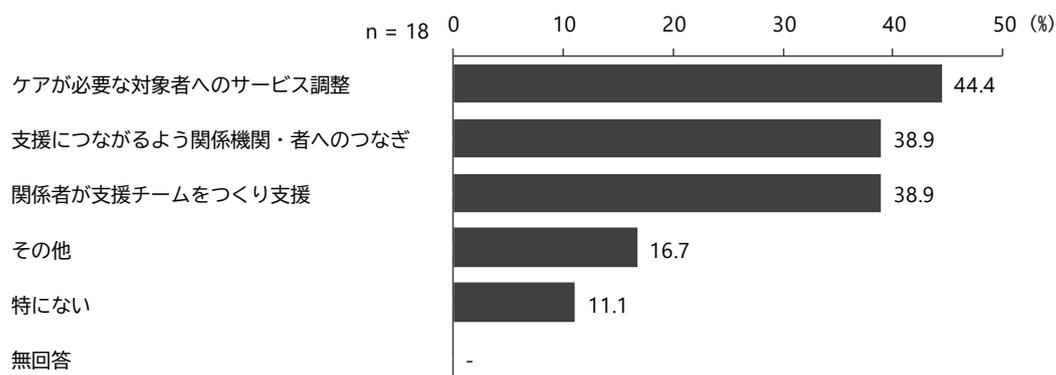


## IV 調査結果（介護支援専門員アンケート）

### 2-7 ヤングケアラーと思われる子どもに対して行った支援

- ▶ ヤングケアラーと思われる子どもに対して行った支援については、「ケアが必要な対象者へのサービス調整」が44.4%と最も高く、次いで「支援につながるような関係機関・者へのつなぎ」が38.9%となっています。

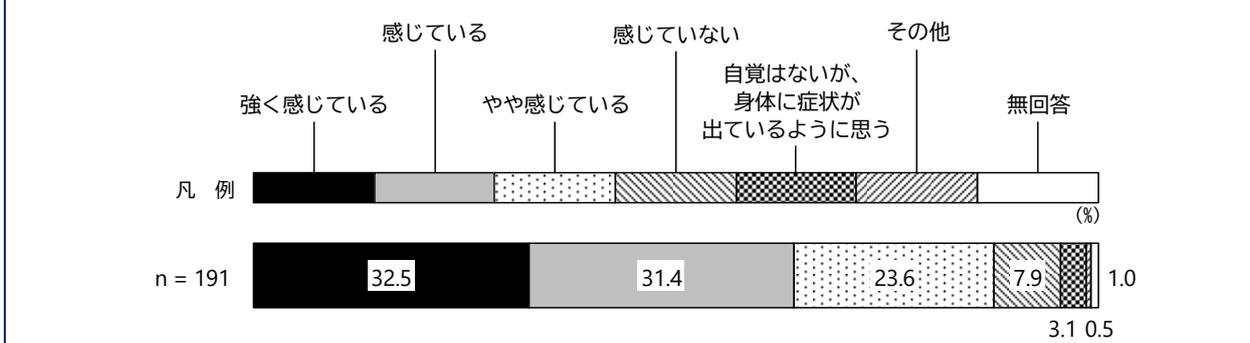
問 15 その子に対して、何か支援は行いましたか（複数回答可）



## 2-8 業務上のストレスの有無

- ▶ 業務上でストレスを感じることはあるかについては、「強く感じている」が32.5%と最も高く、次いで「感じている」が31.4%となっており、「強く感じている」(32.5%)と「感じている」(31.4%)と「やや感じている」(23.6%)を合わせた《ストレスを感じている》方は87.5%となっています。

問16 業務上で、ストレスを感じることはありますか

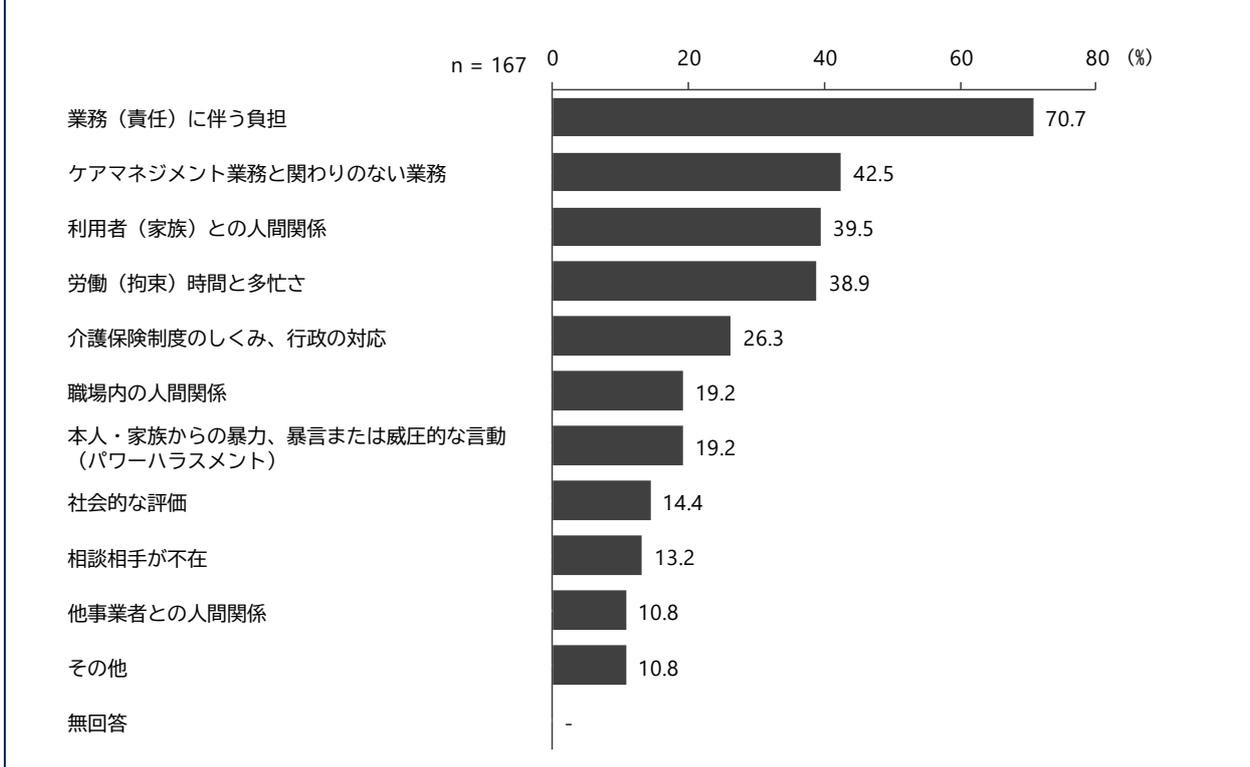


## 2-9 ストレスを感じる要因

- ▶ ストレスを感じる要因については、「業務（責任）に伴う負担」が70.7%と最も高く、次いで「ケアマネジメント業務とかかわりのない業務」が42.5%となっています。一方、「相談相手が不在」と回答した方が13.2%となっています。

問16で《ストレスを感じている》と答えた方にかがいます

問17 ストレスを感じる要因はどのようなことによるものだと思いますか（複数回答可）

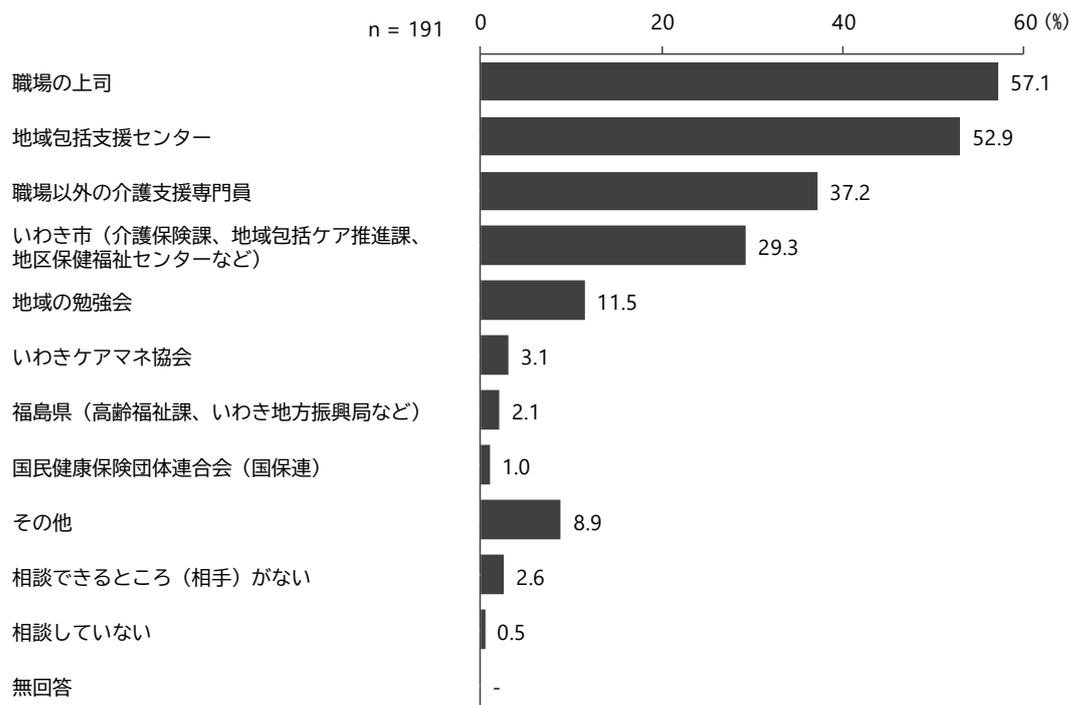


## IV 調査結果（介護支援専門員アンケート）

### 2-10 業務上困ったときの主な相談先

- ▶ 業務上困ったときの主な相談先については、「職場の上司」が57.1%と最も高く、次いで「地域包括支援センター」が52.9%となっています。一方、「相談できるところ（相手）がない」（2.6%）と「相談していない」（0.5%）を合わせた割合が3.1%となっています。

問 18 業務を進めるうえで困ったとき、主にどこに（誰に）相談しますか（複数回答可）

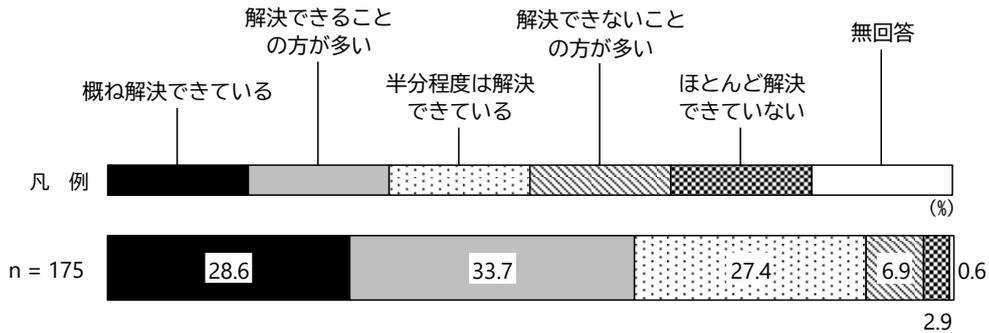


## 2-11 相談によって問題を解決できているか

- ▶ 相談によって問題を解決できているかについては、「解決できることの方が多い」が33.7%と最も高く、次いで「概ね解決できている」が28.6%となっており、「概ね解決できている」（28.6%）と「解決できることの方が多い」（33.7%）を合わせた《解決できている》方は62.3%となっています。

問 18 で主な相談先を答えた方にうかがいます

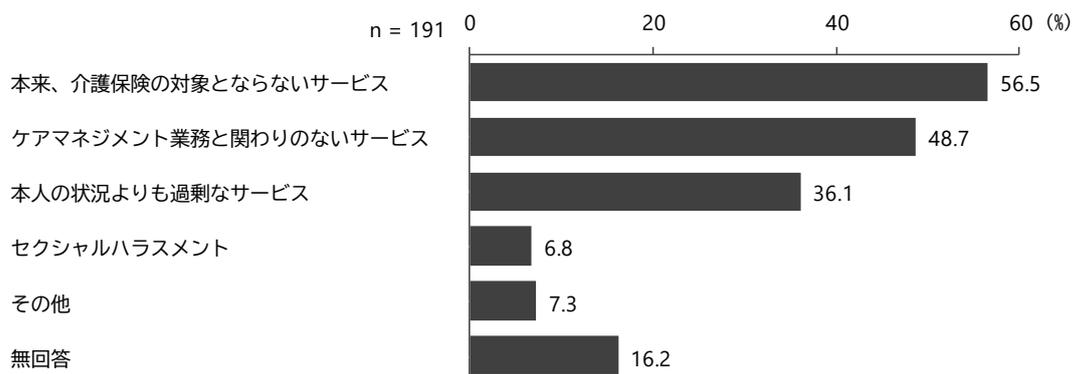
問 19 相談により、困りごとは解決できていますか



## 2-12 本人・家族からの不当な要求経験

- ▶ 本人・家族からの不当な要求経験については、「本来、介護保険の対象とならないサービス」が56.5%と最も高く、次いで「ケアマネジメント業務と関わりのないサービス」が48.7%となっています。

問 20 本人・家族との調整の中で、次の不当な要求をされたことがありますか（複数回答可）



### 3 介護保険サービスについて

#### 3-1 介護保険サービスの需要供給状況について

- ▶ 回答者が主に担当する圏域（2カ所）について、現在のサービス提供基盤の状況を踏まえ、令和5年度～7年度を見据えた上での需要と供給のバランスについて5段階評価を依頼しました。
- ▶ 圏域別の回答状況をみると、各介護保険サービスで「需要と供給のバランスが取れている」若しくは「需要を満たしていない」が多くなっています。
- ▶ 特に、『夜間対応型訪問介護』『定期巡回・随時対応型訪問介護看護』『複合型サービス』は各圏域において供給不足と回答されており、市全体で供給不足となっています。

#### 問21 介護保険サービスの需要について

ご自身が主に担当する圏域（2カ所）について、次ページを参照の上、該当する番号を①欄に記入してください

また、現在のサービス提供基盤の状況を踏まえ、令和5年度～7年度を見据えた上で、需要と供給のバランスを②欄に5段階で評価してください

#### 1 平市街地 回答者 42名

平、北白土、南白土、谷川瀬、鎌田、明治団地、平成、内郷小島町、小島町

	1.供給過多である	2.やや供給過多である	3.需要と供給のバランスが取れている	4.やや需要を満たしていない	5.全く需要を満たしていない	無回答
訪問介護	2.4	7.1	38.1	35.7	4.8	11.9
訪問入浴介護	0.0	0.0	45.2	40.5	2.4	11.9
訪問看護	0.0	0.0	59.5	23.8	4.8	11.9
訪問リハビリテーション	0.0	0.0	42.9	33.3	11.9	11.9
通所リハビリテーション	0.0	0.0	52.4	31.0	4.8	11.9
通所介護	14.3	26.2	45.2	2.4	0.0	11.9
地域密着型通所介護	11.9	19.0	50.0	7.1	0.0	11.9
短期入所(生活介護・療養介護)	0.0	0.0	42.9	45.2	0.0	11.9
福祉用具貸与	11.9	26.2	50.0	0.0	0.0	11.9
居宅療養管理指導	0.0	0.0	50.0	26.2	11.9	11.9
小規模多機能型居宅介護	0.0	7.1	50.0	28.6	0.0	14.3
認知症対応型通所介護	0.0	2.4	47.6	33.3	4.8	11.9
認知症対応型共同生活介護	0.0	4.8	50.0	28.6	7.1	9.5
夜間対応型訪問介護	0.0	0.0	2.4	21.4	64.3	11.9
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0.0	0.0	2.4	19.0	66.7	11.9
複合型サービス	2.4	0.0	9.5	19.0	54.8	14.3
介護老人福祉施設(地密を含む)	0.0	0.0	31.0	38.1	16.7	14.3
介護老人保健施設	0.0	0.0	35.7	38.1	14.3	11.9
特定施設入所者生活介護(地密を含む)	0.0	0.0	38.1	42.9	7.1	11.9

## IV 調査結果（介護支援専門員アンケート）

### 2 平北部 回答者 6名

上平窪、中平窪、下平窪、中塩、四ツ波、幕ノ内、鯨岡、大室、赤井、石森

	(%)					
	1.供給過多である	2.やや供給過多である	3.需要と供給のバランスが取れている	4.やや需要を満たしていない	5.全く需要を満たしていない	無回答
訪問介護	0.0	0.0	33.3	50.0	16.7	0.0
訪問入浴介護	0.0	0.0	50.0	33.3	0.0	16.7
訪問看護	0.0	0.0	66.7	16.7	0.0	16.7
訪問リハビリテーション	0.0	0.0	66.7	16.7	0.0	16.7
通所リハビリテーション	0.0	0.0	33.3	33.3	16.7	16.7
通所介護	16.7	0.0	50.0	16.7	0.0	16.7
地域密着型通所介護	16.7	0.0	50.0	0.0	16.7	16.7
短期入所(生活介護・療養介護)	0.0	0.0	16.7	66.7	0.0	16.7
福祉用具貸与	33.3	0.0	50.0	0.0	0.0	16.7
居宅療養管理指導	0.0	0.0	66.7	16.7	0.0	16.7
小規模多機能型居宅介護	0.0	0.0	33.3	50.0	0.0	16.7
認知症対応型通所介護	0.0	0.0	33.3	50.0	0.0	16.7
認知症対応型共同生活介護	0.0	0.0	50.0	33.3	0.0	16.7
夜間対応型訪問介護	0.0	0.0	16.7	16.7	50.0	16.7
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0.0	0.0	16.7	16.7	50.0	16.7
複合型サービス	0.0	0.0	16.7	16.7	50.0	16.7
介護老人福祉施設(地密を含む)	0.0	0.0	33.3	16.7	33.3	16.7
介護老人保健施設	0.0	0.0	16.7	50.0	16.7	16.7
特定施設入所者生活介護(地密を含む)	0.0	0.0	33.3	50.0	0.0	16.7

### 3 平東部 回答者 20名

中山、小泉、上高久、下高久、塩、上神谷、中神谷、下神谷、上片寄、下片寄、豊間、薄磯、沼ノ内、神谷作、上山口、下山口、山崎、菅波、荒田目、上大越、下大越、藤間、泉崎、原高野、馬目、絹谷、北神谷、水品、鶴ヶ井

	(%)					
	1.供給過多である	2.やや供給過多である	3.需要と供給のバランスが取れている	4.やや需要を満たしていない	5.全く需要を満たしていない	無回答
訪問介護	0.0	10.0	25.0	45.0	10.0	10.0
訪問入浴介護	0.0	0.0	45.0	35.0	5.0	15.0
訪問看護	0.0	0.0	45.0	40.0	5.0	10.0
訪問リハビリテーション	0.0	0.0	20.0	55.0	15.0	10.0
通所リハビリテーション	0.0	0.0	30.0	50.0	5.0	15.0
通所介護	5.0	20.0	60.0	5.0	0.0	10.0
地域密着型通所介護	0.0	10.0	60.0	15.0	0.0	15.0
短期入所(生活介護・療養介護)	0.0	0.0	40.0	45.0	5.0	10.0
福祉用具貸与	0.0	20.0	65.0	5.0	0.0	10.0
居宅療養管理指導	0.0	0.0	45.0	30.0	10.0	15.0
小規模多機能型居宅介護	0.0	0.0	40.0	30.0	15.0	15.0
認知症対応型通所介護	0.0	0.0	25.0	45.0	15.0	15.0
認知症対応型共同生活介護	0.0	0.0	30.0	45.0	10.0	15.0
夜間対応型訪問介護	0.0	0.0	0.0	10.0	75.0	15.0
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0.0	0.0	5.0	10.0	70.0	15.0
複合型サービス	0.0	0.0	10.0	15.0	55.0	20.0
介護老人福祉施設(地密を含む)	0.0	0.0	35.0	30.0	20.0	15.0
介護老人保健施設	0.0	0.0	30.0	30.0	25.0	15.0
特定施設入所者生活介護(地密を含む)	0.0	0.0	30.0	40.0	15.0	15.0

## IV 調査結果（介護支援専門員アンケート）

### 4 平南部 回答者 28名

上荒川、下荒川、吉野谷、自由ヶ丘、郷ヶ丘、中央台、若葉台

	(%)					無回答
	1.供給過多である	2.やや供給過多である	3.需要と供給のバランスが取れている	4.やや需要を満たしていない	5.全く需要を満たしていない	
訪問介護	0.0	7.1	46.4	42.9	3.6	0.0
訪問入浴介護	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
訪問看護	0.0	0.0	57.1	42.9	0.0	0.0
訪問リハビリテーション	0.0	0.0	35.7	53.6	10.7	0.0
通所リハビリテーション	0.0	0.0	42.9	39.3	17.9	0.0
通所介護	10.7	35.7	46.4	7.1	0.0	0.0
地域密着型通所介護	7.1	32.1	46.4	14.3	0.0	0.0
短期入所(生活介護・療養介護)	0.0	0.0	50.0	46.4	3.6	0.0
福祉用具貸与	0.0	39.3	57.1	3.6	0.0	0.0
居宅療養管理指導	0.0	0.0	57.1	42.9	0.0	0.0
小規模多機能型居宅介護	0.0	0.0	67.9	21.4	10.7	0.0
認知症対応型通所介護	0.0	0.0	42.9	46.4	10.7	0.0
認知症対応型共同生活介護	0.0	0.0	50.0	39.3	10.7	0.0
夜間対応型訪問介護	0.0	0.0	7.1	17.9	71.4	3.6
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0.0	0.0	10.7	14.3	67.9	7.1
複合型サービス	0.0	0.0	10.7	17.9	64.3	7.1
介護老人福祉施設(地密を含む)	0.0	0.0	42.9	25.0	32.1	0.0
介護老人保健施設	0.0	0.0	35.7	39.3	25.0	0.0
特定施設入所者生活介護(地密を含む)	0.0	3.6	39.3	42.9	14.3	0.0

### 5 小名浜市街地・東部 回答者 31名

江名、折戸、中之作、永崎、小名浜、上神白、下神白、岡小名、南富岡、大原、洋向台、湘南台

	(%)					無回答
	1.供給過多である	2.やや供給過多である	3.需要と供給のバランスが取れている	4.やや需要を満たしていない	5.全く需要を満たしていない	
訪問介護	9.7	3.2	35.5	45.2	0.0	6.5
訪問入浴介護	3.2	3.2	29.0	45.2	12.9	6.5
訪問看護	0.0	0.0	54.8	35.5	3.2	6.5
訪問リハビリテーション	0.0	0.0	32.3	41.9	19.4	6.5
通所リハビリテーション	0.0	0.0	71.0	12.9	9.7	6.5
通所介護	6.5	29.0	48.4	9.7	0.0	6.5
地域密着型通所介護	3.2	16.1	54.8	19.4	0.0	6.5
短期入所(生活介護・療養介護)	3.2	0.0	41.9	45.2	3.2	6.5
福祉用具貸与	16.1	16.1	61.3	0.0	0.0	6.5
居宅療養管理指導	0.0	0.0	54.8	22.6	12.9	9.7
小規模多機能型居宅介護	0.0	3.2	48.4	29.0	9.7	9.7
認知症対応型通所介護	0.0	3.2	25.8	54.8	9.7	6.5
認知症対応型共同生活介護	0.0	0.0	35.5	41.9	19.4	3.2
夜間対応型訪問介護	0.0	0.0	3.2	19.4	64.5	12.9
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0.0	0.0	3.2	19.4	58.1	19.4
複合型サービス	0.0	0.0	9.7	29.0	41.9	19.4
介護老人福祉施設(地密を含む)	0.0	0.0	35.5	35.5	22.6	6.5
介護老人保健施設	0.0	0.0	32.3	45.2	16.1	6.5
特定施設入所者生活介護(地密を含む)	0.0	3.2	22.6	54.8	12.9	6.5

## IV 調査結果（介護支援専門員アンケート）

### 6 小名浜西部 回答者 20名

葉山、泉町、本谷、滝尻、下川、黒須野、玉露、泉ヶ丘、泉玉露、泉もえぎ台、中部工業団地、渡辺町

	(%)					
	1.供給過多である	2.やや供給過多である	3.需要と供給のバランスが取れている	4.やや需要を満たしていない	5.全く需要を満たしていない	無回答
訪問介護	0.0	0.0	55.0	40.0	0.0	5.0
訪問入浴介護	0.0	0.0	35.0	60.0	0.0	5.0
訪問看護	0.0	5.0	55.0	35.0	0.0	5.0
訪問リハビリテーション	0.0	0.0	40.0	55.0	0.0	5.0
通所リハビリテーション	0.0	5.0	75.0	15.0	0.0	5.0
通所介護	5.0	20.0	70.0	0.0	0.0	5.0
地域密着型通所介護	5.0	15.0	70.0	5.0	0.0	5.0
短期入所(生活介護・療養介護)	0.0	0.0	65.0	25.0	5.0	5.0
福祉用具貸与	0.0	10.0	80.0	5.0	0.0	5.0
居宅療養管理指導	0.0	0.0	70.0	20.0	0.0	10.0
小規模多機能型居宅介護	0.0	5.0	45.0	35.0	5.0	10.0
認知症対応型通所介護	0.0	5.0	40.0	45.0	5.0	5.0
認知症対応型共同生活介護	0.0	0.0	50.0	40.0	5.0	5.0
夜間対応型訪問介護	0.0	0.0	0.0	35.0	60.0	5.0
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0.0	0.0	0.0	35.0	60.0	5.0
複合型サービス	0.0	0.0	10.0	45.0	35.0	10.0
介護老人福祉施設(地密を含む)	0.0	0.0	45.0	40.0	10.0	5.0
介護老人保健施設	0.0	0.0	45.0	35.0	15.0	5.0
特定施設入所者生活介護(地密を含む)	0.0	0.0	45.0	45.0	5.0	5.0

### 7 小名浜北部 回答者 16名

相子島、住吉、島、野田、岩出、林城、金成、玉川町、鹿島町

	(%)					
	1.供給過多である	2.やや供給過多である	3.需要と供給のバランスが取れている	4.やや需要を満たしていない	5.全く需要を満たしていない	無回答
訪問介護	18.8	6.3	31.3	37.5	0.0	6.3
訪問入浴介護	6.3	6.3	25.0	43.8	12.5	6.3
訪問看護	6.3	6.3	43.8	31.3	6.3	6.3
訪問リハビリテーション	6.3	0.0	18.8	43.8	25.0	6.3
通所リハビリテーション	6.3	6.3	56.3	12.5	12.5	6.3
通所介護	12.5	31.3	43.8	6.3	0.0	6.3
地域密着型通所介護	6.3	25.0	50.0	12.5	0.0	6.3
短期入所(生活介護・療養介護)	6.3	6.3	31.3	43.8	6.3	6.3
福祉用具貸与	25.0	18.8	50.0	0.0	0.0	6.3
居宅療養管理指導	0.0	0.0	62.5	12.5	18.8	6.3
小規模多機能型居宅介護	0.0	0.0	50.0	25.0	18.8	6.3
認知症対応型通所介護	0.0	0.0	25.0	62.5	6.3	6.3
認知症対応型共同生活介護	0.0	0.0	31.3	50.0	12.5	6.3
夜間対応型訪問介護	0.0	0.0	12.5	12.5	56.3	18.8
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0.0	0.0	6.3	12.5	68.8	12.5
複合型サービス	0.0	0.0	31.3	6.3	50.0	12.5
介護老人福祉施設(地密を含む)	0.0	0.0	37.5	31.3	25.0	6.3
介護老人保健施設	0.0	0.0	37.5	43.8	12.5	6.3
特定施設入所者生活介護(地密を含む)	0.0	6.3	37.5	37.5	12.5	6.3

## IV 調査結果（介護支援専門員アンケート）

### 8 勿来中部・南部 回答者 33名

錦町、勿来町、川部町、沼部町、三沢町、山玉町、瀬戸町、富津町

	(%)					無回答
	1.供給過多である	2.やや供給過多である	3.需要と供給のバランスが取れている	4.やや需要を満たしていない	5.全く需要を満たしていない	
訪問介護	3.0	3.0	36.4	42.4	6.1	9.1
訪問入浴介護	0.0	3.0	27.3	54.5	6.1	9.1
訪問看護	0.0	0.0	54.5	33.3	3.0	9.1
訪問リハビリテーション	0.0	0.0	36.4	39.4	18.2	6.1
通所リハビリテーション	0.0	3.0	54.5	30.3	6.1	6.1
通所介護	3.0	24.2	63.6	3.0	0.0	6.1
地域密着型通所介護	0.0	15.2	60.6	12.1	3.0	9.1
短期入所(生活介護・療養介護)	0.0	0.0	30.3	51.5	12.1	6.1
福祉用具貸与	9.1	15.2	69.7	0.0	0.0	6.1
居宅療養管理指導	0.0	0.0	48.5	24.2	18.2	9.1
小規模多機能型居宅介護	0.0	0.0	39.4	36.4	12.1	12.1
認知症対応型通所介護	0.0	3.0	9.1	45.5	30.3	12.1
認知症対応型共同生活介護	0.0	3.0	21.2	42.4	21.2	12.1
夜間対応型訪問介護	0.0	0.0	6.1	15.2	72.7	6.1
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0.0	0.0	6.1	18.2	66.7	9.1
複合型サービス	0.0	0.0	12.1	21.2	51.5	15.2
介護老人福祉施設(地密を含む)	0.0	0.0	27.3	45.5	21.2	6.1
介護老人保健施設	0.0	3.0	36.4	36.4	15.2	9.1
特定施設入所者生活介護(地密を含む)	0.0	3.0	27.3	48.5	15.2	6.1

### 9 勿来北部・田人 回答者 37名

植田町、後田町、仁井田町、高倉町、江畑町、添野町、石塚町、東田町、佐糠町、岩間町、小浜町、山田町、金山町、中岡町、南台、田人地区全域

	(%)					無回答
	1.供給過多である	2.やや供給過多である	3.需要と供給のバランスが取れている	4.やや需要を満たしていない	5.全く需要を満たしていない	
訪問介護	2.7	0.0	35.1	48.6	5.4	8.1
訪問入浴介護	0.0	2.7	27.0	56.8	5.4	8.1
訪問看護	0.0	0.0	51.4	40.5	2.7	5.4
訪問リハビリテーション	0.0	0.0	29.7	51.4	13.5	5.4
通所リハビリテーション	0.0	2.7	51.4	29.7	5.4	10.8
通所介護	2.7	24.3	45.9	18.9	5.4	2.7
地域密着型通所介護	0.0	16.2	56.8	13.5	5.4	8.1
短期入所(生活介護・療養介護)	0.0	0.0	37.8	48.6	10.8	2.7
福祉用具貸与	8.1	16.2	73.0	0.0	0.0	2.7
居宅療養管理指導	0.0	0.0	48.6	29.7	13.5	8.1
小規模多機能型居宅介護	0.0	0.0	37.8	37.8	10.8	13.5
認知症対応型通所介護	0.0	0.0	10.8	51.4	27.0	10.8
認知症対応型共同生活介護	0.0	0.0	21.6	45.9	16.2	16.2
夜間対応型訪問介護	0.0	0.0	5.4	18.9	64.9	10.8
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0.0	0.0	5.4	21.6	62.2	10.8
複合型サービス	0.0	0.0	10.8	21.6	48.6	18.9
介護老人福祉施設(地密を含む)	0.0	0.0	24.3	40.5	27.0	8.1
介護老人保健施設	0.0	2.7	32.4	37.8	18.9	8.1
特定施設入所者生活介護(地密を含む)	0.0	2.7	29.7	40.5	18.9	8.1

## IV 調査結果（介護支援専門員アンケート）

### 10 常磐・遠野 回答者 23名

常磐地区全域（若葉台を除く）、遠野地区全域

	(%)					
	1.供給過多である	2.やや供給過多である	3.需要と供給のバランスが取れている	4.やや需要を満たしていない	5.全く需要を満たしていない	無回答
訪問介護	0.0	4.3	43.5	34.8	13.0	4.3
訪問入浴介護	0.0	0.0	26.1	52.2	8.7	13.0
訪問看護	0.0	0.0	52.2	34.8	8.7	4.3
訪問リハビリテーション	0.0	0.0	47.8	39.1	8.7	4.3
通所リハビリテーション	0.0	0.0	30.4	52.2	13.0	4.3
通所介護	0.0	34.8	39.1	17.4	8.7	0.0
地域密着型通所介護	0.0	21.7	52.2	17.4	4.3	4.3
短期入所(生活介護・療養介護)	0.0	0.0	47.8	30.4	17.4	4.3
福祉用具貸与	4.3	8.7	73.9	13.0	0.0	0.0
居宅療養管理指導	0.0	0.0	43.5	43.5	4.3	8.7
小規模多機能型居宅介護	0.0	4.3	39.1	34.8	4.3	17.4
認知症対応型通所介護	0.0	0.0	30.4	39.1	21.7	8.7
認知症対応型共同生活介護	0.0	0.0	30.4	34.8	17.4	17.4
夜間対応型訪問介護	0.0	0.0	4.3	13.0	56.5	26.1
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0.0	0.0	4.3	8.7	60.9	26.1
複合型サービス	0.0	0.0	13.0	13.0	47.8	26.1
介護老人福祉施設(地密を含む)	0.0	0.0	26.1	43.5	26.1	4.3
介護老人保健施設	0.0	0.0	30.4	43.5	21.7	4.3
特定施設入所者生活介護(地密を含む)	0.0	0.0	30.4	43.5	13.0	13.0

### 11 内郷 回答者 23名

内郷地区全域（内郷小島町、小島町を除く）

	(%)					
	1.供給過多である	2.やや供給過多である	3.需要と供給のバランスが取れている	4.やや需要を満たしていない	5.全く需要を満たしていない	無回答
訪問介護	4.3	13.0	39.1	34.8	0.0	8.7
訪問入浴介護	4.3	0.0	26.1	52.2	4.3	13.0
訪問看護	4.3	0.0	43.5	39.1	4.3	8.7
訪問リハビリテーション	0.0	0.0	43.5	39.1	4.3	13.0
通所リハビリテーション	4.3	0.0	30.4	43.5	4.3	17.4
通所介護	17.4	17.4	39.1	13.0	0.0	13.0
地域密着型通所介護	21.7	17.4	39.1	13.0	0.0	8.7
短期入所(生活介護・療養介護)	0.0	8.7	39.1	26.1	13.0	13.0
福祉用具貸与	13.0	21.7	47.8	4.3	4.3	8.7
居宅療養管理指導	0.0	4.3	43.5	34.8	4.3	13.0
小規模多機能型居宅介護	4.3	8.7	26.1	39.1	0.0	21.7
認知症対応型通所介護	0.0	4.3	21.7	43.5	13.0	17.4
認知症対応型共同生活介護	4.3	4.3	26.1	34.8	8.7	21.7
夜間対応型訪問介護	4.3	4.3	0.0	13.0	56.5	21.7
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0.0	8.7	0.0	13.0	56.5	21.7
複合型サービス	0.0	8.7	13.0	17.4	43.5	17.4
介護老人福祉施設(地密を含む)	0.0	0.0	30.4	39.1	17.4	13.0
介護老人保健施設	0.0	0.0	30.4	39.1	17.4	13.0
特定施設入所者生活介護(地密を含む)	0.0	4.3	30.4	34.8	13.0	17.4

## IV 調査結果（介護支援専門員アンケート）

12 好間・三和 回答者 12名

好間地区全域、三和地区全域

	(%)					
	1.供給過多である	2.やや供給過多である	3.需要と供給のバランスが取れている	4.やや需要を満たしていない	5.全く需要を満たしていない	無回答
訪問介護	8.3	8.3	33.3	33.3	8.3	8.3
訪問入浴介護	0.0	0.0	16.7	66.7	8.3	8.3
訪問看護	8.3	0.0	41.7	33.3	8.3	8.3
訪問リハビリテーション	0.0	0.0	25.0	50.0	16.7	8.3
通所リハビリテーション	0.0	0.0	8.3	58.3	25.0	8.3
通所介護	8.3	16.7	33.3	33.3	0.0	8.3
地域密着型通所介護	8.3	16.7	25.0	41.7	0.0	8.3
短期入所(生活介護・療養介護)	0.0	0.0	33.3	50.0	8.3	8.3
福祉用具貸与	8.3	16.7	41.7	25.0	0.0	8.3
居宅療養管理指導	0.0	8.3	16.7	50.0	16.7	8.3
小規模多機能型居宅介護	0.0	8.3	25.0	50.0	8.3	8.3
認知症対応型通所介護	0.0	0.0	16.7	58.3	16.7	8.3
認知症対応型共同生活介護	0.0	8.3	33.3	50.0	0.0	8.3
夜間対応型訪問介護	0.0	8.3	0.0	8.3	75.0	8.3
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0.0	8.3	0.0	16.7	66.7	8.3
複合型サービス	0.0	8.3	0.0	16.7	66.7	8.3
介護老人福祉施設(地密を含む)	0.0	0.0	8.3	58.3	25.0	8.3
介護老人保健施設	0.0	0.0	16.7	58.3	16.7	8.3
特定施設入所者生活介護(地密を含む)	0.0	0.0	8.3	58.3	25.0	8.3

13 四倉・久之浜大久 回答者 24名

四倉地区全域、久之浜・大久地区全域

	(%)					
	1.供給過多である	2.やや供給過多である	3.需要と供給のバランスが取れている	4.やや需要を満たしていない	5.全く需要を満たしていない	無回答
訪問介護	4.2	0.0	25.0	41.7	12.5	16.7
訪問入浴介護	0.0	0.0	33.3	45.8	4.2	16.7
訪問看護	0.0	0.0	20.8	58.3	12.5	8.3
訪問リハビリテーション	0.0	0.0	16.7	33.3	37.5	12.5
通所リハビリテーション	0.0	0.0	8.3	41.7	33.3	16.7
通所介護	8.3	16.7	29.2	29.2	8.3	8.3
地域密着型通所介護	0.0	16.7	33.3	37.5	0.0	12.5
短期入所(生活介護・療養介護)	0.0	4.2	4.2	54.2	25.0	12.5
福祉用具貸与	12.5	4.2	58.3	12.5	4.2	8.3
居宅療養管理指導	0.0	0.0	45.8	37.5	4.2	12.5
小規模多機能型居宅介護	0.0	0.0	12.5	50.0	20.8	16.7
認知症対応型通所介護	0.0	0.0	8.3	41.7	37.5	12.5
認知症対応型共同生活介護	0.0	0.0	16.7	41.7	29.2	12.5
夜間対応型訪問介護	0.0	0.0	0.0	4.2	79.2	16.7
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0.0	0.0	0.0	4.2	75.0	20.8
複合型サービス	0.0	0.0	0.0	16.7	62.5	20.8
介護老人福祉施設(地密を含む)	0.0	0.0	25.0	41.7	25.0	8.3
介護老人保健施設	0.0	0.0	25.0	33.3	33.3	8.3
特定施設入所者生活介護(地密を含む)	0.0	0.0	12.5	37.5	41.7	8.3

## IV 調査結果（介護支援専門員アンケート）

14 小川・川前 回答者 2名

小川地区全域、川前地区全域

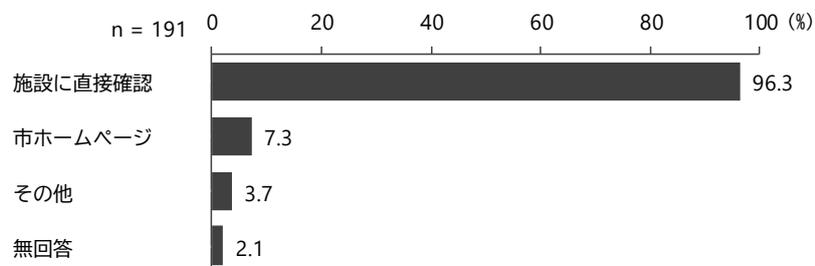
	(%)					
	1.供給過多である	2.やや供給過多である	3.需要と供給のバランスが取れている	4.やや需要を満たしていない	5.全く需要を満たしていない	無回答
訪問介護	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
訪問入浴介護	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
訪問看護	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
訪問リハビリテーション	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
通所リハビリテーション	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
通所介護	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
地域密着型通所介護	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
短期入所(生活介護・療養介護)	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
福祉用具貸与	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
居宅療養管理指導	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
小規模多機能型居宅介護	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
認知症対応型通所介護	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
認知症対応型共同生活介護	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
夜間対応型訪問介護	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
複合型サービス	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
介護老人福祉施設(地密を含む)	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
介護老人保健施設	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
特定施設入所者生活介護(地密を含む)	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0

## IV 調査結果（介護支援専門員アンケート）

### 3-2 短期入所生活介護（ショートステイ）の空き状況の確認手段

- ▶ 短期入所生活介護（ショートステイ）の空き状況の確認手段については、「施設に直接確認」が96.3%、「市ホームページ」が7.3%となっています。

問 22 短期入所生活介護（ショートステイ）の空き状況を、どのような手段で確認していますか（複数回答可）

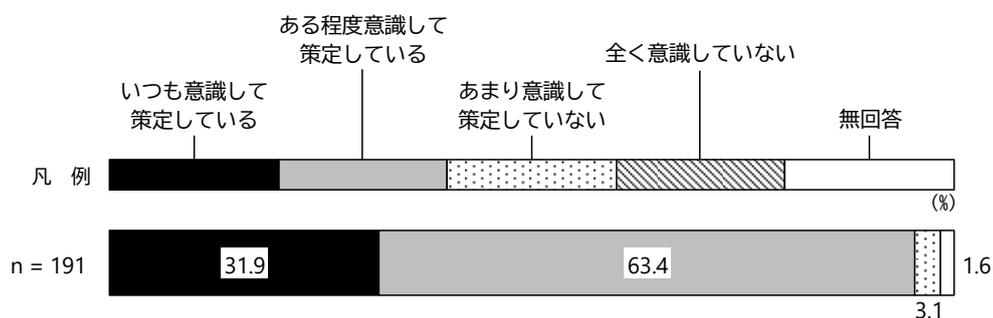


## 4 ケアプラン作成について

### 4-1 「自立支援」「重度化防止」に向けたケアプラン作成の意識度

- ▶ 「自立支援」「重度化防止」に向けたケアプラン作成の意識度については、「ある程度意識して策定している」が63.4%と最も高く、次いで「いつも意識して策定している」が31.9%となっており、「いつも意識して策定している」(31.9%)と「ある程度意識して策定している」(63.4%)を合わせた《意識して策定している》は95.3%となっています。

問23 「自立支援」「重度化防止」に向けたケアプランの作成について、日頃の程度意識して策定にあたっていますか

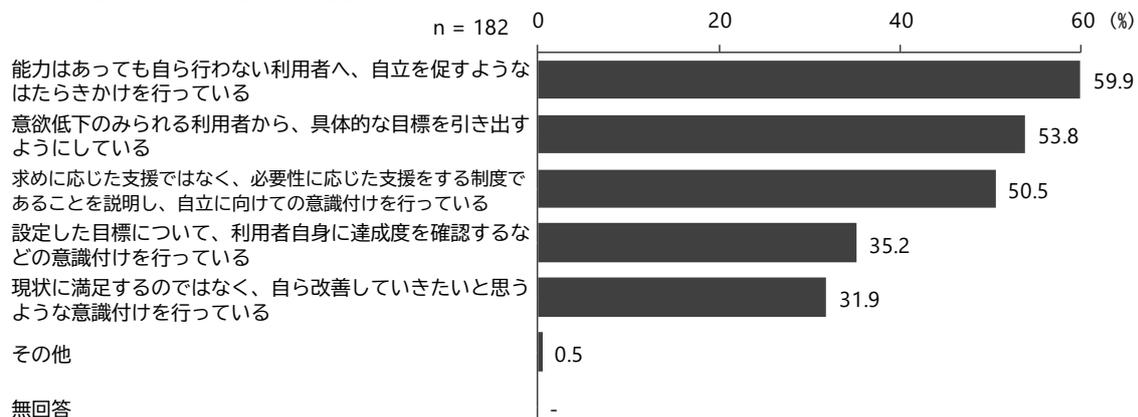


### 4-2 「自立支援」「重度化防止」に向けて意識していること

- ▶ 「自立支援」「重度化防止」に向けて意識していることについては、「能力はあっても自ら行わない利用者へ、自立を促すようなはたらきかけを行っている」が59.9%と最も高く、次いで「意欲低下のみられる利用者から、具体的な目標を引き出すようにしている」が53.8%となっています。

問23で「いつも意識して策定している」「ある程度意識して策定している」と答えた方にかがいます

問24 主にどういったことを意識して「自立支援」「重度化防止」に向けたケアプランの作成を行っていますか（複数回答可）

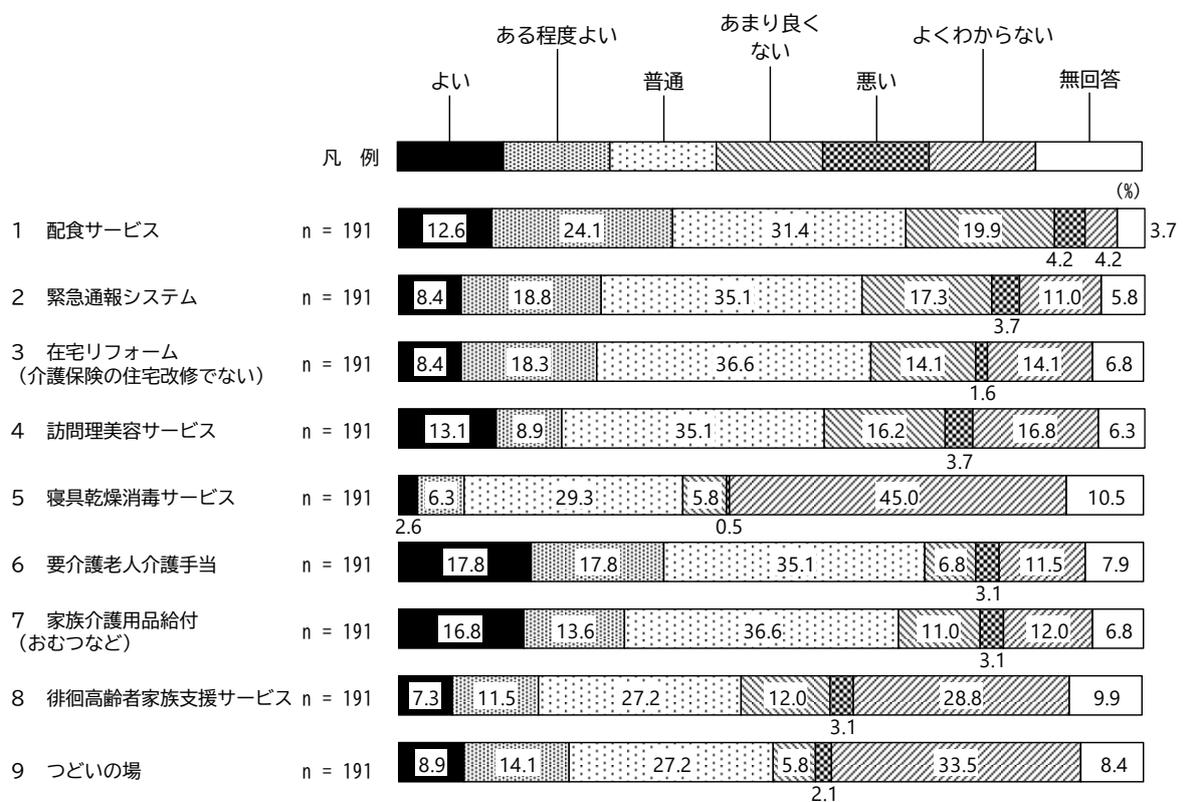


## 5 一般高齢者福祉事業の評価について

### 5-1 一般高齢者福祉事業の評価

▶ 市が実施する一般高齢者福祉事業の評価について、「よい」、「ある程度よい」、「普通」を合わせた回答割合を各サービスで比較すると、『要介護老人介護手当』が70.7%と最も高く、次いで『配食サービス』が68.1%となっています。一方、『寝具乾燥消毒サービス』では、「よくわからない」の割合が45.0%と、他のサービスに比べ10ポイント以上高くなっています。

問 25 市が実施する一般高齢者福祉事業について、満足度や利便性などの観点から6段階で評価してください。また、その理由を簡単に記入してください



## 一般高齢者福祉事業の評価理由（代表例抜粋）

事業名	評価理由
配食サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 独居、高齢者世帯の安否確認ができ、配達時に変化があれば連絡を頂ける。調理への負担軽減ができ確実に摂取できている。</li> <li>・ 利用回数が多い利用者は、1つの事業所を選択できないため味にあきてしまいすぐに利用をやめてしまう。</li> <li>・ 査定が厳しい。</li> </ul>
緊急通報システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者にとって安心につながっていると思うが申請、協力員など、大変。</li> <li>・ 独居だけでなく老々介護や障害者居にも対応してほしい。</li> <li>・ 協力員の確保が難しい。認知症利用者は使い方分からない。</li> </ul>
在宅リフォーム （介護保険の住宅改修でない）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護保険での難しい改修等（大規模な改修）が出来て利用者の満足度は高い。</li> <li>・ バリアフリー化出来て暮らしやすくなっている。</li> <li>・ ケアマネが知らないうちにリフォームされる方がいて、補助金制度を説明されないままリフォームとなってしまうケースがある。</li> </ul>
訪問理美容サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 寝たきりのケースでも、働いている家族が同世帯にいると対象外となること。</li> <li>・ 対応してくれる事業所が少ない。</li> <li>・ 事業所一覧に記載されていても現在行われていない店が多々ある。金額設定が高い所がある。</li> </ul>
寝具乾燥消毒サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 寝具の清潔は高齢者には大変なので良いサービス。</li> <li>・ 世帯全員ができない状況でないと利用できず、実際利用した例がない。</li> </ul>
要介護老人介護手当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ この制度があることで、家族の介護意欲、やりがいなどあたりまえの介護が、評価してもらえる介護につながっており、意欲維持になっている。</li> <li>・ 高齢者夫婦のみ世帯では、申請方法に負担がある。</li> <li>・ 住所が異なる家族が一所懸命に介護をしているにもかかわらずむくわれないケースがある。</li> </ul>
家族介護用新給付 （おむつなど）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家族の負担軽減にとっても役立っている。</li> <li>・ 支給の基準が厳しい。</li> </ul>
徘徊高齢者家族支援サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 登録することで安心感があり実際にも素早く対応してくれる。</li> <li>・ GPS端末を本人に持たせることが難しい為。</li> </ul>
つどいの場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護予防につながると考える。</li> <li>・ 開催していることが、分かりづらい。情報が少ない。</li> </ul>

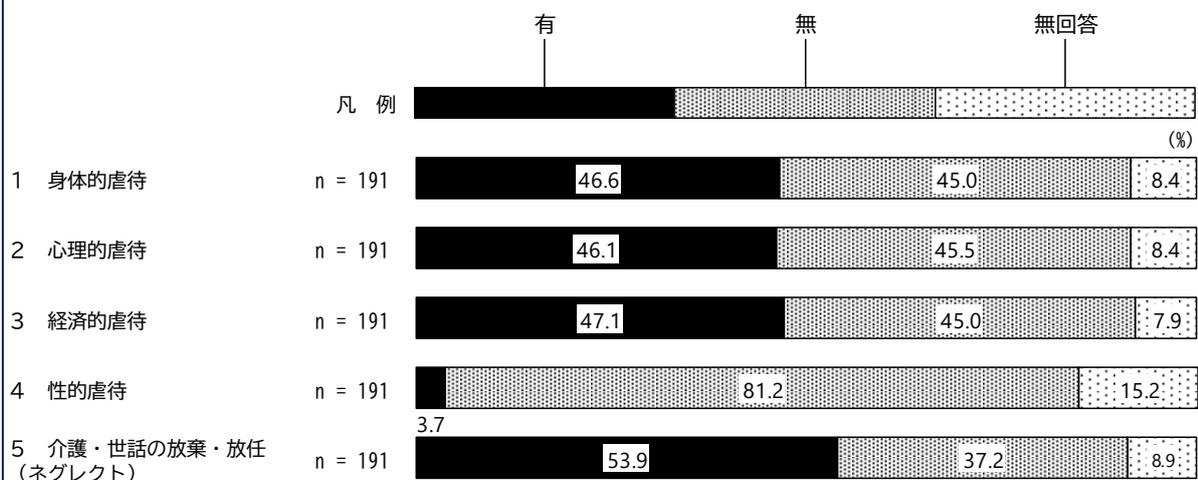
## 6 高齢者虐待の疑いのあるケースの経験有無について

### 6-1 高齢者虐待の疑いのあるケースの経験有無

- ▶ 高齢者虐待の疑いのあるケースの経験有無については、「有」と回答した割合が高い順に、『介護・世話の放棄・放任（ネグレクト）』（53.9%）、『経済的虐待』（47.1%）、『身体的虐待』（46.6%）、『心理的虐待』（46.1%）、『性的虐待』（3.7%）となっています。

問 26 高齢者虐待について、これまで（現在を含む）関わってきたケースの中に、虐待を受けていると疑われる事例はありましたか

次の5つの分類ごとに、「有・無」のいずれかに○をつけてください

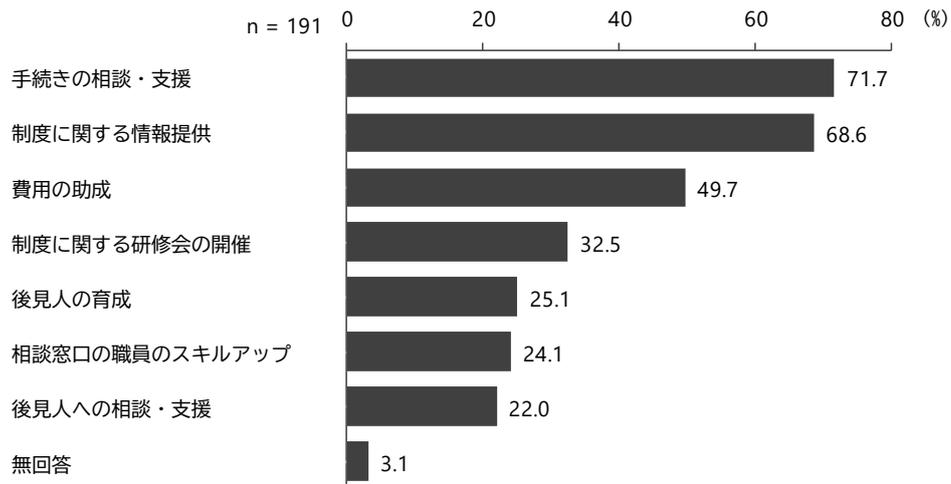


## 7 成年後見制度について

### 7-1 成年後見制度活用に必要な取組み

- ▶ 成年後見制度活用に必要な取組みについては、「手続きの相談・支援」が71.7%と最も高く、次いで「制度に関する情報提供」が68.6%となっています。

問 27 成年後見制度について、制度を活用していくためには、どのような取組みが必要だと思いますか（複数回答可）



### 7-2 成年後見制度を活用していくために必要だと思うこと

- ▶ 問 27 の選択肢以外に成年後見制度を活用していくために必要だと思う取り組み等について自由記述で回答を求め、記述内容を分析したところ、「家族の理解」、「制度や手続き」、「制度や対応・利用方法に関する研修」、「金銭的不安」のなどを要点とした意見が見られました。

問 28 問 27 でお答えいただいた内容や、それ以外のことで、成年後見制度を活用していくために必要だと思うことについて、以下にご記入ください

#### 成年後見制度を活用していくために必要なこと（代表例抜粋）

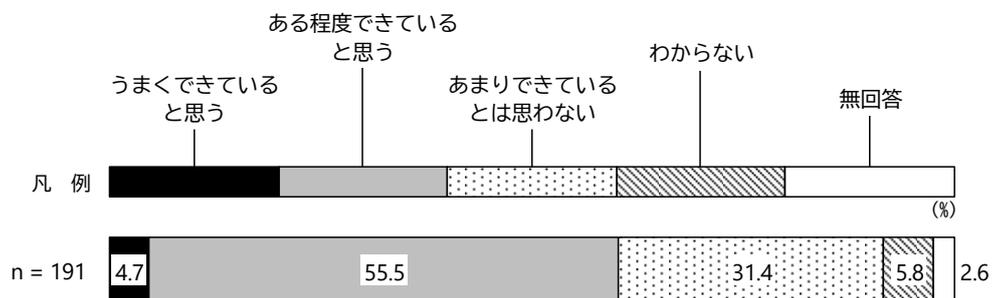
要点	内容
家族の理解	家族の協力が必要で理解が進んでいない。
制度・手続き	成年後見制度を利用するための手続きなどが、面倒であるということ で利用につながらないと思うので、もう少し、容易にできないものか と思う。
	成年後見制度を利用したい場合は制度利用できるまで時間がかかるた め、まず包括へ相談して早めに対応していくことが大切。
	制度が複雑で分りにくい。金銭的に余裕がない人も活用できるしくみ 作り。
制度や対応・利用方法に 関する研修	成年後見制度に対する具体的内容の研修会。
金銭的不安	費用面で利用を断念してしまう事が多く支援が必要な方が利用できな い状況がある。収入（貯蓄）に応じて助成制度があれば利用者も多 くなると思います。

## 8 ケアマネジャーとして感じること

### 8-1 地域の福祉資源と医療資源の連携状況

- ▶ 地域の福祉資源と医療資源の連携状況については、「ある程度できていると思う」が55.5%と最も高く、次いで「あまりできているとは思わない」が31.4%となっています。

問 29 地域包括ケアの推進には地域の福祉（介護）と医療との連携が欠かせませんが、地域の福祉資源と医療資源との連携はうまくできていると思いますか。考えに最も近いものひとつに○をつけてください

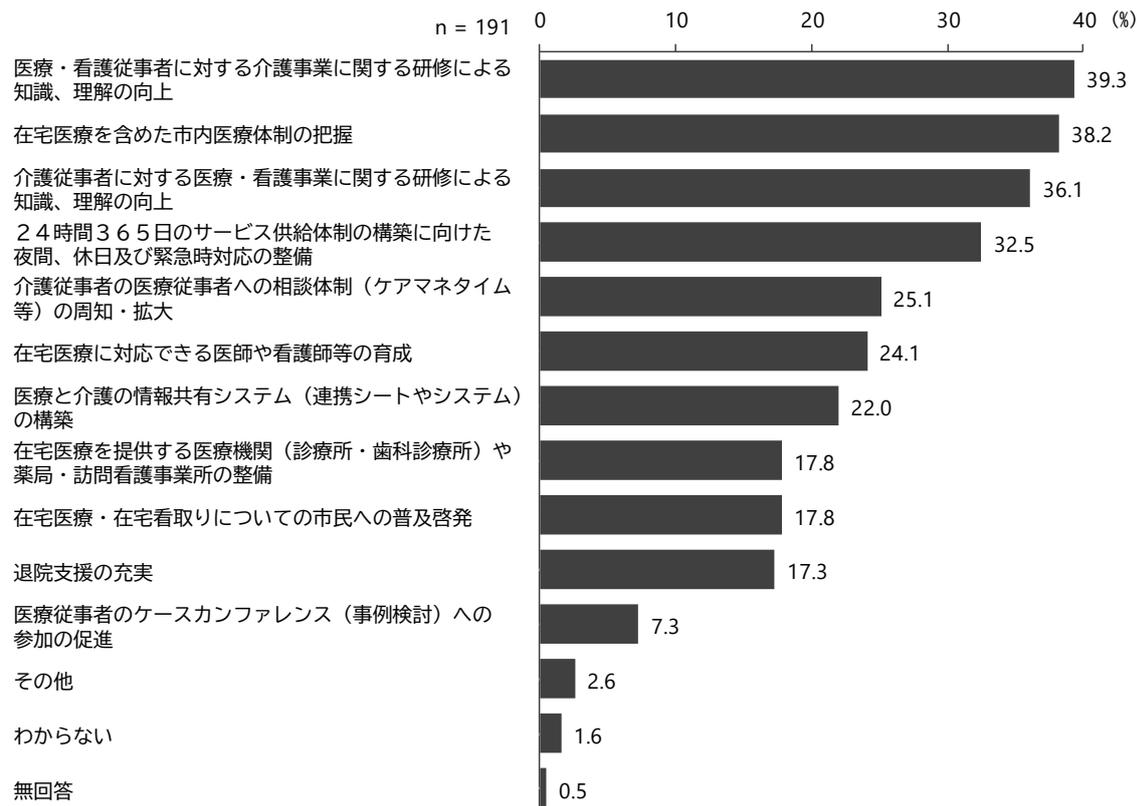


## IV 調査結果（介護支援専門員アンケート）

### 8-2 地域の福祉資源と医療資源の連携に必要なこと

- ▶ 地域の福祉資源と医療資源の連携に必要なことについては、「医療・看護従事者に対する介護事業に関する研修による知識、理解の向上」が39.3%と最も高く、次いで「在宅医療を含めた市内医療体制の把握」が38.2%となっています。

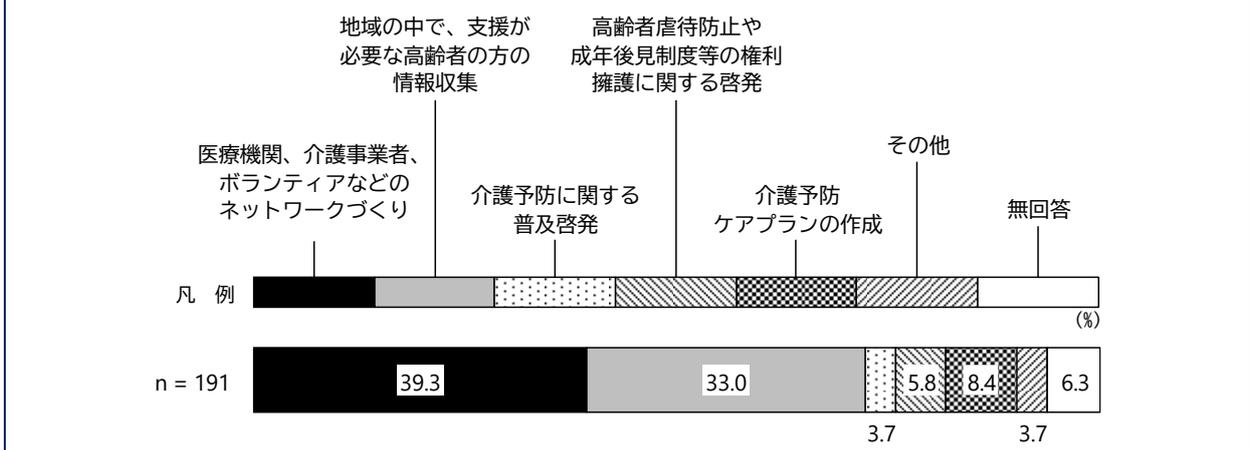
問 30 地域の福祉資源（介護）と医療資源の連携を図るためには、特に何が必要だと思えますか。考えに最も近いものに○をつけてください（3つまで）



### 8-3 地域包括支援センターの活動において充実すべきこと

- ▶ 地域包括支援センターの活動において充実すべきことについては、「医療機関、介護事業者、ボランティアなどのネットワークづくり」が39.3%と最も高く、次いで「地域の中で、支援が必要な高齢者の方の情報収集」が33.0%となっています。

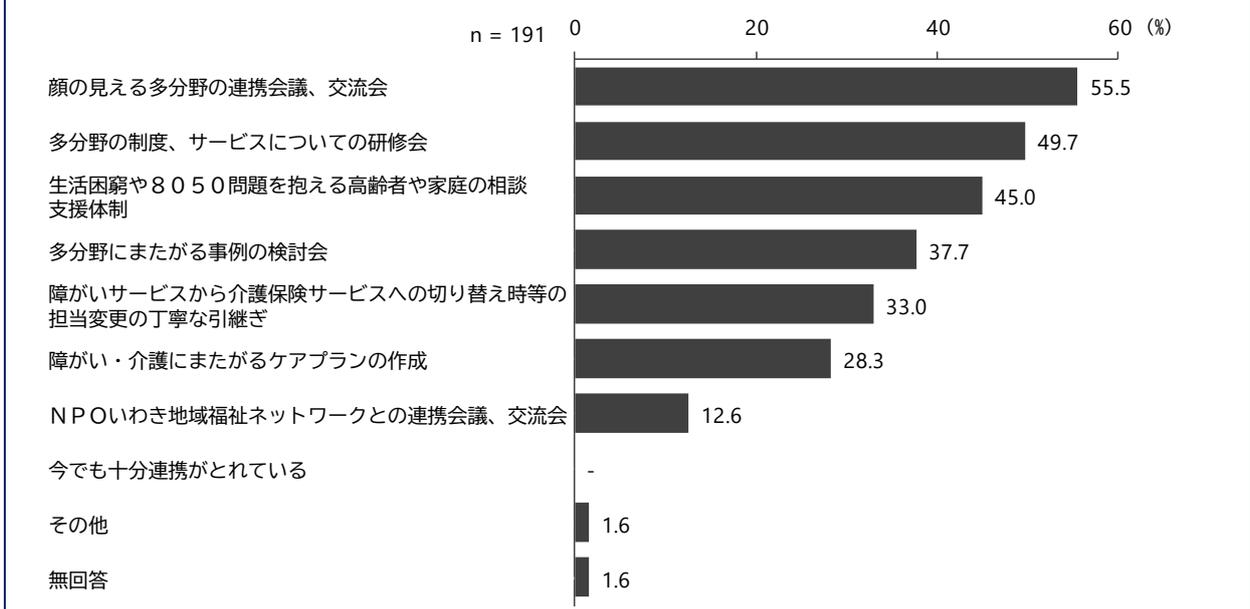
問 31 地域包括支援センターの活動について、今後に向けて最も充実していくべきだと思うことひとつに○をつけてください



### 8-4 多分野（介護・障がい等）との連携に必要なこと

- ▶ 多分野（介護・障がい等）との連携に必要なことについては、「顔の見える多分野の連携会議、交流会」が55.5%と最も高く、次いで「多分野の制度、サービスについての研修会」が49.7%となっています。

問 32 多分野（介護・障がい等）との連携をより深めるには特に何が必要だと思いますか（複数回答可）

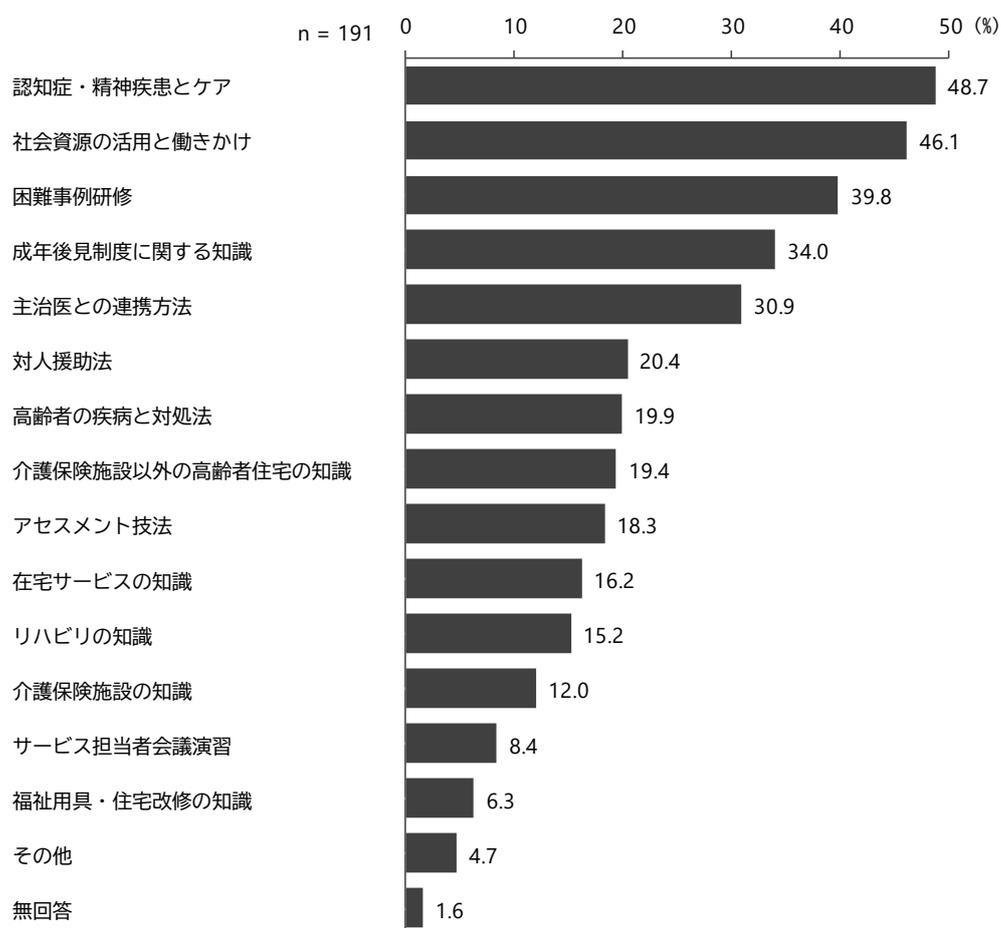


## IV 調査結果（介護支援専門員アンケート）

### 8-5 介護支援専門員研修で受講したい研修

▶介護支援専門員研修で受講したい研修については、「認知症・精神疾患とケア」が48.7%と最も高く、次いで「社会資源の活用と働きかけ」が46.1%となっています。

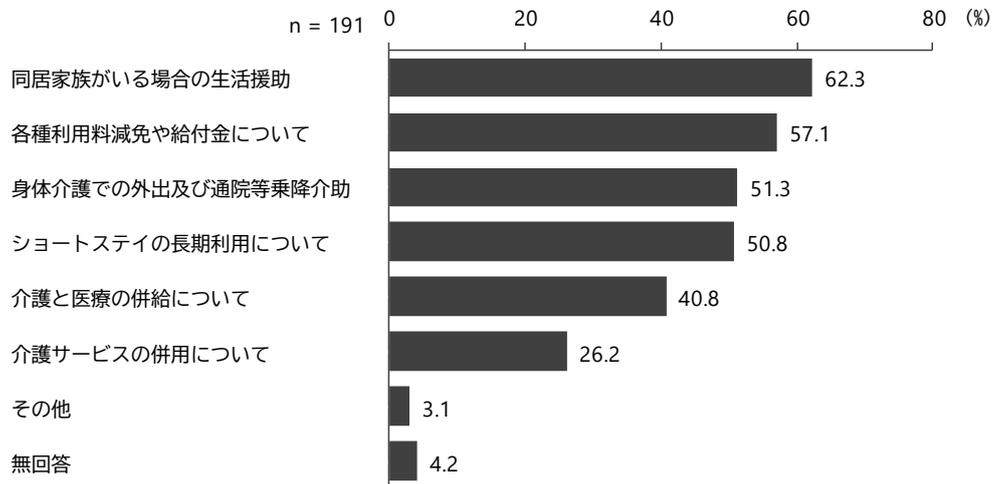
問 33 介護支援専門員研修で必要と思われる知識や、今後受講したいと思う課題はどのようなものですか（複数回答可）



## 8-6 作成して欲しいマニュアル等

- ▶ 作成して欲しいマニュアル等については、「同居家族がいる場合の生活援助」が62.3%と最も高く、次いで「各種利用料減免や給付金について」が57.1%となっています。

問 34 福祉サービスに関わる市の取扱いで、マニュアル等を作成してほしいと思うテーマはありますか（複数回答可）



#### IV 調査結果（介護支援専門員アンケート）

### 8-7 いわき市の保健・福祉施策等に対する意見・要望

回答者のいわき市の保険・福祉施策等に対する要望については、23人から26件の意見がありました。

#### <いわき市の保健・福祉施策等に対する要望>

- ▶ いわき市の保健・福祉施策等に対する要望について、多い順に分類分けをしました。要望の一番多かった分類は、利用者への支援方法に関すること（12件）、次いで連携体制に関すること（7件）でした。

問35 その他、いわき市の保健・福祉施策等に対するのご意見・ご要望等を、以下の欄にご自由にお書きください

要望内容			回答者職種
要点	要望の対象	要望内容	
利用者への支援方法	全般	葬送支援、入院、入所支援など、支援範囲を拡大してほしい。相談窓口もなく身よりのない方の支援で、困っている。	看護師
		昼食代を安くしてほしい（デイサービス、ショートステイ等）。市内の中でバラつきがある。市内施設全部で取り組めば安く済むこともあるのではないかな。	無回答
		独居の高齢者が増えてくる中で、サービスを増やす程ではないけど、ちょっとした手助けをしてくれる方々がいると助かる人が多いと思います。時間と曜日を決めなくても、ふらっと様子を見に来てくれたり、話をしていってくれたりする存在があったらいいなと思います。	介護福祉士
		お金のない一人暮らしや少人数家族が多くあり、その方が認知症になっていくとサービスを利用するにしても施設を考えるにしてもお金がなくて利用できない。家族もお金がなくサービスを満足につかえずトラブルことが多い。年金だけで入所できるシステムを考えてほしい。	看護師
	家族	同居家族がいても、非協力的な家族で施設入所も嫌がる家族等にも関わってほしい。	介護福祉士

IV 調査結果（介護支援専門員アンケート）

要望内容			回答者職種	
要点	要望の対象	要望内容（原文）		
利用者への支援方法	家族	お金のない一人ぐらしや少人数家族が多くあり、その方が認知症になっていくとサービスを利用するにしても施設を考えるにしてもお金がなくて利用できない。家族もお金がなくサービスを満足につかえずトラブルことが多い。年金だけで入所できるシステムを考えてほしい。	看護師	
	送迎		つどいの場やサークル等足がない為参加できない。送迎支援もあると参加しやすいと思う。	介護福祉士
			ケアマネージャーに病院に連れて行ってほしい。	無回答
			タクシー代の助成。	介護福祉士
			交通の便が悪い地域の買い物がほしい。(移動販売車や移動サポート等)	看護師
			介護認定を受けている方の中に「交通機関の1つであるバスのタラップの段差が高くタクシーを利用するしか手段がない。もう少し乗り降りしやすい高さであったら、杖を使用して乗り降りできるのだが…」という声や、「日中独居となるが、家族同居の為必要な生活援助が利用できないのが困る。家族も仕事をしている為忙しく、したくないのではなく、協力したくても勤務上時間がとれない。1人で生活すれば支援してもらえるのか?」という声もうかがう。市独自のサービスとして、生活援助支援がまだまだ市民にとっての受け入れが難しい点がある。市民へのわかりやすい発信をお願いしたい。また、高齢者の移動手段として、公共バスの乗降のしやすさなど検討願いたい。	介護福祉士

#### IV 調査結果（介護支援専門員アンケート）

要望内容			回答者職種
要点	要望の対象	要望内容（原文）	
利用者への支援方法	送迎	<p>現在、高齢者並びに認知症高齢者が運転しているケースが多いです。全国でも事故のニュースが多いです。しかしながら、車を返納すると受診できない。（バスの時間、電車の本数がすくない）。返納してもメリットがない。</p> <p>いわき市独自サービスで高齢者が安心して車の免許を返納できる福祉施策をつくらなければいけないのではと日々思います。認知症高齢者が運転し、返納までいたらない困難ケースや警察署に相談しても難しいといわれてしまいます。ぜひ、高齢者が安心して返納できる福祉サービスを。バスの本数を一時的にふやす。一ヶ月市内を1万～2万で使える。などは、どうでしょうか？</p>	介護福祉士
連携体制	全般	<p>地区によって様々な申請時の対応（職員の対応）がちがうので統一してほしい。</p>	介護福祉士
		<p>利用者の給付制限についての理解をしていただくのに説明を行います。制限される記載を介護保険証に印字されていることについても説明を行っても難しいと（良くわからない）回答されることもあり制限される期間の負担証の交付をして頂けるよう検討していただきたいと思います。</p>	介護福祉士
		<p>日々届けられる声に耳を傾けて下さい。</p>	介護福祉士
		<p>今年度から始まるケアプランデータ連携システムに関わってほしい。</p>	介護福祉士
		<p>各地区センターは、いわき市の窓口だと思います。困って相談に行くのに非常に事務的な対応をされると心が折れそうになります。相手が困っている事を念頭に対応をお願いしたいと思います。</p>	介護福祉士

IV 調査結果（介護支援専門員アンケート）

要望内容			回答者職種
要点	要望の対象	要望内容（原文）	
連携体制	医療	<p>病気になっても（認知症）医療機関にスムーズにつなげないのがつらい。たすけてあげたくても思うように対応できないことが困る。高齢者ゆえいつ何かあるかわからないことは多々あると思うのでまずは医療につなげられるようできたら役所に相談できる窓口（連携をとってくれる窓口）を持ってほしい。</p>	看護師
		<p>主治医に軽度者申請や医療系サービス導入の照会状を依頼する際に、利用者の状況をかなり細かく記載して、主治医が回答しやすいようにしている。</p> <p>にも関わらず、『何て書けばいいか？』と問い合わせが来る。</p> <p>『通所リハビリの利用は良いと思う』程度の回答だと、包括や地区センの方に『主治医が意見を書いてもらえるようにケアマネが記載内容を工夫することが必要』と言われることがある。しかし、自分は主治医が書きやすいように記載しているつもりである。ケアマネに『もっとこうすると良い』と言うよりも、医師に照会文の回答の仕方などについて勉強会を開いて頂きたいと切に願います。</p>	介護福祉士
研修等		<p>介護保険の考え方を調べる時、他県市のホームページを参考にしています。地区ごとのローカルルール、保険者の考えがあると思います。ぜひ、ケアマネを導いて欲しいです。</p>	介護福祉士

#### IV 調査結果（介護支援専門員アンケート）

要望内容			回答者職種
要点	要望の対象	要望内容（原文）	
研修等		（今の自分のテーマでもあるのですが）職場内におけるハラスメントには色々な種類があるので、それを勉強したり、相談窓口などを作って欲しいです。（職場内にハラスメント窓口があっても言えない環境もあります）事業所でも、利用者を1人でも増やしたい等との思いからか、F aからの過度な要求を受け入れ、現場の職員が精神的なストレスや身体的な疲労を抱えこむケースもあります。現場より管理者クラスの指導や利用者・家族にも要求がハラスメントにあてはまらないか、と振りかえる事ができるような機会や啓発活動をしてもらえるといいな、と思います。よろしく願います。	介護福祉士
		ズームでの勉強会の開催をお願いします。	介護福祉士
		給付管理業務（ケアマネ）の研修。国保連からの通知内容を理解する。	介護等事務従事者
マニュアル整備等	全般	いわき市で介護保険に関する書類のフォーマットを作成し、充実させてほしいです。他市町村に比べて全くいいほどありません。	介護福祉士
ケアマネジメント業務について		ケアマネの業務量が日々多くなり、請求などの事務仕事は事務員が出来るような資金面でのサポートが必要。ケアマネの仕事に専念させて貰いたい。	介護福祉士
認定調査の方法		認定調査の実情（本人や家族が感じる困難さ）と認定結果の不一致。	介護福祉士

#### IV 調査結果（介護支援専門員アンケート）

回答者のいわき市の保険・福祉施策等に対する意見等については、26人から27件の意見がありました。

##### <いわき市の保健・福祉施策等に対する意見>

- ▶ いわき市の保健・福祉施策等に対する意見について、多い順に分類分けをしました。意見の一番多かった分類は、利用者への支援方法に関すること（16件）、次いでケアマネジメント業務に関すること（6件）でした。

意見内容			回答者職種
要点	意見の対象	意見内容（原文）	
利用者への支援方法	全般	訪問診療・訪問歯科をやる先生が増えてきたが、今後もっと必要になると思う。認知症の人が入院できる病院が少ない（ほとんどない）。精神科病院は内科疾患があると、入院させてもらえない。認知症の治療をしてくれる病院が少ない（ほとんどない）。認知症の人が、安心して泊まれるサービスが少ない。一般ショートステイでは、目が行き届かない。介護医療院が足りない。	看護師
		今後も困っている利用者様の立場で頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。	介護福祉士
		介護保険申請しケアマネ一覧表からさがす様に説明を受け困っている家族さんが多い。	看護師
		施設入所ができない。料金が安い。料金の負担が大きい。	無回答
		どこのデイサービスも同じ、特色がない。施設数がムダに多い。	介護福祉士
		往診を行う医師が少なすぎて困る。	介護福祉士
		独居高齢者が多く、ケアマネジメントをはるかに超えた対応が必要とされることがどんどん増えています。経済的理由もありサービス利用も控えていらっしゃる方もいます。今冬、寒い中をがまんしている高齢者に悲しい思いがつのります。	その他
		相変わらず施設入所待機の方が多く、困っている。	その他

#### IV 調査結果（介護支援専門員アンケート）

意見内容			回答者職種
要点	意見の対象	意見内容（原文）	
利用者への支援方法	全般	事業所が少ない地域である。配食サービスの事業所が少なく、利用できない所もある。	社会福祉士
		配食サービスの配達時間が夕食で依頼しているのに、14時半には届いている。	その他
		在宅では、介護負担を感じて施設入所を望む方が多い。入所できる施設が限られる。	無回答
		介護保険での利用制限が多いなか、障がい者支援において不必要と思われる支援時間の割り当てが多いように感じる。	その他
		申請書類等の作成は無償であるにも関わらず、ケアマネジャーに求められることが多く負担となっている。自立支援の観点からは当事者が自分の意志で作成することが望ましいと考えるが、障害特性により困難な場合も多く書類作成支援を強化する必要があると考える。	社会福祉士
	家族	家族同居による生活援助サービス不可。（特に掃除）また、利用回数の制限。乗降介助（病院までの利用料金が高い）（サービス事業所が少ない）。	介護福祉士
		同居家族がいる場合の生活援助の利用緩和を希望多い。	介護福祉士
	送迎	運転免許証を返納した場合、通院や買い物に行く際タクシーを利用するしか方法がないが、経済的に負担が大きい。要介護者の場合、訪問介護の生活援助や身体介護等のサービスを利用していないと通院等乗降介助は利用しにくい。要支援では、通院等乗降介助を利用できない。運転ができなくなっても、通院や買い物、趣味の外出ができるようにすることが課題と感じる。	介護福祉士

#### IV 調査結果（介護支援専門員アンケート）

意見内容			回答者職種
要点	意見の対象	意見内容（原文）	
ケアマネジメント業務について		利用者や、その家族、又その知人等から、「別のケアマネはやってくれる」ときいたことがある内容で、その様な対応をして良いのかと疑問に感じることをやっている人がいる様です。例：銀行通帳を預かる。お金を管理する。病院受診や買い物などの時にケアマネの自己車輻に乗せて同行する。この様なことをやっている人がいると見たり聞いたりすると、プロの職業人としての自覚はないのだろうとがっかりします。又、それを同じケアマネとして注意しても反発されるだけで、こちらが苦痛を感じます。	看護師
		作成書類の簡素化し、もっとご本人の状況把握やスムーズなサービス利用に時間をとりたい。	介護福祉士
		マイナンバーカードのケアマネ代理申請は精神的な負担が大きいとの意見が聞かれている。	介護福祉士
		いわき市の施策についての意見ではないが、ケアマネの仕事をしていて、大変負担の大きいことは、支援者のいない独居者の支援である。子供が少ない（出生率低下）時代、さらにそのような人が増えてくるはず。以前あった「独居加算」は有意義であった。また、通院に同席して、Drとやりとりすることがふえているが、500円という「通院加算」は、お茶をにごした加算であり、形だけをととのえたものを思う。診断の待ち時間がかかりすぎ、予約していても、2時間かかることもざらである。この加算は、ケアマネの負担を軽くみていたり、実態を把握していない方の料金設定と痛感している。	その他

#### IV 調査結果（介護支援専門員アンケート）

意見内容		回答者職種	
要点	意見の対象		
ケアマネジメント業務について		独居利用者が家族の支援もない方が増えておりケアマネがあらゆる面で支援しないと生活できな方が多くなっています。ケアマネ業務の明確化、身寄りが無い方の支援をする組織など整備していかないとケアマネの仕事量が増えていく一方と考える。	介護福祉士
		利用者からの過剰な要求や暴言などストレスを感じている。また、実地指導を受けることへの恐怖もある。書類を作ることで時間がとられる。机に座っていることより、利用者宅への訪問を優先したい。書類があることがよいケアマネとは思えないが…書類（モニタリング、アセスメントなど）大切であることは分かっている。居宅のケアマネに今後魅力があるとは思えず。希望者が減っている訳も分かる。	看護師
連携体制		窓口担当者が変わると見解がかわることが多い。介護保険課内でも意見や指示内容がかわり実務上とまどうことが多い。地区センターごとに申請受付にも差がある（配食等）。	看護師
		サービスの利用要件が変わっていく時に突然知らされるので困る。	看護師
		福祉制度など、いつの間にか、ケアマネが申請する。窓口対応した市の職員が「ケアマネから聞いてないの？ケアマネから説明うけて」と。そのように期待するなら、事前に知らせる。制度の勉強会が必要かと思えます。利用する人、ケアマネともに市民です。皆の利益のために。	介護福祉士
その他		いわき市から郵送される各種の通知を読み理解し返答郵送する場合に高齢者は視力も悪く読んだり書いたりが大変なので困っているとの声も多い	介護福祉士

#### IV 調査結果（介護支援専門員アンケート）

意見内容			回答者職種
要点	意見の対象	意見内容（原文）	
その他		<p>成年後見制度の利用を話した時、1千万だと月に2万の利用料がかかり、お金を使いたい時に「ぜいたく品」等の理由で自由に使えないから、この制度は使わないほうがいいと言われてしまった。反論する知識もなかったなので、話を聞いたただけだったが、これでは利用する人が増えないのではと思いました。</p>	介護福祉士

# V 資料編

## 1 介護予防・日常生活圏域二一ス調査 調査票

第 9 期

### 介護予防・日常生活圏域二一ス調査 【調査票】

- 調査票を記入する際は、各項目で該当する数字に○をつけてください。
- 調査票記入後は、3つ折りにし同封の返信用封筒に入れて、2月24日(金)までに投函してください。

記入日	令和 5 年 月 日
調査票を記入されたのはどなたですか。 ○をつけてください。	
1. あて名のご本人が記入	
2. ご家族が記入 (あて名のご本人からみられた続柄： )	
3. その他	

いわき市 保健福祉部 介護保険課 長寿支援係  
第 圏域



この調査票は、郵送に代えてWeb上で回答することもできます。  
左のQRコードをスマートフォンなどで読み取ると専用のWebサイトに移動します。  
入力の際は、左下のID番号を入力の上、設問にお答えください。

ID:\*\*\*-\*\*-\*\*\*

※ ID番号で個人を識別することはありません。

#### 個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。  
なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

#### 【個人情報の保護および活用目的について】

- この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、市による介護保険事業計画策定の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、市で適切に管理いたします。
- ただし、介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する市外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析するなど、個人が識別されない形で利用することがあります。





<b>問4 毎日の生活について</b>		
(1) 物忘れが多いと感じますか		
1. はい	2. いいえ	
(2) バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(3) 自分で食品・日用品の買物をしていますか		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(4) 自分で食事の用意をしていますか		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(5) 自分で請求書の支払いをしていますか		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(7) 趣味はありますか		
1. 趣味あり → ( )		
2. 思いつかない		
(8) 生きがいがありますか		
1. 生きがいあり → ( )		
2. 思いつかない		
(9) 働いていますか		
1. 働いている(正規雇用・非正規雇用・シルバー人材センター)		
2. 働いていない ⇒ (10)の質問にもお答えください		
(10) 仕事をする機会があったら、働きたいと思えますか		
1. フルタイムで働きたい	2. パートタイムで働きたい	
3. 身体的にまたは環境的に働けない	4. 働きたくない	

**問5 地域での活動について**

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか  
 ※①～⑧ それぞれに回答してください

	週4回 以上	週2～ 3回	週1回	月1～ 3回	年に 数回	参加して いない
① ボランティアの グループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係の グループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係の グループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ (つどいの場 など) 介護予防のための 通いの場	1	2	3	4	5	6
⑥ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を  
 行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に  
 参加者として参加してみたいと思いますか

1. ぜひ参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を  
 行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に  
 企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか

1. ぜひ参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

**問6 たすけあいについて**

あなたとまわりの人の「たすけあい」についてお答えをお願いします

(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(いくつでも)

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども  
 4. 兄弟姉妹・親戚・孫 5. 近隣 6. 友人  
 7. その他( ) 8. そのような人はいない

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(いくつでも)

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども  
 4. 兄弟姉妹・親戚・孫 5. 近隣 6. 友人  
 7. その他( ) 8. そのような人はいない

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人  
 (いくつでも)

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども  
 4. 兄弟姉妹・親戚・孫 5. 近隣 6. 友人  
 7. その他( ) 8. そのような人はいない

(4) 反対に、看病や世話をしてくれる人(いくつでも)

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども  
 4. 兄弟姉妹・親戚・孫 5. 近隣 6. 友人  
 7. その他( ) 8. そのような人はいない

<p><b>(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください</b> (いくつでも)</p> <p>1. 自治会・町内会・老人クラブ      2. 社会福祉協議会・民生委員 3. ケアマネジャー                      4. 医師・歯科医師・看護師 5. 地域包括支援センター・役所・役場      6. その他 7. そのような人は いない</p> <p><b>(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか</b></p> <p>1. 毎日 ある      2. 週に 何度か ある      3. 月に 何度か ある 4. 年に 何度か ある      5. ほとんど ない</p> <p><b>(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか</b> 同じ人にも 何度 会っても 1人と 数える こととします</p> <p>1. 0人 (いない)      2. 1 ~ 2人      3. 3 ~ 5人 4. 6 ~ 9人      5. 10人以上</p> <p><b>(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (いくつでも)</b></p> <p>1. 近所・同じ地域の人      2. 幼なじみ      3. 学生時代の友人 4. 仕事での同僚・元同僚      5. 趣味や関心が同じ友人 6. ボランティア等の活動での友人 7. その他      8. いない</p>	<p><b>問7 健康について</b></p> <p><b>(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか</b></p> <p>1. とてもよい      2. まあよい      3. あまりよくない      4. よくない</p> <p><b>(2) あなたは、現在のどの程度 幸せですか</b> (「とても不幸」を 0点、「とても幸せ」を 10点として、ご記入ください)</p> <p>とても不幸      0点      1点      2点      3点      4点      5点      6点      7点      8点      9点      10点      とても幸せ</p> <p><b>(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりする ことがありますか</b></p> <p>1. はい      2. いいえ</p> <p><b>(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から 楽しめない感じがよくありましたか</b></p> <p>1. はい      2. いいえ</p> <p><b>(5) お酒は飲みますか</b></p> <p>1. ほぼ 毎日 飲む      2. 時々 飲む      3. ほとんど 飲まない 4. もともと 飲まない</p> <p><b>(6) タバコは吸っていますか</b></p> <p>1. ほぼ 毎日 吸っている      2. 時々 吸っている      3. 吸っていたが やめた 4. もともと 吸っていない</p>
---	---



問9 敬老事業について	
(1) あなたは、地区敬老会に参加したことはありますか	1. はい 2. いいえ
(2) 今後、地区敬老会に参加したいと思えますか	1. 参加したい 2. できれば参加したい 3. あまり参加したくない 4. 参加したくない
【(2)で「3.あまり参加したくない」または「4.参加したくない」の方のみ】 参加したくない理由を教えてください(いくつでも)	1. 移動手段がない 2. 身体的に負担がかかる 3. 内容に魅力がない 4. なんとなく気が乗らない 5. その他( )
(3) いわき市では88歳の方と100歳の方に敬老祝金を支給していますが、継続すべきだと思いますか [88歳：5万円、100歳：20万円]	1. 今までどおり継続すべき 2. 金額を減らして継続すべき 3. 廃止すべき 4. その他( )
【(3)で「2.金額を減らして継続すべき」または「3.廃止すべき」の方のみ】 敬老祝金を縮小または廃止した場合、その代わりにどのような事業を充実すべきだと思いますか(いくつでも)	1. 高齢者に関する事業 2. 健康づくりに関する事業 3. 介護予防に関する事業 4. 子育てに関する事業 5. その他( )

■■■■ 以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました ■■■■

2 在宅介護実態調査 調査票

在宅介護実態調査 調査票

被保険者番号 [ \_\_\_\_\_ ]

**【A票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか】** (複数選択可)

- 1. 調査対象者本人
- 2. 主な介護者となっている家族・親族
- 3. 主な介護者以外の家族・親族
- 4. 調査対象者のケアマネジャー
- 5. その他

**A票 認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目**

**問1 世帯類型**について、ご回答ください (1つを選択)

- 1. 単身世帯
- 2. 夫婦のみ世帯
- 3. その他

**問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか**

(同居していない子どもや親族等からの介護を含む) (1つを選択)

- 1. ない
- 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない
- 3. 週に1~2日ある
- 4. 週に3~4日ある
- 5. ほぼ毎日ある

問3~問13へ

**問3 主な介護者の方は、どなたですか** (1つを選択)

- 1. 配偶者
- 2. 子
- 3. 子の配偶者
- 4. 孫
- 5. 兄弟・姉妹
- 6. その他

**問4 主な介護者の方の性別**について、ご回答ください (1つを選択)

- 1. 男性
- 2. 女性

**問5 主な介護者の方の年齢**について、ご回答ください (1つを選択)

- 1. 20歳未満
- 2. 20代
- 3. 30代
- 4. 40代
- 5. 50代
- 6. 60代
- 7. 70代
- 8. 80歳以上
- 9. わからない

**問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等**について、ご回答ください (複数選択可)

(身体介護)

- 1. 日中の排泄
- 2. 夜間の排泄
- 3. 食事の介助 (食べる時)
- 4. 入浴・洗身
- 5. 身だしなみ (洗顔・歯磨き等)
- 6. 衣服の着脱
- 7. 屋内の移乗・移動
- 8. 外出の付き添い、送迎等
- 9. 服薬
- 10. 認知症状への対応
- 11. 医療面での対応 (経管栄養、ストーマ等)

(生活援助)

- 12. 食事の準備 (調理等)
- 13. その他の家事 (掃除・洗濯、買い物等)
- 14. 食料管理や生活面に必要な諸手続き

(その他)

- 15. その他
- 16. わからない

**問7 ご家族やご親族の中で、ご本人(認定調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか** (現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません) (複数選択可)

- 1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)
- 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)
- 3. 主な介護者が転職した
- 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
- 5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
- 6. わからない

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

● ここから再び、全員に調査してください。

**問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービス**について、ご回答ください (複数選択可)

- 1. 配食
- 2. 調理
- 3. 掃除・洗濯
- 4. 買い物(宅配は含まない)
- 5. ゴミ出し
- 6. 外出同行(通院、買い物など)
- 7. 移送サービス(介護・福祉ツグ等)
- 8. 見守り、声かけ
- 9. サロンなどの定期的な通いの場
- 10. その他
- 11. 特になし

※ 総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

**問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス** (現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む) について、ご回答ください (複数選択可)

- 1. 配食
- 2. 調理
- 3. 掃除・洗濯
- 4. 買い物(宅配は含まない)
- 5. ゴミ出し
- 6. 外出同行(通院、買い物など)
- 7. 移送サービス(介護・福祉ツグ等)
- 8. 見守り、声かけ
- 9. サロンなどの定期的な通いの場
- 10. その他
- 11. 特になし

※ 介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

**問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つを選択）**

- 1. 入所・入居は検討していない
  - 2. 入所・入居を検討している
  - 3. すでに入所・入居申し込みをしている
- ※ 「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

**問11 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（複数選択可）**

- 1. 脳血管疾患（脳卒中）
- 2. 心疾患（心臓病）
- 3. 悪性新生物（がん）
- 4. 呼吸器疾患
- 5. 腎疾患（透析）
- 6. 筋骨格系疾患（骨粗しょう症、骨柱管狭窄症等）
- 7. 膠原病（関節リウマチ含む）
- 8. 変形性関節疾患
- 9. 認知症
- 10. パーキンソン病
- 11. 難病（パーキンソン病を除く）
- 12. 糖尿病
- 13. 眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）
- 14. その他
- 15. なし
- 16. わからない

**問12 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか（1つを選択）**

- 1. 利用している
- 2. 利用していない

※ 訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

**問13 現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか（1つを選択）**

- 1. 利用している
- 2. 利用していない

**● 問13で「2.」を回答した場合は、問14も調査してください。**

**問14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（複数選択可）**

- 1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
- 2. 本人にサービス利用の希望がない
- 3. 家族が介護をするため必要ない
- 4. 以前、利用していたサービスに不満があった
- 5. 利用料を支払うのが難しい
- 6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
- 7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
- 8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない
- 9. その他

**● 問2で「2.」～「5.」を回答し、さらに「主な介護者」が調査に同席している場合は、「主な介護者」の方にB票へのご回答・ご記入をお願いします。**

**● 「主な介護者」の方が同席されていない場合は、ご本人（調査対象者の方）にB票へのご回答・ご記入をお願いします。（ご本人にご回答・ご記入をお願いすることが困難な場合は、無回答で結構です）。**

**Ｂ票 主な介護者様、またはご本人様にご回答・ご記入頂く項目**

※ 主な介護者様、またはご本人様にご回答・ご記入（調査票の該当する番号に○）をお願い致します。

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）

- 1. フルタイムで働いている } 問2～問5へ
- 2. パートタイムで働いている } 問5(裏面)へ
- 3. 働いていない
- 4. 主な介護者に確認しないと、わからない

※ 「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」、「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問2 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（複数選択可）

- 1. 特に行っていない
- 2. 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている
- 3. 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている
- 4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
- 5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
- 6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問3 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択可）

- 1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
- 2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
- 3. 制度を利用しやすい職場づくり
- 4. 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）
- 5. 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）
- 6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
- 7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
- 8. 介護をしている従業員への経済的な支援
- 9. その他
- 10. 特にない
- 11. 主な介護者に確認しないと、わからない

問4 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）

- 1. 問題なく、続けていける
- 2. 問題はあるが、何とか続けていける
- 3. 続けていくのは、やや難しい
- 4. 続けていくのは、かなり難しい
- 5. 主な介護者に確認しないと、わからない

⇒ 皆様、裏面へお進みください

● ここから再び、全員の方にお伺いします。

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）

〔身体介護〕

- 1. 日中の排泄
- 2. 夜間の排泄
- 3. 食事の介助（食べる時）
- 4. 入浴・洗身
- 5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等）
- 6. 衣服の着脱
- 7. 屋内の移乗・移動
- 8. 外出の付き添い・送迎等
- 9. 服薬
- 10. 認知症状への対応

〔生活援助〕

- 11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）
- 12. 食事の準備（調理等）
- 13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）
- 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き

〔その他〕

- 15. その他
- 16. 不安に感じていることは、特になし
- 17. 主な介護者に確認しないと、わからない

問6 介護に参加しているご家族（主な介護者を含む）で、「老老介護」、「ダブルケア」または「ヤングケアラー」に該当する方はいますか（複数回答可）

- 1. 老老介護に該当している
- 2. ダブルケアに該当している
- 3. ヤングケアラーに該当している
- 4. いずれにも該当しない

※ 「老老介護」とは、高齢者の介護を

主に65歳以上の方が行うこと  
 ※ 「ダブルケア」とは、子育と介護を  
 同時にこなさなければならないこと  
 ※ 「ヤングケアラー」とは、一般に、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子ども（18歳未満）のこと

問7 問6で「1.」「2.」「3.」と回答した方についてお伺いします。どの程度負担に感じていますか（1つを選択）

- 1. とても負担に感じている
- 2. 負担に感じている
- 3. あまり負担に感じていない
- 4. 特に負担ではない
- 5. わからない

問8 問7で「1.」「2.」と回答した方についてお伺いします。介護に関してあなたが相談する相手はいますか（1つを選択）

- 1. 相談する相手がいる
- 2. 相談する相手は精にない
- 3. わからない

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。



問7 主任介護支援専門員の資格をお持ちですか

1. はい 2. いいえ

問7で1に「○」をつけた方にうかがいます

問8 主任介護支援専門員としてのどのような支援の充実が必要ですか (複数回答可)

1. 地域包括支援センターの主任介護支援専門員との連携体制の構築支援
2. 主任介護支援専門員の役割の明確化
3. 主任介護支援専門員の業務を行う為の体制づくり
4. 地域の社会資源の把握・ネットワークづくり支援
5. 介護予防・自立支援に資するケアマネジメントについての啓発
6. 主任介護支援専門員の資質向上を目的とした研修会の開催
7. スーパーバイズ等の活動の場の提供
8. その他 (自由記述: )
9. 特になし

問9 現在抱えているケアマネジメント業務に係る業務量について、負担を感じていますか

1. 業務量が多く大変である
2. やや業務量が多いように感じる
3. 特に負担は感じない
4. やや業務量が少ないように感じる
5. 業務量が少なく感じない

問10 業務を行う上で、困難であると感じることとはどのようなことですか (複数回答可)

1. 介護保険サービスの理解や算定の仕方
2. 各サービス事業所との調整や連携
3. 主治医との調整や連携
4. 処遇困難ケースへの対応
5. 低所得者、生活保護者へのサービス導入
6. 2号被保険者へのサービス導入
7. 認知症高齢者へのサービス導入
8. 事務作業 (書類作成など)
9. 家族が協力的でない、キーパーソンがいない
10. 身寄りがいない
11. 特になし
12. その他 (自由記述: )

問11 認知症高齢者の対応で困ったケースについて教えてください (複数回答可)

1. 家族の理解が得られない
2. スタッフの考えがバラバラ
3. 徘徊等の問題行動がある
4. 昼夜逆転や暴言など家族や周囲が疲弊する
5. 暴力行動で家族や周囲の人に危害を加える
6. 認知症ゆえに虐待や詐欺の被害にあう
7. 独居で関わる人がいない
8. その他 (自由記述: )
9. 特に困ったことはない

問12 認知症高齢者 (とその家族) の対応で困った場合、だれと連携して対応しましたか (複数回答可)

1. 社内職員と連携
2. 行政の担当部署
3. 地域包括支援センター
4. 医療機関
5. 担当者会議を開催し関係者との連携で対応
6. うまく連携できていない
7. 努力で (独自に) 解決している
8. その他 (自由記述: )
9. 特に困ったことはない

問13 担当したケースにヤングケアラーと思われる子どもがいたことはありますか

1. はい  2. いいえ

問13で「1. はい」と答えた方にかかっています

問14 その子が行っていたケアは何ですか (複数回答可)

1. 家事 (食事の準備や掃除、洗濯)
2. きょうだいの世話や保育所等への送迎など
3. 身体的な介護 (入浴やトイレのお世話など)
4. 外出の付き添い (買い物、散歩など)
5. 通院の付き添い
6. 感情面のサポート (愚痴を聞く、話し相手になるなど)
7. 見守り
8. 通訳 (日本語や手話など)
9. 金銭管理
10. 薬の管理
11. その他 (自由記述: \_\_\_\_\_)

問15 その子に対して、何か支援は行いましたか (複数回答可)

1. ケアが必要な対象者へのサービス調整
2. 支援につながるよう関係機関・者へのつなぎ
3. 関係者が支援チームをつくり支援
4. その他 (自由記述: \_\_\_\_\_)
5. 特にない

問16 業務上で、ストレスを感じることはありませんか

1. 強く感じている
2. 感じている
3. やや感じている
4. 感じていない
5. 自覚はないが、身体に症状が出ているように思う
6. その他 (自由記述: \_\_\_\_\_)

問16で1～3に「○」をつけた方にかかっています

問17 ストレスを感じる要因はどのようなものだと思いますか (複数回答可)

1. 業務 (責任) に伴う負担
2. 介護保険制度のしくみ、行政の対応
3. 労働 (拘束) 時間と多忙さ
4. 利用者 (家族) との人間関係
5. 他事業者との人間関係
6. 職場内の人間関係
7. 相談相手が不在
8. 社会的な評価
9. ケアマネジメント業務と関わりのない業務
10. 本人・家族からの暴力、暴言 または 威圧的な言動 (ハラスメント)
11. その他 (自由記述: \_\_\_\_\_)

問18 業務を進めるうえで困ったとき、主にどこに（誰に）相談しますか（複数回答可）

1. 職場の上司
2. 地域の勉強会
3. いわきケアマネ協会
4. 職場以外の介護支援専門員
5. 国民健康保険団体連合会（国保連）
6. 地域包括支援センター
7. 福島県（高齢福祉課、いわき地方振興局 など）
8. いわき市（介護保険課、地域包括ケア推進課、地区保健福祉センター など）
9. 相談できるところ（相手）がない
10. 相談していない
11. その他（自由記述： ）

問18で1～8に「○」をつけた方にうかがいます

問19 相談により、困りごとは解決できていますか

1. 概ね解決できている
2. 解決できることが多い
3. 半分程度は解決できている
4. 解決できないことが多い
5. ほとんど解決できていない

問20 本人・家族との調整の中で、次の不当な要求をされたことがありますか（複数回答可）

1. 本来、介護保険の対象とならないサービス
2. 本人の状況よりも過剰なサービス
3. ケアマネジメント業務と関わりのないサービス
4. セクシャルハラスメント
5. その他（自由記述： ）

問21 介護保険サービスの需要について

ご自身が主に担当する圏域（2カ所）について、次ページを参照の上、該当する番号を①欄に記入してください  
また、現在のサービス提供基盤の状況を踏まえ、令和5年度～7年度を見据えた上で、需要と供給のバランスを②欄に5段階で評価してください

【評価基準】

1. 供給過多である
2. やや供給過多である
3. 需要と供給のバランスが取れている
4. やや需要を満たしていない
5. 全く需要を満たしていない

	サービス名	①		②	
		圏域（その1） 番号：	圏域（その2） 番号：	圏域（その1） 番号：	圏域（その2） 番号：
1	訪問介護				
2	訪問入浴介護				
3	訪問看護				
4	訪問リハビリテーション				
5	通所リハビリテーション				
6	通所介護				
7	地域密着型通所介護				
8	短期入所（生活介護・療養介護）				
9	福祉用具貸与				
10	居宅療養管理指導				
11	小規模多機能型居宅介護				
12	認知症対応型通所介護				
13	認知症対応型共同生活介護				
14	夜間対応型訪問介護				
15	定期巡回・随時対応型訪問介護看護				
16	複合型サービス				
17	介護老人福祉施設（地密を含む）				
18	介護老人保健施設				
19	特定施設入居者生活介護（地密を含む）				

<参考：いわき市の日常生活圏域>

番号	地域名	地区・町名など
1	平市街地	平、北白土、南白土、谷川瀬、鎌田、明治田地、平成、内郷小島町、小島町、
2	平北部	上平窪、中平窪、下平窪、中塩、四ツ波、暮ノ内、鯨岡、大室、赤井、石森
3	平東部	中山、小泉、上高久、下高久、塩、上神谷、中神谷、下神谷、上片寄、下片寄、豊間、薄磯、沼ノ内、神谷作、上山口、下山口、山崎、菅波、荒田目、上大越、下大越、藤間、泉崎、原高野、馬目、絹谷、北神谷、水品、鶴ヶ井
4	平南部	上荒川、下荒川、吉野谷、自由ヶ丘、郷ヶ丘、中央台、若葉台、
5	小名浜市街地・東部	江名、折戸、中之作、永崎、小名浜、上神白、下神白、岡小名、南富岡、大原、洋向台、湘南台
6	小名浜西部	葉山、泉町、本谷、滝尻、下川、黒須野、玉露、泉ヶ丘、泉玉露、泉もえぎ台、中部工業団地、渡辺町
7	小名浜北部	相子島、住吉、島、野田、岩出、林城、金成、玉川町、鹿島町
8	勿来中部・南部	錦町、勿来町、川部町、沼部町、三沢町、山玉町、瀬戸町、富津町
9	勿来北部・田人	植田町、後田町、仁井田町、高倉町、江畑町、添野町、石塚町、東田町、佐糠町、岩間町、小浜町、山田町、金山町、中岡町、南台、田人地区全域
10	常磐・遠野	常磐地区全域（若葉台を除く）、遠野地区全域
11	内郷	内郷地区全域（内郷小島町、小島町を除く）
12	好間・三和	好間地区全域、三和地区全域
13	四倉・久之浜大久	四倉地区全域、久之浜・大久地区全域
14	小川・川前	小川地区全域、川前地区全域

問 22 短期入所生活介護（ショートステイ）の空き状況を、どのような手段で確認していますか。（複数回答可）

- 1. 施設に直接確認
- 2. 市ホームページ
- 3. その他（自由記述）

問 23 「自立支援」「重度化防止」に向けたケアプランの作成について、日頃どの程度意識して策定にあたっていますか

- 1. いつも意識して策定している
- 2. ある程度意識して策定している
- 3. あまり意識して策定していない
- 4. 全く意識していない

問 23 で 1、2 に「○」をつけた方にうかがいます

問 24 主にどういったことを意識して「自立支援」「重度化防止」に向けたケアプランの作成を行っていますか。（複数回答可）

- 1. 意欲低下のみられる利用者から、具体的な目標を引き出すようにしている
- 2. 現状に満足するのではなく、自ら改善していきたいと思うような意識付けを行っている
- 3. 能力はあっても自ら行わない利用者へ、自立を促すようなはたらきかけを行っている
- 4. 設定した目標について、利用者自身に達成度を確認するなどの意識付けを行っている
- 5. 求めに応じた支援ではなく、必要性に応じた支援をする制度であることを説明し、自立に向けての意識付けを行っている
- 6. その他（自由記述）

問 25 市が実施する一般高齢者福祉事業について、満足度や利便性などの観点から6段階で評価してください。また、その理由を簡単に記入してください

【評価基準】

1. よい 2. ある程度よい 3. 普通 4. あまり良くない 5. 悪い  
6. よくわからない

事業名	評価	理由	由
1 配食サービス			
2 緊急通報システム			
3 住宅リフォーム (介護保険の住宅改修でない)			
4 訪問美容サービス			
5 寝具乾燥消毒サービス			
6 要介護老人介護手当			
7 家族介護用品給付 (おむつなど)			
8 徘徊高齢者家族支援サービス			
9 つどいの場			

問 26 高齢者虐待について、これまで (現在を含む) 関わってきたケースの中に、虐待を受けていると疑われる事例はありましたか

次の5つの分類ごとに、「有・無」のいずれかに○をつけてください

1	身体的虐待	有	・	無
2	心理的虐待	有	・	無
3	経済的虐待	有	・	無
4	性的虐待	有	・	無
5	介護・世話の放棄・放任 (ネグレクト)	有	・	無

問 27 成年後見制度について、制度を活用していくためには、どのような取組みが必要だと思いますか (複数回答可)

1. 制度に関する情報提供	2. 費用の助成
3. 手続きの相談・支援	4. 後見人への相談・支援
5. 制度に関する研修会の開催	6. 後見人の育成
7. 相談窓口の職員のスキルアップ	

問 28 問 27 でお答えいただいた内容や、それ以外のことで、成年後見制度を活用していくために必要だと思われることについて、以下にご記入ください

問 29 地域包括ケアの推進には地域の福祉（介護）と医療との連携が欠かせませんが、地域の福祉資源と医療資源との連携はうまくできていると思いますか。考えに最も近いものをひとつに○をつけてください

1. うまくできていると思う
2. ある程度できていると思う
3. あまりできているとは思わない
4. わからない

問 30 地域の福祉資源（介護）と医療資源の連携を図るためには、特に何が重要だと思いますか。考えに最も近いものに○をつけてください（3つまで）

1. 在宅医療を含めた市内医療体制の把握
2. 医療・看護従事者に対する介護事業に関する研修による知識、理解の向上
3. 介護従事者に対する医療・看護事業に関する研修による知識、理解の向上
4. 在宅医療を提供する医療機関（診療所・歯科診療所）や薬局・訪問看護事業所の整備
5. 24時間365日のサービス供給体制の構築に向けた夜間、休日及び緊急時対応の整備
6. 在宅医療に対応できる医師や看護師等の育成
7. 介護従事者の医療従事者への相談体制（ケアマネタイム等）の周知・拡大
8. 医療従事者のケースカンファレンス（事例検討）への参加の促進
9. 医療と介護の情報共有システム（連携シートやシステム）の構築
10. 在宅医療・在宅看取りについての市民への普及啓発
11. 退院支援の充実
12. その他（自由記述：  
）
13. わからない

13

問 31 地域包括支援センターの活動について、今後に向けて最も充実していくべきだと思うことをひとつに○をつけてください

1. 医療機関、介護事業者、ボランティアなどのネットワークづくり
2. 地域の中で、支援が必要な高齢者の方の情報収集
3. 介護予防に関する普及啓発
4. 高齢者虐待防止や成年後見制度等の権利保護に関する啓発
5. 介護予防ケアプランの作成
6. その他（自由記述：  
）

問 32 多分野（介護・障がい等）との連携をより深めるには特に何が重要だと思いますか（複数回答可）

1. 顔の見える多分野の連携会議、交流会
2. 多分野にまたがる事例の検討会
3. 障がい・介護にまたがるケアプランの作成
4. 多分野の制度、サービスについての研修会
5. 障がいサービスから介護保険サービスへの切り替え時等の担当変更の丁寧な引継ぎ
6. 生活困難や8050問題を抱える高齢者や家庭の相談支援体制
7. NPOいわき地域福祉ネットワークとの連携会議、交流会
8. 今でも十分連携がとれている
9. その他（自由記述：  
）

14

問 33 介護支援専門員研修で必要と思われる知識や、今後受講したいと思う課題はどのようなものですか (複数回答可)

- |                      |                  |
|----------------------|------------------|
| 1. 在宅サービスの知識         | 2. 介護保険施設の知識     |
| 3. 介護保険施設以外の高齢者住宅の知識 | 4. 主治医との連携方法     |
| 5. 福祉用具・住宅改修の知識      | 6. 高齢者の疾病と対処法    |
| 7. リハビリの知識           | 8. 認知症・精神疾患とケア   |
| 9. 社会資源の活用と働きかけ      | 10. アセスメント技法     |
| 11. 対人援助法            | 12. サービス担当者会議演習  |
| 13. 困難事例研修           | 14. 成年後見制度に関する知識 |
| 15. その他 (自由記述: )     |                  |

ご協力ありがとうございました。

令和5年2月20日(月)までに、「本調査票」を同封の封筒によりご返送ください。

問 34 福祉サービスの取扱いで、マニュアル等を作成してほしいと思うテーマはありますか (複数回答可)

- |                     |                      |
|---------------------|----------------------|
| 1. 同居家族がいる場合の生活援助   | 2. 身体介護での外出及び通院等乗降介助 |
| 3. ショートステイの長期利用について | 4. 介護サービスの併用について     |
| 5. 介護と医療の併給について     | 6. 各種利用料減免や給付金について   |
| 7. その他 (自由記述: )     |                      |

問 35 その他、いわき市の保健・福祉施策等に対してのご意見・ご要望等を、以下の欄にご自由にお書きください

- |   |
|---|
| (例) いわき市の保健・福祉施策に対する意見・要望について<br>介護保険サービスで日評感している課題について<br>利用者から多く寄せられる不満や苦情について<br>等 |
|---|

# いわき市高齢者保健福祉計画策定に関するアンケート調査 －調査結果報告書－

発行年月：令和5年3月

発行：いわき市 保健福祉部 介護保険課 長寿支援係

〒970-8686 福島県いわき市平字梅本 21 番地

電話 0246-22-7448(直通) FAX 0246-22-7570

調査委託：株式会社サーベイリサーチセンター